

独立行政法人科学技術振興機構
外国人研究者宿舍管理運營業務
民間競争入札実施要項（案）

平成 2 5 年 月

独立行政法人科学技術振興機構

目 次

1. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項	1
2. 実施期間に関する事項	6
3. 入札参加資格に関する事項	6
4. 入札に参加する者の募集に関する事項	7
5. 対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項	9
6. 対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項	12
7. 民間事業者を使用させることができる宿舎施設設備に関する事項	12
8. 民間事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により民間事業者が講ずべき措置に関する事項	12
9. 民間事業者が対象公共サービスを実施するに当たり第三者に損害を加えた場合において、その損害の賠償に関し契約により当該民間事業者が負うべき責任（国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項	20
10. 対象公共サービスに係る法第7条第8項に規定する評価に関する事項	21
11. その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項	21

別紙 1 : 評価表	2 3
別紙 2 : 従来の実施状況に関する情報の開示	2 4
別紙 3 : 退去時アンケート	2 9
別紙 4 : 外国人研究者宿舎管理運営業務 仕様書	3 0
別紙 5 : 貸与施設等及び貸与物品	8 7
別紙 6 - 1 : 施設概要 (二の宮ハウス)	9 0
別紙 6 - 2 : 施設概要 (竹園ハウス)	1 6 2
別紙 7 : 設備・機械等 補足事項	1 8 3
別紙 8 : 外国人研究者宿舎の運営に関する規則	1 8 7
別紙 9 : 外国人研究者宿舎の運営に関する規則施行細則	1 9 4
別紙 1 0 : 外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」「竹園ハウス」パンフレット	1 9 5

管理業務企画書

様式 1 : 企業の代表責任者及び本業務担当者	1 9 8
様式 2 : 業務実績	1 9 9
様式 3 : 本業務に対する認識	2 0 0
様式 4 : 業務の実施体制及び業務全体の管理方法	2 0 1
様式 5 : 質の確保に関する提案	2 0 2
様式 6 : 改善提案総括表	2 0 3
様式 7 : 各業務の従来の実施方法に対する改善提案	2 0 4
様式 8 : 緊急時の体制及び対応方法	2 0 6
様式 9 : 再委託に関する事項	2 0 7
様式 1 0 : 入札参加事業者等確認書	2 0 8

独立行政法人科学技術振興機構 外国人研究者宿舎管理運営業務 民間競争入札実施要項（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号。以下「法」という。）に基づく競争の導入による公共サービスの改革については、公共サービスによる利益を享受する国民の立場に立って、公共サービスの全般について不断の見直しを行い、その実施について、透明かつ公正な競争の下で民間事業者の創意と工夫を適切に反映させることにより、国民のため、より良質かつ低廉な公共サービスを実現することを目指すものである。

前記を踏まえ、独立行政法人科学技術振興機構（以下、「機構」という。）は、公共サービス改革基本方針（平成25年6月14日閣議決定）別表において民間競争入札の対象として選定された外国人研究者宿舎管理運営業務（以下「本業務」という。）について、公共サービス改革基本方針に従って、本実施要項を定めるものとする。

1. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項

（1）対象公共サービスの詳細な内容

ア. 対象施設の概要

- ・ 名称：独立行政法人科学技術振興機構 外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」「竹園ハウス」
- ・ 設置目的：我が国の研究機関等において研究活動を行う外国人研究者及びその家族（以下、「居住者」という。）を対象に、宿舎及び各種の支援サービスを提供し、研究者が円滑に生活を開始し、研究活動に専念できる環境を整備することで、我が国の研究環境の国際化に資する。

① 「二の宮ハウス」

- ・ 所在地：茨城県つくば市二の宮1-6-2
- ・ 敷地面積：6,569 m²
- ・ 延床面積：18,298 m²
- ・ 主用途：宿泊施設（東棟、西棟、南棟、北棟：1LK 104室、1LDK 80室）
附帯施設（管理事務室、中央監視室、応接室、集会室、セミナー室2室、打合せ室2室、スポーツジム、プレイルーム、交流サロン、和室、駐車場148台等）
- ・ 規模構造：地下1階地上9階SRC造（一部RC造）
- ・ 竣工日：平成13年3月

②「竹園ハウス」

- ・所在地：茨城県つくば市竹園 2-20-4
- ・敷地面積：1,500 m²
- ・延床面積：2,599 m²
- ・主用途：宿泊施設（1人用 1LDK 24室、2人用 1LDK 6室、家族用 2LDK 6室）
 附帯施設（管理事務室、管理人室、集会室、駐車場 14台）
- ・規模構造：地上 7階 RC 造
- ・竣工日：平成 3年 3月

イ．業務の対象と業務内容

本業務の対象は次の（ア）～（オ）の各業務（以下、「各業務」という。）とし、これらの実施にあたっては、外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」「竹園ハウス」（以下、「宿舎」という。）の機能を維持し、宿舎にて実施する業務に支障を及ぼさないように、また、居住者及び来館者にとってより快適な施設利用ができるよう、建物・設備及び外構等の性能を常時適切な状態に維持管理を行う。

（ア）統括業務

a．業務の概要

委託された全業務の統括業務。

b．業務の内容

別紙 4 のとおり。

（イ）施設維持管理業務

a．業務の概要

宿舎施設に設置された各種設備機器類の安全な運転操作と適切な保守点検整備業務。

b．業務の内容

別紙 4 のとおり。

（ウ）環境衛生管理業務

a．業務の概要

宿舎施設内外の清掃・美観の維持・環境衛生の維持業務。

b．業務の内容

別紙 4 のとおり。

（エ）植栽管理業務

a．業務の概要

宿舎施設内外の植栽管理業務。

b．業務の内容

別紙 4 のとおり。

（オ）その他の管理業務

a. 業務の概要

宿舎施設の維持管理にかかるその他の業務。

b. 業務の内容

別紙4のとおり。

ウ. 業務期間開始前及び終了時の引継方法

(ア) 本業務の契約期間が開始する前に、本業務を行っている者から、事前に十分な引継ぎを受けること。当該引継ぎに要する費用は引継ぎを受ける事業者の負担とし、業務に必要な知見の移転が終了するまで行うものとする。なお、契約期間開始前に業務を行っていた者が引き続きその業務を行うこととなる場合には、この限りではない。

(イ) 本業務の契約期間が終了する際、本業務を引継ぐ者に対し、事前に十分な引継ぎを行うこと。当該引継ぎに要する費用は引継ぎを受ける事業者の負担とし、本業務を引継ぐ者が決定次第速やかに引継ぎを開始して、業務に必要な知見の移転が終了するまで行うものとする。なお、契約期間終了後に引き続きその者が業務を行うこととなる場合には、この限りではない。

(ウ) 本業務の契約期間が終了する際、本業務の遂行に当たり使用した設備・備品等については、原状回復をした上で機構に引き渡すこと。また、民間事業者が本業務に供するために持ち込んだ設備・備品等については、すべて民間事業者の負担で撤去すること。

(エ) 本業務の契約期間が終了する際、機構が提供した情報については、書類や電子データ等の媒体の種類に関わらずすべて機構に返却すること。また、民間事業者が本業務の遂行に当たり収集した情報及び本実施要項において作成が義務づけられている書類又は電子媒体については、すべて機構に無償で引き渡すこと。

エ. その他留意事項

本業務の実施に際しては、事業期間を通じて次のことを考慮する。

(ア) 維持管理は予防保全を基本とすること。

(イ) 環境を良好に保ち、施設利用者の健康被害を防止すること。

(ウ) 建築物（附帯設備含む）が有する性能を保つこと。

(エ) 劣化等による危険・障害の未然防止に努めること。

(オ) 省資源、省エネルギーに努めること。

(カ) ライフサイクルコストの削減に努めること。

(キ) 建築等の財産価値の確保を図ること。

(ク) 環境負荷を低減し、環境汚染等の発生防止に努めること。

(ケ) 故障等によるサービスの中断に係る対応を定め、早急な回復に努めること。

(2) サービスの質の設定

本業務の実施に当たり達成すべき質及び確保すべき水準は以下のとおりとする。

ア. 本業務の包括的な質

本業務を通じて包括的に達成すべき質は、宿舎施設利用者に快適な施設利用を可能とするとともに、宿舎施設における公共サービスの円滑な実施を可能とすることとし、具体的には以下のとおりとする。

(ア) 品質の維持

a. 平常時

本業務の不備に起因する空調停止、停電、断水が発生しないこと（0回）

本業務の不備に起因する当施設における事業及び執務の中断がないこと（0回）

b. 緊急時

大地震・火災等の緊急事態が発生し、宿舎がその業務の一部又は全部を停止した場合において、宿舎が機能を復旧する過程で、本業務の不備に起因した復旧の遅れが無いこと。

(イ) 安全性の確保

本業務の不備に起因した人身事故又は物損事故の発生が無いこと（0回）

(ウ) 快適性の確保

居住者に対し退去時に実施するアンケート（別紙3）のうち、本業務に関する部分の設問について、80%以上の回答者から、「Very satisfied（とても満足）」「Satisfied（満足）」の評価を得ること。

イ. 各業務において確保すべき水準

各業務において確保すべき水準は、業務の内容として別紙4で開示する情報に定める内容とし、法令に反しない限り、4.(2)イ.の企画書において改善提案を行うことができる。

ウ. 創意工夫の発揮可能性

本業務を実施するにあたっては、以下の観点から民間事業者の創意工夫を反映し、公共サービスの質の向上（包括的な質の向上、効率性の向上）及び経費の削減等に努めるものとする。

(ア) 本業務の実施全般に対する改善提案

民間事業者は、本業務の実施全般に係る質の向上及び経費削減の観点から取り組むべき事項等の改善提案を行うことができる。その際、具体的な方法等を示すとともに、現行基準レベルの質が確保できる根拠等を企画書に明示すること。

(イ) 各業務に関する改善提案

民間事業者は、本業務における各業務に係る質の向上及び経費削減の観点から取り組むべき事項の改善提案を行うことができる。その際、質の向上に向けた具体的な方法等を示すとともに、現行基準レベルの質が確保できる根拠等を企画書に明示すること。

(3) 委託費の支払方法

機構は、本業務の契約期間中の検査・監督を行い、確保すべき水準（企画書に改善提案があった事項を含む。）の到達状況及び実施状況を報告書や目視等により確認した上で、委託費を支払うものとする。また検査・監督の結果、これらが満たされていない場合は、機構は再度業務を行うように改善の指示を出すとともに、民間事業者は業務改善計画書を機構に提出した上で所要の改善を行うこととする。改善後の確認ができるまでの間、委託費の支払いを保留する。

委託費の支払いに当たっては、民間事業者は当該月分の業務の完了後、機構との間で予め定める書面により当該月分の支払請求を行う。機構は、これを受領した日の翌日から30日以内に所定の金額を民間事業者に支払うものとする。

(4) 費用負担等に関する留意事項

ア. 消耗品等

本業務を実施するに当たり、建物・設備・備品等にかかる消耗品は必要により機構と協議の上、委託費にて執行できるものとする。なお、宿舍における在庫や備蓄等からの払出しを優先すること。（詳細は別紙4仕様書P. 34（3）（4）を参照のこと。）

イ. 光熱水料

機構は、民間事業者が本業務を実施するために必要な光熱水料を負担する。

ウ. 施設使用料

機構は、民間事業者が本業務を実施するために使用する控室等は無償で提供するものとする。

エ. 法令等の変更による増加費用及び損害の負担

法令等の変更により民間事業者に生じた合理的な増加費用又は損失については、以下の（ア）から（ウ）のいずれかに該当する場合には機構が負担し、それ以外の変更については民間事業者が負担するものとする。

- （ア）本件事業に典型的又は特別に影響を及ぼす法令、基準等の変更及び税制度の新設
- （イ）消費税その他類似の税制度の新設・変更（税率の変更を含む。）
- （ウ）上記（ア）及び（イ）のほか、法人税その他類似の税制度の新設・変更以外の税制度新設・変更（税率の変更を含む。）

2. 実施期間に関する事項

本業務の実施期間は、平成26年4月1日から平成29年3月31日までとする。

3. 入札参加資格に関する事項

- (1) 法第15条において準用する法第10条各号（第11号を除く。）に該当するものではないこと。
- (2) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (3) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
- (4) 独立行政法人科学技術振興機構又は全省庁統一資格のうち以下の全てを満たす競争参加資格を取得している者
 - ・資格の種類：役務の提供等
 - ・格付け：A、B又はC等級
 - ・資格の有効年度：平成25・26・27年度
- (5) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき民事再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後に一般競争参加資格の再認定を受けていること。
- (6) 機構から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (7) 警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配している業者またはこれに準ずるものとして、国発注業務等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (8) 入札参加グループでの入札について

ア. 入札参加グループの結成

民間競争入札に参加する者（以下「入札参加者」という。）が本業務のすべてを単独で遂行することができない場合には、入札書類（4.（2）イ. で規定する入札書類をいう。）を提出する時までには、本業務のすべてを共同で遂行することにより入札に参加するグループ（以下「入札参加グループ」という。）を結成し、入札に参加することができる。その際、入札参加グループに参加する者を入札参加グループ員とし、入札参加グループ員のうち1名を代表者とするものとする。

なお、入札参加グループ員は、他の入札参加グループに参加し、又は単独で入札に参加することはできない。（中小企業等協同組合法（昭和24年法律第181号）に基づき設立された事業協同組合又は特別の法律によって設立された組合が入札に参加する場合におけるその組合員も同様とする。）また、入札参加グループを結成した場合には、すべての入札参加グループ員は、入札参加グループ結成に関する協定書（又はこれに類する

書類)を作成しなければならない。

イ. 入札参加グループの入札参加資格

全ての入札参加グループ員は上記(1)から(7)の全ての要件を満たしていること。

4. 入札に参加する者の募集に関する事項

(1) 入札の実施手続及びスケジュール(予定)

入札公告	平成25年11月下旬頃
入札説明会	平成25年12月上旬頃
現地見学会	平成25年12月中旬頃
入札等に関する質疑応答	平成25年1月上旬頃
入札書類の提出期限	平成26年1月下旬頃
入札書類の評価	平成26年2月上旬頃
入札・開札	平成26年2月中旬頃
契約締結・事業開始	平成26年4月1日

(2) 入札実施手続

ア. 入札説明会後の質問受付

入札公告に際して入札説明書の交付を受けた者は、本実施要項の内容や入札に係る事項について入札説明会後に、機構に対して質問を行うことができる。質問は原則として電子メールにより行い、質疑内容及び機構からの回答は原則として入札説明会に参加したすべての者に公開することとする。

ただし、民間事業者の権利や競争上の地位等を害するおそれがあると判断される場合には、質問者の意向を聴取した上で公開しないよう配慮する。

イ. 提出書類

入札参加者は、総合評価のための業務実施の具体的な方法、その質の確保方法等に関する書類(以下「企画書」という。)その他審査に必要な書類(以下「入札書類」という。)を入札書類の受付期限までに提出する。また、入札参加者は、入札時に、本業務実施に係る入札金額を記載した書類(以下「入札書」という。)を提出する。入札書に記載する入札金額には、本業務に要する一切の経費の105分の100に相当する金額を記載することとする。

ウ. 企画書の内容

入札参加者が提出する企画書には、本実施要項5で示す総合評価を受けるために必要な次の事項を記載する。なお、入札参加者は次の(オ)～(キ)において、法令に反しない

限り、別紙4～10に示す業務の内容について、改善提案を行うことができる。また入札参加者は必要に応じ企画書提出前に質問を行うことができるものとする。質問を求められた機構は当該入札参加者が企画書を提出期限内に提出できるよう速やかに回答する。

(ア) 企業の代表責任者及び本業務担当者【様式1】

入札に参加する事業者の代表責任者及び本業務の担当者を記載する。なお、入札参加グループで参加する場合は、様式1に入札参加グループの一覧、入札参加グループの代表事業者、入札参加グループ員の代表責任者及び各業務の担当者を記載すること。(入札参加グループ結成に関する協定書又はこれに類する書類を添付すること。)

(イ) 業務実績【様式2】

本実施要項1(1)イ.で示す業務毎に過去3年間の実績を記載すること。

(ウ) 本業務に対する認識【様式3】

本業務を実施するにあたっての基本的な方針、業務全般において特に重視するポイント等を記載すること。

(エ) 本業務全体及び各業務の実施体制、法的資格等を有する者等の配置【様式4】

本業務全体について及び本実施要項1.(1)イ.で示す各業務毎に実施体制及び業務全体の管理方法等を具体的に記載し、必要とされる法的資格等を有する者及び条件を満たす者の配置を記載する。(原則として、必要とされる資格を証明する書類の写しを添付すること。企画書の提出期限までに有資格者名を特定できない場合は、応札者が有資格者を十分に擁して契約開始時に支障なく必要な人材を配置できる体制を確立していることを企画書で具体的に説明の上、落札後は入札実施日の翌日から起算して14日以内に必要とされる資格を証明する書類の写しを機構に提出すること。)

(オ) 質の確保及び業務コスト等削減に対する考え方【様式5】

本業務に関する包括的な質の確保及び各業務の質の確保及び業務コスト等削減に関する考え方を記載する。

(カ) 改善提案【様式6, 7】

改善提案を行う場合、改善提案を行う業務(項目)を明確にし、改善提案を行う理由、改善提案の内容、改善提案による質の向上効果又は経費の削減効果(あるいはその両方)を具体的に示すこと。

(キ) 緊急時の体制及び対応方法【様式8】

緊急時(本業務の実施に当たり想定していたとおりの業務を実施することが困難になる事故・事象が生じた場合をいう。)のバックアップ体制と対応方法を示す。

エ. その他審査に必要となる書類

上記イの「その他審査に必要となる書類」とは、以下のとおりである。

(ア) 入札参加者(入札参加グループの場合はすべての入札参加グループ員)の平成25・26・27年度競争参加資格(独立行政法人科学技術振興機構又は全省庁統一資格)の写

し

(イ) 再委託に関する事項【様式9】

本実施要項8.(7)サ.により本業務の一部についてやむを得ず再委託を行う場合は、再委託する業務の内容、企業名、住所、再委託先の業務履行能力、報告徴収その他の業務管理の方法を具体的に示すこと。

(ウ) 暴力団排除手続きに関する事項

a. 入札参加事業者等確認書【様式10】

b. 誓約書（暴力団排除条項に該当しないこと及び暴力団又は暴力団関係者を再委託先としないことを誓約する書類。書式自由）

オ. 開札にあたっての留意事項

(ア) 開札は、入札参加者又はその代理人を立ち合わせて行う。ただし、入札又はその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。

(イ) 入札参加者又はその代理人は、開札時刻後においては、開札場に入場することはできない。

(ウ) 入札参加者又はその代理人は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状を提示又は提出しなければならない。

(エ) 入札参加者又はその代理人は、入札中は、契約担当官等が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。

(オ) 開札した場合において、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行う。また再度入札は2回までとする。

カ. 言語及び通貨

入札書、企画書その他の提出書類に使用する言語、通貨、日時及び計量単位は、日本語、日本国通貨、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に規定する計量単位とする。

5. 対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項

民間事業者の決定は、総合評価方式によるものとする。なお、本業務に係る企画書及び業務実施内容の審査・評価に当たり、客観性・公平性を確保するため、本業務に関して利害関係を有しない外部有識者を含む評価委員会を機構に設置して行うものとする。

(1) 落札者決定に当たっての質の評価項目の設定（別紙1）

落札者を決定するための評価は、提出された企画書の内容が、本業務の目的・趣旨に添

って実行可能なものであるか（必須項目審査）、また、提案内容が具体的かつ効果的なものであるか（加点項目審査）について行うものとする。

ア．必須項目審査（30点）

必須項目審査においては、入札参加者が次の必須項目を満たしていることを確認する。すべて満たした場合は基礎点（30点）を付与し、一つでも満たしていない場合は、失格として下記イの加点項目審査は行わない。

（ア）実施体制

- a．各業務の業務水準が維持される体制であるか。（入札参加グループで参加する場合、代表者と代表者以外の入札参加グループ員の連携が可能な体制であるか。）
- b．各業務で必要とする資格者が適切に配置されているか。

（イ）業務に対する認識

- a．本業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか。
- b．本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確になっているか。

（ウ）現行基準レベルの質の確保

本業務全般及び各業務の提案内容は、機構が要求する水準を確保するものであるか。

イ．加点項目審査（70点）

必須項目審査で合格した入札参加者に対して、次の加点項目について審査を行う。なお、提案内容については、具体的であり、かつ効果的な実施が期待されるかという観点から、基本的には各業務の確保すべき水準として示した別紙4の内容と提案内容との比較を行い、絶対評価により加点（満点の場合は70点）する。

（ア）統括業務（本業務全般に係る提案を含む）（10点）

- a．本業務の質の向上に関して具体的な提案があり、その実施について具体的な方法、計画が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。
- b．業務コスト等の削減のための方策が提案されているか。

（イ）施設維持管理業務（20点）

- a．本業務の質の向上に関して具体的な提案があり、その実施について具体的な方法、計画が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。
- b．業務コスト等の削減のための方策が提案されているか。

（ウ）環境衛生管理業務（20点）

- a．本業務の質の向上に関して具体的な提案があり、その実施について具体的な方法、計画が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。
- b．業務コスト等の削減のための方策が提案されているか。

（エ）植栽管理業務（10点）

- a. 本業務の質の向上に関して具体的な提案があり、その実施について具体的な方法、計画が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。
 - b. 業務コスト等の削減のための方策が提案されているか。
- (オ) 緊急時及び非常時対応についての考え方・体制（10点）
- a. 具体的な事態を想定し、円滑に対応し、かつ被害を拡大させないための体制、対策が提案されているか。
 - b. 業務を安定的に履行できる対策が講じられているか。
 - c. 緊急時の対策（連絡体制）は明確で効果的なものであるか。

(2) 落札者決定に当たっての評価方法

ア. 落札者の決定方法

必須項目審査により得られた基礎点（30点）と加点項目審査で得られた加算点（最高70点）を加算し、入札価格（予定価格の制限の範囲内であるものに限る。）で除した値を総合評価点とし、入札参加者中で最も高い値の者を落札者として決定する（除算方式）。

$$\text{総合評価点} = (\text{基礎点} + \text{加算点}) \div \text{入札価格}$$

イ. 留意事項

(ア) 開札の結果、落札者となるべき者の入札価格が、10分の6を予定価格に乗じて得た額に満たない場合は、その価格によって契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるか否か、次の事項について改めて調査を実施し、該当するおそれがあると認められた場合、又は契約の相手方となるべき者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがある著しく不相当であると認められた場合には、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、総合評価点が最も高い1者を落札者として決定することがある。

- a. 当該価格で入札した理由及びその積算の妥当性（当該単価で適切な人材が確保されるか否か、就任予定の者に支払われる賃金額が適正か否か、就任予定の者が当該金額で了解しているか否か等）
- b. 当該契約の履行体制（常駐者の有無、人数、経歴、勤務時間、専任兼任の別、業務分担等が適切か否か等）
- c. 当該契約期間中における他の契約請負状況
- d. 手持ち機械その他固定資産の状況
- e. 国の行政機関等及び地方公共団体等に対する契約の履行状況
- f. 経営状況
- g. 信用状況

(イ) 開札の結果、落札者となるべき者が二人以上あるときは、直ちに入札参加者又はそ

の代理人にくじを引かせて落札者を決定するものとする。この場合において、入札参加者又はその代理人が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

(ウ) 落札者が決定したときは、遅滞なく落札者の氏名若しくは名称、落札価格、落札者決定の理由並びに提案された内容のうち具体的な実施体制及び実施方法の概要について公表するものとする。

(3) 初回の入札で落札者が決定しなかった場合の取扱いについて

初回の開札で予定価格の制限の範囲内で入札した者がいないときは、直ちに再度の入札を行うものとする。なお、開札の際に、入札参加者又はその代理人が立ち合わなかった場合には、その再度の入札を辞退したものとみなす。再度の入札によってもなお落札者となるべき者がいない場合には、入札条件を見直し、再度入札公告に付することとする。

再度の入札公告によっても落札者となるべき者が決定しない場合又は再度の入札公告によると本業務の実施の準備に必要な期間を確保することができない等のやむを得ない事情がある場合には、機構が自ら当該業務を実施する等とすることとし、その場合には、理由を公表するとともに、官民競争入札等監理委員会に報告することとする。

6. 対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項

従来の実施状況に関する情報は、別紙2のとおり。

7. 民間事業者を使用させることができる宿舍施設設備に関する事項

(1) 貸与施設・設備

別紙5の貸与施設等及び貸与物品のとおり

(2) 設備・機器等の持ち込み

ア. 宿舍の業務に支障を来さない範囲において、民間事業者は宿舍施設内に本業務に必要な機器・設備等を民間事業者の負担において持ち込むことができる。ただし、機器・設備等を持ち込む場合には、事前に機構の了解を得るものとし、本業務を終了した際は、原状回復を行わなければならない。

イ. 設備・機器等の持ち込み又は撤去に要する経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費については、本実施要項1.(4)イ. で規定する光熱水料を除き民間事業者が負担するものとする。

8. 民間事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置その他の対象公共サービスの

適正かつ確実な実施の確保のために契約により民間事業者が講ずべき措置に関する事項

(1) 報告等について

ア. 業務計画書の作成と提出

民間事業者は、本業務を行うに当たり、平成26年3月10日までに、管理業務計画書（経費執行計画書を含む）を機構に提出し、機構と協議しなければならない。管理業務計画書に変更が生じた場合は、当該変更の3日前（但し、日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律で定める国民の祝日、及び年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）を含まない。）までに、当該変更を機構に届け出て、機構と協議すること。

イ. 業務従事者名簿の作成と提出

(ア) 民間事業者は、平成26年3月10日までに、本業務に従事する者の名簿を作成し、機構に提出すること。本業務に必要な資格を証明する書類（資格書の写し等）を併せて提出すること。また、業務従事者を変更する場合は、当該変更の3日前（但し、日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律で定める国民の祝日、及び年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）を含まない。）までに、当該変更を機構に届け出ること。

(イ) 機構は業務従事者が不適格であると認める場合は、その理由を明らかにし、民間事業者に当該業務従事者への指導を求めることができる。その場合、民間事業者は不適格である理由を確認し、当該業務従事者の改善又は交替を行うものとする。

ウ. 業務報告書の作成、提出及び保管

民間事業者は、本業務の履行結果を正確に記載した業務日報、業務月報及び年間総括報告書を作成し、以下のとおり保管又は提出すること。

(ア) 民間事業者は本業務開始前に全ての業務報告書の書式を機構に提出し、承諾を得ること。

(イ) 民間事業者は本業務期間中、業務日報を毎日作成し、翌日（当該翌日が休日の場合には、その直後の平日とする。）までに機構に提出し、機構の確認を受けること。機構の確認を受けた後の業務日報は、業務期間中いつでも閲覧できるように保管すること。

(ウ) 民間事業者は、業務期間中、当月分に係る業務月報を、その月の翌月の5日（当該日が休日の場合には、その直後の平日とする。）までに機構に提出すること。機構の確認を受けた後の業務月報は、業務期間中いつでも閲覧できるように保管すること。

(エ) 民間事業者は、毎年4月10日（当該日が休日の場合には、その直後の平日とする。）までに、本業務に関する年間総括報告書を機構に提出すること。

(オ) 民間事業者は、発注業務の履行を通じて、環境対策や防災対策などに関して提案があれば、任意の書式で意見を提出すること。

(2) 機構の検査・監督体制

民間事業者からの報告等を受けるに当たり、機構の検査・監督体制は次のとおりとする。

ア. 施設管理責任者

独立行政法人科学技術振興機構 国際科学技術部長

イ. 施設管理担当者及び検査職員

独立行政法人科学技術振興機構 国際科学技術部 調査役

ウ. 施設管理監督職員

独立行政法人科学技術振興機構 国際科学技術部 主査

(3) 機構による調査への協力

機構は、民間事業者による業務の適正かつ確実な実施を確保する必要があると認めるときは、民間事業者に対し、本業務の状況に関し必要な報告を求め、又は民間事業者の事務所に立入り、本業務の実施状況若しくは帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

なお、立入り検査をする者は、検査等を行う際には、当該立入り検査等が法第26条第1項に基づくものであることを民間事業者に明示するとともに、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示するものとする。

(4) 指示について

機構は、民間事業者による本業務の適正かつ確実な実施を確保するために必要があると認めるときは、民間事業者に対し、必要な措置を取るべきことを指示することができる。また、機構は、本業務の検査・監督において業務の質の低下につながる問題点を確認した場合は、随時民間事業者に指示を行うことができるものとする。

機構による指示の経路については、以下のとおりとする。

ア. 統括業務実施者を通じた報告、指示

民間事業者から機構への業務計画書・作業報告書その他の関係書類（以下「各種書類」という。）の提出及び各種の報告は、下記イの緊急時等を除き原則として統括業務実施者を通して行うものとする。機構は、提出された各種書類及び各種の報告の内容について修正、追加、処置方法等について統括業務実施者に必要な指示を行うものとする。ただし、各種書類の提出及び各種の報告を行う個別業務実施事業者が統括業務実施者を兼任している場合は、統括業務実施者を通して受領・指示を行うものとみなすことができる。

イ. 緊急時等における報告、指示

故障・不具合の発生時及び業務の立会時等、早急な判断、対応を必要とする場合（以下「緊急時等」という。）には、個別業務実施事業者は、機構に直接報告を行うことができる。

また、緊急時等には、機構は個別業務実施事業者に直接指示を行うものとする。このような場合、個別業務実施事業者は、総括管理業務実施者に対して、必ず事後報告を行うものとする。

(5) 秘密の保持

民間事業者は、本業務に関して機構が開示した情報等（公知の事実等を除く。）及び業務遂行過程で作成した提出物等に関する情報を漏洩してはならないものとし、そのために必要な措置を講ずること。民間事業者（その者が法人である場合にあっては、その役員）若しくはその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、法第54条により罰則の適用がある。

(6) 個人情報の保護

ア. 基本的な考え方

民間事業者は、個人情報保護の重要性を十分に認識し、本業務を実施するに当たって入手した個人情報の取扱いについては、個人の権利や利益を侵害することがないように独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第59号）第7条第2項の規定に基づき、個人情報の漏洩、滅失、改ざん又はき損の防止その他個人情報を適切に管理するために必要な措置を講じなければならない。

イ. 保有の制限

民間事業者は、本業務を実施するにあたって個人情報を保有するときは、あらかじめ、本人に対してその利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を入手するものとする。

ウ. 利用及び提供の制限

民間事業者は、機構の指示又は承認がある場合を除き、本業務を実施するための利用目的のために個人情報を自ら利用し、又は他者に利用させてはならない。

エ. 複写等の禁止

民間事業者は、機構の指示又は承認がある場合を除き、本業務を実施するために機構から提供された個人情報を複写し、又は提供してはならない。

オ. 報告

民間事業者は、個人情報の漏洩等が発生し、又は発生の可能性を知った場合には、直ちに機構に報告し、その指示に従うものとする。なお、本業務が終了した後にお

いても同様とする。

カ. 管理体制の整備

民間事業者は、本業務を実施するに当たり、個人情報の管理に関する責任者を定めるなど管理体制を整備しなければならない。

キ. 業務従事者への周知

民間事業者は、本業務に従事する者に対し、在職中及び退職後においても本業務を実施するに当たり知り得た個人情報を漏洩し、又は不当な目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知徹底しなければならない。

(7) 契約に基づき民間事業者が講ずべき措置

ア. 業務の開始及び中止

(ア) 民間事業者は、締結された本契約に定められた業務開始日に、確実に本業務を開始しなければならない。

(イ) 民間事業者は、やむを得ない事由により本業務を一時中断しようとするときは、あらかじめ、機構の承認を受けなければならない。

イ. 公正な取扱い

(ア) 民間事業者は、本業務の実施にあたって、宿舎施設利用者を合理的な理由なく区別してはならない。

(イ) 民間事業者は、宿舎施設利用者の取扱いについて、自らが行う他の事業における利用の有無等により区別してはならない。

ウ. 金品等の授受の禁止

民間事業者は、本業務において、金品等を受け取る事又は与えることをしてはならない。

エ. 宣伝行為の禁止

民間事業者及び本業務に従事する者は、本業務の実施にあたって、自らが行う業務の宣伝を行ってはならない。

民間事業者及び本業務を実施する者は、本業務の実施の事実をもって、第三者に対し誤解を与えるような行為をしてはならない。

オ. 法令の遵守

民間事業者は、本業務を実施するに当たり適用を受ける関係法令等を遵守しなければならない。

らない。

カ. 安全衛生

民間事業者は、本業務に従事する者の労働安全衛生に関する労務管理については、責任者を定め、関係法令に従って行わなければならない。

キ. 記録・帳簿書類等

民間事業者は、本業務に関して作成した記録や帳簿書類を、本業務を終了し、又は中止した日の属する年度の翌年度から起算して5年間、測定・検査、点検・整備等に関する帳簿書類等は本業務が終了したときから10年間、一定の場所に保管しなければならない。

ク. 権利の譲渡

民間事業者は、原則として、本契約に基づいて生じた権利の全部又は一部を第三者に譲渡してはならない。

ケ. 権利義務の帰属等

- (ア) 本業務の実施が第三者の特許権、著作権その他の権利に抵触するときは、民間事業者は、その責任において、必要な措置を講じなくてはならない。
- (イ) 民間事業者は、本業務の実施状況を公表しようとするときは、あらかじめ、機構の承認を受けなければならない。

コ. 一般的損害

本業務を行う際に生じた損害（本実施要項9に記載した損害を除く）については、民間事業者がその費用を負担する。但しその損害のうち機構の責めに帰すべき事由により生じたものについては機構が負担する。

サ. 再委託の取扱い

- (ア) 民間事業者（入札参加グループを含む。）は、本業務の実施に当たり、その全部を一括して再委託してはならない。
- (イ) 民間事業者は、本業務の実施に当たり、その一部について再委託を行う場合は、原則として、あらかじめ企画書（様式9）において再委託に関する事項（再委託先の住所・名称・再委託先に委託する業務の範囲、再委託を行うことの合理性及び必要性、再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他業務管理の方法）について記載しなければならない。また、民間事業者は、企画書の提出前に、再委託先が単独又は入札参加グループで本入札に参加しようとする者でないことを確認するものとする。
- (ウ) 民間事業者は、契約締結後やむを得ない事情により再委託を行う場合には、再委託

に関する事項を明らかにした上で機構の承認を受けなければならない。

(エ) 民間事業者は、上記(イ)及び(ウ)により再委託を行う場合には、民間事業者が機構に対して負う義務を適切に履行するため、再委託先の事業者に対し、前記「(5) 秘密の保持」及び「(6) 個人情報の保護」並びに「(7) 契約に基づき民間事業者が講ずべき措置」に規定する事項について必要な措置を講じさせるとともに、再委託先から必要な報告を徴収することとする。

(オ) 上記(イ)から(エ)までにに基づき、民間事業者が再委託先の事業者に本業務を実施させる場合は、すべて民間事業者の責任において行うものとし、再委託先の事業者の責めに帰すべき事由については、民間事業者の責めに帰すべき事由とみなして、民間事業者が責任を負うものとする。

シ. 契約変更

機構及び民間事業者は、実施要項等で機構が提示した条件と異なることとなる場合、その他やむを得ない事由により本契約の内容を変更しようとする場合は、予め変更の理由を書面により相手方へ提出し、相手方の承諾を得た上で本契約の変更を行うものとする。

ス. 契約解除

機構は、民間事業者が次のいずれかに該当するときは、本契約を解除することができる。

(ア) 偽りその他不正の行為により落札者となったとき

(イ) 法第14条第2項第3号若しくは法第15条において準用する法第10条(第11号を除く。)の規定による民間競争入札に参加する者に必要な資格の要件を満たさなくなったとき

(ウ) 本契約に従って本業務を実施できなかったとき、又はこれを実施することができないことが明らかになったとき

(エ) 上記(ウ)に掲げる場合のほか、契約において定められた事項について重大な違反があったとき

(オ) 法律又は契約に基づく報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して答弁せず、若しくは虚偽の答弁をしたとき

(カ) 法令又は本契約に基づく指示に違反したとき

(キ) 民間事業者又はその他の本業務に従事する者が、法令又は契約に違反して、本業務の実施に関して知り得た秘密を漏らし、又は盗用したとき

(ク) 暴力団が業務を統括する者又は従業員としていることが明らかになったとき

(ケ) 暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき

セ. 契約解除時の取扱い

- (ア) 上記スに該当し、本契約を解除した場合には、機構は民間事業者に対し、当該解除の日までに当該公共サービスを契約に基づき実施した期間にかかる対価を支給する。
- (イ) 上記 (ア) の場合には、民間事業者は、契約金額の105分の100に相当する金額の100分の10に相当する金額を違約金として機構の指定する期間内に納付しなければならない。
- (ウ) 機構は、民間事業者が上記 (イ) の規定による金額を機構の指定する期日までに支払わない場合には、その支払期限の翌日から起算して支払のあった日までの日数に応じて、年100分の3.3の割合で計算した金額を延滞金として納付させることができる。
- (エ) 機構は、本契約の解除及び違約金の徴収をしてもなお損害賠償の請求をすることができる。

ソ. 業務途中における入札参加グループからの脱退

代表企業及びグループ企業は、本業務を完了する日までは入札参加グループから脱退することはできない。

タ. 業務途中における参加企業の破産又は解散に対する処置

参加企業のうちいずれかが業務途中において破産又は解散した場合においては、機構の承認を得て、残存参加企業が共同連帯して当該参加企業の分担業務を完了させるものとする。

但し、残存参加企業のみでは適正な履行の確保が困難なときは、残存参加企業全員及び機構の承認を得て、新たな構成員を当該入札参加グループに加入させ、当該参加企業を加えた参加企業が共同連帯して破産又は解散した参加企業の分担業務を完了させるものとする。

チ. 談合等不正行為があった場合の違約金等の取扱い

- (ア) 民間事業者が次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、民間事業者は機構の請求に基づき、契約額（この契約締結後、契約額の変更があった場合には、変更後の契約額）の100分の10に相当する額を違約金として機構の指定する期間内に納付しなければならない。
 - a. この契約に関し、民間事業者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）第3条の規定に違反し、又は契約相手方が構成事業者である事業者団体が同法第8条第1項第1号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が民間事業者に対し、同法第7条の2第1項の規定に基づく課徴金の納付命令を行い、当該納付命令が確定したとき。

- b. 当該契約に関し、民間事業者（法人にあたっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治40年法律第45号）第96条の3又は私的独占の禁止及び独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号に規定する刑が確定したとき
- (イ) 上記（ア）の場合において、民間事業者が入札参加グループであり、既に解散しているときは、機構は、民間事業者の代表者であった者又は構成員であった者に違約金の支払いを請求することができる。この場合においては、落札の代表者であった者及び構成員であった者は、共同連帯して上記（ア）の違約金を基金に支払わなければならない。
- (ウ) 民間事業者が上記（ア）の違約金を機構が指定する期間内に支払わないときは、機構は、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）第8条第1項の規定に基き財務省が告示する政府契約の支払遅延に対する遅延利息を乗じて計算した遅延損害金を民間事業者より徴収することができる。

ツ. 設備更新の際における民間事業者への措置

契約期間中に設備が更新される際は、更新機器について民間事業者に通知するとともに、契約変更を行う場合がある。

テ. 業務引継ぎの実施

業務期間の初日から確実に業務を遂行するため、本実施要項1（1）ウのとおり業務引継を実施すること。

ト. 契約の解釈

本契約に関して疑義が生じた事項については、その都度、民間事業者と機構が協議して決定するものとする。

9. 民間事業者が対象公共サービスを実施するに当たり第三者に損害を加えた場合において、その損害の賠償に関し契約により当該民間事業者が負うべき責任（国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に応ずる責任を含む。）に関する事項

本契約を履行するに当たり、民間事業者又はその職員その他の本公共サービスに従事する者が、故意又は過失により、当該公共サービスの受益者等の第三者に損害を与えた場合には、次に定めるところによるものとする。

- (1) 機構が当該第三者に対する賠償を行ったときは、機構は当該民間事業者に対し、当該第三者に支払った損害賠償額（当該損害の発生について機構の責めに帰すべき理由が存する場合は、機構が自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分に限る。）につい

て求償することができる。

- (2) 当該民間事業者が民法（明治29年法律第89号）第709条等に基づき、当該第三者に対する賠償を行った場合であって、当該損害の発生について機構の責めに帰すべき理由が存するときは、当該民間事業者は機構に対し、当該第三者に支払った損害賠償額のうち自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分について求償することができる。

10. 対象公共サービスに係る法第7条第8項に規定する評価に関する事項

(1) 実施状況に関する調査の時期

内閣総理大臣が行う評価の時期（平成28年5月を予定）を踏まえ、本業務の実施状況については、平成28年3月31日時点における状況を調査するものとする。

(2) 調査の方法

機構は、民間事業者が実施した本業務の内容について、その評価が的確に実施されるように、本要項中に示した報告等を活用するとともに機構による実施状況等の調査を行うものとする。

(3) 調査項目

- ア. 本実施要項1.(2)において本業務の質として設定した項目
イ. 別紙4の内容に本実施要項1.(2)ウ.での提案を反映し確定した業務の履行状況（実施回数、実現状況等）

(4) 実施状況等の提出時期及び評価委員会の意見聴取

機構は、本業務の実施状況等について平成28年5月を目途に、内閣総理大臣及び官民競争入札等監理委員会に提出するものとする。また、機構は本業務の実施状況等を提出するに当たり、機構に設置する本業務に関して利害関係を有しない外部有識者を含む評価委員会に報告を行い、意見を聴くものとする。

11. その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項その他

(1) 対象公共サービスの監督上の措置等の監理委員会への報告

機構は、法第26条及び第27条に基づく報告徴収、立入検査、指示等を行った場合には、その都度、措置の内容及び理由並びに結果の概要を監理委員会へ報告することとする。

(2) 機構の監督体制

ア. 本業務の契約に係る監督は、施設管理担当者及び検査職員が、自ら又は補助者に命じて、立会い、指示その他の適切な方法によって行うものとする。

イ. 本業務の実施状況に係る監督は、上記 8. (2) により行うこととする。

(3) 民間事業者が負う可能性がある主な責務等

ア. 民間事業者の責務等

本業務に従事する者は、刑法（明治 40 年法律第 45 号）その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなされる。

イ. 会計検査について

民間事業者は、本業務の内容が会計検査院法（昭和 22 年法律第 73 号）第 22 条に該当する場合又は同法第 23 条第 1 項第 7 号に規定する「事務若しくは業務の受託者」に該当し、会計検査院が必要と認める場合には、同法第 25 条及び第 26 条により、会計検査院の実地の検査を受けたり、同院から直接又は機構を通じて、資料・報告等の提出を求められたり又は質問を受けたりすることがある。

評 価 表

項 番	評価項目		主な評価対 象資料	得点配分		得点
	大項目	小項目		基礎点	加算点	
1	必須項目審査	【実施体制】 各業務の業務水準が維持される体制であるか。 (グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制であるか。)	様式 1・2・4	10	-	
2		【実施体制】 各業務で必要とする資格者が適切に配置されているか。	様式 4・9			
3		【業務に対する認識】 本業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか。	様式4	10	-	
4		【業務に対する認識】 本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確になっているか。	様式 3・4			
5		【現行基準レベルの質の確保】 本業務全般及び各業務の提案内容は、機構が要求する水準を確保するものであるか。	様式 5・6・7	10	-	
6	統括業務	本業務の質の向上に関して具体的な提案があり、その実施について具体的な方法、計画が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。	様式 5・6・7	-	0~7	
		業務コスト等の削減のための方策が提案されているか。	様式 5・6・7	-	0~3	
7	施設維持管理業務	本業務の質の向上に関して具体的な提案があり、その実施について具体的な方法、計画が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。	様式 5・6・7	-	0~14	
		業務コスト等の削減のための方策が提案されているか。	様式 5・6・7	-	0~6	
8	環境衛生管理業務	本業務の質の向上に関して具体的な提案があり、その実施について具体的な方法、計画が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。	様式 5・6・7	-	0~14	
		業務コスト等の削減のための方策が提案されているか。	様式 5・6・7	-	0~6	
9	植栽管理業務	本業務の質の向上に関して具体的な提案があり、その実施について具体的な方法、計画が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。	様式 5・6・7	-	0~7	
		業務コスト等の削減のための方策が提案されているか。	様式 5・6・7	-	0~3	
10	緊急時及び非常時 対応についての考 え方・体制	具体的な事態を想定し、円滑に対応し、かつ被害を拡大させないための体制、対策が提案されているか。	様式8	-	0~4	
		業務を安定的に履行できる対策が講じられているか。	様式8	-	0~3	
		緊急時の対策（連絡体制）は明確で効果的なものであるか。	様式8	-	0~3	
合 計 得 点				30	70	

従来の実施状況に関する情報の開示

1. 従来の実施に要した経費

(単位：千円)

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	人件費	常勤職員			
		非常勤職員			
	物件費				
	委託費等	定額部分	37,152	36,129	31,382
		成果報酬等			
		旅費その他			
計 (a)		37,152	36,129	31,382	
参考値 (b)	減価償却費				
	退職給与引当金				
	間接部門費				
(a) + (b)		37,152	36,129	31,382	

(注記事項)

業務毎の内訳は以下のとおり。契約は総価で、委託費の支払いは四半期ごとの前払い。

1. 平成 22・23 年度

単年度契約。

総合評価方式による一般競争入札により事業者を決定。

2. 平成 24 年度

複数年度契約（平成 24～25 年度の 2 年契約）の平成 24 年度分 1 年分。

総合評価方式による一般競争入札により事業者を決定している。

(単位：千円)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
施設維持管理業務	23,959	22,762	19,884
環境衛生管理業務	8,516	7,319	7,316
植栽管理業務	1,205	1,221	1,172
消耗品費・修繕費	1,852	3,179	1,690
一般管理費	1,620	1,648	1,320

2. 従来の実施に要した人員

(単位：人)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
常勤職員	0	0	0
非常勤職員	0	0	0

(業務従事者に求められる知識・経験等)

施設の管理・運営に関する関連法規（建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）、電気事業法、労働安全衛生法等）に熟知し、設備（建築・電気・空調等）、防災、清掃、植栽等の業務に必要な知識と経験が豊富にあること。

(業務の繁閑の状況とその対応)

各月での居室利用状況は以下のとおり。

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
4 月	80.8%	48.8%	61.1%
5 月	83.6%	51.1%	61.8%
6 月	90.1%	62.1%	69.7%
7 月	95.0%	68.6%	79.7%
8 月	84.2%	66.9%	74.6%
9 月	78.7%	66.6%	64.3%
10 月	83.8%	71.4%	64.7%
11 月	85.9%	72.5%	69.9%
12 月	79.0%	69.9%	71.3%
1 月	84.6%	76.3%	72.9%
2 月	86.7%	82.7%	77.1%
3 月	66.0%	73.0%	71.0%

(注記事項)

入札の対象である業務の全てを外部委託により実施。

3. 従来の実施に要した施設及び設備

(宿舎で実施した管理・運営業務に係る施設及び設備)

施設概要及び設備図面（実施要項別紙 6 - 1、6 - 2）を参照

(注記事項)

1. 上記の施設及び設備については、請負業務を行なう範囲において無償貸与
2. 上記以外で請負業務を行なうにあたり必要なものは請負業者が用意する。
3. 上記 2. において請負業者が用意する設備は、宿舎施設の他の業務に支障のないものに限る。

4. 従来の実施における目的の達成の程度

(宿舎で実施した管理・運営業務に係る目的の達成の程度)

1. 本業務の不備に起因する空調停止、停電、断水（平成22年度～24年度）の実績

・実績：0回

2. 本業務の不備に起因する宿舎における事業及び執務の中断（平成22年度～24年度）の実績

・実績：0回

3. 本業務の不備に起因した宿舎内での人身事故又は物損事故（平成22年度～24年度）

・実績：0回

4. 居住者に対し退去時に実施したアンケートのうち、宿舎に対する満足度の指針としている「Would you like to live in Ninomiya/Takezono House again?」（次回利用の希望調査）の設問について、「of course」（もちろん利用したい）の評価の割合（平成22年度～24年度）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
満足度	92.6%	92.4%	93.4%
(回収率)	78.1%	72.1%	66.0%

5. 従来の実施方法等

従来「外国人研究者宿舎管理運営」業務に関する使用状況は次のとおり。

1. 年間入居率

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
竹園ハウス	95.1%	82.3%	88.3%
二の宮ハウス	80.8%	64.6%	66.2%
全体	83.2%	67.5%	69.8%

2. 国籍別の利用件数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
中国	105件	109件	127件
日本	52件	32件	73件
インド	72件	62件	64件
韓国	72件	59件	44件

アメリカ	37 件	28 件	38 件
その他	52 ヶ国 320 件	55 ヶ国 305 件	51 ヶ国 356 件
全体	658 件	595 件	702 件

3. 機関別の利用件数

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
物質材料研究機構	409 件	361 件	414 件
筑波大学	60 件	44 件	73 件
国立環境研究所	32 件	52 件	65 件
産業技術総合研究所	66 件	54 件	62 件
科学技術振興機構	0 件	0 件	19 件
その他	17 機関 91 件	21 機関 84 件	21 機関 69 件
全体	658 件	595 件	702 件

4. 交流事業の開催件数

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
イブニングフォーラム等	9 回	10 回	8 回
文化教室等	12 回	14 回	13 回
日本語教室	4 期 96 回	4 期 78 回	4 期 121 回

5. 共用部施設の利用状況

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
集会室	169 回 (694 時間)	138 回 (512 時間)	248 回 (831 時間)
交流サロン	157 回 (499 時間)	129 回 (365 時間)	194 回 (479 時間)
セミナー室 1・2	111 回 (192 時間)	13 回 (44 時間)	8 回 (21 時間)
打合せ室 1・2	107 回 (224 時間)	36 回 (113 時間)	89 回 (195 時間)
バーベキューコーナー	66 回 (269 時間)	41 回 (170 時間)	54 回 (236 時間)

○実施体制等

対象業務については、全て外部事業者に委託しているため、機構では直接実施していな

い。 監督部署である機構国際科学技術部の組織図は次のとおり。

(施設管理責任者) - (施設管理担当者及び検査職員) - (施設管理監督職員)
国際科学技術部長 - 国際科学技術部 調査役 - 国際科学技術部 主査

退去時アンケート

注1：居住者に対し退去時に実施するアンケートから本業務に関する設問を抜粋

●About Common space (Entrance, Common room, Corridor, Facilities, etc.)

・ How satisfied are you that the accommodation buildings and facilities were properly maintained?

Very satisfied Satisfied Dissatisfied Very dissatisfied

・ How satisfied are you that the common areas were cleaned often and well enough?

Very satisfied Satisfied Dissatisfied Very dissatisfied

外国人研究者宿舎管理運営業務

仕 様 書

I. 業務の目的

独立行政法人科学技術振興機構（以下、「機構」という。）外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」「竹園ハウス」（以下、「宿舎」という。）の良好な管理運営を実施するとともに、主につくば地区の公的研究機関等で研究活動を行う宿舎利用の外国人研究者及びその家族（以下、「居住者」という。）の生活を支援し、併せて宿舎内外の研究者等との国際交流の場を提供することにより、科学技術交流に資することを目的とする。

II. 業務成果の目標

1. 施設・設備の機能・安全性維持
2. 外国人研究者が研究活動に専念できる安全・快適な居住環境の提供
3. 低廉かつ良質なサービスの提供
4. 居住者の退去時アンケート満足度80%以上の達成

III. 対象施設の概要

1. 「二の宮ハウス」

- (1) 所在地 : つくば市二の宮 1-6-2
- (2) 敷地面積 : 6,569 m²
- (3) 主用途 : 宿泊施設 (1LK 104 室、1LDK 80 室、駐車場 148 台)
- (4) 延床面積 : 18,298 m²
- (5) 規模構造 : 地下 1 階地上 9 階 SRC 造 (一部 RC 造)
- (6) 竣工日 : 平成 13 年 3 月

2. 「竹園ハウス」

- (1) 所在地 : つくば市竹園 2-20-4
- (2) 敷地面積 : 1,500 m²
- (3) 主用途 : 宿泊施設 (1 人用 1LDK 24 室、2 人用 1LDK 6 室、家族用 2LDK 6 室、駐車場 14 台)
- (4) 延床面積 : 2,599 m²
- (5) 規模構造 : 地上 7 階 RC 造
- (6) 竣工日 : 平成 3 年 3 月

IV. 契約期間

契約期間は、平成 26 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日とする。

V. 業務委託契約の内容

1. 本仕様書に記載している事項。
2. 今回の業務委託は、単に宿舍管理業務を委託するものではなく、受託者の創意工夫やノウハウをもって居住者の退去時アンケート満足度80%以上を目指すものである。

VI. 特記事項

1. 業務の見直し

受託者は、業務内容を必要に応じ見直し、文書にて機構に提案すること。

2. モニタリング

機構は、契約期間中の受託者の業務の実施状況を把握し、必要なサービス水準を確保するためにモニタリングを行うことがある。モニタリングの結果、管理規則又は事業計画書に記載された事項等が達成されていない場合には、機構は改善措置を講ずる等の指導を行う。さらに必要な場合は、委託の中断を行うこともある。

3. 業務完了報告書

受託者は、会計年度が終了したとき（毎年3月末）及び受託業務が完了したときは業務完了報告書を作成し、終了及び完了の日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日までに機構に提出しなければならない。書類の提出を受け、機構は支出内容の検査を行う。この検査により、返金を求めることがある。

4. 保険等

火災保険、施設所有賠償責任保険等に関しては、機構が契約・支払を行う。

5. 現地見学会の実施

現地見学会を平成25年12月中旬頃（詳細日時は調整中）に開催するので、希望者はその1週間前までに機構国際科学技術部（電話：03-5214-7375）まで問い合わせのこと。

VII. 業務内容

1. 一般事項

(1) 一般事項

- ①本仕様書は、独立行政法人科学技術振興機構外国人研究者宿舍「二の宮ハウス」「竹園ハウス」管理とその実施方法の概要を示すものである。したがって、受託者は性質上当然行うべきもの及び軽微な部分で自然付帯的な管理運営業務については、契約の範囲内で実施すること。
- ②受託者は、居住者及び来館者に対するサービスを第一とし、機構及び生活サポート業務担当と密接に連携し、宿舍における全ての業務が円滑に遂行されるよう、最大限の努力をすること。

- ③受託者は善良なる管理者の注意をもって、自主的かつ積極的に管理業務を実施すること。
 - ④受託者は関係諸法令及び保安関係規則等を遵守すること。
 - ⑤受託者は、個人情報適切な管理のために必要な措置を講ずること。
 - ⑥受託者が行う業務について、機構は立ち会い、モニタリング、記録・報告書の検証等によって確認を行う。
- (2) 受託者の責任
- ①受託者は、施設に、又は施設内で居住者及び来館者等に被害があった場合には迅速かつ適切な対応を行い、遅滞なく機構に報告を行わなくてはならない。
 - ②受託者は、事業継続が困難になった場合又はその恐れが生じた場合には、遅滞なく機構に報告を行わなくてはならない。
 - ③受託者は、故意または重大な過失により、施設及び備品等に損失を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。
- (3) 費用分担
- ①機構が負担する経費
 - ・作業に必要な電気・水道及びガス料金。
 - ・業務上電話料金。
 - ・業務上必要な部屋、事務机等及び内線電話機は無償貸与とする。
 - ②受託者が負担する経費
 - ・事務用消耗品、制服、靴、帽子等。
 - ・保守点検及び軽微な修繕に必要な工具、部品及び簡単な測定器具。
 - ・点検に必要な薬品・器具類、備品類（寝具類、作業着、保守項目交換部品を含む）、消耗品及び必要な検査の申込み費用。
- (4) 消耗品・修繕等にかかる経費について
- ①建物・設備・備品等にかかる修繕（装置本体・部品交換を含む）については、機構と協議の上、1件20万円未満（税込）のものを委託費にて執行できるものとする。
 - ②建物・設備・備品等にかかる消耗品は、原則として宿舎における在庫や備蓄等からの払出しを優先するが、必要により機構と協議の上、委託費にて執行できるものとする。
 - ③1件が20万円以上（税込）の場合であっても、居住者及び来館者の安全・利便確保の観点等から至急の対応が必要と見込まれる場合には、機構の了承を経て、委託費にて執行できるものとする。
 - ④当該経費は実費精算するものとし、入札書の作成においては300万円（税込）を仮置きし積算に含めることとする。
- (5) 業務管理体制

①業務責任者等

ア) 統括業務を担う業務責任者を定め、別に定める期限までに文書にて機構に提出する。(Ⅶ. 3. (1) 参照)

イ) 受託者において消防法および消防法施行令に基づく防火管理者を置くこと。

ウ) 法令の規定により資格が必要な作業は、有資格者がその取り扱いを行うこと。

②要員

業務責任者の他、本仕様書に定められた業務を遂行するために、必要な人員を確保して業務を行う。

③緊急時の対応

ア) 災害時及び障害時には速やかに対応する。そのための複数ルートの緊急連絡網を関係機関と調整の上まとめて、文書にて機構に提出する。

イ) 災害及び障害が発生した場合は、速やかに関係機関へ連絡し、的確な対応を行う。

④帳簿書類等の保存

受託者は、出納に関する帳簿書類等は受託業務が完了したときから5年間、測定・検査、点検・整備等に関する帳簿書類等は受託業務が完了したときから10年間、一定の場所に保存すること。

⑤質疑

受託者は、業務を遂行するに際して管理運営上の疑問が生じた場合は、機構に質問しその指示を受けること。

2. 業務内容 (※各業務内容は詳細仕様書も参照のこと。)

業務実施場所である宿舍事務所又は各施設内で、下記の方法にて業務実施する。

(1) 統括業務

①業務責任者として、委託された全業務を統括し、全従業員及管理及び指導監督を行うと同時に、委託された全業務の窓口となり、機構及び生活サポート業務担当と密接に連携し、円滑で効果的・効率的な業務運営にあたる。

②業務担当から提出された管理実施計画を確認・精査し、全体の管理実施計画を立案・作成する

③貸与された施設等及び物品等の統括管理

④その他管理業務によって生ずる全ての事務処理

(2) 施設維持管理業務

①宿舍の設備・備品について、必要に応じ簡易な補修は受託者側で実施することとし、簡易補修が出来ない場合又は機械等の不具合発生の場合は、業者に電話等で修理を実施する。

- ②居住者間の交流促進のために準備された「二の宮ハウス」内の共用室（交流サロン、和室、集会室、セミナー室、スポーツジム、プレイルーム室等）及び他の無料共用室の利用につき、施設及び設備、備品について随時必要な点検及び保守管理を行う。
- ③居住者の安全かつ快適な生活を可能とするために、また各施設・設備及びその他の共用施設が円滑に稼働するように、日常・定期的に外観・機能を点検・検査・監視を行い、法令を遵守した点検・検査・監視を行う。付帯設備機器の異常及び故障が生じた場合、簡易な補修（1件20万円未満（税込））は委託費にて実施することとし、自ら行えない場合には迅速に各業者に連絡して修理を実施する。
- ④各種設備の定期点検の概要は以下のとおりであり必ず実施すること。
- ア) エレベーター設備：設備保守・点検（エレベーター装置機器類の点検・遠隔監視システムによる運転監視）年12回、設備性能検査（建築基準法による点検及び報告書の作成、提出）年1回（※「竹園ハウス」はフルメンテナンス。）
 - イ) 空調設備：共用部分設置各空調設備機器の点検及びフィルター洗浄年1回
 - ウ) 防災設備：防災受信盤、感知器、消火設備の外観・機能点検及び総合点検年2回
 - エ) 中央監視装置：自動制御機器点検（中央監視装置、中継機等の機能点検及び稼働状況の確認）年1回、巡回点検（中央監視装置、防災受信盤、エレベーター管制装置の作動状況点検）年12回
 - オ) ディスポーザー設備：処理槽点検（排水処理装置維持管理の点検及びベルト等消耗品の交換）年12回、処理槽清掃（槽内清掃及び汚泥引き抜き）年1回、処理槽水質検査（下水道への放流水分析）年2回
 - カ) 自動ドア設備：稼働状況確認、機器保守点検・調整（サッシ部、懸架部、動力作動部、制御装置、センサー部、電気回路、電気錠作動）年3回
（※自動ドアの設置は「二の宮ハウス」のみ）
 - キ) 以下の業務については、従事できるものを把握し、無資格者を就業させないとともに、受託者自らが行わず外注する場合についても、その業務にかかる免許証等を業務前に確認した上、作業時には必ず携帯させる。
 - i. 作業主任者を必要とする業務(安全衛生法第14条)
 - ii. 免許、技能講習修了等就業制限にかかる業務(安全衛生法第61条)
 - iii. 特別教育を義務付けられている業務(安全衛生法第59条)
 - iv. 消防法、その他の法令
 - ク) 整備報告書（完成報告書）には具体的な整備内容を記し、必ず写真を添付すること。また、使用した部品・部材及び発生した部材・残材の写真もあわせて記録すること。宿舍施設は、外国人研究者及びその家族が日常生活をする施設であり、周囲には一般の住宅があるので、作業実施中の安全衛生管理には特に

留意することとし、労働基準法、労働安全衛生法、その他法令・規則を厳守し業務を実施する。

(3) 環境衛生管理業務

- ①施設内共用部の日常清掃を実施する。各部最適な清掃方法を適用し、環境の清潔・美化を維持する。

(4) 植栽管理業務

- ①施設の植栽について、年間作業計画を策定し、効率的に作業を行うものとする。

(5) その他の管理業務

- ①施設及び敷地内の秩序及び規則を維持し、盗難、破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止することにより、居住者及び来館者、受託者の安全かつ円滑な生活・執務環境の確保や保全を図るとともに、安全を守ることを目指し、誠意をもって行うこと。
- ②法令に則り防火管理業務の一環として、年2回宿舎内各所に配置された防火設備、誘導灯、警報装置の定期保守点検、避難経路の確保点検を実施する他、年1回管轄消防署の協力を得るなど、生活サポート業務担当と密接に連携し、居住者及び来館者を対象に通報・消防・避難訓練等を行うこと。
- ③「外国人宿舎に係わる非常時連絡網」を作成し非常事態に備える。非常事態発生時には、連絡網に基づいて連絡体制を敷き、生活サポート業務担当と密接に連携し対応すること。
- ④遠隔監視会社及び警備会社等と協力して非常時に備える。さらに「二の宮ハウス」の24時間中央監視室には設備運転監視員を配置し、機械の監視並びに非常時対応を行う。「竹園ハウス」は、土日祝祭日の全日及び夜間（17：30～8：30）は警備会社による機械監視を実施する。警備会社と設備運転監視員が連携して非常時には適切な対応を行う等、体制を整え居住者及び来館者の安全を最大限に確保すること。
- ⑤用水・電力・ガスの使用は必要最小限にとどめること。施設の共用部のみならず、宿舎全体での節水・節電・省エネルギーに努めること。特に電力使用については、東京電力管内の電力不足等が懸念されることから、管理運営業務に支障を来すことのない範囲において、年間を通じた節電対策を実施すること。
- ⑥機構が施設に対し計画・実施する建物・設備修繕、機器交換、備品購入等において、(ア)仕様を策定するために必要な現場の状況調査・報告、(イ)周辺事業者からの参考見積書の徴取、(ウ)請負者確定後の実施のための現地調整、を行うこと。

3. 提出書類

(1) 提出書類について

①業務計画書（2部、要承認）

受託者は、契約期間中の管理業務計画（経費計画を含む）を平成26年3月10日までに提出し、機構の了承を得ること。

②従事者名簿（2部、要承認）

受託者は、管理業務に従事する者について名簿を、平成26年3月10日までに提出し、機構の了承を得ること。また契約期間中に交替等が発生する場合も同様とする。

③外国人宿舎に係わる非常時連絡網（2部、要承認）

受託者は、外国人宿舎に係わる非常時連絡網を、平成26年3月10日までに提出し、機構の了承を得ること。また契約期間中に交替等が発生する場合も同様とする。

④月次報告書

受託者は、実施した管理業務及び経理業務等を記載した報告書を翌月20日までに提出すること。

⑤随時報告書

緊急時対応など重要な事項、居住者及び来館者への周知事項等が発生した場合は、速やかに報告書を提出すること。（軽微なものを除く）

⑥業務完了報告書

受託者は、会計年度が終了したとき（毎年3月末）及び受託業務が完了したときは業務完了報告書を作成し、終了及び完了の日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日までに機構に提出しなければならない。

⑥その他機構が必要と認めたもの

(2) 業務計画書・報告書の提出先及び請求書の送付先

〒102-0076 東京都千代田区五番町7番地
独立行政法人科学技術振興機構 国際科学技術部

VIII. その他

(1) 受託者は、業務を遂行するに当たり、本仕様書に疑義等が生じた時は、建築保全業務共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・平成20年版）による他、機構と協議の上実施するものとする。

(2) この仕様書は、設備管理業務の大要を示すものであるから、定めのない事項であっても、管理担当者が施設の保守運営上、必要と認めた作業及び軽微な修理等は、機構の指示に従って実施するものとする。

■ 1 統括業務

1. 目的

委託された全業務を統括し、全従業員の管理及び指導監督を行うと同時に、委託された全業務の窓口となり、機構及び生活サポート業務担当と密接に連携し、円滑で効果的・効率的な業務運営にあたる。

2. 勤務

(1) 要員 1名 ※他の業務責任者と兼務可

(2) 勤務時間

- ・原則として平日（月～金曜日） 8：30～17：30
- ・生活サポート業務担当が実施する交流事業等の催しが時間外に予定される場合や、緊急事態が発生した場合は、業務の必要に応じて変更するものとする。以下、他業務についても同様とする。

3. 業務内容

- (1) 業務及び全従業員の管理及び統括業務
- (2) 業務担当から提出された管理実施計画を確認し、全体の管理実施計画を立案・作成する業務
- (3) 作業日程及び作業方法について、業務が円滑に進むよう生活サポート業務担当等と密接に連携・調整を図り、効果的・効率的に実施する業務
- (4) 管理実施計画書・作業計画書・業務日誌・各種報告書等の確認・とりまとめを行い、機構に報告・提出する業務
- (5) 貸与された施設等及び物品等の統括管理
- (6) その他管理業務によって生ずる全ての事務処理

4. 法定資格者の選任（解任）

建物管理に必要な法定資格者を推薦の上、選任（解任）し、所轄官庁に届け出る。

(1) 電気主任技術者

5. 服務心得

- (1) 勤務する者は、制服・名札を着用し、常に容姿を正しく規律を遵守し、勤務者相互間の協力の上、業務に万全を期する。
- (2) 居住者及び来館者への対応は、誠意を持ってあたり、言動、動作に留意して相手方に不快の念を与えないようにする。
- (3) 居住者の国籍による文化、宗教、生活習慣等は多彩であり、その相違による誤解を

- 生じないように、常日頃から相互理解を深めるよう研鑽をする。
- (4) 業務上知り得たすべての事項は、外部の者への漏洩を禁ずる。
 - (5) 業務上必要な鍵等については、責任をもって管理をする。

■ 2 設備維持管理業務

1. 目的

施設に設置された各種設備機器類の安全な運転操作と適切な保守点検整備を行い、設備機器の機能を常に最良の状態に保ち、施設の円滑な運営と安全及び環境衛生の確保をするものである。また、施設運営に係わる電気・水道・ガス等の使用量の分析を行い経済的な設備機器類の運転計画の策定並びに運転・点検等の記録に関する分析及び検討を行う事により、異常の発見もしくは異常の発生に対する予知兆候を早期に発見し、適切な処置を行い、設備の保全及び事故・災害の未然防止を図るものである。

また、機構及び生活サポート業務担当と密接に連携し、施設内に設置された設備機器の適切な使用方法手順、防犯・防災システムに関する説明書等の作成業務を行うなど、居住者の利便性を図ることとする。

2. 業務の種類

- (1) 設備日常運転監視業務
- (2) 設備遠隔運転監視業務
- (3) 設備定期保守業務

3. 業務計画書及び報告書の作成

業務履行に当たり、年間の業務計画を立て、効率的な業務の実施並びに適確、適正な報告書を作成または意見、提案等を行う。

4. 関係法令の遵守

設備管理業務を実施する上での関係法令を遵守し、その業務に当たるものとする。

- (1) 電気設備
 - a) 電気事業法、保安規定
 - b) 電気通信事業法
 - c) 労働安全衛生規則
- (2) 消防設備
 - a) 消防法
- (3) 昇降機設備
 - a) 建築基準法
- (4) 自動ドア設備
 - a) 建築基準法
- (5) 給排水設備
 - a) 水道法

- b) 下水道法
 - c) 水質汚濁防止法
 - d) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律
5. 官公庁検査及び改修工事等の立会い（機構職員の要請を受けた場合とする）
- (1) 管理対象設備に関する官公庁立入り検査時の立会い
 - (2) 機構職員の依頼による関係官公庁への諸届出必要書類の作成及び提出
 - (3) 内装工事・改修工事において工事内容の事前確認及び工事実施時立会い
6. 服務心得
- (1) 勤務する者は、制服・名札を着用し、常に容姿を正しく規律を遵守し、勤務者相互間の協力の上、業務に万全を期する。
 - (2) 居住者及び来館者への対応は、誠意を持ってあたり、言動、動作に留意して相手方に不快の念を与えないようにする。
 - (3) 居住者の国籍による文化、宗教、生活習慣等は多彩であり、その相違による誤解を生じないように、常日頃から相互理解を深めるよう研鑽をする。
 - (4) 業務上知り得たすべての事項は、外部の者への漏洩を禁ずる。
 - (5) 業務上必要な鍵等については、責任をもって管理をする。

■ 2-1 設備日常運転監視業務

1. 勤務体制及び勤務時間

- (1) 二の宮ハウス 365日24時間対応勤務
- (2) 竹園ハウス 随時巡回勤務

2. 技能水準

- (1) 設備管理業務責任者：各設備の点検整備業務について、高度な技術力、判断力、並びに作業の指導等の総合的な技能を有しており、管理上の問題に関する改善及び管理費低減対策等について助言、提言できる能力を有している者。
- (2) 夜間管理業務担当者：施設巡回を含む管理業務を基本とする。また各設備の異常発生時には、簡単な応急処置を施し、関係者に連絡を図る。必要に応じて機構にも連絡する。

2. 業務内容

- (1) 管理業務

- a) 管理実施計画の立案・作成
 - 管理業務を系統的、かつ効率的に実施する為に、年度毎に管理実施計画を立案・作成をする。
 - ア. 日常点検業務計画書
 - イ. 環境衛生管理業務計画書
 - ウ. 点検・作業・測定等の報告書の作成
- b) 官公庁立入調査及び諸届出に関する業務（機構の要請を受けた場合とする）
 - 官公庁検査等の立入り調査時において立会いを行い、機構に報告する。
 - ア. 管理対象設備に関わる官公庁立入り調査時の立会い
 - イ. 建物管理上必要な諸届出書類の作成及び提出の代行
- c) 長期修繕計画業務
 - 大規模改修あるいは次年度工事申請に必要な建物・設備診断等を実施し、計画の立案を行う。
 - ア. 建物・設備の劣化診断等
 - イ. 診断結果に基づく改修・修繕等の計画の立案を補助します。
- d) 内装工事・改修繕工事に関わる業務
 - ア. 工事内容の事前確認
 - イ. 工事実施時の立会い
- e) 防災業務
 - ア. 消防計画の作成・変更及び届出業務の支援
 - イ. 消防計画に基づく防災業務の支援
 - 防災監視盤より火災等の表示を察知し、若しくは火災発生のお知らせを受け、または、火災等を発見した時の業務支援
 - ①緊急機関に対する通報連絡
 - ②初期消火の支援
 - ③避難誘導放送の支援
 - ④在館者の避難誘導の支援
 - ウ. 自衛消防組織への参画及び消防訓練への参画
 - エ. 自衛消防隊講習等の消防隊業務に必要な講習の受講
- f) 緊急事態発生時の対応
 - 事故・災害発生時には、機構ならびに総括管理業務担当者に速やかに連絡の上、その指示に従い被害の拡大防止に努める。また、風水害等に対し、事前に予防処置が可能な場合は、適切な設備運転等の処置をとるものとする。
- g) その他管理業務及び調整業務
 - ア. 共用施設における各種イベント実施時には全面的に設営等の支援を行う。
 - イ. 関係図面・図書・帳票類の整備並びに保管

- ウ. 業務遂行上貸与された鍵の保管管理
- エ. 管理用記録書類の整備並びに保管
- オ. 各種メーターの有効期限の管理
- カ. 拾得物の管理

(2) 日常運転管理業務

各設備機器の運転に当たっては、常に最良の状態とするように運転をし、かつ建物の使用状況及び気象条件に即した効率の良い運転管理を行う。

- a) 設備機器類の運転操作及び監視業務
 - ア. 電気設備（受配電設備・負荷設備）関係の運転操作及び監視
 - イ. 空気調和設備関係の運転操作及び監視並びに空調状態の確認
 - ウ. 給排水設備関係の運転操作及び監視
 - エ. 消防設備関係の機能管理
 - オ. 防犯設備（防犯カメラ設備・駐車場管制設備・入退室管理設備）関係の機能管理
- b) 警報発生時の対応
 - ア. 電気警報・空調警報・給排水警報・消防警報等の現場確認及び適切な処置
 - イ. 空気調和設備関係の運転操作及び監視並びに空調状態の確認
 - ウ. 給排水設備関係の運転操作及び監視
 - エ. 消防設備関係の機能管理
 - オ. 防犯設備（防犯カメラ設備・駐車場管制設備・入退室管理設備）関係の機能管理
- c) 運転記録管理
 - ア. 設備の運転・停止、故障並びに警報等の状態の記録及び計測値記録等の確認
- d) 最適運転管理
 - ア. 各種自動制御装置操作による運転管理
- e) 電力管理
 - ア. 各種電力監視・制御装置の操作による運転管理
- f) 緊急事態管理
 - ア. 火災発生時の空調設備の停止、昇降機設備の停止状態等の設備機器運転状態の確認
 - イ. 地震または落雷に因る停電時の各種設備機器類の運転状態の確認及び復旧時の点検確認後の運転再開操作
 - ウ. 風水害による地下階への雨水浸水の予防処置（止水版・土嚢）
- g) 関連システムとの接続管理
 - ア. 空調・照明・防災・防犯及び課金システムとのデータ授受に係わる管理

(3) 日常点検業務

日常点検による各種設備機器類の異常の有無を早期に発見し、適切な処置を行う。

- a) 巡視点検

- ア. 巡回点検による機器の外観、運転状態等の異常の有無の確認
- イ. 各種機器類の表示数値の確認及び記録
- b) 定期点検
 - ア. 目視点検により機器の外観、運転状態等の異常の有無の確認
 - イ. 工具または計測器を用いて機器の良否の確認及び記録
 - ウ. 各種設備機器類の試運転を行い、運転状態等の異常の有無の確認
- c) 応急処置及び小修理業務
 - ア. 応急処置
 - 設備機器等に故障あるいは異常を発見した場合は、その波及被害を防止する為必要な工具類または部品を用いて適切に処理する。
 - また、機構に報告を行い、原状回復に対する措置方法を提案する。
 - イ. 小修理業務
 - 設備機器等の軽微な補修及び消耗品若しくは部品の交換は、常駐設備管理業務員が常備している工具類を用い、かつ日常業務に支障を来さない時間内で実施できる程度とする。
- d) 日常点検業務の作業内容
 - ア. 対象設備・点検内容・周期は、別紙「日常点検作業仕様書」による。
 - イ. 「竹園ハウス」の日常点検業務は、「二の宮ハウス」に準じる。
 - ウ. 感電事故、転落事故等に充分注意した用具類等を用い、作業を実施する。
 - エ. 電気室及び機械室等の危険箇所は、関係者以外が絶対に立入らないよう必ず施錠確認を行う。
- (4) 施設及び敷地内の定時巡回監視による不審者の発見及び不法侵入阻止、不審車両の点検等、その他警備業務。
- (5) 業務日誌及び巡回報告の作成
- (6) その他設備の保安全管理上所要業務

■ 2-2 設備遠隔運転監視業務

1. 目的

施設に設置された各種設備機器類の稼働は、滞在する研究者が常に快適、安全な環境を維持できるように運転及び監視する事が必要である。一般事務所ビルとは違い、終日適切な施設環境を維持する為に、日常運転監視業務担当者が、不在時においても設備管理を行う事を目的として、遠隔運転監視システムを導入するものとする。

ただ単に中央監視装置よりの警報に対応して、緊急対応サービス要員が来館し、異常箇所の探索を行い、その後応急処置するシステムでは、万全なシステムでは無い為、中央監視装置に組み込まれている全ての監視点を遠隔運転監視システムに接続することとする。

これにより、緊急時における対応が、より速やかに、かつ適切な処置が可能となり、被害の発生も最小限に押さえられるものである。また、各設備の運転開始または停止が、時間帯に関係なく操作ができ、省エネルギーにも寄与するものである。

2. 緊急体制確立要件

- (1) 遠隔運転監視センターは、24時間監視体制をとるものとする。
- (2) 緊急対応センターは、当施設より半径20km以内に設営し、速やかに要員を派遣できる管理体制をとるものとする。
- (3) 遠隔運転監視システムを既に導入し、かつ運用実績が茨城県内にあるものとする。

3. 業務内容

- (1) 遠隔運転監視業務
 - a) 設備機器類の運転状態の監視
 - b) 異常警報または故障警報受信時の施設常駐運転監視室への通報
 - c) 異常警報または故障警報受信時の緊急対応センターへの通報並びに警報内容状況による施設への出動指示
- (2) 遠隔運転管理業務
 - a) 必要に応じた設備機器類の運転開始または停止の操作
 - b) 必要に応じた設備機器運設定値またはスケジュールの変更
 - c) 計測・計量数値のデータ分析による適切な設備運転方法及び設備保全対策の提言
- (3) 緊急対応業務
 - a) 異常警報または故障警報時における緊急対応センター要員による復旧または適切な応急処置
 - b) 火災、地震、風水害等の非常事態に対しては、積極的な支援を行い、被害の拡大防止に努める。
- (4) 巡回点検業務
 - a) 対象設備全般について月1回の点検を行い、遠隔運転管理業務の集積データとの検証を行い、機器の性能維持に努める。
 - b) 不具合または異常箇所を発見した場合は、担当職員に報告するとともに、必要に応じ応急処置をする。
 - c) 施設常駐日常運転監視要員との業務連携の確認を行い、緊急時における迅速、的確な体制が取れるようにする。
 - d) 施設常駐日常運転監視要員による日常点検作業項目内、夜間の点検に危険等の伴う項目について作業を昼間に実施する。
- (5) その他設備の保全管理上所要業務

4. 服務心得

- (1) 派遣される緊急対応要員は、制服・名札を着用し、常に容姿を正しく規律を遵守し、常駐勤務者相互間と協力の上、業務に万全を期する。
- (2) 居住者及び来館者への対応は、誠意を持ってあたり、言動、動作に留意して相手方に不快の念を与えないようにする。
- (3) 居住者の国籍による文化、宗教、生活習慣等は多彩であり、その相違による誤解を生じないように、常日頃から相互理解を深めるよう研鑽をする。
- (4) 業務上知り得たすべての事項は、外部の者への漏洩を禁ずる。
- (5) 業務上必要な鍵等については、責任をもって管理をする。

■ 2-3 設備定期保守業務

1. 目的

施設に設置された各種設備機器類の性能及び機能の維持を図る為に、定期的に保守・点検業務を実施する。この様な業務は、法律によって定められたものもあり、それにより施設の環境及び安全の確保ができるものである。また、性能・機能の低下を防止することにより、経済効率の良い運転状態が維持され、省資源・省エネルギーにも寄与できるものである。

2. 対象設備

- (1) 別紙「施設概要」に指定された設備機器類を対象とする。

3. 業務実施概要

- (1) 作業計画書の作成及び提出
 - a) 実施日
 - b) 実施体制
 - c) 実施行程
- (2) 作業環境の整備
 - a) 保守・点検業務に従事する者は、技術的に優秀であり、信用と経験を有する者とする。
 - b) 作業場所及び作業内容により、危険な場所に必要な安全措置を講じ、また必要な防護用具類を用いる。
 - c) 作業を実施する場合及びその周辺に、第三者が存在する場合、もしくは立ち入る恐れがある場合は、担当職員に報告の上、必要な措置を講じ、事故の発生を防止する。
- (3) 作業に際し、不具合箇所もしくは異常箇所等を発見した場合は、機構に報告をし、必要な応急処置をする。

- (4) 作業終了後は、速やかに作業完了届け及び保守・点検結果報告書を2部作成し、機構に提出する。また、必要に応じ作業内容を撮影した写真等を提出する。

4. 業務内容

(1) 受変電設備

a) 実施回数

ア. 年1回

b) 関連法令

ア. 電気事業法による自家用電気工作物の維持及び運用についての保安規定

イ. 電気通信事業法

ウ. 労働安全衛生規則

c) 仕様

ア. 設備機器の外観・機能点検及び総合動作試験

イ. 付属計器類の設定値・警報接点動作試験

ウ. 保護継電機の動作試験

(2) エレベーター設備

a) 実施回数

ア. 年12回の自主点検

イ. 年1回の法定点検

b) 関連法令

ア. 建築基準法及びこの規律に基づく茨城県建築基準条例、茨城県建築基準法等
施行細則

イ. 昇降機の維持及び運行の管理に関する指針（平成5年6月30日 住防発第17号）

c) 仕様

ア. 機械室及び本体機器類の点検（消耗品の交換は除く）

イ. 安全装置の機能検査

d) その他

ア. 竹園ハウスは、フルメンテナンスとする

(3) 自動ドア設備（※「二の宮ハウス」のみ設置。）

a) 実施回数

ア. 年3回の自主点検

b) 関連法令

ア. 建築基準法

c) 仕様

ア. 稼働状況確認

- イ. 本体機器類の点検・調整（サッシ部、懸架部、動力作動部、制御装置、センサー部、電気回路、電気錠作動）
- (4) GHP式空調設備（共用部）（※「二の宮ハウス」のみ設置。）
 - a) 実施回数
 - ア. 年1回
 - b) 関連法令
 - ア. 高圧ガス保安法
 - イ. 冷凍保安規則
 - ウ. 冷凍保安基準
 - c) 仕様
 - ア. エンジン・コンプレッサー部機器本体及び附属機器の点検
 - イ. フィルターの洗浄（交換は除く）
- (5) TES式空調設備（共用部）（※「二の宮ハウス」のみ設置。）
 - a) 実施回数
 - ア. 年1回
 - b) 関連法令
 - ア. 自主点検
 - c) 仕様
 - ア. 熱源機の外観及び内部の点検
 - イ. 関連附属機器の点検及び調整
 - ウ. フィルターの洗浄（交換は除く）
- (6) 防災設備
 - a) 実施回数
 - ア. 年2回
 - ①上期の外観・機能点検
 - ②下期の外観・機能及び総合点検
 - b) 関連法令
 - ア. 消防法
 - イ. 消防法施行規則
 - ウ. 消防法施行令及び告示等
 - c) 仕様
 - ア. 自動火災報知設備
 - イ. 非常放送設備
 - ウ. 泡消火設備
 - エ. 屋内消火栓設備
 - オ. 連結送水管設備

- カ. 防排煙設備
 - キ. 誘導灯設備
 - ク. 消火器設備
- (7) 中央監視装置及び自動制御装置 (※「二の宮ハウス」のみ設置。)
- a) 実施回数
 - ア. 年1回
 - ① 本体機器点検整備・調整 (隔年で本体機器及びローカル機器点検を実施する)
 - ② 翌年にローカル機器点検整備・調整を実施する。
 - b) 関連法令
 - ア. 自主点検
 - c) 仕様
 - ア. 中央監視装置系統の機能点検
 - イ. 空調機制御系統の機能点検
 - ウ. 各装置の清掃
- (8) 簡易水道設備
- a) 実施回数
 - ア. 年2回の水質検査
 - イ. 年1回のポンプ類点検
 - ウ. 年1回の受水槽の清掃・点検
 - エ. 年1回の簡易専用水道検査
 - b) 関連法令
 - ア. 水道法及び同法施行規則
 - イ. 水質基準に関する省令
 - ウ. 建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び同法施行規則
 - c) 仕様
 - ア. 水質検査は、法令に基づく検査項目・水質基準を適用する。
 - イ. 加圧給水ポンプの点検
 - ウ. 受水槽の清掃及び点検
 - エ. 高置水槽の清掃及び点検 ※竹園ハウスのみ
 - オ. 水質検査は、法令に基づく検査項目・水質基準を適用する。
- (9) ディスポーザー処理設備
- a) 実施回数
 - ア. 年12回の処理槽点検
 - イ. 年1回の処理槽清掃
 - ウ. 年2回の処理槽水質検査 (下水道への放流水分析)
 - b) 関連法令

- ア. 建築基準法及びこの規律に基づく地方条例
 - ア. 水道法及び同法施行規則
 - イ. 建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び同法施行規則
 - c) 仕様
 - ア. 排水処理装置維持管理の点検及びベルト等消耗品の交換
 - イ. 槽内清掃及び汚泥引き抜き
 - ウ. 下水道への放流水分析
 - (10) その他設備の保全管理上所要業務
5. 服務心得
- (1) 作業に従事する者は、制服・名札を着用し、常に容姿を正しく規律を遵守し、常駐勤務者相互間協力の上、業務に万全を期する。
 - (2) 居住者及び来館者への対応は、誠意を持ってあたり、言動、動作に留意して相手方に不快の念与えないようにする。
 - (3) 居住者の国籍による文化、宗教、生活習慣等は多彩であり、その相違による誤解を生じないよう常日頃から相互理解を深めるよう研鑽をする。
 - (4) 業務上知り得たすべての事項は、外部の者への漏洩を禁ずる。
 - (5) 業務上必要な鍵等については、責任をもって管理をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

1. 電気設備

区分	点検項目	点検内容	点検周期
電気室	高圧電気室	*扉の施錠、表示を点検 *空調、換気の点検 *室温測定	1回/日
		*床面・天井等の結露・漏水等点検 *室内整理整頓、清掃	1回/月
		*電気保護具の保管位置・外観・有効期限を点検	1回/年
高圧受変電設備	高圧配電盤 及び 低圧配電盤	*異音・異臭・振動・表示等の異常の有無を点検	1回/日
		*汚損・発錆・扉の変形、ロック不良等の異常の有無を点検 *盤内機器等の過熱・変色・錆・破損等の異常の有無を点検 *計器指示値の確認、記録	1回/月
動力盤	動力盤 動力制御盤 インバータ盤	*外観の損傷・汚損の有無を点検 *内部への雨水の侵入、結露等の有無を点検 *過熱・振動等の有無を点検 *電源パイロットランプのある箇所は、点灯を確認	1回/月
分電盤	一般電灯分電盤 OAコンセント盤	*外観の損傷・汚損の有無を点検 *内部への雨水の侵入、結露等の有無を点検 *過熱・振動等の有無を点検 *電源パイロットランプのある箇所は、点灯を確認	1回/月

[注記]「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

1. 電気設備

区分	点検項目	点検内容	点検周期
電気設備	避雷設備	* 碍子、支持金具取付状態の点検	随時
	インターホン設備	* インターホン使用時に、外観・通話状態等の異常の有無を点検 * カメラ付ドアホンは、映像状態を確認	随時
	電話設備	* 電話機の通話状態等の異常の有無を確認	随時
		* 電話交換機の外観の損傷・汚損・発熱の有無を点検	随時
	駐車場管制設備 入退室管理設備	* ゲートバーの作動状態の確認 * 電気錠の作動状態の確認 * 制御盤の外観の損傷・汚損・発熱の有無を点検 * 注意灯・警告灯の点灯状態、外観の損傷・汚損の点検	随時
	照明器具	* 外観の損傷・汚損の点検 * 不点灯箇所の点検	随時
	テレビ共聴設備	* アンテナの外観の損傷・汚損の有無を点検 * ヘッドエンド等の異音・異臭・発熱等の点検	随時
	ITV 設備	* 外観の損傷・汚損の有無を点検 * 映像状態を確認 * テープの交換及びヘッドクリーニング等の実施	随時
	視聴覚設備	* 外観の損傷・汚損の有無を点検 * 装置の動作状態等の点検	随時

[注記] 「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

1. 電気設備

区分	点検項目	点検内容	点検周期
設備管理システム	中央監視制御設備	*外観の損傷・汚損の有無を点検 *異音・振動の有無を点検 *キーボード・マウス類・表示部及びプリンターの作動状態の点検	1回/月

〔注記〕「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

2. 空調設備

区分	点検項目	点検内容	点検周期
空調機	空冷式ガスエンジンヒートポンプパッケージ (マルチ)	* 運転時の異音・異臭・振動の点検	1回/日
		* 外観の損傷・汚損・錆の有無を点検 * エアークフィルターの汚れ・破損の有無を点検 * コイル表面の汚れ・破損の有無を点検 * ドレンパンの汚れ及び排水口の詰まりの有無を点検 * ベルトの劣化の有無を点検	1回/月
	空冷ヒートポンプパッケージ	* 運転時の異音・異臭・振動の点検	1回/日
		* 外観の損傷・汚損・錆の有無を点検 * エアークフィルターの汚れ・破損の有無を点検 * コイル表面の汚れ・破損の有無を点検 * ドレンパンの汚れ及び排水口の詰まりの有無を点検 * ベルトの劣化の有無を点検	1回/月
	空冷冷房専用パッケージ	* 運転時の異音・異臭・振動の点検	随時
		* 外観の損傷・汚損・錆の有無を点検 * エアークフィルターの汚れ・破損の有無を点検 * コイル表面の汚れ・破損の有無を点検 * ドレンパンの汚れ及び排水口の詰まりの有無を点検 * ベルトの劣化の有無を点検	

[注記] 「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

2. 空調設備

区分	点検項目	点検内容	点検周期
空調機	TES 式空冷ヒートポンプパッケージ	<ul style="list-style-type: none"> * 運転時の異音・異臭・振動の点検 * 外観の損傷・汚損・錆の有無を点検 * エアークフィルターの汚れ・破損の有無を点検 * コイル表面の汚れ・破損の有無を点検 * ドレンパンの汚れ及び排水口の詰まりの有無を点検 * ベルトの劣化の有無を点検 	随時
ダクト設備	可変風量装置及び冷風量装置	<ul style="list-style-type: none"> * 外観の損傷・汚損の有無を点検 * 運転状態の異常の有無を点検 * ダンパー開度を点検 	1 回/年
送排風機	空調換気扇	<ul style="list-style-type: none"> * 運転時の異音・振動の点検 * 外観の損傷・汚損の有無を点検 * V ベルトの緩み具合の点検 * 電流値の規定値内の確認 	1 回/月
	送風機	<ul style="list-style-type: none"> * 運転時の異音・振動の点検 * 外観の損傷・汚損の有無を点検 * V ベルトの緩み具合の点検 * 電流値の規定値内の確認 	1 回/月
	排風機	<ul style="list-style-type: none"> * 運転時の異音・振動の点検 * 外観の損傷・汚損の有無を点検 * V ベルトの緩み具合の点検 * 電流値の規定値内の確認 	1 回/月
	レンジフード	<ul style="list-style-type: none"> * 運転時の異音・振動の点検 * 外観の損傷・汚損の有無を点検 	随時
	光脱臭装置	<ul style="list-style-type: none"> * 運転時の異音・振動の点検 * 外観の損傷・汚損の有無を点検 	随時

[注記] 「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

2. 空調設備

区分	点検項目	点検内容	点検周期
設備管理システム	中央監視制御設備	＊外観の損傷・汚損の有無を点検 ＊異音・振動の有無を点検 ＊キーボード・マウス類・表示部及びプリンターの作動状態の点検	1回/月

〔注記〕「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

3. 給排水衛生設備（共用部）

区分	点検項目	点検内容	点検周期
給水設備	上水受水槽	* 残留塩素濃度の測定	1 回/日
		* 槽内の堆積物及び汚れの有無を点検 * 発錆・損傷・水漏れの有無を点検 * マンホール施錠の確認 * 防虫網の目詰り・損傷等の有無を点検	1 回/月
		* ボールタップ・FM バルブの作動状態を点検	1 回/月
		* 警報装置及び制御機器の作動状態を点検	1 回/年
	加圧給水ポンプ ユニット	* 運転時の異音・異臭・振動の点検 * 計器指示値の異常の有無を点検 (電流・水圧)	1 回/日
* 配管系統の発錆・損傷・水漏れの有無を点検 * フート弁・キャチ弁の機能を点検		1 回/月	
* 制御装置の作動状態を点検		1 回/月	
排水設備	排水槽	* 槽内の堆積物及び汚れの有無を点検 * 発錆・損傷・水漏れの有無を点検 * マンホール施錠の確認 * 防虫網の目詰り・損傷等の有無を点検	1 回/月
		* 警報装置及び制御機器の作動状態を点検	1 回/年
	排水ポンプ	* 運転時の異音・異臭・振動の点検 * 計器指示値の異常の有無を点検 (電流・水圧)	1 回/日
		* 地下ピット排水ポンプ点検	1 回/月
		* フート弁・キャチ弁の機能を点検 * 制御装置の作動状態を点検	1 回/月

〔注記〕「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

3. 給排水衛生設備（共用部）

区分	点検項目	点検内容	点検周期
給湯設備	ガス式 瞬間湯沸器	<ul style="list-style-type: none"> * 外観の損傷・汚損の有無を点検 * ガス漏れ・水漏れの有無を点検 * 燃焼状態の良否及び排気状態の点検 	1回/年
	電気貯湯式 湯沸器	<ul style="list-style-type: none"> * 外観の損傷・汚損の有無を点検 * 水漏れの有無を点検 * 温度調節装置の作動状態を点検 	1回/年
	TES 熱源機	<ul style="list-style-type: none"> * 外観の損傷・汚損の有無を点検 * ガス漏れ・水漏れの有無を点検 * 燃焼状態の良否及び排気状態の点検 	1回/月
衛生器具	洗面器	<ul style="list-style-type: none"> * 亀裂・破損等の点検 * 水栓及び接続部よりの水漏れを点検 * 排水状態の点検 	随時
	大便器 小便器	<ul style="list-style-type: none"> * 亀裂・破損等の点検 * 器具と排水金具・トラップ等接続部の水漏れを点検 * 排水状態の点検 	随時

〔注記〕「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

4. 消防設備（共用部）

区分	点検項目	点検内容	点検周期
自動火災報知設備	防災監視盤	＊受信装置監視卓、自立盤等のパネル表示部及び操作部の損傷・異常の有無を点検 ＊CUP 動作灯を点検 ＊プリンター印字状態の点検	1 回/日
非常放送設備	非常放送設備	＊放送装置架各部の外観の損傷等の異常の有無を点検	1 回/年
		＊放送設備各機器の作動状態を点検	1 回/年
防排煙設備	防火戸 防火シャッター 垂れ壁	＊外観の損傷の有無を点検 ＊作動時に伴う障害物の有無を点検	1 回/年
消火栓設備	屋内消火栓 屋外消火栓	＊水源と補充水槽の水量の点検 ＊電源装置の変形・損傷・腐食の有無を点検	1 回/月
	連結送水管	＊送水口の変形・損傷水漏れの有無を点検 ＊消防自動車接近区域の障害物の有無を点検	1 回/月
誘導設備	誘導灯	＊外観の変形・損傷の有無を点検 ＊点灯状態を点検	随時
	誘導標識	＊外観の変形・損傷の有無を点検	随時
消火器設備	消火器	＊定位置配置箇所の確認 ＊外観状態の点検及び標識の有無を確認	随時

〔注記〕「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

5. 建築・その他建築設備等（共用部）

区分	点検項目	点検内容	点検周期
建築設備	シャッター	* 降下ライン上の障害物の有無を点検 * 作動状況の点検 * ガイドレールの変形・腐食の点検	随時
	自動扉	* 作動状況の点検	随時
	間仕切装置	* 外観の損傷・汚損の有無を点検 * 作動状態の点検	随時
	ブラインド	* 外観の損傷・汚損の有無を点検 * 作動状態の点検	随時
	書架	* 外観の損傷・汚損の有無を点検	随時
	エレベーター設備	* 扉・乗り場・かご・運行状況の点検	毎日
建築		* ルーフドレインの詰りの点検	1回/日
	屋根	* パラペット周りの点検 * 金物類の発錆の点検 * コンクリートのひび割れ、浮き・目地の傷み、雨漏れの有無を点検 * 金属笠木の変形・発錆・シーリング材の状態を点検 * 金物類取付部の状態、錆による汚れの有無を点検 * トップライト周りの点検	1回/年
	外壁・内壁	* 亀裂・浮き・剥離・膨れ・欠け・割れ・変退色・錆・腐食等の異常の有無を点検	1回/年

〔注記〕「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

日常点検作業仕様書：二の宮ハウス

5. 建築・その他建築設備等（共用部）

区分	点検項目	点検内容	点検周期
建築	内装	＊床のひび割れ・欠け・減り・剥がれ・目地の傷み等の点検 ＊壁のひび割れ・傷・剥がれ・汚れ・浮き等の点検	1回/年
外構	マンホール	＊蓋の開閉状況の点検 ＊内部の汚れの有無を点検	随時
	排水枡	＊詰り・がたつきの有無を点検	随時
	構内車道	＊路面の状態を点検 ＊沈下・亀裂の有無を点検 ＊破損・損傷の有無を点検	随時

〔注記〕「随時」：不具合が生じた場合は、応急処置若しくは小修理処置をする。

■ 3 環境衛生管理業務

1. 目的

施設内外の美観の維持を継続的・長期的に図ることにより、常に保たれ環境が実現できるものである。このことは、施設利用者（宿泊者）の生活拠点として、精神的にゆとりが生まれる住環境の提供ができ、研究者は、より実りある研究成果をあげることができる。

美観の維持とともに、施設内外の環境衛生にも配慮が必要であり、この美観の維持・環境衛生の維持が、総合的、計画的に業務の連携がされることにより、効率的な施設の保全が可能になるものである。

特に、施設利用者（宿泊者）の入居開始前までには、全施設の環境設備を実施し、施設利用者（宿泊者）の入居日その日から快適な生活を送れることができる状態にするものである。

2. 業務の種類

- (1) 日常清掃業務
- (2) 空気環境測定業務
- (3) 害虫防除業務
- (4) 定期清掃業務

3. 業務計画書及び報告書の作成

業務履行に当たり、年間の業務計画を立て、効率的な業務の実施並びに適確、適正な報告書を作成または意見、提案等を行う。

4. 関係法令の遵守

建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び同法施行規則等の関係法令に準拠し、環境衛生管理業務を実施する。

5. 官公庁検査の立会い（担当職員の要請を受けた場合とする）

- (1) 管理対象項目に関する官公庁立入り検査時の立会い
- (2) 担当職員の依頼による関係官公庁への諸届出必要書類の作成及び提出

6. 服務心得

- (1) 勤務する者は、制服・名札を着用し、常に容姿を正しく規律を遵守し、勤務者相互間の協力の上、業務に万全を期する。
- (2) 居住者及び来館者への対応は、誠意を持ってあたり、言動、動作に留意して相手方に不快の念を与えないようにする。

- (3) 居住者の国籍による文化、宗教、生活習慣等は多彩であり、その相違による誤解を生じないように、常日頃から相互理解を深めるよう研鑽をする。
- (4) 業務上知り得たすべての事項は、外部の者への漏洩を禁ずる。
- (5) 業務上必要な鍵等については、責任をもって管理をする。

■ 3-1 日常清掃業務

1. 技能水準

- (1) 日常清掃業務責任者：清掃業務について、作業の内容判断ができる技術力及び必要な機能を有し、また、作業担当者の指導等の総合的管理能力を有する者。
- (2) 日常清掃業務担当者：清掃業務について、作業責任者の指示に従って作業を行う技術力を有する者。

2. 業務内容

- (1) 管理業務
 - a) 管理実施計画の立案・作成
 - 清掃業務を系統的、かつ効率的に実施する為に、年度毎に作業実施計画を立案・作成をする。
 - ア. 日常清掃業務計画書
 - イ. 作業報告書の作成
 - ウ. 衛生消耗品管理計画
 - エ. 業務用資材・器材仕様計画書
- (2) 日常清掃業務
 - a) 作業の範囲及び内容
 - ア. 二の宮ハウス：「日常清掃作業内容一覧：二の宮ハウス」及び「日常清掃の基準表：二の宮ハウス」による。
 - イ. 竹園ハウス：「日常清掃業務一覧：竹園ハウス」による。
 - b) 安全及び環境対策
 - ア. 関係法令及び地方条例等を遵守し、施設から出るゴミは分別収集を行い、資源ゴミについては、定められた場所に保管し、資源のリサイクルに貢献する。また、ゴミ集積室（場所）は、常に整理整頓をし、清潔に保つものとする。
 - イ. 作業時においては、労働安全衛生規則等を遵守し、作業場所における事故防止の為に安全対策等を講ずるものとする。
- (3) その他宿舎の環境衛生上所要業務

■ 3-2 空気環境測定業務 (※「二の宮ハウス」のみ実施。)

1. 目的

施設内の衛生環境状態を常に正しく保ち、施設利用者（宿泊者）及び関連業務従事者の健康に影響があるか否かの判断をし、空調設備等が正常、かつ適正に制御管理されているかどうかを判断するものである。

2. 測定範囲

- (1) 共用施設室内の適切な位置で、床上75cm以上120cm以下の範囲内で測定する。
- (2) 外気取入れ口付近及び1階出入り口付近で、外気の測定をする。

3. 業務実施概要

- (1) 作業計画書の作成及び提出
 - a) 実施日
 - b) 実施体制
 - c) 実施工程
- (2) 実施業務が他の業務と関連する場合は、機構と協議を事前に行う。
- (3) 作業環境の整備
 - a) 測定業務に従事する者は、技術的に優秀であり、信用と経験を有する者であり、かつ法令で定められた空気環境測定実施者とする。
 - b) 作業場所及び作業内容により、危険な場所に必要な安全措置を講じ、安全に業務を実施する。
- (4) 作業終了後は、速やかに作業完了届け及び測定結果報告書を2部作成し、機構に提出する。また、測定結果が、管理基準に適合しない場合は、その原因の推定並びに改善等に関する意見、提案等を行う。
- (5) 管理項目

項 目	環境基準	測定周期
浮遊粉じんの量	0.15 mg/m ³ 以下	2か月に1回
一酸化炭素の含有率	100万分の10以下 (=10 ppm 以下) ※特例として外気がすでに10ppm以上ある場合には20ppm以下	2か月に1回
二酸化炭素の含有率	100万分の1000以下 (=1000 ppm 以下)	2か月に1回
温度	(1) 17℃以上28℃以下 (2) 居室における温度を外気の温度より低くする場合は、その差を著しくしないこと。	2か月に1回

相対湿度	40%以上 70%以下	2 か月に 1 回
気流	0.5 m/秒以下	2 か月に 1 回
ホルムアルデヒドの量	0.1 mg/m ³ 以下 (=0.08 ppm 以下)	新築、増築、大規模の修繕又は大規模の模様替えを完了し、その使用を開始した時点から直近の 6 月 1 日から 9 月 30 日までの間に 1 回

(6) 測定点のとりかた

- a) 中央管理方式によって制御されている空調機及び換気設備を設けている居室の延床面積に対し、1 測定点当たりの床面積は、1,000m² とする。
- b) 外気の測定点は、2 点とする。

4. 服務心得

- (1) 勤務する者は、制服・名札を着用し、常に容姿を正しく規律を遵守し、勤務者相互間の協力の上、業務に万全を期する。
- (2) 居住者及び来館者への対応は、誠意を持ってあたり、言動、動作に留意して相手方に不快の念を与えないようにする。
- (3) 居住者の国籍による文化、宗教、生活習慣等は多彩であり、その相違による誤解を生じないように、常日頃から相互理解を深めるよう研鑽をする。
- (4) 業務上知り得たすべての事項は、外部の者への漏洩を禁ずる。
- (5) 業務上必要な鍵等については、責任を持って管理をする。

■ 3-3 害虫防除業務

1. 目的

施設内の衛生環境状態を常に正しく保ち、施設内における害虫の発生及び侵入を防ぐことにより、清潔な環境が保たれ、施設利用者（宿泊者）の安心感及び社会的にも良好な状態が維持できるものである。

2. 対象区域

共用施設室及び共用部

3. 業務実施概要

- (1) 作業計画書の作成及び提出
 - a) 実施日

- b) 実施体制
- c) 実施工程
- (2) 実施業務が他の業務と関連する場合は、担当職員と協議を事前に行う。
- (3) 作業環境の整備
 - a) 業務に従事する者は、技術的に優秀であり、信用と経験を有する者である。
 - b) 定期的に害虫等の生息点検を行い、その結果によって効果的な防除計画を立てる。
 - c) 防除作業実施前に、機構及び環境衛生管理技術者と十分に具体的な打合せを行い、施設利用者に事前案内並びに安全確保の協力を要請する。
 - d) 作業場所及び作業内容により、施設や物品の安全等について、事前に点検の上、安全な状態である事を確認できた後、作業を開始する。また、作業中においても常に安全確認を行うものとする。
 - e) 作業終了後に速やかに防除効果確認を行い、害虫等の死骸等を回収する。
- (4) 作業終了後は、作業実施報告書を作成し、機構に提出する。

4. 作業実施回数

- (1) 防除作業
 - a) 6ヶ月以内に1回実施する。
 - b) ゴキブリ・カチョウバエ・ダニ等の害虫及びネズミの防除を行う。
 - c) 防除作業後に、対象害虫等の発生若しくは発見された場合は、速やかにその駆除を行うものとする。

5. 服務心得

- (1) 勤務する者は、制服・名札を着用し、常に規律を遵守し、勤務者相互間の協力の上、業務に万全を期する。
- (2) 居住者及び来館者への対応は、誠意を持ってあたり、言動、動作に留意して相手方に不快の念を与えないようにする。
- (3) 居住者の国籍による文化、宗教、生活習慣等は多彩であり、その相違による誤解を生じないように、常日頃から相互理解を深めるよう研鑽をする。
- (4) 業務上知り得たすべての事項は、外部の者への漏洩を禁ずる。
- (5) 業務上必要な鍵等については、責任を持って管理をする。

■ 3-4 定期清掃業務 (※「二の宮ハウス」のみ実施。)

1. 作業の範囲及び対象面積

- (1) 別紙「ガラス清掃実施箇所一覧表」による。

2. 作業の内容

(1) 洗浄作業

- ①適性に希釈した中性洗剤をガラス面に塗布し、汚れを除去する。
- ②ガラススクィージーで汚水を切る。
- ③ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。
- ④ガラス回りのサッシに付いた汚水をタオルで清拭する。

(2) ガラス表面処理膜の作業注意

金属皮膜の施された熱線反射ガラス、または、飛散防止の為にフィルムが貼られガラスの洗浄は、強酸性及びアルカリ性洗浄剤を用いず、水または中性洗剤を使用する。付着している微粉塵により傷がつく恐れがあるため、水または中性洗剤を十分に塗布した後、慎重にスクィージーを行うものとする。

(3) 実施回数

- ①年2回実施

日常清掃作業内容一覧表：二の宮ハウス

1. 床の材質による作業内容

作業区分	床材質	作業項目	作業内容
A	弾性床	除塵	*自在箒、フロアダスタ（ダストモップ）で集めた塵芥は、所定の場所に搬出する。 *真空掃除機で丁寧に吸塵する。
		水拭き	*床全面をモップで丁寧に拭き上げる。
B	硬質床（石材）	除塵	*自在箒、フロアダスタ（ダストモップ）で集めた塵芥は、所定の場所に搬出する。 *真空掃除機で丁寧に吸塵する。
		水拭き	*床全面をモップで丁寧に拭き上げる。
C	木質床（フローリング）	除塵	*自在箒、フロアダスタ（ダストモップ）で集めた塵芥は、所定の場所に搬出する。 *真空掃除機で丁寧に吸塵する。
		水拭き	*床全面を雑巾で丁寧に拭き上げる。 *乾いたら雑巾で、から拭きをする。
D	タタミ	除塵	*真空掃除機で丁寧に吸塵する。
		水拭き	*床全面を雑巾で丁寧に拭き上げる。 *乾いたら雑巾で、から拭きをする。
E	繊維床（カーペット）	除塵	*粗ゴミをカーペットスィーパーで回収する。 *真空掃除機で丁寧に吸塵する。

日常清掃作業内容一覧表：二の宮ハウス

2.作業場所による作業内容（共用部）

作業区分	実施場所		作業内容
a	玄関ホール	床	*「床の材質による作業内容」
		フロアマット	*真空掃除機で丁寧に吸塵する。 *汚れが著しい場合は、洗浄をする。
		壁面	*鳥毛ハタキまたは静電気除塵具等で除塵する。 *汚れが目立つ部分を水または適性洗剤を用い除去する。
		扉ガラス	*汚れが目立つ部分を水または適性洗剤を用い除去する。
		什器備品	*ダストクロス等で埃を取り、タオル等で水拭きする。
		灰皿	*吸殻を収集し、灰皿を拭く。
		ゴミ箱	*ゴミを収集し、容器を拭く。
		金属部	*ダストクロス等で埃を取り、適性洗剤を用い汚れを除去した後、乾いた布で磨き上げる。
b	事務所	床	*「床の材質による作業内容」
		扉	*汚れが目立つ部分を水または適性洗剤を用い除去する。
		灰皿	*吸殻を収集し、灰皿を拭く。
		ゴミ箱	*ゴミを収集し、容器を拭く。
		窓台	*ダストクロス等で埃を取る。

日常清掃作業内容一覧表：二の宮ハウス

2.作業場所による作業内容（共用部）

作業区分	実施場所		作業内容
c	会議室	床	*「床の材質による作業内容」
		扉	*汚れの目立つ部分を水または適性洗剤を用い除去する。
		什器備品	*ダストクロス等で埃を取り、タオル等で水拭きする。
		灰皿	*吸殻を収集し、灰皿を拭く。
		ゴミ箱	*ゴミを収集し、容器を拭く。
d	トイレ	床	*「床の材質による作業内容」
		壁面	*汚れの部分は、水または適性洗剤を用い除去する。
		扉	*汚れの目立つ部分を水または適性洗剤を用い除去する。
		洗面台	*スポンジで適性洗剤を用いて洗浄し、拭き上げる。
		鏡	*乾拭きして仕上げる。
		衛生陶器	*適性洗剤を用いて洗浄し、拭き上げる。 *金属類も同様に拭き上げる。
		ゴミ箱	*ゴミを収集し、容器を拭く。
		汚物容器	*内容物を収集し、容器を洗浄する。
		衛生消耗品	*トイレットペーパー、水石鹼等を補充する。

日常清掃作業内容一覧表：二の宮ハウス

2.作業場所による作業内容（共用部）

作業区分	実施場所		作業内容
e	湯沸室	床	*「床の材質による作業内容」
		扉	*汚れの目立つ部分を水または適性洗剤を用い除去する。
		壁面	*汚れの部分は、水または適性洗剤を用い除去する。
		流し台	*適性洗剤を用いてスポンジで洗浄する。 *塵芥を収集し、容器を洗浄する。
		換気扇	*適性洗剤にて洗浄後、水拭きして仕上げる。
f	廊下	床	*「床の材質による作業内容」
		扉	*汚れの目立つ部分を水または適性洗剤を用い除去する。
		壁面	*汚れの部分は、水または適性洗剤を用い除去する。
		灰皿	*吸殻を収集し、灰皿を拭く。
		ゴミ箱	*ゴミを収集し、容器を拭く。
g	階 段	床	*「床の材質による作業内容」
		壁面	*汚れの部分は、水または適性洗剤を用い除去する。
		手摺	*タオルで水拭きをする。
		窓台	*ダストクロス等で埃を取る。

日常清掃作業内容一覧表：二の宮ハウス

2.作業場所による作業内容（共用部）

作業区分	実施場所		作業内容
h	エレベーター	床	*「床の材質による作業内容」
		扉	*汚れの目立つ部分を水または適性洗剤を用い除去する。
		壁面	*汚れの部分は、水または適性洗剤を用い除去する。
		操作盤	*汚れの部分は、水または適性洗剤を用い除去し、乾拭きして仕上げる。
		扉溝	*真空掃除機などで除塵を行う。
i	建物周囲	床	*玄関周りは、自在箒で除塵を集め、汚れの部分は、モップで水拭きをする。 *駐車場等の区域については、巡回による拾い掃きを実施する。

【 日常清掃の基準表 : 二の宮ハウス 】

階数	清掃場所	床面積 m ²	清掃内容	日常清掃																							
				はき清掃	拭き清掃	真空清掃	巡回清掃	灰皿処理	紙屑清掃	金属みがき	鏡・洗面台みがき	流し台みがき	茶殻清掃	茶碗等の荒い整理	衛生陶器の清掃	汚物の処理・清掃	衛生消耗品の補給	窓枠・ちり	ほこり払い	電話機空拭き	間仕切ガラス清掃	ドアの拭き清掃	手摺の清掃	マットの清掃	テーブル・机清掃	椅子の清掃	エレベータかご内清掃
1階	清掃員更衣室	25.1	弾性床材		1/日	1/日		適時			1/日	1/日								1/日			1/日				
	廃棄物集積所	50.1	石材	1/日	1/日															1/日							
	階段 - 1	9.7	カーペット			1/日	適時														1/日						
	EVホール - 1	28.4	石材		1/日	1/日	適時		1/週												1/日					適時	
	EVホール - 2	13.9	石材		1/日	1/日	適時		1/週												1/日					適時	
	駐車場・駐輪場	3,514.2	石材	適時																							
	処理槽機械室	8.2	石材	適時																							
	消火ポンプ室	41.2	石材	適時																							
	受水槽室	89.3	石材	適時																							
	MDF室	6.7	石材	適時																							
	受変電室	70.6	石材	適時																							
	ファンルーム - 1	82.1	石材	適時																							
	ファンルーム - 2	59.6	石材	適時																							
	倉庫 - 1	51.8	石材	適時																							
	倉庫 - 2	32.0	石材	適時																							
倉庫 - 3	16.3	石材	適時																								

【 日常清掃の基準表 : 二の宮ハウス 】

階数	清掃場所	床面積 m ²	清掃内容	日常清掃																							
				はき清掃	拭き清掃	真空清掃	巡回清掃	灰皿処理	紙屑清掃	金属みがき	鏡・洗面台みがき	流し台みがき	茶殻清掃	茶碗等の荒い整理	衛生陶器の清掃	汚物の処理・清掃	衛生消耗品の補給	窓枠・ちり	ほこり払い	電話機空拭き	間仕切ガラス清掃	ドアの拭き清掃	手摺の清掃	マットの清掃	テーブル・机清掃	椅子の清掃	エレベータータカゴ内清掃
1階	中央事務室	59.6	カーペット			1/日		適時			1/日	1/日					1/日	1/日		1/日		1/日	1/日	1/日			
	廊下	12.0	カーペット			1/日																					
	監視和室	8.0	タタミ		適時	1/日																					
	視浴室	1.4	弾性床材		適時				1/週	適時			適時											適時			
	室便所	1.0	弾性床材		1/日				1/週			1/日	1/日	適時									1/日				
	洗面室	2.2	フローリング		1/日			1/日				1/日											1/日				
	廊下 - 1	18.7	カーペット			1/日	適時																				
	階段 - 1	15.0	タイル			1/日	適時																1/日				
	宅配ボックス室	21.2	カーペット		1/日	1/日																					
	メール室	21.2	カーペット			1/日																					
	風除室	12.4	石材		適時	1/日	適時	適時										1/日		1/日			1/日				
	エントランスホール	143.4	石材		適時	1/日	適時	適時										1/日		適時						1/日	
	受付	8.0	カーペット			1/日	適時												1/日						1/日		
	TELコーナー	15.4	カーペット			1/日	適時												1/日								
	階段 - 3	7.6	フローリング		適時	1/日	適時																1/日				
	自販機室	36.8	カーペット		1/日	1/日	適時	適時										1/日									
	男子便所 - 1	13.6	タイル		1/日		適時				1/日		1/日	適時	適時								1/日				
	女子便所 - 1	13.6	タイル		1/日		適時				1/日		1/日	適時	適時								1/日				
	キッズルーム	64.0	カーペット			1/日		適時										適時					1/日		適時	適時	
	トレーニングジム	64.0	フローリング		1/日	1/日		適時										適時					1/日				
管理事務室	224.0	カーペット			1/日		1/日				1/日	1/日					1/日	1/日				1/日					
応接室	41.6	カーペット			1/日		1/日										1/日	1/日				1/日		1/日	1/日		
廊下 - 2	35.6	カーペット			1/日	適時																1/日					

【 日常清掃の基準表 : 二の宮ハウス 】

階数	清掃内容			日常清掃																									
	清掃場所	床面積 m ²	床材質	はき清掃	拭き清掃	真空清掃	巡回清掃	紙屑処理	金属みがき	鏡・洗面台みがき	流し台みがき	茶殻清掃	茶碗等の荒い整理	衛生陶器の清掃	汚物の処理・清掃	衛生消耗品の補給	窓枠・ちり	ほこり払い	電話機空拭き	間仕切ガラス清掃	ドアの拭き清掃	手摺の清掃	マットの清掃	テーブル・机清掃	椅子の清掃	エレベータータカご内清掃			
1階	倉庫 - 1	105.6	弾性床材			1/日		1/日									1/日			1/日				1/日	1/日				
	セミナー室 - 1	64.0	カーペット			1/日		1/日									1/日			1/日				1/日	1/日				
	セミナー室 - 2	64.0	カーペット			1/日		1/日									1/日			1/日				1/日	1/日				
	階段 - 2	17.6	カーペット			1/日	適時															1/日							
	男子便所 - 2	12.0	弾性床材		1/日		適時		適時	1/日			1/日	適時	適時							1/日							
	女子便所 - 2	12.0	弾性床材		1/日		適時		適時	1/日			1/日	適時	適時							1/日							
	身障者便所	6.4	弾性床材		1/日		適時		適時	1/日			1/日	適時	適時							1/日							
	準備室	10.9	弾性床材		適時	適時		適時																					
	集会室	123.4	弾性床材		適時	適時		適時										適時				1/日			適時	適時			
	集会室	83.5	フローリング		適時	適時		適時	適時		適時	適時						適時				1/日			適時	適時			
	階段 - 4	2.6	石材	適時																			適時						
	階段 - 6	2.6	石材	適時																			適時						
	EVホール - 1	10.9	石材		1/日	1/日	適時			1/週												1/日							
	EVホール - 2	9.7	カーペット		1/日	1/日	適時			1/週												1/日							
	ゲストルーム - 1	60.9	カーペット	適時	適時	適時		適時	適時	適時		適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時		適時			適時	適時			
	ゲストルーム - 2	60.9	カーペット	適時	適時	適時		適時	適時	適時		適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時		適時			適時	適時		
	ゲストルーム - 3	60.9	カーペット	適時	適時	適時		適時	適時	適時		適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時	適時		適時			適時	適時		
	打合せ室 - 1	55.7	カーペット	適時	適時	適時		適時	適時		適時	適時						適時	適時	適時	適時		適時			適時	適時		
	打合せ室 - 2	55.7	カーペット	適時	適時	適時		適時	適時		適時	適時						適時	適時	適時	適時		適時			適時	適時		
	リネン室 - 1	32.0	弾性床材	適時																									
リネン室 - 2	32.0	弾性床材	適時																										
倉庫 - 2	11.5	弾性床材	適時																										
倉庫 - 3	12.7	弾性床材	適時																										

【 日常清掃の基準表 : 二の宮ハウス 】

階数	清掃内容		日常清掃																									
	清掃場所	床面積 m ²	床材質	はき清掃	拭き清掃	真空清掃	巡回清掃	灰皿処理	紙屑清掃	金属みがき	鏡・洗面台みがき	流し台みがき	茶殻清掃	茶碗等の荒い整理	衛生陶器の清掃	汚物の処理・清掃	衛生消耗品の補給	窓枠・ちり	ほこり払い	電話機空拭き	間仕切ガラス清掃	ドアの拭き清掃	手摺の清掃	マットの清掃	テーブル・机清掃	椅子の清掃	エレベータータカご内清掃	
1	中庭	371.2		適時						適時																適時	適時	
2	情報ライブラリー	9.6	フローリング		1/日	1/日																						
	情報ライブラリー	185.9	カーペット			1/日		1/日	適時									1/日								1/日	1/日	
	EVホール - 1	10.2	石材		1/日	1/日	適時			1/週												1/日						
	EVホール - 2	9.7	カーペット		1/日	1/日	適時			1/週												1/日						
	階段 - 2	17.6	カーペット			1/日	適時																1/日					
	階段 - 4	14.4	石材	適時																			適時					
	階段 - 6	10.6	石材	適時																			適時					
	屋内廊下・渡り廊下	147.3	カーペット			1/日	適時																					
3	南棟ラウンジ	46.7	カーペット			1/日		適時										1/日								1/日	1/日	
	北棟ラウンジ	35.1	カーペット			1/日		適時										1/日								1/日	1/日	
	EVホール - 1	10.2	石材		1/日	1/日	適時			1/週												1/日						
	EVホール - 2	9.7	カーペット		1/日	1/日	適時			1/週												1/日						
	階段 - 2	17.6	カーペット			1/日	適時																1/日					
	階段 - 4	14.4	石材	適時																			適時					
	階段 - 6	10.6	石材	適時																			適時					
	屋内廊下・渡り廊下	147.3	カーペット			1/日	適時																					

【 日常清掃の基準表 : 二の宮ハウス 】

階数	清掃場所	床面積 m ²	清掃内容	日常清掃																						
				はき清掃	拭き清掃	真空清掃	巡回清掃	灰皿処理	紙屑清掃	金属みがき	鏡・洗面台みがき	流し台みがき	茶殻清掃	茶碗等の荒い整理	衛生陶器の清掃	汚物の処理・清掃	衛生消耗品の補給	窓枠・ちり	ほこり払い	電話機空拭き	間仕切ガラス清掃	ドアの拭き清掃	手摺の清掃	マットの清掃	テーブル・机清掃	椅子の清掃
4	南棟ラウンジ	16.3	カーペット			1/日		適時										1/日						1/日	1/日	
	北棟ラウンジ	35.1	カーペット			1/日		適時										1/日						1/日	1/日	
	EVホール - 1	10.2	石材		1/日	1/日	適時			1/週											1/日					
	EVホール - 2	9.7	カーペット		1/日	1/日	適時			1/週											1/日					
	階段 - 2	17.6	カーペット			1/日	適時															1/日				
	階段 - 4	14.4	石材	適時																		適時				
	階段 - 5	3.2	石材	適時																		適時				
	階段 - 6	10.6	鉄	適時																		適時				
	屋内廊下・渡り廊下	130.2	カーペット			1/日	適時																			
5	南棟ラウンジ	49.3	カーペット			1/日		適時										1/日						1/日	1/日	
	北棟ラウンジ	35.1	カーペット			1/日		適時										1/日						1/日	1/日	
	EVホール - 1	10.2	石材		1/日	1/日	適時			1/週											1/日					
	EVホール - 2	9.7	カーペット		1/日	1/日	適時			1/週											1/日					
	階段 - 2	17.6	カーペット			1/日	適時															1/日				
	階段 - 5	3.2	石材	適時																		適時				
	階段 - 6	10.6	石材	適時																		適時				
	屋内廊下・渡り廊下	14.0	カーペット			1/日	適時																			

【 日常清掃の基準表 : 二の宮ハウス 】

階数	清掃場所	床面積 m ²	清掃内容 床材質	日常清掃																							
				はき清掃	拭き清掃	真空清掃	巡回清掃	灰皿処理	紙屑清掃	金属みがき	鏡・洗面台みがき	流し台みがき	茶殻清掃	茶碗等の荒い整理	衛生陶器の清掃	汚物の処理・清掃	衛生消耗品の補給	窓枠・ちり	ほこり払い	電話機空拭き	間仕切ガラス清掃	ドアの拭き清掃	手摺の清掃	マットの清掃	テーブル・机清掃	椅子の清掃	エレベーターかご内清掃
6階	南棟ラウンジ	16.3	カーペット			1/日		適時										1/日						1/日	1/日		
	EVホール-1	10.2	石材		1/日	1/日	適時		1/週											1/日							
	階段-5	3.2	石材	適時																						適時	
	階段-6	10.6	石材	適時																							適時
7階	南棟ラウンジ	49.3	カーペット			1/日		適時										1/日						1/日	1/日		
	EVホール-1	10.2	石材		1/日	1/日	適時		1/週											1/日							
	階段-5	3.2	石材	適時																						適時	
	階段-6	10.6	石材	適時																						適時	
8階	南棟ラウンジ	16.3	カーペット			1/日		適時										1/日						1/日	1/日		
	EVホール-1	10.2	石材		1/日	1/日	適時		1/週											1/日							
	階段-5	3.2	石材	適時																						適時	
	階段-6	10.6	石材	適時																						適時	

【 日常清掃の基準表 : 二の宮ハウス 】

階 数	清掃 場所	床 面 積 m ²	清 掃 内 容 床 材 質	日 常 清 掃																							
				は き 清 掃	拭 き 清 掃	真 空 清 掃	巡 回 清 掃	灰 皿 処 理	紙 屑 清 掃	金 属 み が き	鏡 ・ 洗 面 台 み が き	流 し 台 み が き	茶 殻 清 掃	茶 碗 等 の 荒 い 整 理	衛 生 陶 器 の 清 掃	汚 物 の 処 理 ・ 清 掃	衛 生 消 耗 品 の 補 給	窓 枠 ・ ち り	ほ こ り 払 い	電 話 機 空 拭 き	間 仕 切 ガ ラ ス 清 掃	ド ア ー の 拭 き 清 掃	手 摺 の 清 掃	マ ツ ト の 清 掃	テ ー ブ ル ・ 机 清 掃	椅 子 の 清 掃	エ レ ベ ー タ か ご 内 清 掃
9 階	EV ホール - 1	17.1	カーペット			1/日	適時			1/週											1/日						
	階 段 - 6	10.6	石 材	適時																		適時					
	ホ ー ル ・ 廊 下	10.9	カーペット			適時															適時						
	男 子 便 所	8.9	タ イ ル		1/日					適時	適時			1/日	適時	適時						適時					
	女 子 便 所	8.9	タ イ ル		1/日					適時	適時			1/日	適時	適時						適時					
	交 流 サ ロ ン	134.4	カーペット			適時			適時									適時	適時			適時			適時	適時	
	交 流 サ ロ ン	1.0	弾 性 床 材		適時	適時			適時	適時			適時	適時												適時	適時
	和 室	和 室	18.7	タ タ ミ		適時	適時			適時	適時										適時						
		取 次 ・ 水 屋	6.4	タ タ ミ		適時	適時																				
		半 入 間	10.4	タ タ ミ		適時	適時																				
		踏 込	0.6	石 材		適時																					
		ア プ ロ ー ち	27.2	カーペット			適時																				
	洋 室	洋 室	75.7	カーペット			適時			適時									適時	適時		適時			適時	適時	
																		適時	適時		適時						
	外 回 り	2,030.4	石 材	適時																							

日常清掃作業内容一覧表：竹園ハウス

2.作業場所による作業内容（共用部）

実施場所	作業周期	作業内容
事務所	毎日	カーペット掃除機がけ、ゴミ箱のゴミ取り、高所ほこり取り、内側ガラス拭き上げ、ドアの拭き上げ
集会室	週一回	カーペット掃除機がけ、ゴミ箱のゴミ取り、高所ほこり取り、ドアの拭き上げ、パーテーションの拭き上げ
トイレ	毎日	高所ほこり取り、便器クリーニング(衛生仕上げ)、床の掃除機がけ、床水モップ拭き上げ、洗面台の拭き上げ、鏡磨き、ドアの拭き上げ
管理室	週一回	高所ほこり取り
休憩室	毎日	床の掃除機がけ、水モップによる拭き上げ
玄関	週二回	高所ほこり取り、クモの巣取り
ホール	週一回	ガラスの内外拭き上げ
EVホール	毎日	石床の掃除機がけ、水モップによる拭き上げ
外部	毎日	ゴミ拾い
駐車場他	週一回	雑草の除去
すべての階段	毎日	拭き掃除、ほこり取り
通路（2～7階）	毎日	拭き掃除、ほこり取り、ドアの拭き上げ

ガラス清掃実施箇所一覧表：二の宮ハウス

実施場所	階	対象面積 (m2)	備 考
管理事務室	1	18.6	バルコニー側含む
通用口	1	7.2	
宅配ボックス室	1	4.7	
風除室	1	30	
エントランスホール	1	145.8	
自販機室	1	16.6	バルコニー側含む
プレイルーム	1	16.6	遮熱・断熱フィルム貼付 加工 バルコニー側含む
スポーツジム	1	16.6	遮熱・断熱フィルム貼付 加工 バルコニー側含む
リネン室-1	1	8.3	バルコニー側含む
リネン室-2	1	16.6	バルコニー側含む
ゲストルーム-1	1	8.3	バルコニー側含む
ゲストルーム-2	1	8.3	バルコニー側含む
ゲストルーム-3	1	8.3	バルコニー側含む
打ち合わせ室-1	1	8.3	バルコニー側含む
打ち合わせ室-2	1	8.3	バルコニー側含む
セミナー室 - 1	1	18.6	バルコニー側含む
セミナー室 - 2	1	18.6	バルコニー側含む
集会室	1	25.2	
管理事務室	1	28.2	
応接室	1	4.0	

ガラス清掃実施箇所一覧表：二の宮ハウス

実施場所	階	対象面積 (m2)	備 考
情報ライブラリー	2	168.2	遮熱・断熱フィルム貼付加工
渡り廊下	3	35.1	注) 実施は年に1回のみとする。
屋内廊下	2~5	129.9	
南棟ラウンジ	3~8	69.6	
北棟ラウンジ	3~5	96.2	
交流サロン・セミナー室	9	191.3	
南棟エレベーターシャフト		91.1	被覆反射ガラス・外側実施
北棟エレベーターシャフト		33.4	被覆反射ガラス・外側実施
		1,231.9	

■ 4 植栽管理業務

1. 目標

日本の情緒と彩りゆたかな四季を感じることができ、ゆとりと安らぎを提供できるような空間づくりを目標とする。

2. 二の宮ハウスについて

(1) 方法

①除草

手又は鎌を用いて雑草を抜き取り、集めて搬出処分する。

②刈り込み

はさみ又は動力刈り込み機にて刈り込みを行い、枝葉を集めて搬出処分する。

③芝刈り

自走式草刈り機又は肩掛け式草刈り機を用い、芝を刈り集めて搬出処分する。

④高木剪定

高所作業車及びはさみ・鋸を用いて枝の剪定を行い、枝葉を集めて搬出処分する。

⑤病虫害防除

適時に適切な殺虫剤・殺菌剤を動力噴射器で散布する。

⑥施肥

適切な肥料を使用し、芝地及び樹木に施用する。

(2) 詳細

①除草

摘要	数量	単位	備考
中庭部分			
サツキ類	270.0	m ²	年2回
シバザクラ	13.8	m ²	年2回
屋上部			
1階 サツキ類	30.0	m ²	年2回
2階 サツキ類	30.0	m ²	年2回
9階 芝	37.9	m ²	年2回
9階 サツキ類	38.2	m ²	年2回
外周部分			
サツキ類	477.0	m ²	年2回

②刈り込み

摘要	数量	単位
中庭部分		
サツキ類	270.0	m ²
屋上部		
1階 サツキ類	30.0	m ²
2階 サツキ類	30.0	m ²
9階 サツキ類	38.2	m ²
9階 東側	1	式
9階 茶庭	1	式

外周部分		
ムクゲ	7	本
ツバキ	1	本
モミジ	2	本
サザンカ	14	本
サツキ類	477.0	m ²

③芝刈り

摘要	数量	単位	備考
屋上部			
9階 芝	37.9	m ²	年3回
外周部分			
芝	766.0	m ²	年3回

④高木剪定

摘要	数量	単位
中庭部分		
モミジ	4	本
サルスベリ	2	本
モミノキ	1	本
外周部分		
ソメイヨシノ	2	本
ケヤキ	4	本
タブノキ	1	本
シラカシ	15	本
クス	2	本
モチノキ	2	本
ユズリハ	5	本
ハナミズキ	2	本
キンモクセイ	1	本
モミジ	1	本

⑤病虫害防除

摘要	数量	単位	備考
中庭部分			
(高木)			
モミジ	4	本	年2回
サルスベリ	2	本	年2回
モミノキ	1	本	年2回
(低木)			
サツキ類	270.0	m ²	年2回
シバザクラ	13.8	m ²	年2回
屋上部			
1階 サツキ類	30.0	m ²	年2回
2階 サツキ類	30.0	m ²	年2回
9階 芝	37.9	m ²	年2回

9階 サツキ類	38.2	m ²	年2回
建物外周部分			
(高木)			
ソメイヨシノ	2	本	年2回
ケヤキ	3	本	年2回
タブノキ	1	本	年2回
シラカシ	15	本	年2回
クス	2	本	年2回
モチノキ	2	本	年2回
ユズリハ	5	本	年2回
ハナミズキ	2	本	年2回
キンモクセイ	1	本	年2回
モミジ	1	本	年2回
(小高木)			
モミジ	9	本	年2回
ツバキ	1	本	年2回
サザンカ	11	本	年2回
(低木)			
サツキ類	477.0	m ²	年2回

⑥施肥

摘要	数量	単位
中庭部分		
サツキ類	270.0	m ²
シバザクラ	13.8	m ²
屋上部		
1階 サツキ類	30.0	m ²
2階 サツキ類	30.0	m ²
9階 芝	37.9	m ²
9階 サツキ類	38.2	m ²
外周部分		
サツキ類	477.0	m ²
芝	799.0	m ²

3. 竹園ハウスについて

(1) 方法

①樹木剪定

鋏等による切り返し剪定とヘッジトリマーによる機械刈りを併用する。

②芝・草刈り

ロータリーモア・刈払機による機械刈りとする。

③手取り除草

鎌を使用し、人力による除草作業とする。

④殺虫剤散布

(全体) 動力噴霧器によるイソキサチオン乳剤の散布
 (サクラ) ジョーロ等による根元への石灰硫黄合剤の散布
 (ツバキ) 背負い蓄圧式噴霧器によるマシン油乳剤の散布

⑤施肥

中・低木を中心に、花後のお礼肥として粒状固形肥料を施す。

(2) 詳細

項目	種類	数量	数量	備考
樹木剪定	カツラ	1	本	年1回
	シュロ	11	本	
	サクラ	6	本	
	マツ	5	本	
	ウメ	1	本	
	サルスベリ	1	本	
	ツゲ	1	本	
	モチノキ	2	本	
	ツバキ	27	本	
	マサキ	2	本	
	アオキ	3	本	
	アザレア	46	本	
	ハマヒサカキ	1	株	
	キャラ玉	2	株	
	マメツゲ玉	1	株	
	クシャクヒバ玉	1	株	
	アジサイ	1	株	
	ユキヤナギ	1	株	
	サツキ類	54	株	
	サザンカ生垣	36.3	m ²	
ヒイラギモクセイ生垣	6.2	m		
サツキ寄せ植え	50.1	m ²		
ドウダン寄せ植え	17.9	m ²		
芝・草刈り		232.7	m ²	年2回
手取り除草		393.8	m ²	年3回
殺虫剤散布	樹木剪定数量に準ずる			年2回
殺虫剤散布	サクラ	6	本	年1回
	ツバキ	24	本	
施肥		185.8	m ²	年1回

貸与施設等及び貸与物品

貸与施設及び貸与物品は、外国人研究者宿舎におけるすべての業務にて共用するものである。経年劣化等により貸与物品の使用が困難な場合は、落札事業者が用意すること。

1. 貸与施設 ※設置している家具・家電を含む。

(1) 二の宮ハウス

- ・中央監視室
- ・管理人室
- ・清掃員更衣室

(2) 竹園ハウス

- ・管理人室

2. 貸与物品

品名	二の宮ハウス	竹園ハウス	備考
踏み台		1	
脚立	2	1	
二連はしご	1		
コンベックス	2		
懐中電灯	2	5	
充電式ドリル	1		
電工ドラム	1	1	
メガネレンチセット	1		
モンキースパナ	1	1	
プライヤー	3		
ウォーターポンププライヤー	2		
絶縁ペンチ	2		
ラジオペンチ	2	1	
ニッパー	3	1	
ワイヤーストリッパー	1		
半田ごて	1		
ハンマー		1	
通常ドライバー (+)	4	3	
通常ドライバー (-)	2	3	
精密ドライバー (+)	4		

品名	二の宮ハウス	竹園ハウス	備考
精密ドライバー (ー)	6		
両刃板のこぎり	1	3	
金のこぎり	1	3	
金やすり		1	
水道ゴムホース	2	3	
手押し車 (ねこぐるま)		1	
乾湿両用掃除機	1		
高圧洗浄機	1		
キャスト式工具セット	1	1	災害時用
テコバール	1	1	災害時用
平バール	1	1	災害時用
両口ハンマー	1	1	災害時用
両つるはし	1	1	災害時用
角型スコップ	1	1	災害時用
ボルトクリッパー	1	1	災害時用
手斧	1	1	災害時用
ゴーグル	1	1	災害時用
標識ロープ (トラロープ)	1	1	災害時用
トランジスタメガホン	1	1	災害時用
メタルハライドライト・ハイパースタンド	1		災害時用
4サイクルエンジンオイル	1	1	災害時用
コードリール屋外仕様	1	1	災害時用
リヤカー (キャンパー)	2		災害時用
ガソリン式インバーター発電機	1	1	災害時用
カセットボンベ式インバーター発電機	2	2	災害時用

3. 落札事業者が負担する経費

- ①事務用消耗品、制服、靴、帽子等
- ②保守点検及び軽微な修繕に必要な工具、部品及び簡単な測定器具
- ③点検に必要な薬品・器具類、備品類 (寝具類、作業着、保守項目交換部品を含む)、消耗品及び必要な検査の申込み費用。

以上

施設概要（二の宮ハウス）

※図面は竣工当時のものであり、現況と異なる場合は現況を優先いたします。

□工事名称・その他

Table with project details including name, address, and contact information.

□敷地

Table detailing site information such as location, area, and zoning.

□適用法制度・その他

Table listing applicable laws and regulations.

□規模

Table providing scale and dimensions of the building.

□面積

Table showing various area calculations and ratios.

□寸法

Table listing main dimensions of the building.

□外壁の工法

Table describing exterior wall construction methods.

□構造

Table detailing structural systems and materials.

□内部の主要な仕上材(住戸部分)

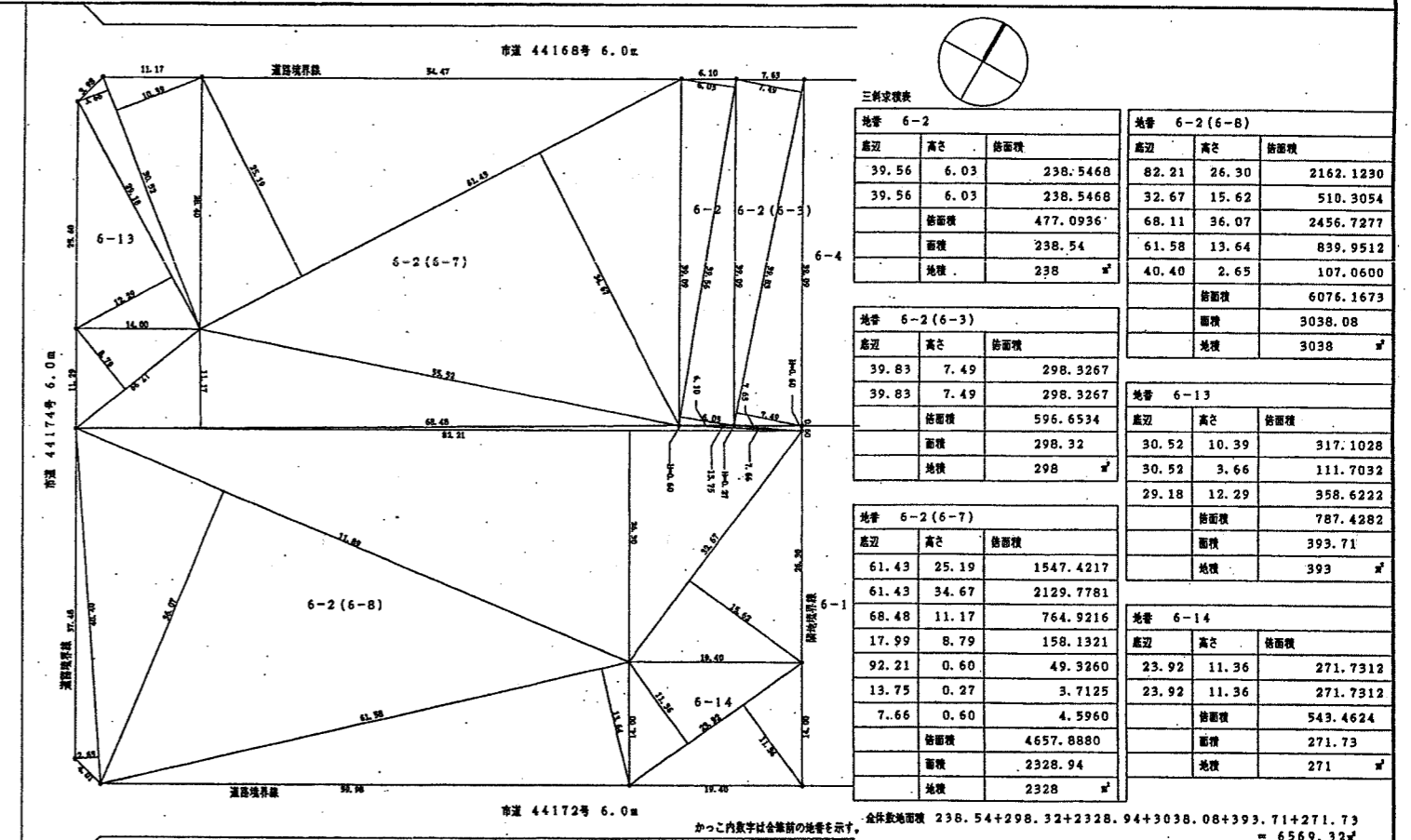
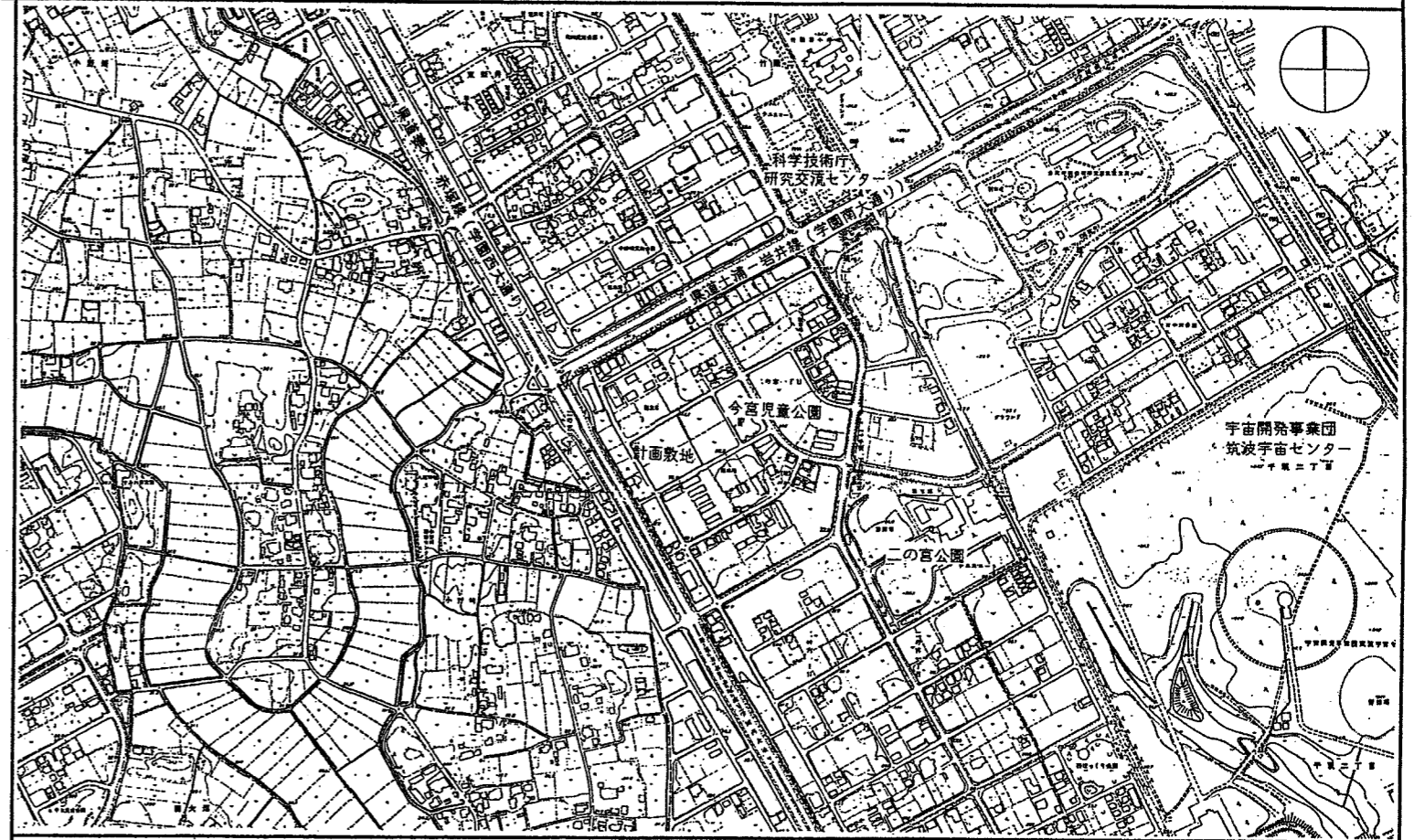
Table listing interior finishing materials for the living quarters.

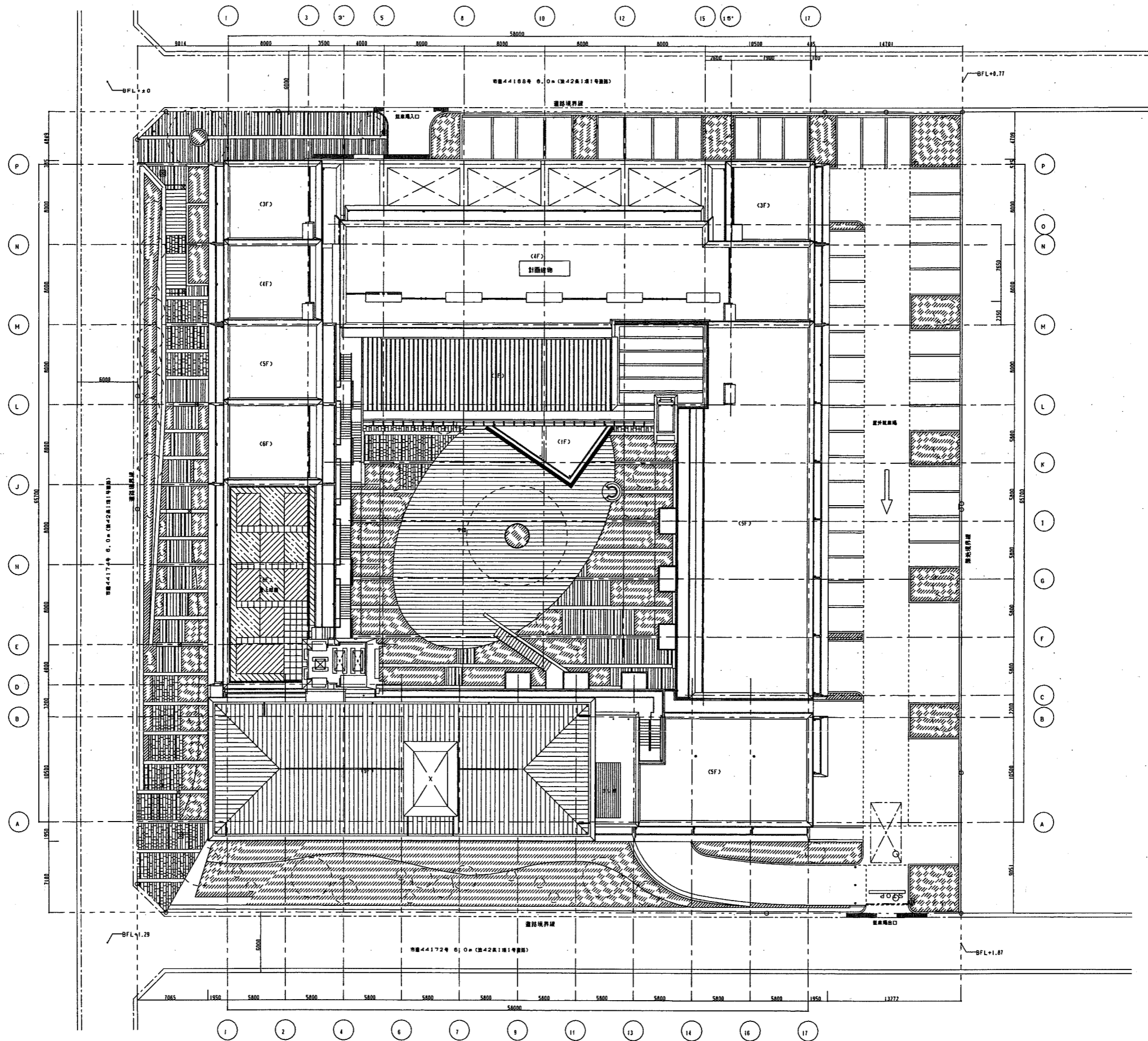
□外部仕上

Table listing exterior finishing materials and construction details.

□その他の工事範囲

Table listing other construction items and their specifications.





revisions		

松田平田・丸川設計共同企業体
 松田平田 〇 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)建築工事
 date 99.09.30 drawn by checked by

配置図
 scale 1/200
 建築 101

- 凡例
- ±0.0 床仕上げ面を示す
 - RC壁 (直壁は陽面及び半陽面による)
 - 耐火構造躯体 (L.O.S下地 構造仕様: TOL-52以上 耐火2時間認定品)
 - 一般構造躯体 (L.O.S下地 厚削としてPBD9, 8+12, 5両用)
 - 仕戸内面仕切壁 (本館下地 厚削としてPBD9, 8+12, 5両用)
 - 消火器ボックス (標準品 SUS製標準品)
 - 屋内消火栓 (1号消火栓)
 - RL 屋外: 20-VF及びVPのみの場合
 - RD ルーフドレーン: 規格品 #80 (本館仕切壁 毎上層部分に設置)
 - ※ 耐火躯体 (建築工事) 及び耐火躯体 (建築工事) が無いものを示す
 - マンホール: SUS製 (耐火・耐火・ロック付) #800
 - マンホール: 鋼製 (耐火・耐火・ロック付) #800 T-8
 - マンホール: 鋼製 (耐火・耐火) #800 T-8
 - ※ 外部マンホールは詳細参照
 - コーナガード: ゴム製標準品 規格 80×60 H=1000

設備基礎リスト

設備名	規格	寸法 (L x W x H)	数量
ファンルーム1	換気ファン	3000 x 1470 x 200	1
ファンルーム2	換気ファン	3000 x 1470 x 200	1
冷水機室	冷水機	7390 x 350 x 500	3
	冷水ポンプ	1000 x 800 x 200	1
換気機室	換気機	2380 x 700 x 200	1
	制御盤	1200 x 500 x 200	1
	換気機	500 x 500 x 200	1
消火ポンプ室	消火ポンプ	1680 x 1000 x 300	1
	増設消火ポンプ	2680 x 1300 x 300	1
	圧力ポンプ	1100 x 1100 x 200	1

商業施設種別 求積

8.72 x 5.36 = 46.73

46.73㎡

駐車場 車室リスト

車室番号	W x L	車室面積 (㎡)
1及び2	2580 x 5760	14.40
3及び5	2675 x 5760	15.40
4	2300 x 5760	13.24
6 ~ 8	2420 x 5760	13.93
9及び10	2590 x 5000	12.50
11 ~ 14	2580 x 5860	15.11
15	2310 x 5860	13.53
16	3590 x 5860	20.51
17 ~ 26	2430 x 5170	12.56
27 ~ 34	2530 x 5300	13.40
35及び37	2420 x 5300	12.82
38 ~ 40	2420 x 5170	12.51
41 ~ 60	2420 x 5270	12.75
50及び51	2300 x 5270	12.12
52 ~ 60	2420 x 5000	12.10
61	2520 x 5250	13.23
62 ~ 67	2530 x 5250	13.28
68 ~ 74	2580 x 5660	14.60
75	2530 x 5560	14.06
76	2300 x 5560	12.78
77	2300 x 5540	12.74
78及び79	2500 x 5440	13.60
80 ~ 82	2580 x 5540	14.29
83 ~ 85	2580 x 5440	14.03
86 ~ 88	2500 x 5340	13.17
89及び90	2500 x 5440	13.60
91	2380 x 5540	12.74
外部		
1 ~ 16	2580 x 5000	12.50
17 ~ 21	2500 x 5000	12.50
22 ~ 43	2500 x 5000	12.50
44 ~ 57	2410 x 5190	12.50

FEV1500規格品に準じた 換気機室の開口部を耐火躯体で仕切 (R/OB)

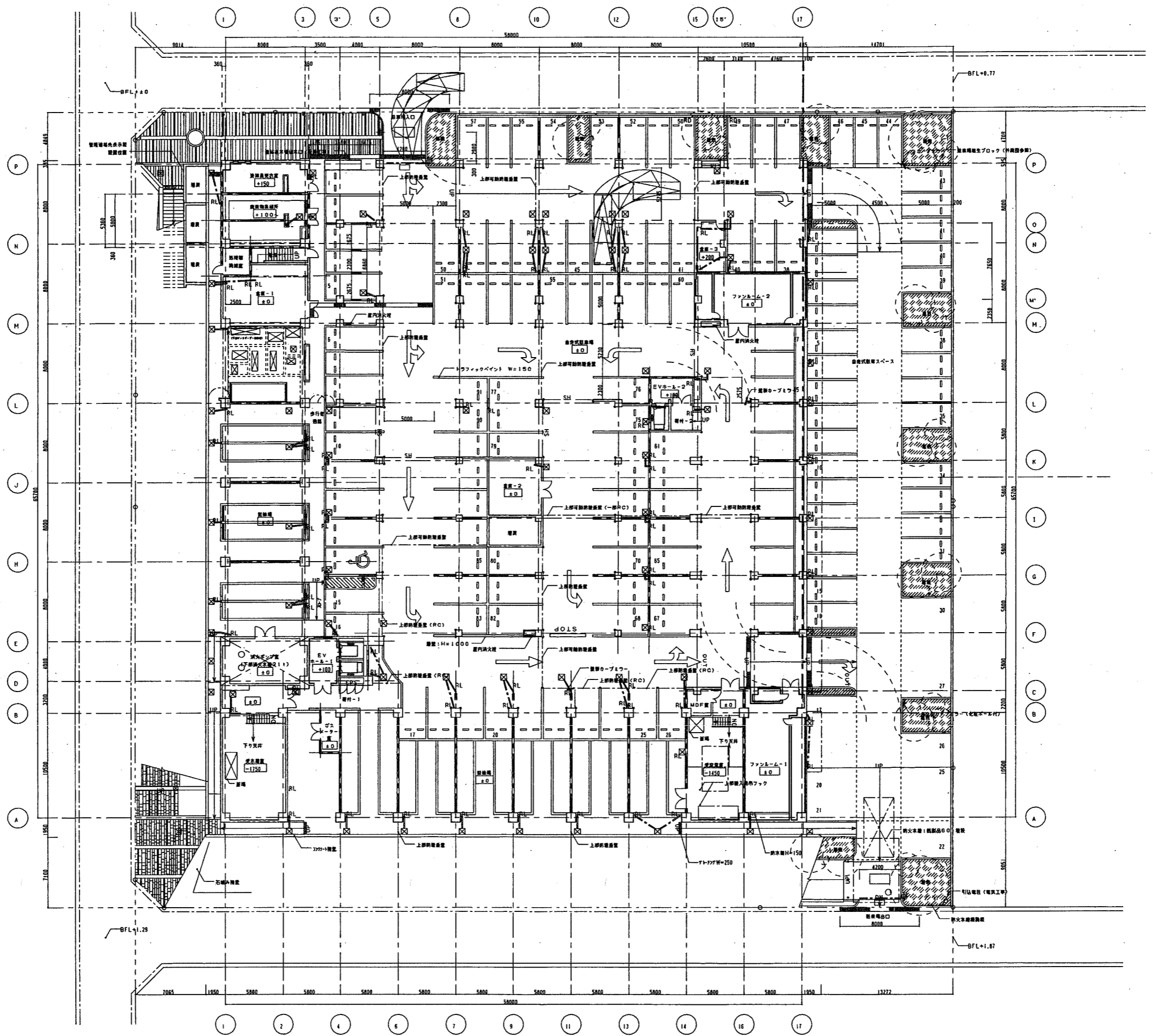
17号N-D面に換気機室 (R/OB)

F-12換気機室の開口部を耐火躯体で仕切 (R/OB)

17号N-D面に換気機室 (R/OB)

17号N-D面に換気機室 (R/OB)

17号N-D面に換気機室 (R/OB)



松田平田・丸川設計共同企業体

project no. A3693

date 99.09.30

drawn by checked by

scale 1/200

松田平田・丸川設計共同企業体

project no. A3693

date 99.09.30

drawn by checked by

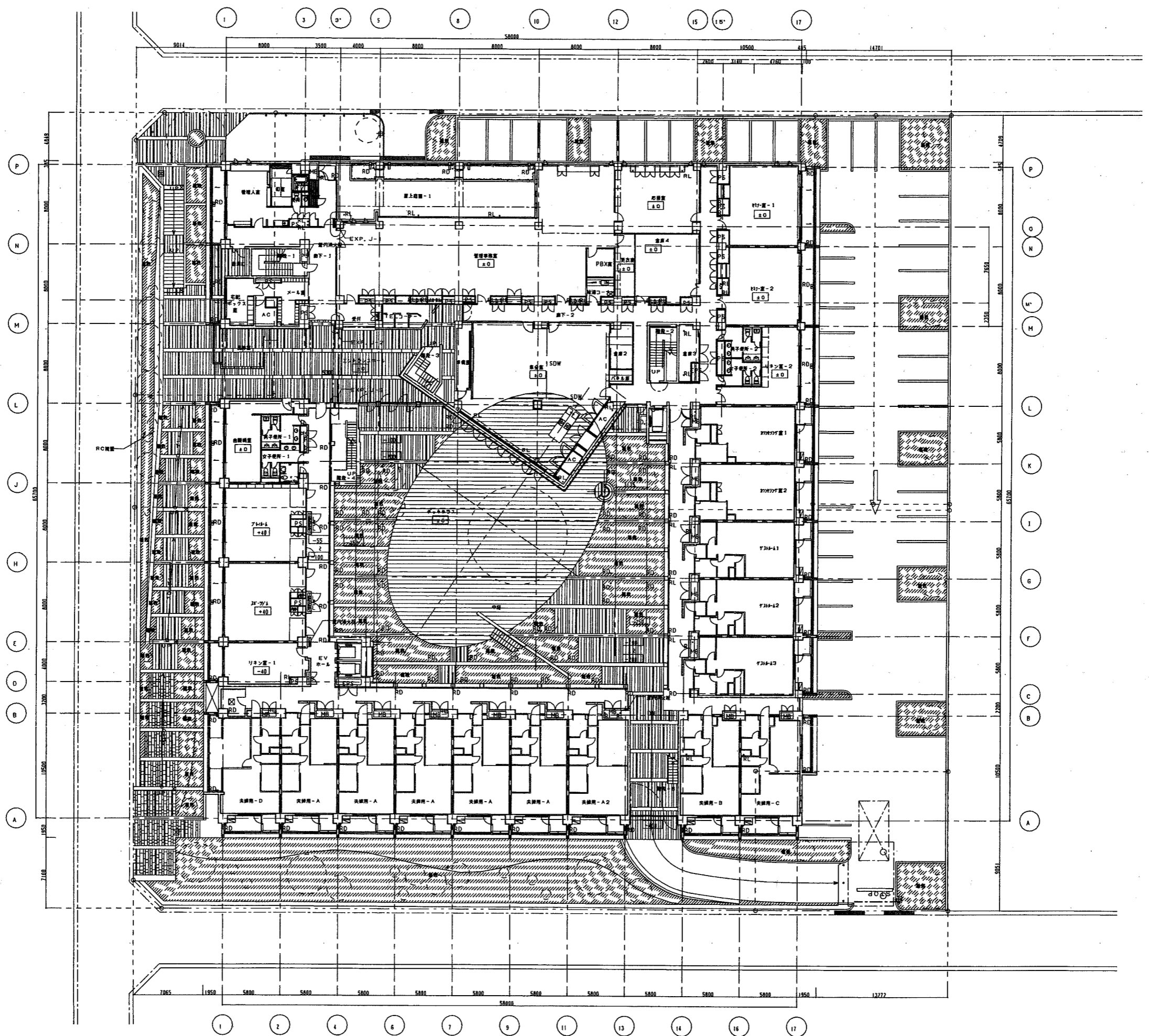
scale 1/200

地下1階平面図

建築

102

- 凡例
- △ 居住上レベルを示す
 - RC壁 (基準は構造図及び平面図詳細図による)
 - 耐火構造躯体 (LGS下地 構造仕様: TDL-52以上 耐火2時間指定品)
 - 一般居住切居 (LGS下地 扉としてP809, 5+12, 5両開き)
 - 住戸内居住切居 (本階下地 扉としてP809, 5+12, 5両開き)
 - 消火器ボックス (設置仕様 SUS製製品)
 - 室内消火栓 (1号消火栓)
 - 設備: 30VP及びVP7079の設置
 - ルーフレイン: 排水管φ80 (水はけ防止中継器 最上階部分には要しない)
 - 鋼板床工法 (鉄骨工法) 及び前までの階床工法 (鉄骨工法) が無いものを示す
 - マンホール: SUS製 (排水・新築・ロック式) 600A
 - マンホール: 鋼製 (排水・新築・ロック式) φ800 T-8
 - マンホール: 鋼製 (排水・新築) φ600 T-8
 - * 外部マンホールは詳細図参照
 - コーナガード: ゴム製製品 厚さ80×60 H=1000

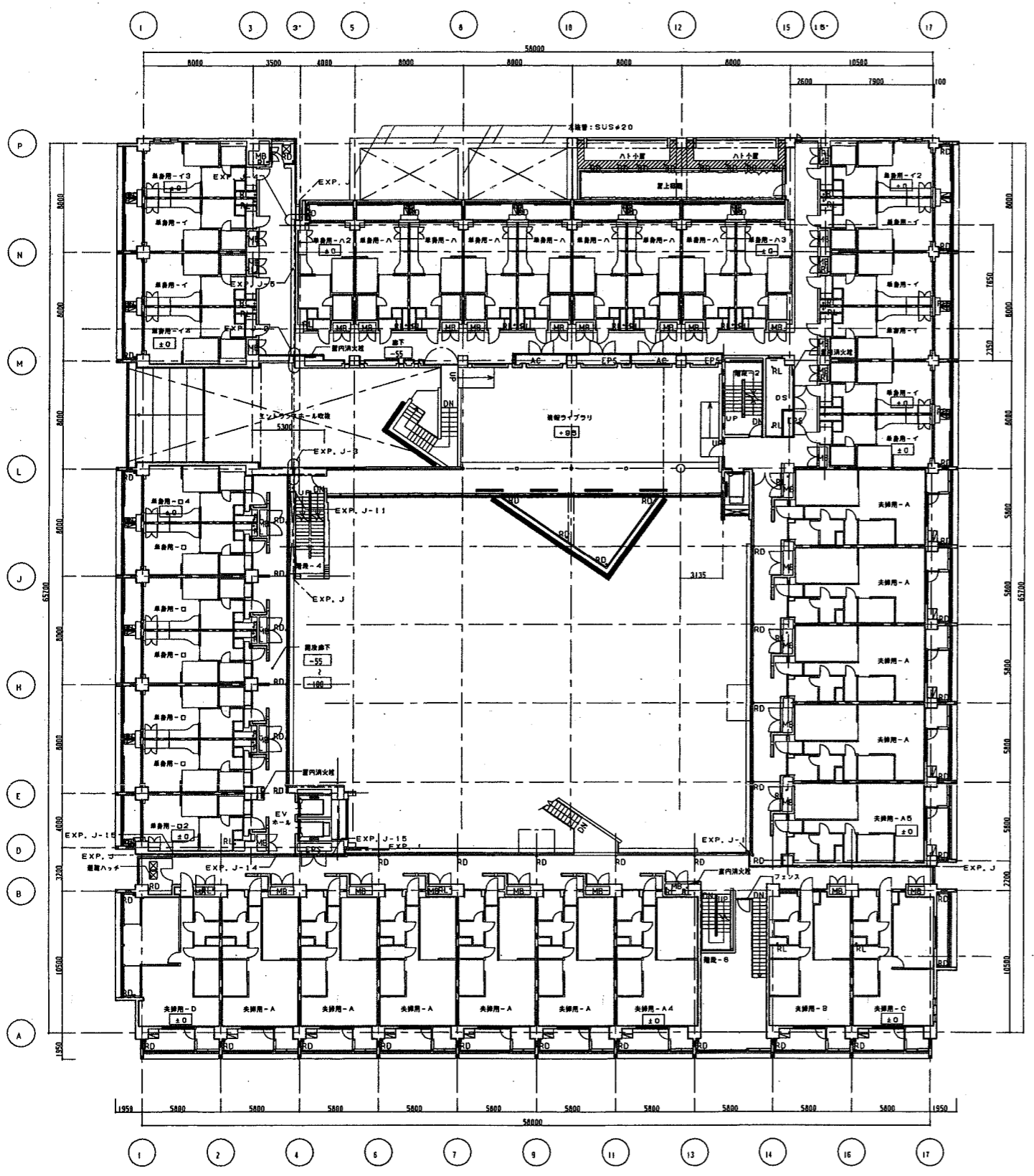
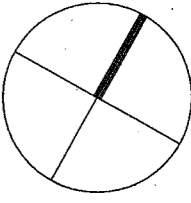


REVISIONS			

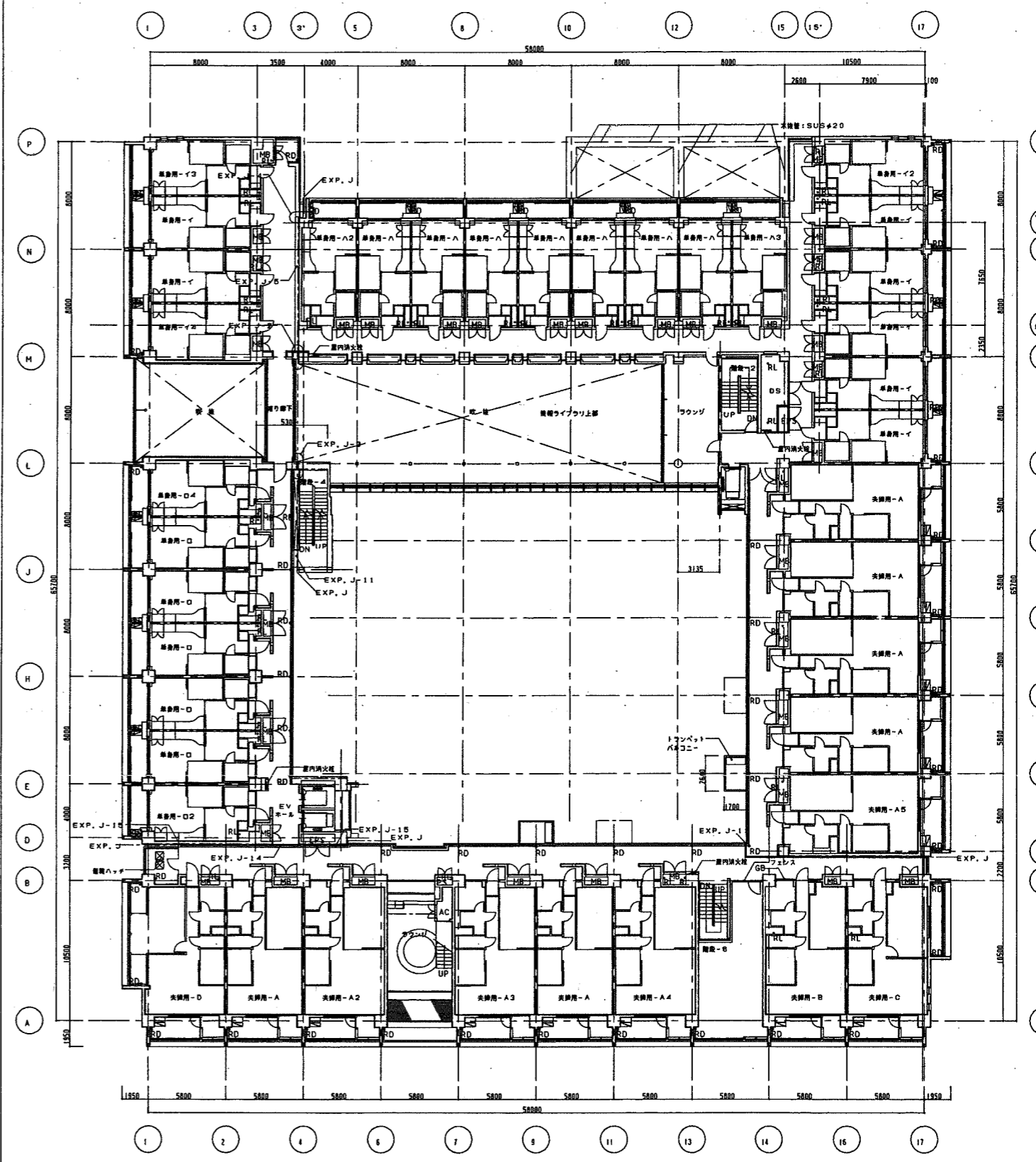
松田平田・丸川設計共同企業体		Project no. A3693	つくば外国人研究者用宿舎 (仮称) 建築工事	一階平面図	建築
MHS 松田平田 丸川設計		date 99.09.30	drawn by	checked by	103
					scale 1/200

凡例

AD	床仕上げを示す	RD	ルーフトレイン: 鋼製管φ80 (水はけ防止中間部 屋上階部分に限り)
RC	RC壁 (基礎は構造図及び平面図による)	RC	鋼製風通 (換気工事) 及び換気用の風通管 (換気工事) が異なるものを示す
■	耐火構造 (L05下地 構造仕様: TDL-52以上 耐火2時間認定品)	○	マンホール: SUS製 (排水・汚水・ロウ式) φ600 角
■	一般構造切通 (L05下地 構造仕様: PBD9, 5+12, 5時間認定)	○	マンホール: 鋼製 (排水・汚水・ロウ式) φ600 T-8
■	住戸内構造切通 (本階下地 構造仕様: PBD9, 5+12, 5時間認定)	○	マンホール: 鋼製 (構造排水用) φ600 T-8
▽	消火器ボックス (重量型 SUS製製品)	○	※外部マンホールは外観図参照
■	室内消火栓 (1号消火栓)	↓	コーナーガード: ゴム製製品 厚さ60×60 H=1000
RL	壁紙: 20-VF及びVFの両方		



2階平面図



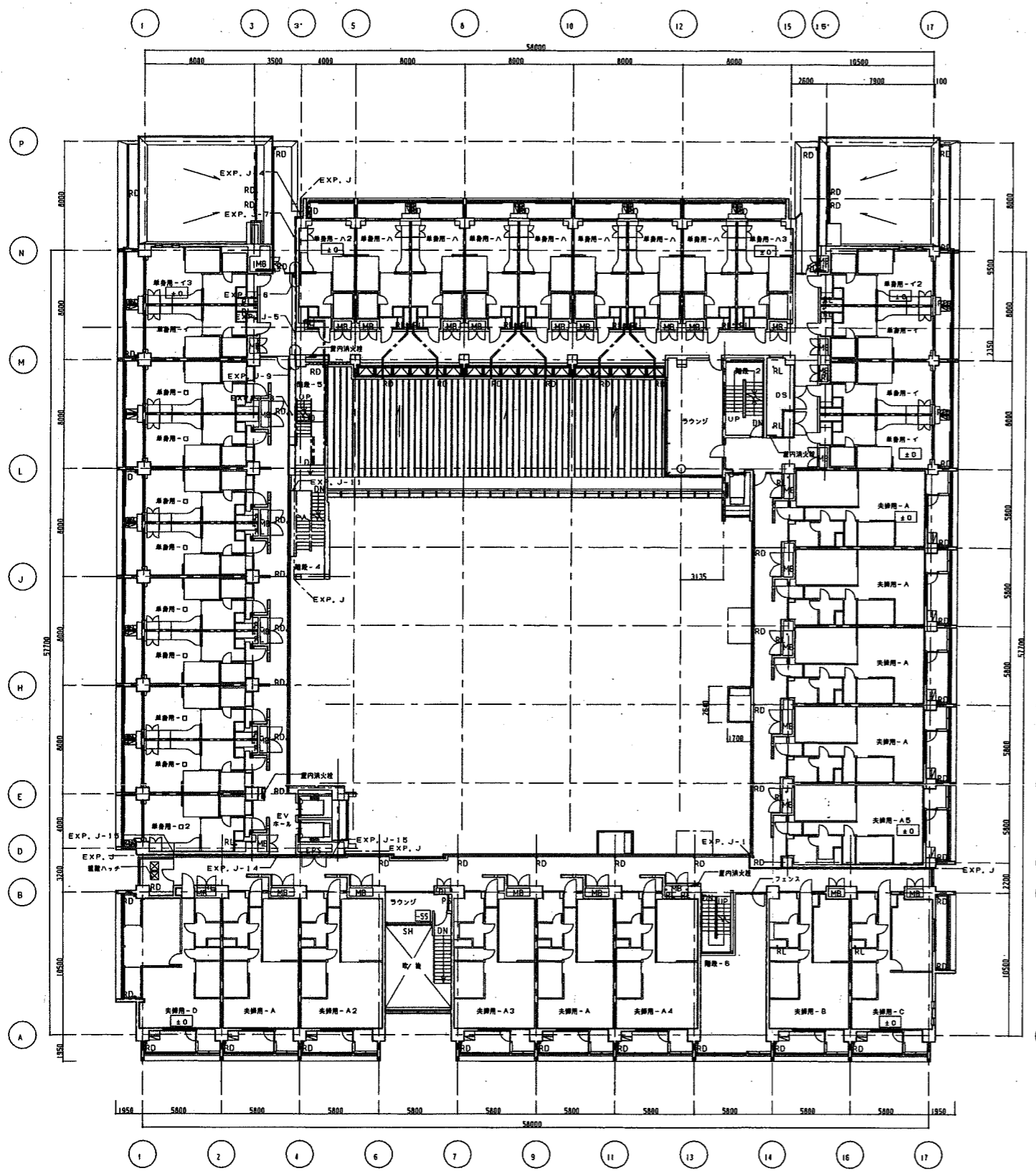
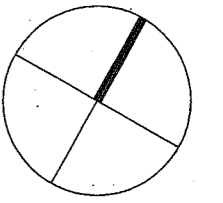
3階平面図

revisions			

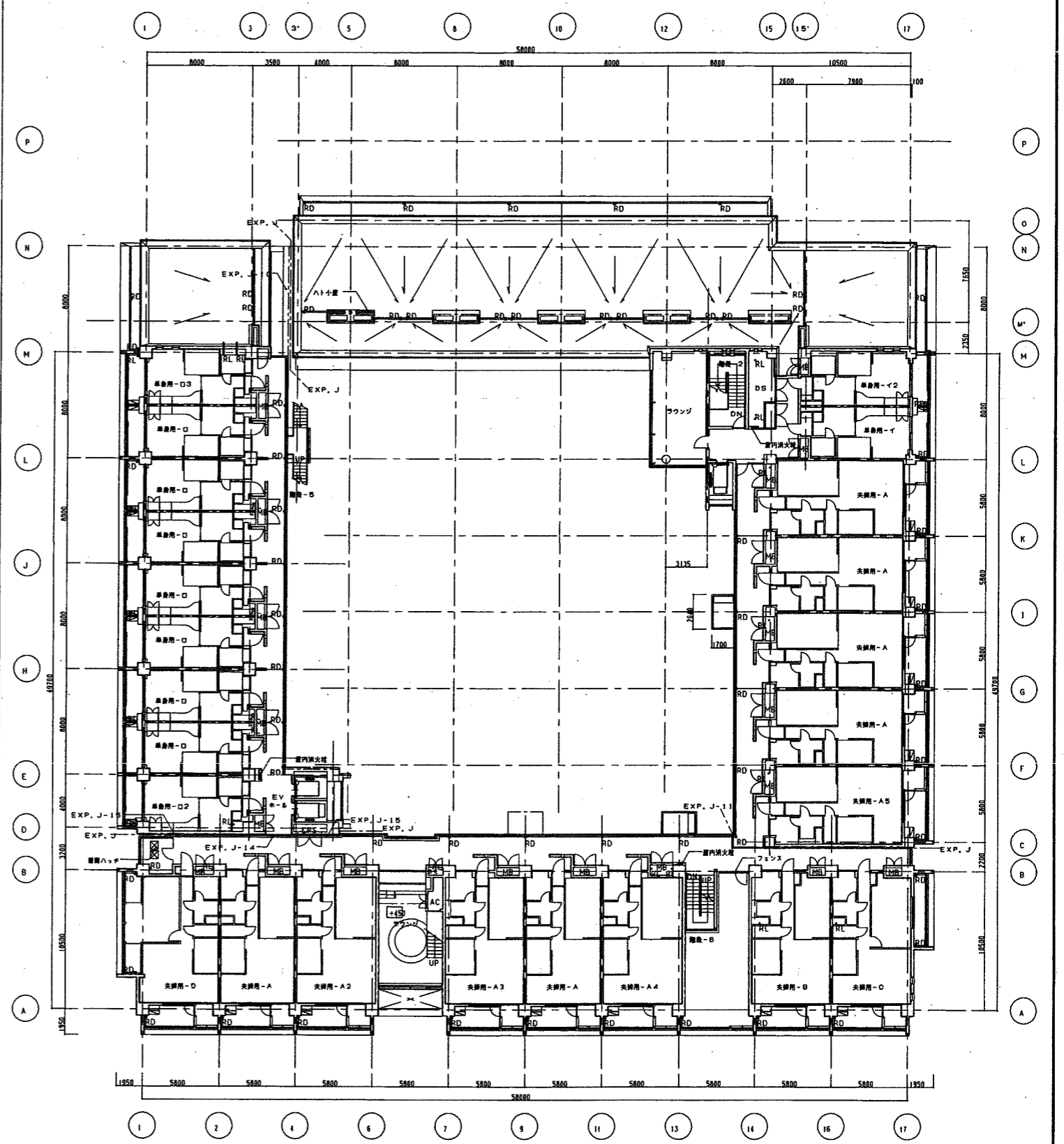
<p>松田平田・丸川設計共同企業体</p>		<p>project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎 (仮称) 建築工事</p>		<p>2・3階平面図</p>		<p>建築</p>	
<p>MHS 松田平田</p>		<p>丸川設計</p>		<p>date 99.09.30</p>		<p>drawn by checked by</p>	
						<p>scale 1/200</p>	
						<p>104</p>	

凡例

<p>RD 鋼造上りベアリング</p> <p>RC 鋼造（基礎は地盤改良及び基礎設計による）</p> <p>RC 鋼造（LGS下地 構造性能 TDL-52以上 耐火2時間認定品）</p> <p>RC 鋼造（LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間認定）</p> <p>RC 鋼造（LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間認定）</p> <p>Y 消火器ボックス（構造認定 SUS鋼造製品）</p> <p>RL 屋内外火柱（1号消火柱）</p> <p>RL 屋内外火柱（2号消火柱）</p>	<p>RD ルーフドレイン：鋼製製品 #80（水はけ防止中継器 構造上層部分は別注品）</p> <p>RC 鋼造（基礎は地盤改良及び基礎設計による）</p> <p>マンホール：SUS製（排水・雨水・ロック式）#600</p> <p>マンホール：鋼製製品（排水・雨水・ロック式）#600 T-8</p> <p>マンホール：鋼製製品（構造用木型）#600 T-8</p> <p>*外部マンホールは外観調整品</p> <p>コーナガード：ゴム製製品 規格80×60 H=1000</p>
--	--



4階平面図



5階平面図

revisions	

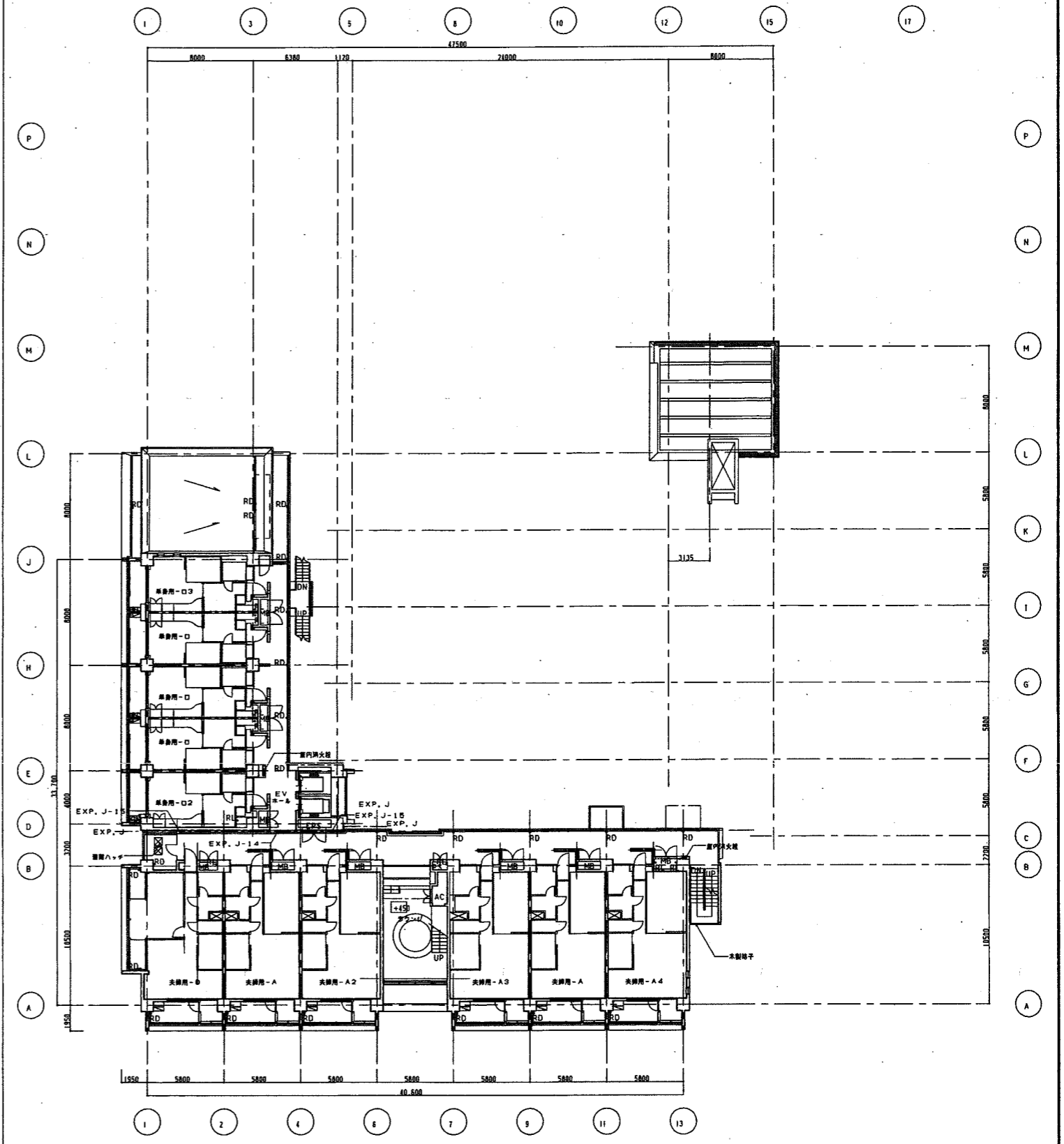
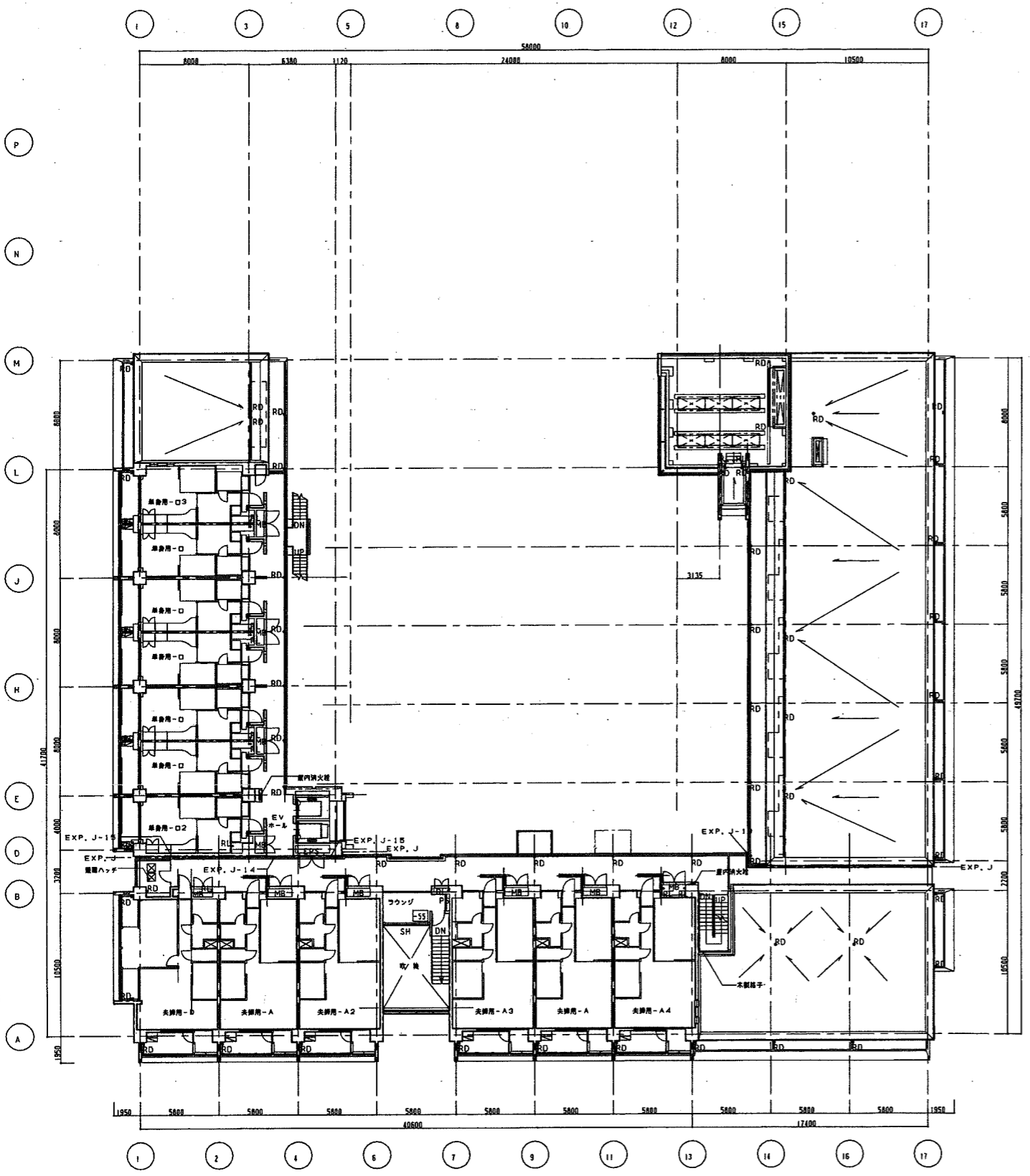
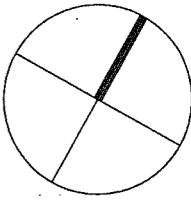
<p>松田平田・丸川設計共同企業体</p> <p>IMS 松田平田 丸川設計</p>		<p>project no. A3693</p> <p>date 99.09.30</p>	<p>つくば外国人研究者用宿舎（仮称）建築工事</p> <p>drawn by</p> <p>checked by</p>	<p>4・5階平面図</p> <p>scale 1/200</p>	<p>建築</p> <p>105</p>
--	--	---	---	-----------------------------------	----------------------

凡例

- 耐火扉 (扉は構造耐力が平均強度に等しい)
- 耐火窓 (LGS下地 構造耐力: TDL-52以上 耐火2時間保証品)
- 耐火壁 (LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間保証)
- 耐火床 (LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間保証)
- 耐火天井 (LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間保証)
- 耐火扉枠 (LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間保証)
- 耐火窓枠 (LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間保証)
- 耐火壁枠 (LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間保証)
- 耐火床枠 (LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間保証)
- 耐火天井枠 (LGS下地 耐火としてPBD9, 5+12, 5時間保証)
- 耐火扉枠 (1号耐火扉)
- 耐火窓枠 (1号耐火窓)
- 耐火壁枠 (1号耐火壁)
- 耐火床枠 (1号耐火床)
- 耐火天井枠 (1号耐火天井)

- RD
- RW
- RW
- RF
- RC
- RD
- RW
- RW
- RF
- RC

設備名	材質	寸法	数量
防火扉	鋼製	7500 x 300 x 450	4



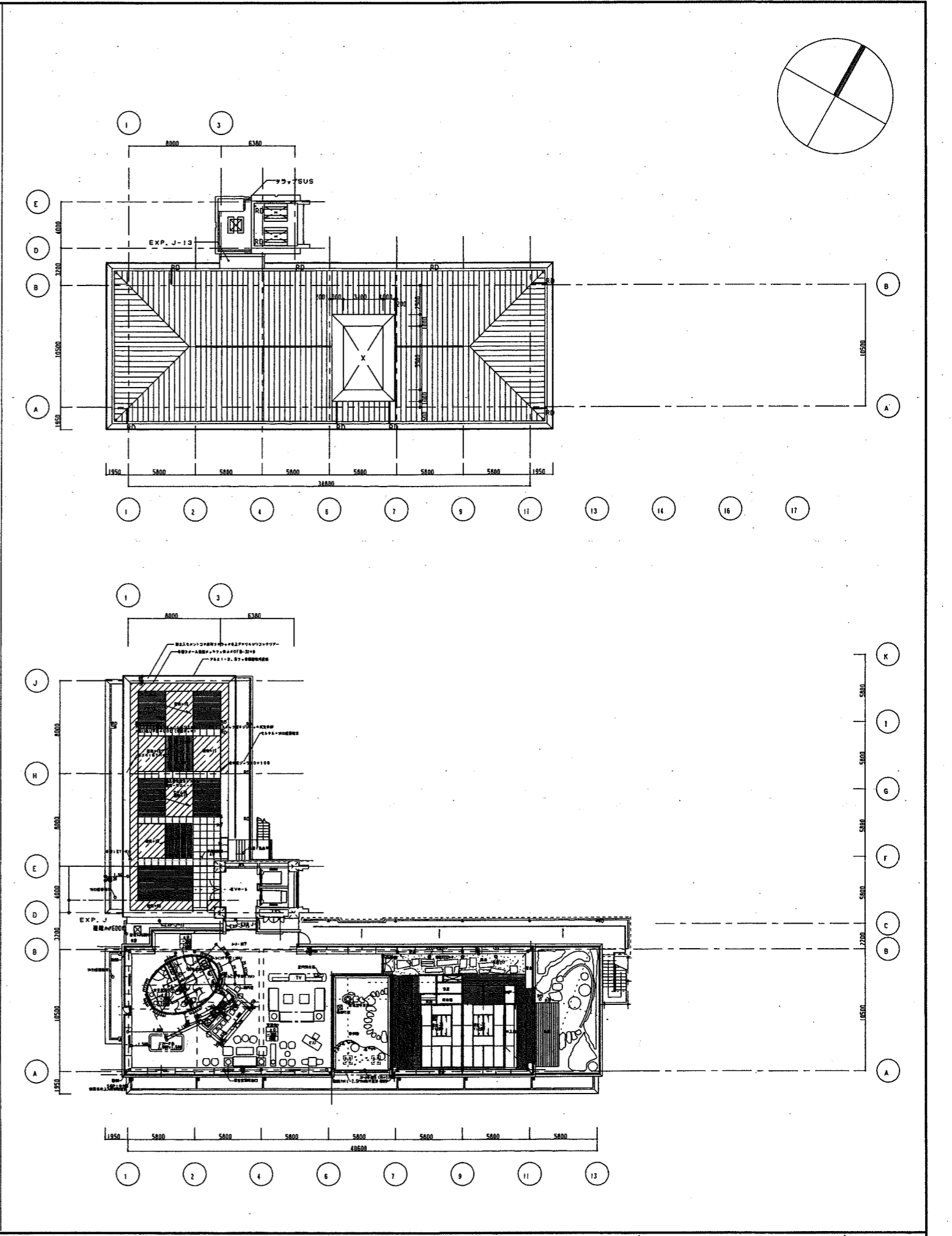
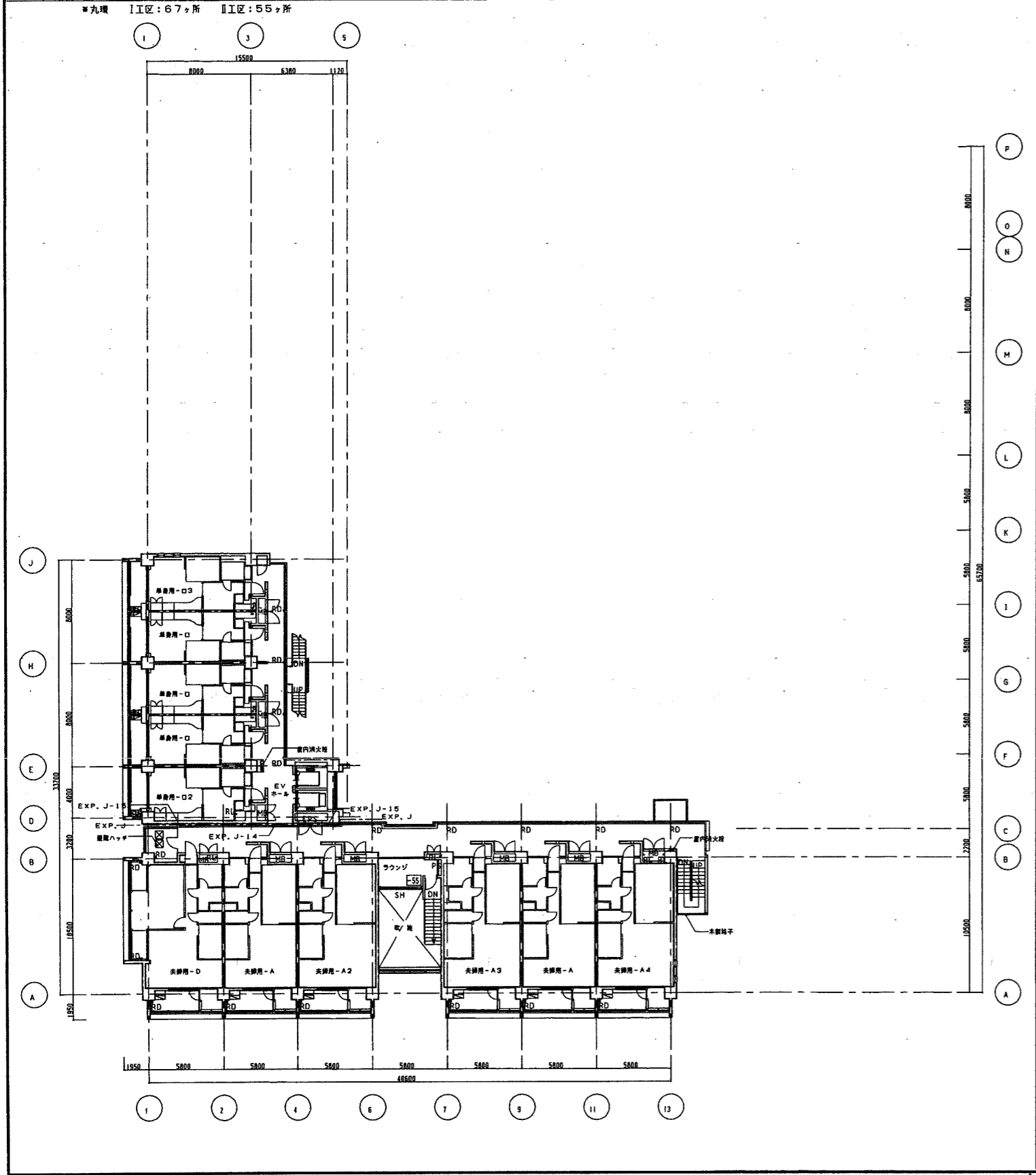
revision	description	date	drawn by	checked by

松田平田・丸川設計共同企業体
 MHS 松田平田 丸川設計

project no. A3693
 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)建築工事
 date 99.09.30
 drawn by
 checked by

6・7階平面図
 scale 1/200
 建築
 106

凡例		設備基準リスト													
<ul style="list-style-type: none"> RD 仮仕上りもを示す RC壁 (標準は鋼骨及び平鋼鉄筋による) 耐火構造 (LGS下地 構造仕様: TDL-52以上 耐火2時間指定) 一般構造 (LGS下地 鋼筋としてPRD9, 5+12, 5鋼筋) 住戸内構造 (木造下地 鋼筋としてPRD9, 5+12, 5鋼筋) 消火器ボックス (標準品 SUS製製品) 室内消火栓 (1号消火栓) RL 設備: ※VP及びVP30mmの接続 	<ul style="list-style-type: none"> RD ☒ ⊕ ○ ↓ 	<ul style="list-style-type: none"> ルーフドレイン: 鋼製φ80 (又は樹脂製中継品 屋上部分は別注) 雨水排水 (建築工事) 及び前までの雨水配管 (建築工事) が無いものを示す マンホール: SUS製 (排水・ロウ式) 800円 マンホール: 鋼製 (排水・ロウ式) φ600 T-6 マンホール: 鋼製 (臭気防止型) φ600 T-6 ※外部マンホールは別図参照 コーナガード: ゴム製製品 規格60×60 H=1000 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>対象機器</th> <th>L × W × H</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PH間</td> <td>鋼製水栓</td> <td>1200 × 300 × 600</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>配管機</td> <td>1810 × 300 × 650</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	設備名	対象機器	L × W × H	数量	PH間	鋼製水栓	1200 × 300 × 600	2		配管機	1810 × 300 × 650	4
設備名	対象機器	L × W × H	数量												
PH間	鋼製水栓	1200 × 300 × 600	2												
	配管機	1810 × 300 × 650	4												

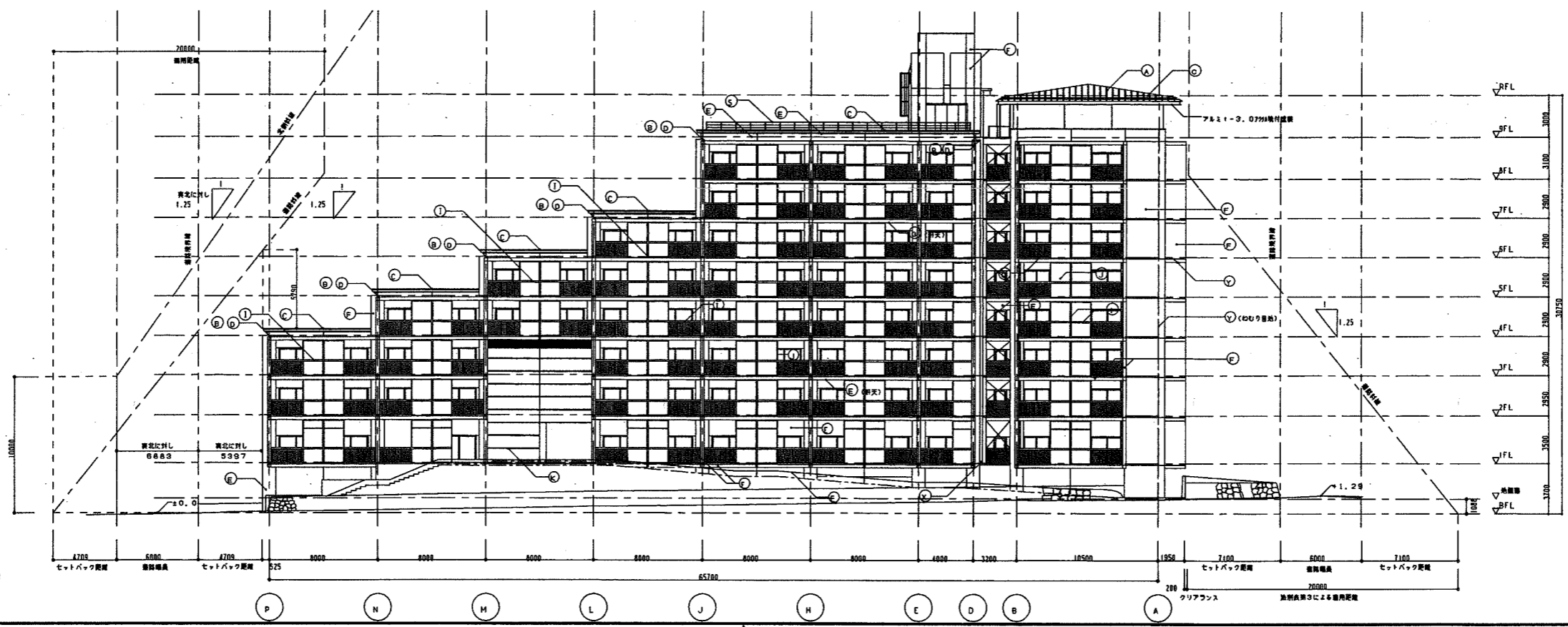
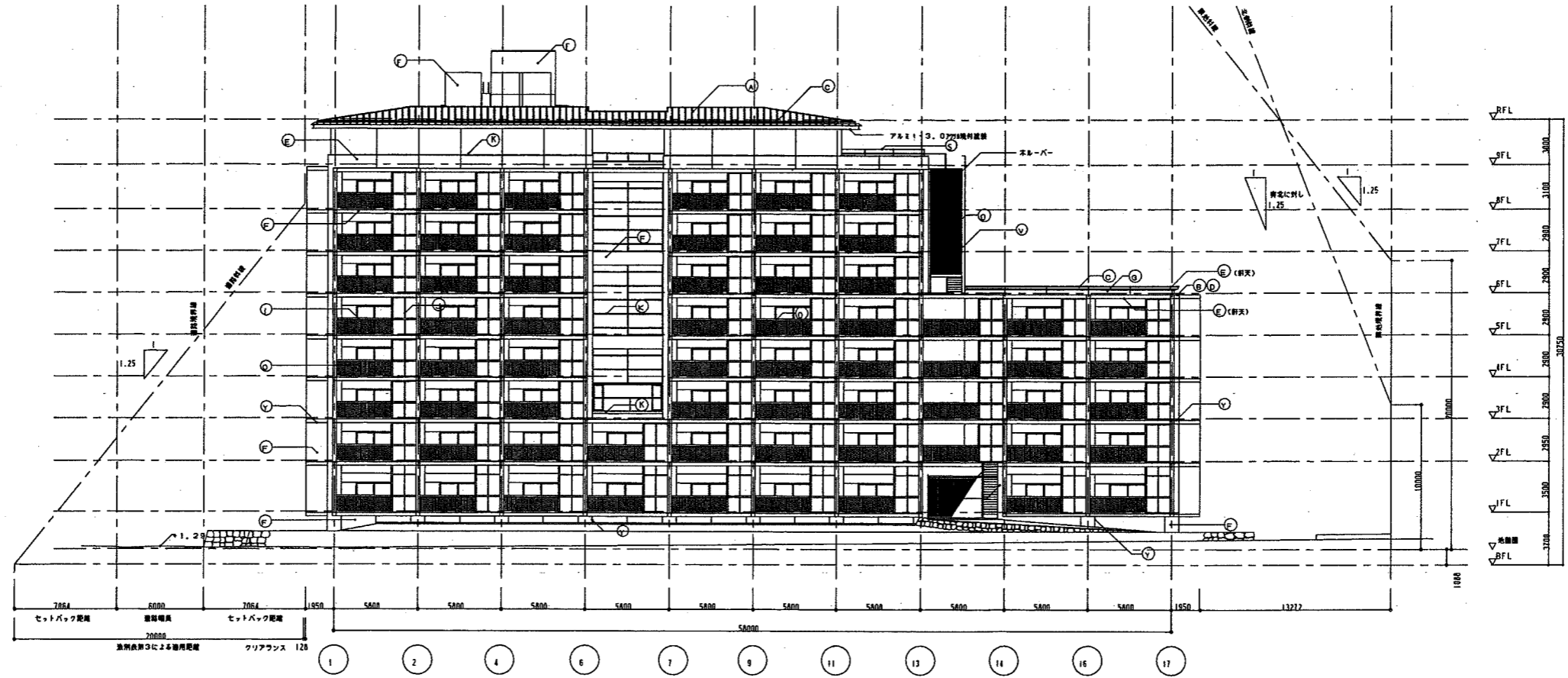


revisions		

松田平田・丸川設計共同企業体 		project no. A3693	つくば外国人研究者用宿舎 (仮称) 建築工事	8・9・PH階平面図	建築
date 99.09.30	drawn by	checked by	scale 1/200	107	

- A 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- B アルミ1-2, 5 7798焼付塗装
- C アルミ1-2, 5 7798焼付塗装
- D 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- E 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- F 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- G 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- H 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- I 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- J 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- K 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- L 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- M 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- N 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- O 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- P 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- Q 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- R 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- S 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- T 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- U 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- V 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- W 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- X 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- Y 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)
- Z 特殊鋼金式手摺り (フッ素膜 1-0, 45)

建物の基礎は、前面道路の中心線の高低点: BIFL±0.0とする



revisions	date	drawn by	checked by

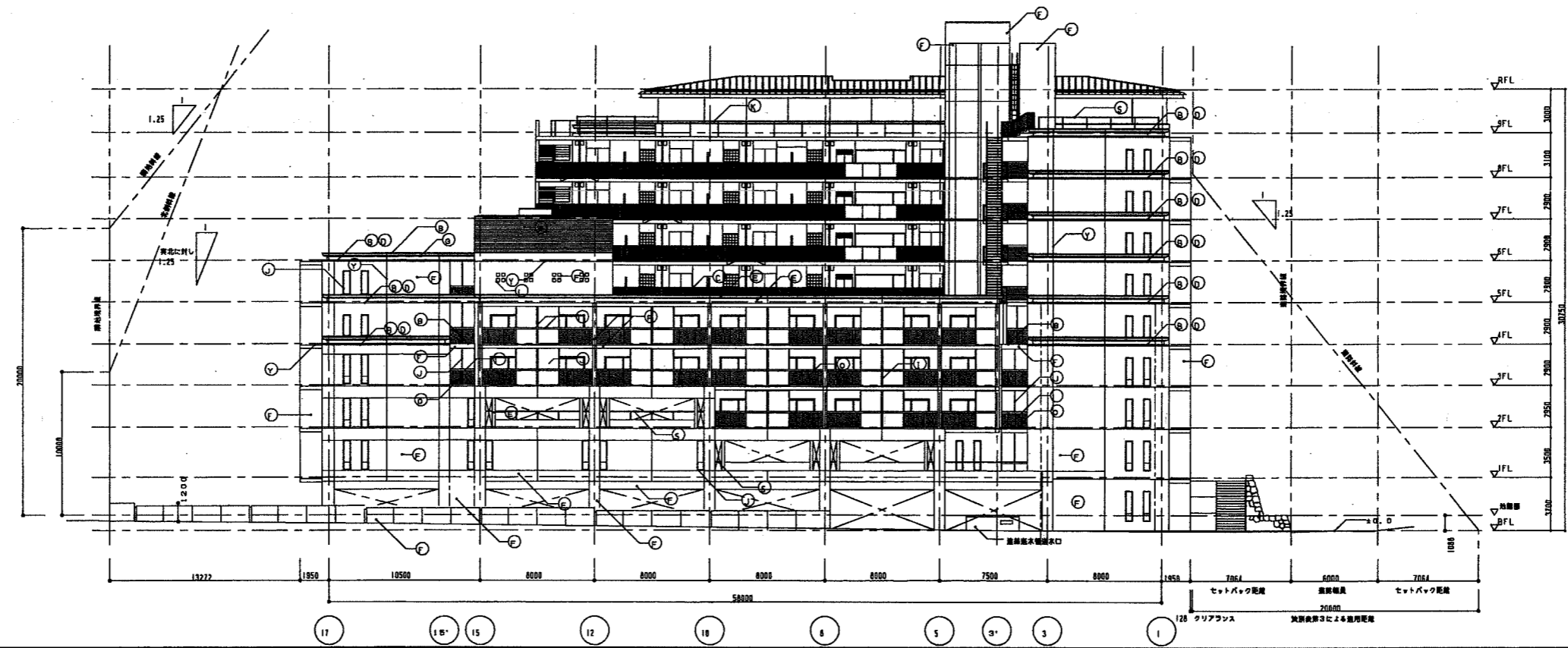
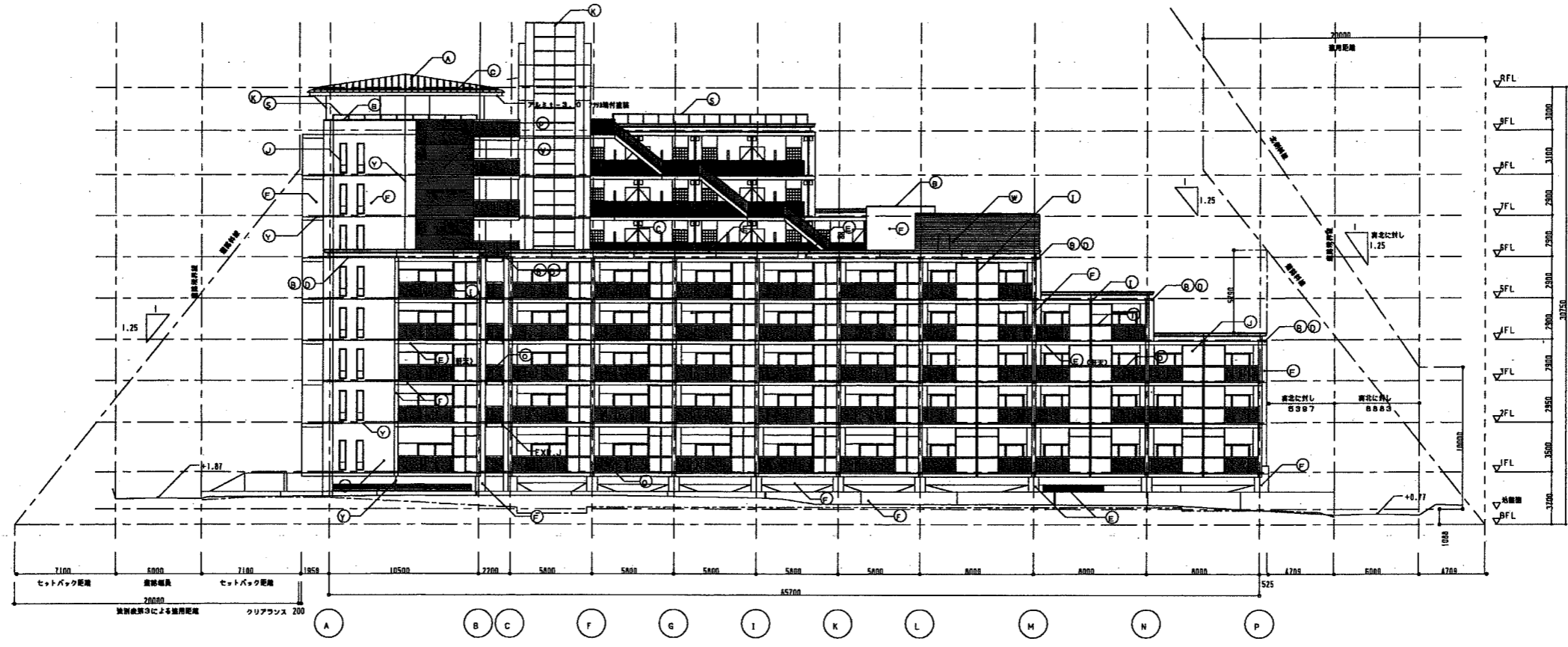
松田平田・丸川設計共同企業体
 松田平田 丸川設計

Project no. A3693
 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)建築工事
 date 99.09.30
 drawn by
 checked by

立面図-(南・西)
 scale 1/200
 108

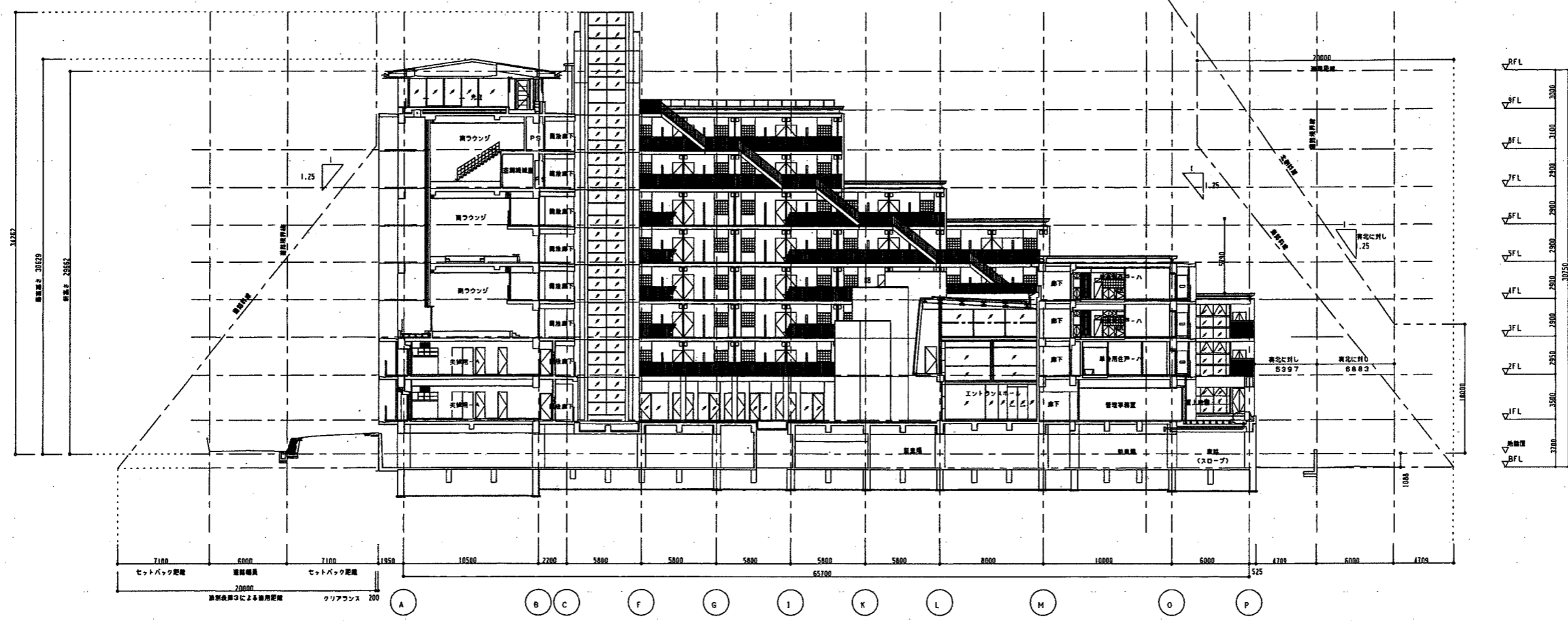
- 外壁仕上り
- ① 特殊複合式平屋葺き (フッ素調膜 1-0.45)
 - ② アルミ1-2, 5 フッ素樹脂塗装
 - ③ アルミ1-2, 5 フッ素樹脂塗装
 - ④ 新発着物 アルミFB 1-8 フッ素樹脂塗装
 - ⑤ 合板調工メタルシェン風外装仕上り材
 - ⑥ 外装用高強度工メタルシェン風外装仕上り材
 - ⑦ 外装用合板調工メタルシェン風外装仕上り材
 - ⑧ 化粧コンクリート打設仕上げ外装調膜
 - ⑨ アルミ 100×80 アルミマット仕上
 - ⑩ アルミシェン 電線2次管色
 - ⑪ アルミシェン アルミマット風調
 - ⑫ ガラスブロック
 - ⑬ 鋼板付ス
 - ⑭ 外装調膜 スチール 1-18 鋼板付スチール調膜塗装
 - ⑮ 本手調A
 - ⑯ 本手調B
 - ⑰ アルミT-50×75 アルミ電線2次管色 (アルミマット風調)
 - ⑱ スチール平手A
 - ⑲ 手摺: ST 角パイプ32×14 手摺子: ST 角鋼12.70
 - ⑳ 支柱: ST 角パイプ32×14 (鋼板付スチール+40上フッ素樹脂塗装)
 - ㉑ スチール平手B
 - ㉒ 手摺: ST FB 32×9 鋼板付スチール調膜塗装
 - ㉓ 手摺子: ST FB 32×9 鋼板付スチール+フッ素樹脂塗装
 - ㉔ SUS FB 50×12HL+ポリウレタンコート亜鉛めっき
 - ㉕ ネルバーA
 - ㉖ ネルバーB
 - ㉗ ガラスクリーン フッ素樹脂塗装
 - ㉘ CRゴム (EXP. J)
 - ㉙ 鋼板付シリコンシーリング

基礎断面の基準点は、基礎断面の中心の高さを±0.0mとする

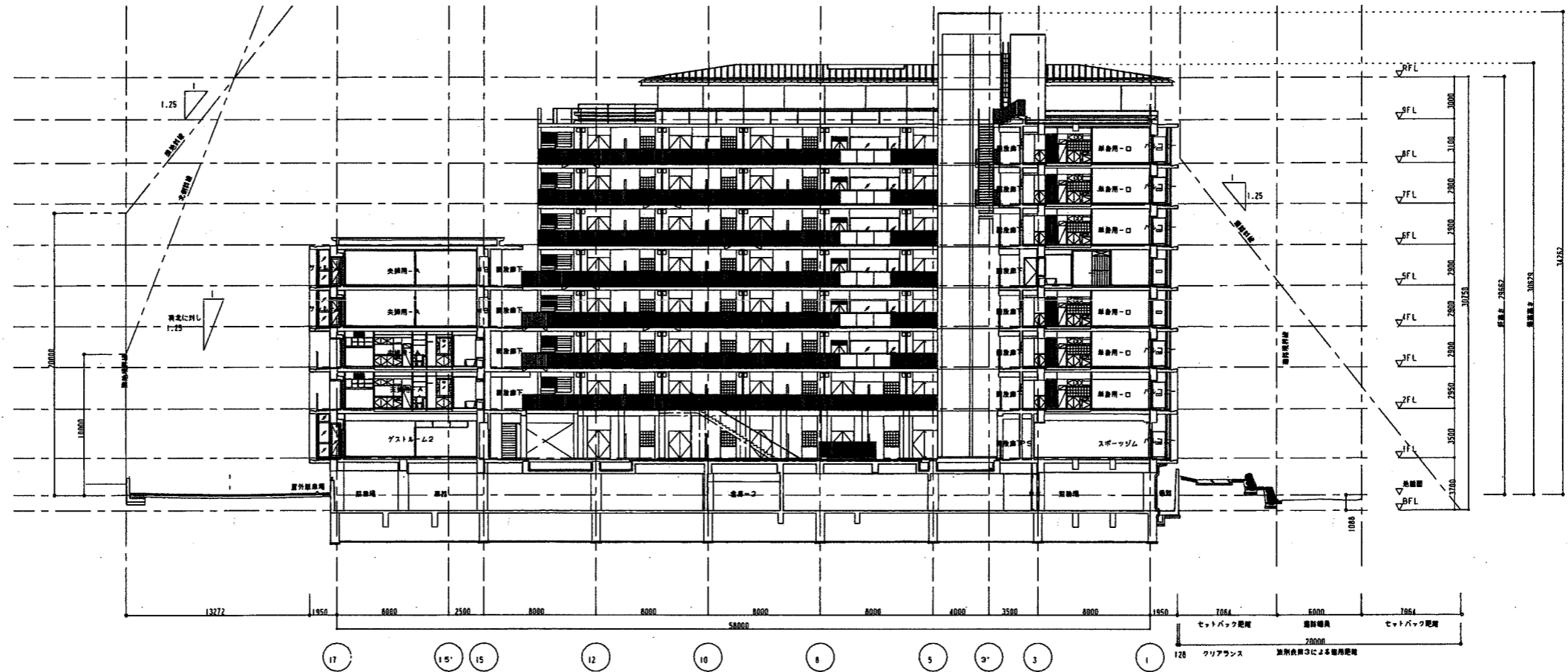


revisions		

松田平田・丸川設計共同企業体		project no. A3693	つくば外国人研究者用宿舎(仮称)建築工事	立面図-(東・北)	建築
MHS 松田平田 丸川設計		date 99.09.30	drawn by	checked by	109
				scale 1/200	



建築材料の基準点、断面図の階層の中心の高さをBFL±0.0とする



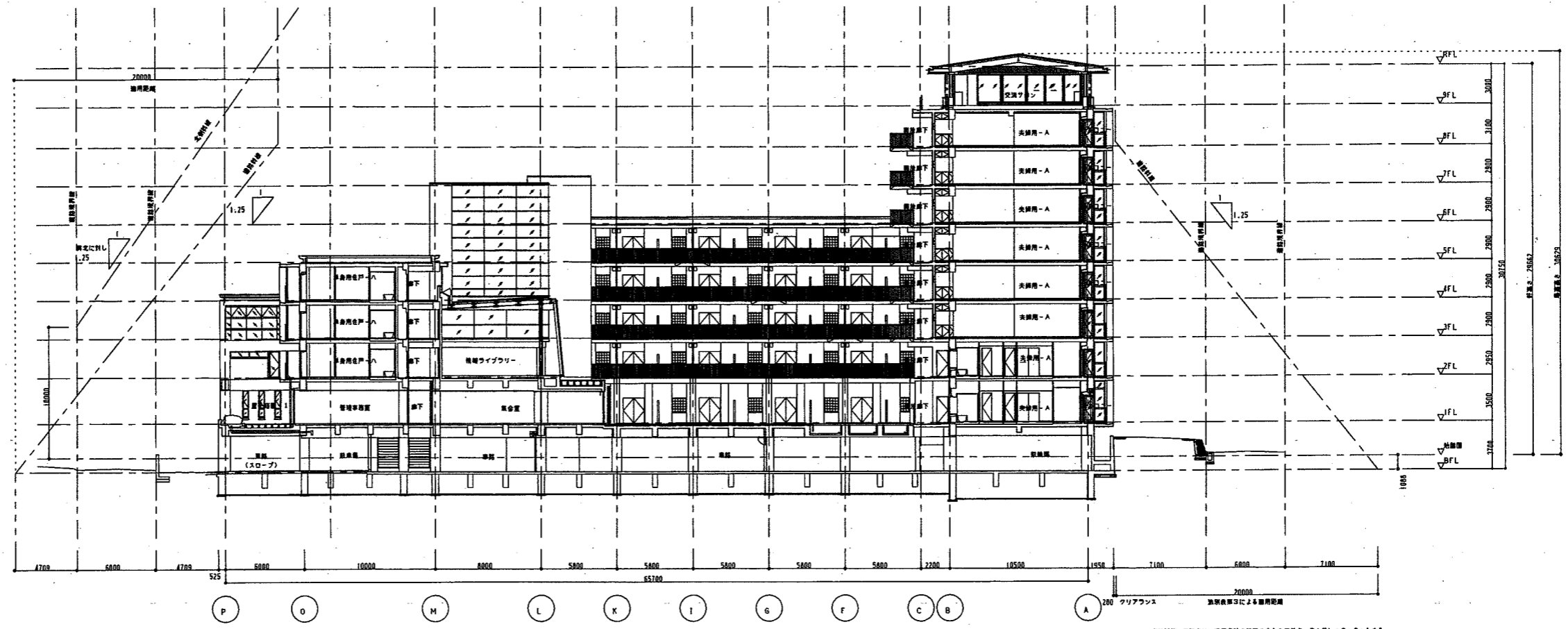
建築材料の基準点、断面図の階層の中心の高さをBFL±0.0とする

revisions		

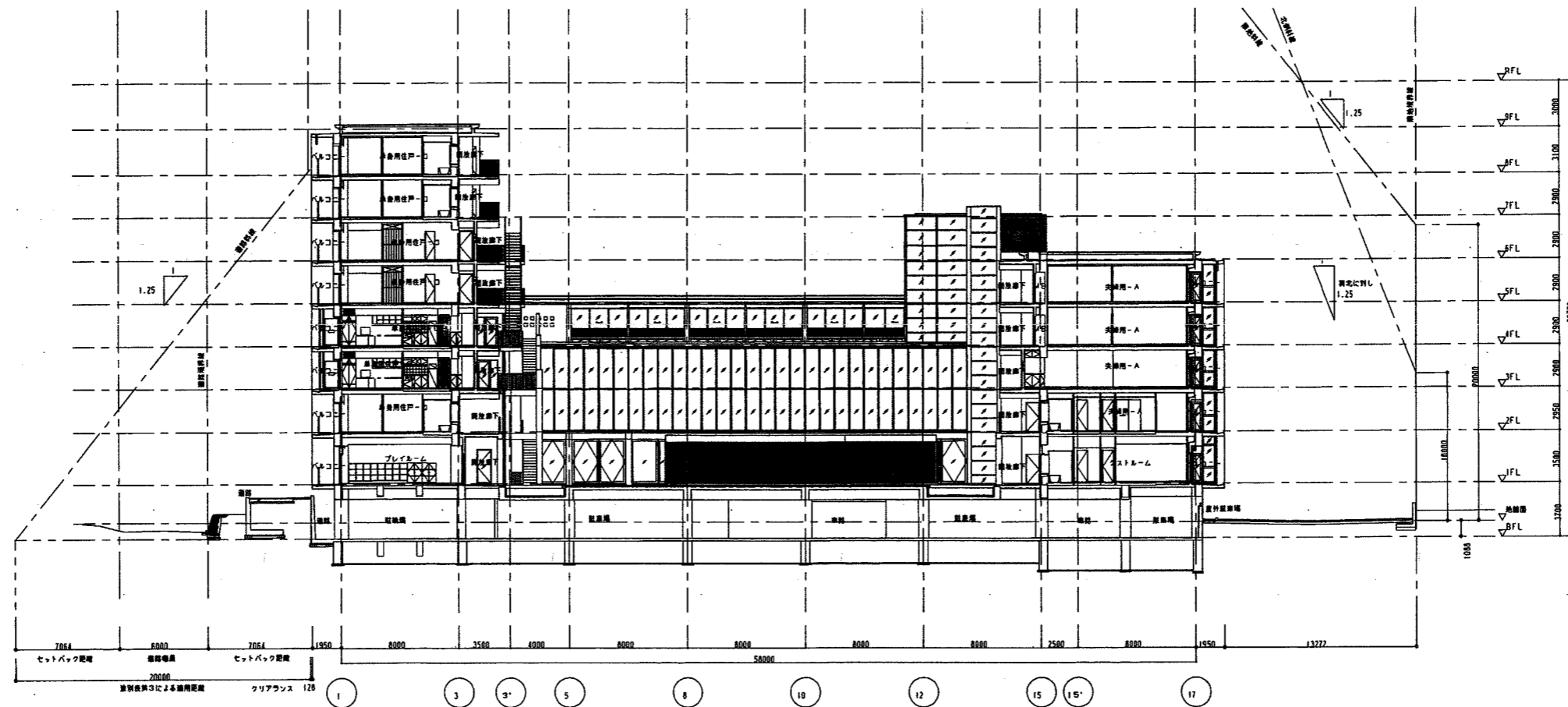
松田平田・丸川設計共同企業体
 MHS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)建築工事
 date 99.09.30 drawn by checked by

断面図-1
 scale 1/200
 建築 110



構造材の基準点は、断面図の設置の中心の基準点: B1FL±0, Oとする



revisions	date	description

松田平田・丸川設計共同企業体
 MHS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舍(仮称)建築工事
 date 99.09.30 drawn by checked by

断面図-2
 scale 1/200
 建築 III

階	室名	床高 (スラブ高)	床				壁		見切縁	天井		天井高	備考 [〆フレン、3.2、5.0、6.0、7.0、8.0、9.0、10.0]	材料略号		
			下地	厚	仕上	厚	巾木	下地		仕上	下地				仕上	
地下1階	EVAホール-1	±0 (-10)		0	ビニル床シートA	10	ビニル巾木 H100	コンクリート打渡し	合成樹脂化粧繊維紙(薄塗材E)	壁紙	LGS + PBD0.5	AMB-B	2500			
	EVAホール-2	±0 (-10)		0	ビニル床シートA	10	ビニル巾木 H100	コンクリート打渡し	合成樹脂化粧繊維紙(薄塗材E)	壁紙	LGS + PBD0.5	AMB-B	2500			
	EVAホール受付-1,2 歩行者専用	±0 (-10)	コンクリート打渡し	10	新築塗装		新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	合成樹脂化粧繊維紙(薄塗材E)	壁紙	LGS + ACSB-B	エポキシエマルジョン系薄塗料	2600			
	清掃員控室	+235 (-10)	新築コンクリート	57	ビニル床シートC	3	ビニル巾木 H80	コンクリート打渡しPBD-12.5 (GL工法)	珪藻土壁紙	壁紙	LGS	化粧PBD0.5	2400	床しきり・床すべり L=1500 (未設置) ライニング W=180 SUS304HL フラインドボックス:S1-1.6BAP		
	南側倉庫	+235 (-10)	新築コンクリート	10	樹脂化粧材	0	新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	エポキシエマルジョン系薄塗料	-	-	コンクリート打渡しのまま	スラブ下	地盤 ゴミ等		
	駐車庫 駐車庫	±470 (-10)	コンクリート打渡し	10	新築塗装	0	新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	合成樹脂化粧繊維紙(薄塗材E)	壁紙	LGS + ACSB-B	エポキシエマルジョン系薄塗料	2600	床しきり:コンクリートブロック 一部2600 一部2790 排水溝:一部SUSグレーチング(T-2)		
	受水庫	-1760 (-1760) 一部 ±0	コンクリート打渡し	10	新築塗装	0	新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	珪藻土壁紙	-	-	コンクリート打渡しのまま	スラブ下	珪藻土壁紙 幅: 1000×2250×H100 排水モジュール=30		
	消火ポンプ室	±0 (-10)	コンクリート打渡し	10	新築塗装	0	新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	コンクリート打渡しのまま	-	-	コンクリート打渡しのまま	2050	珪藻土壁紙 マンホール、打込みクワップ		
	気体検知装置 ガスメーター室	±0 (-10)	コンクリート打渡し	10	新築塗装	0	新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	コンクリート打渡しのまま	-	-	コンクリート打渡しのまま	スラブ下 2050 (ガスメーター室)	珪藻土壁紙		
	ファンルーム -1 ファンルーム -2	-10 (-10)		0	新築塗装	0	新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	グラスウール充填壁 1-25 グラスクロス押入	-	コンクリート打渡し	グラスウール充填壁 1-25 グラスクロス押入	スラブ下	珪藻土壁紙		
	消音チャンバー	-10 (-10)		0	新築塗装	0	新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	コンクリート打渡しのまま	-	コンクリート打渡し	コンクリート打渡しのまま	スラブ下	排水目径φ100×2 (排水工事)		
	受水庫	-1460 (-1460) 一部 ±0	コンクリート打渡し	10	新築塗装	0	新築塗装 H=100	コンクリート打渡しの上 珪藻土壁紙	グラスウール充填壁 1-25 グラスクロス押入	-	コンクリート打渡し	グラスウール充填壁 1-25 グラスクロス押入	スラブ下	幅: 1500×1500×H750 排水モジュール=30 一部珪藻土コンクリート打渡しのまま		
	MDF室	+50 (-10)	新築コンクリート	80	新築塗装	0	新築塗装 H80	コンクリート打渡し	コンクリート打渡しのまま	-	-	コンクリート打渡しのまま	スラブ下			
	倉庫-1,2	±0 (-10)	モルタル	7	新築塗装	0	新築塗装 H80	コンクリート打渡し	コンクリート打渡しのまま	-	コンクリート打渡し	コンクリート打渡しのまま	2050			
	倉庫-3	+200 (+180)	コンクリート打渡し	10	新築塗装		新築塗装 H=100	コンクリート打渡し	コンクリート打渡しのまま	-	-	コンクリート打渡しのまま	1850			
	1階	駐車庫	±0 (-100)	モルタル	80	樹脂化粧材貼	20	大理石 H30	コンクリート打渡し	大理石	-	LGS	大理石貼付	2540		
		エントランスホール	±0 (-100)	モルタル	80	樹脂化粧材貼	20	大理石 H30	コンクリート打渡し	大理石	目隠し	LGS + PBD12.5+12.5	全部カンレイツツ貼の上 EP-2	8400	受付カウンター:花崗石C本磨き	
		集合室	±0 (-100)	LC押入 一部LC押入+換気合板1-12.0	52 81	タイルカーペットA 一部フローリングA	8 19	木巾木 (40×20×20) H80	コンクリート打渡し PBD-12.5 一部LGS+PBD-12.5+9.5 一部LGS+PBD-12.5+12.5 (感音壁)	新築バネ(素材)F40HP (仕上)F40HP 珪藻土壁紙 一部珪藻土壁紙	壁紙	LGS + PBD12.5+9.5 LGS + PBD12.5	ガラスクロス EP-2 (南ゾーン) AMB-B (北ゾーン)	2450 一部2400	システムキッチン: SUSフード付、換気化油機 ブラインドボックス: 珪藻土色CL (電線ローンスクリン)	
電配BOX室		±0 (-100)	モルタル	80	タイルカーペットB		ビニル巾木 H80	コンクリート打渡しPBD-12.5 (GL工法) 一部LGS + PBD-12.5+9.5	珪藻土壁紙	壁紙	LGS + PBD0.5	AMB-B	2400	電配ボックス: フラインドボックス:S1-1.6 BAP 珪藻土壁紙 H=500 換気扇		
倉庫		±0 (-100)	LC押入	80	タイルカーペット	20	ビニル巾木 H80	コンクリート打渡しPBD-12.5 (GL工法) LGS+PBD-12.5+12.5 (感音壁)	珪藻土壁紙	-	LGS + PBD0.5	AMB-B	2540	フラインドボックス:S1-1.6 BAP		
管理事務室		±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	ビニル巾木 H80	コンクリート打渡し 一部LGS+PBD-12.5+9.5 (感音壁)	珪藻土壁紙	壁紙	LGS + PBD0.5	AMB-B	2600	フラインドボックス:S1-1.6 BAP		
受付																
TELコーナー		±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	ビニル巾木 H80	コンクリート打渡し 一部LGS + PBD-12.5+9.5	珪藻土壁紙	壁紙	LGS + PBD0.5	AMB-B	2200	珪藻土壁紙: 珪藻土色CL TELカウンター: 珪藻土色CL、タイルカーペット		
研修室		±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	木巾木 (40×20) H80	コンクリート打渡し PBD-12.5 一部LGS + PBD-12.5+12.5 (感音壁)	珪藻土壁紙 (ラッパ)	壁紙	LGS + PBD12.5+9.5	ガラスクロス EP-2	2250	フラインドボックス: 珪藻土色CL ビニルカーペット L=5000×2 サイドボード、換気化油機 パーテーション		
倉庫-4		±0 (-100)	LC押入	0	ビニル床シート	100	ビニル巾木 H80	一部LGS + PBD-12.5+12.5 (感音壁) LGS + PBD-21+21 (2時間以上耐火) LGS + PBD-12.5+9.5	珪藻土壁紙	壁紙	LGS + PBD0.5	AMB-B	2400			
セミナー室-1		±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	ビニル巾木 H80	コンクリート打渡し LGS + PBD-12.5+9.5	珪藻土壁紙		LGS + PBD0.5	AMB-B	2540	フラインドボックス:S1-1.6 BAP 珪藻土		
セミナー室-2		±0 (-100)		0	OAフロア・タイルカーペット	100	ビニル巾木 H80	コンクリート打渡し LGS + PBD-12.5+9.5	珪藻土壁紙		LGS + PBD0.5	AMB-B	2540	フラインドボックス:S1-1.6 BAP 珪藻土 スクリーンボックス		
カウンティングルーム1-2	±0 (-100)			珪藻土床Bの上換気合板12.0		木巾木 (ナラ無垢)		クロス			クロス	2540				
						ビニル床シート		クロス			クロス					

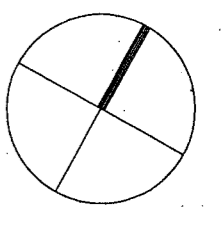
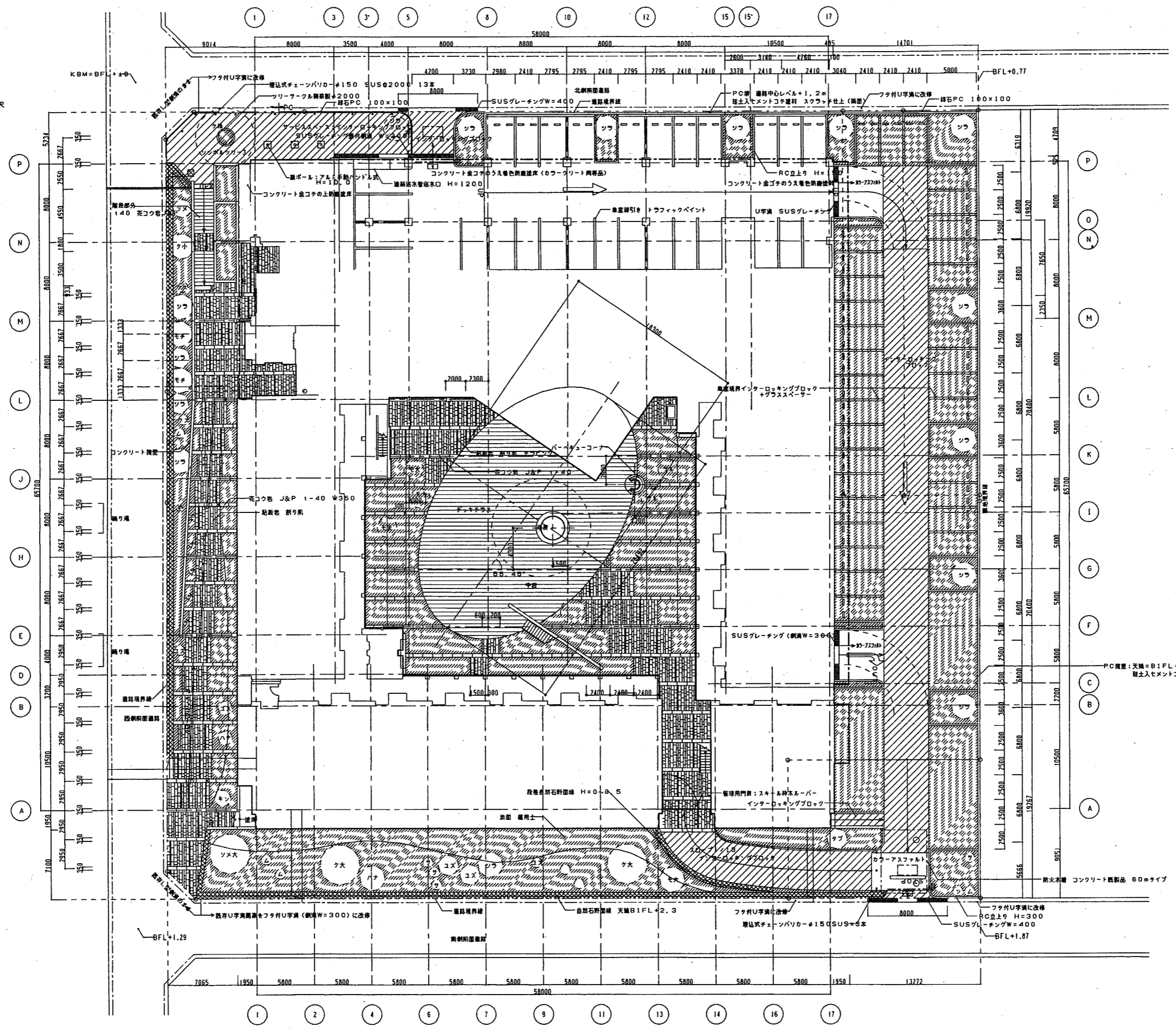
revisions

project no.	A3693	松田平田・丸川設計共同企業体	Project no.	A3693	つくば外国人研究者用宿舎(仮称) 建築工事	仕上表-1	建築		
date	99.09.30	松田平田	date	99.09.30	drawn by	checked by	scale	1/200	201

103

凡例

±0	計画レベル (BIFL=±0) を示す
○	マンホール: 鋼鉄製 (耐腐蝕水型) 600φ T-20 *耐火水罐マンホールはつば市指定のものとする。
[Hatched Pattern]	花コウ石 1-40 J&P 350×700~100
[Hatched Pattern]	粘板粘り肌・セラミック・1-12×20. 幅300. 200. 100×乱尺
[Hatched Pattern]	透水性インターロッキングブロック
[Hatched Pattern]	庭敷部分 (詳細は植栽図参照)
[Hatched Pattern]	天然石野面積み



revisions

松田平田・丸川設計共同企業体
 松田平田 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎 (仮称) 建築工事
 date 99.09.30 drawn by checked by

外観図-1 簡設計計画図
 scale 1:200
 建築 601

凡例

	きつ巻 (サツキ、アセビ、ツバキ) H=0.5、8巻/mf
	ヒラドツツジ 80P/mf
	足跡 コウライ定目地盤
	雨水性インターロッキングブロック

植栽リスト

建物外周部分

樹種	H x W	標準寸	本数	支持方法
高木 シンボクリー 2	ソメイヨシノ	8.0 x 5.0	0.6	1
シンボクリー 3	ケヤキ	8.0 x 株立	1.0	1
ケ大	ケヤキ	8.0 x 3.5	0.5	2
ケ小	ケヤキ	7.0 x 2.0	0.5	1
シラ	シラカシ	6.0 x 2.0	0.5	15
クス	クス	4.0 x 1.2	0.4	2
モチ	モチノキ	6.0 x 2.0	0.5	2
ユズ	ユズリハ	4.0 x 1.2	0.2	8
ソメ	ソメイヨシノ	4.0 x 2.0	0.25	1
ハナ	ハナズキ	4.0 x 1.5	0.2	2
キン	キンモクセイ	4.0 x 1.8	-	2
モ大	モミジ	3.5 x 1.8	0.21	1

高木合計本数 35

小高木

ム	ムクゲ	2.0 x 0.6	0.6	7
ツ	ツバキ	2.0 x 0.6	0.6	1
モ	モミジ	2.0 x 0.6	0.6	2
サ	サツキ	2.0 x 0.7	0.7	8

小高木合計本数 18

低木 きつ巻 8巻/mf 477

地盤 200

緑地面積 別紙参照

中庭部分

高木 シンボクリー 1	モミジ	5.5 x 8.0	0.71	1
モ大	モミジ	3.5 x 1.8	0.21	3
サル	サルスベリ	3.5 x 1.5	0.21	2
モミ	モチノキ	4.0 x 1.2	0.4	1

小高木

ム	ムクゲ	2.0 x 0.6	0.6	2
ツ	ツバキ	2.0 x 0.6	0.6	1
モ	モミジ	2.0 x 0.6	0.6	1

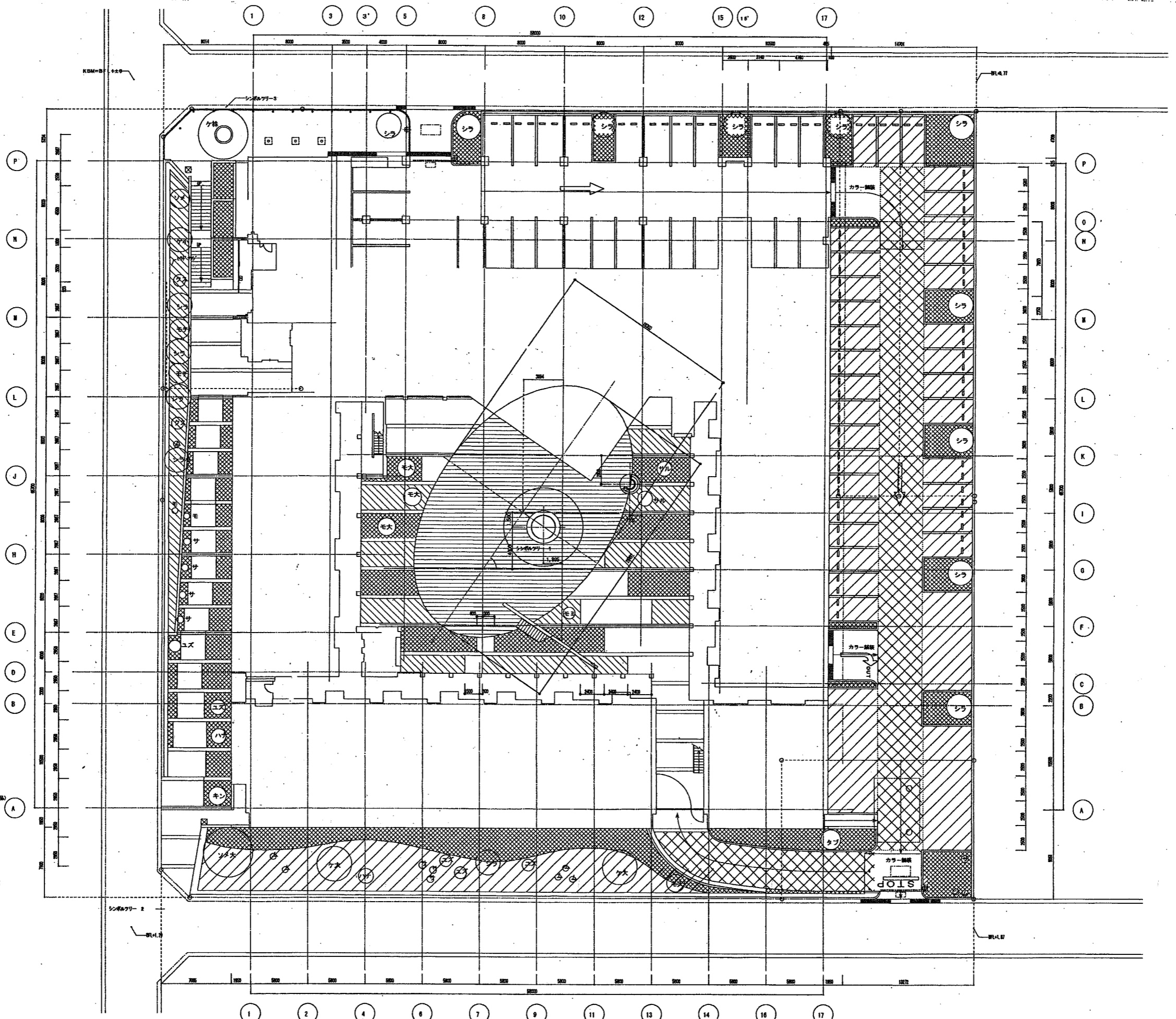
低木 きつ巻 8巻/mf 270

シラガクラ 80P/mf 13.8

※GB 細目緑化用アンカー式地下支柱 (東洋レオグランドサポートGB-10特等品)

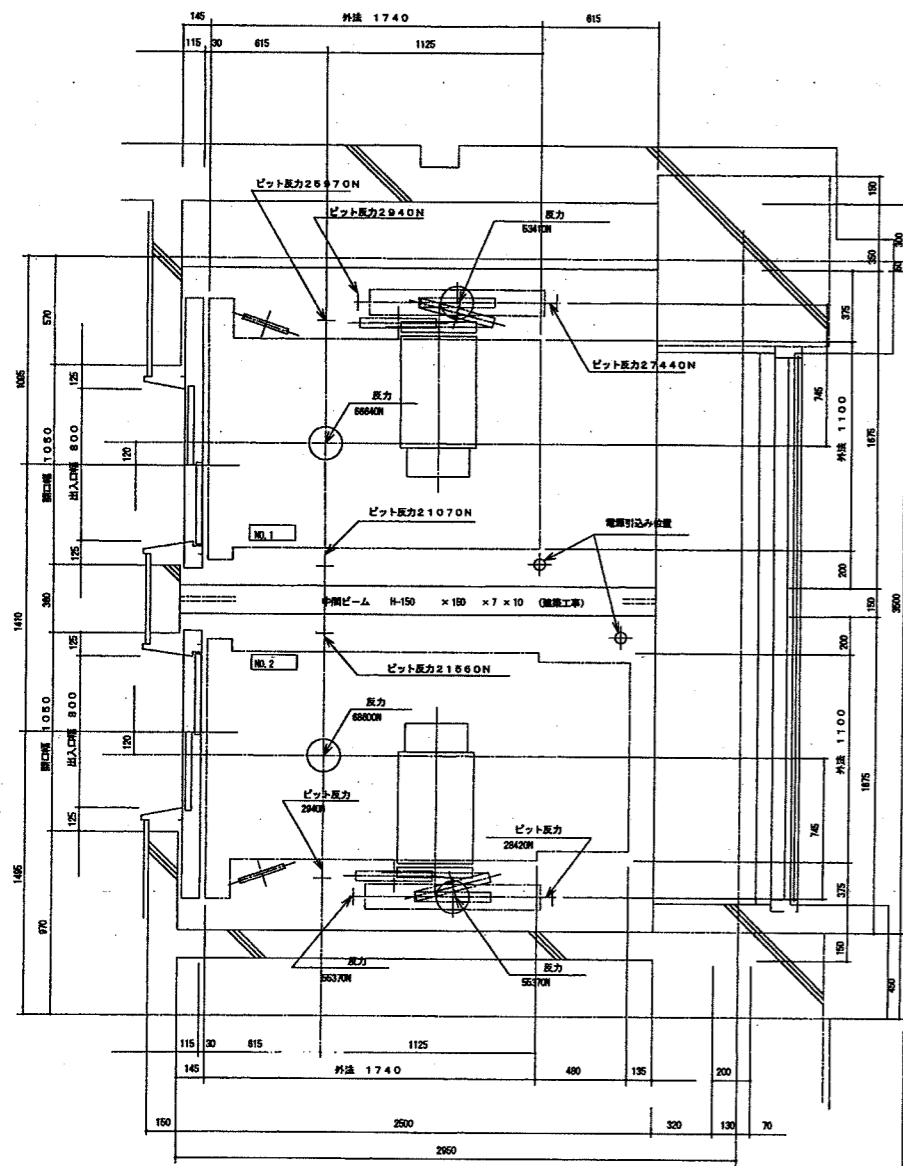
※SGB 細目緑化用横打式地下支柱 (東洋レオスーパーグランドサポートSGSシリーズ特等品) とし、それぞれ高木・中庭部分に応じたサイズの支柱を用いるもの (上記表参照) とする

※ 専土は地穴専土とする

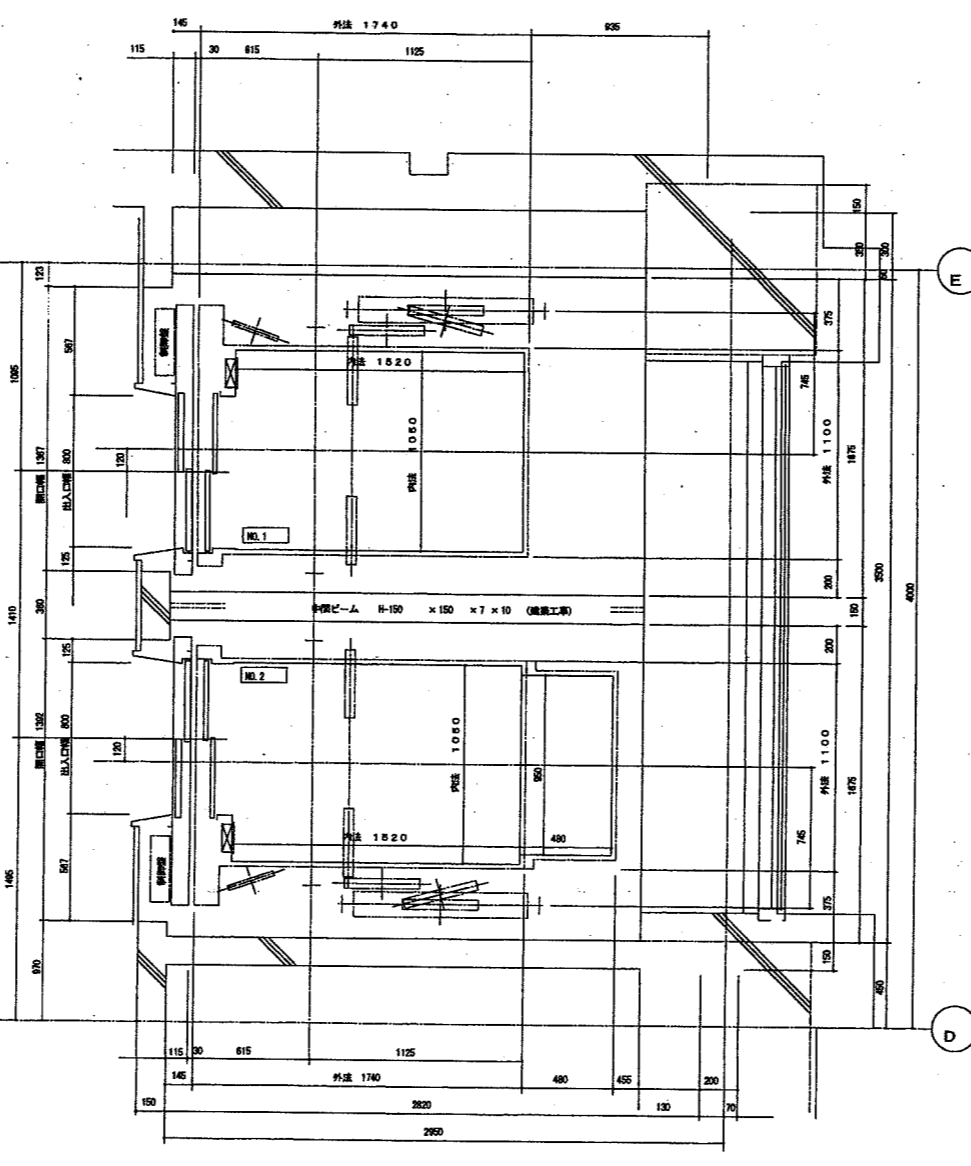


revisions

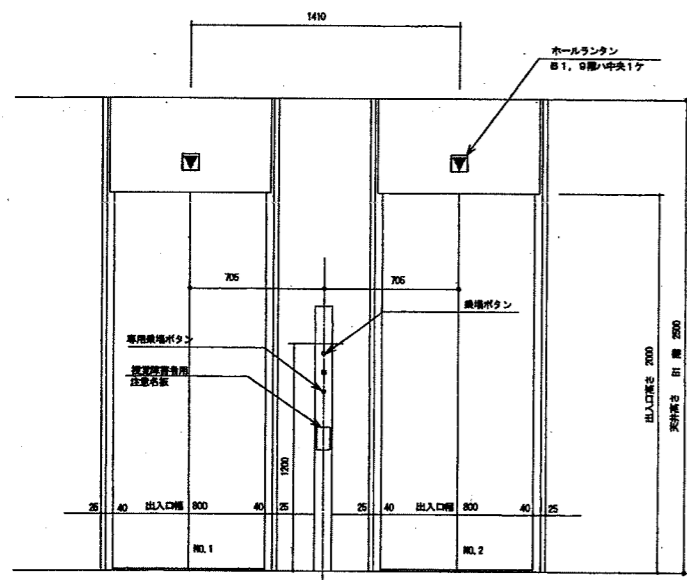
<p>松田平田・丸川設計共同企業体</p> <p>MIS 松田平田 丸川設計</p>		<p>project no. A3693</p> <p>date 99.09.30</p>	<p>つくば外国人研究者用宿舎 (仮称) 建築工事</p> <p>drawn by</p> <p>checked by</p>	<p>外構図-2 植栽計画図</p> <p>scale 1:200</p>	<p>建築</p> <p>602</p>
---	--	---	---	---------------------------------------	----------------------



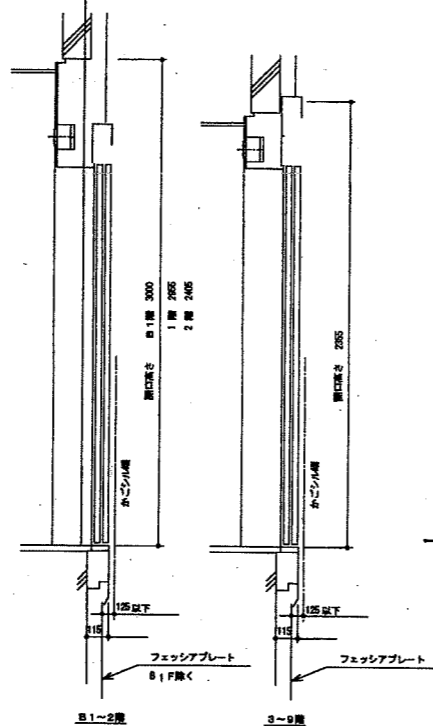
B1階昇降機平面図 (1:20)



1-9階昇降機平面図 (1:20)

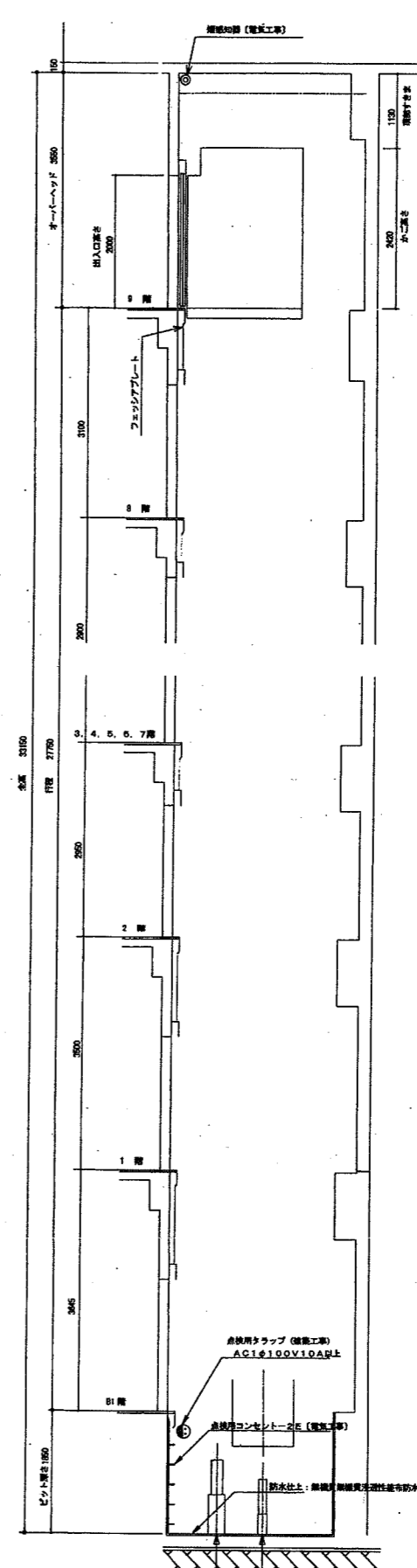


出入口正面構造断面図 (1:20)



基礎高さ	ホールランタン中心高さ
321~1280	180
200~320	100

ランタン (1-3号機内通) 詳細



昇降機断面図 (1:50)

エレベーター仕様	
号機名	NO.1 NO.2
形式用途	共用住宅用 EV (標準レスタイプ)
定格積載質量	600kg 8人乗 600kg (トランク付) 8人乗
定速	30m/min 30m/min
駆動方式	VF ジュブプレックスコネクティブコントロール (マイコン制御、実配リアナウンスタ付)
停止層	10層所 (B1, 1-9階)
かご内法	開口幅 1050mm 1050mm 奥行き 1620mm 1620mm 出入口幅 800mm 800mm 出入口高さ 2000mm 2000mm
電動機	AC 5.5kW 5.5kW AC 5.5kW
電源	AC3φ 200V 50Hz AC1φ 100V 50Hz
運転装置	両時器付インターホン 両時器付インターホン かご管理装置 インターフェース付
特記	初期設置時警報装置付、火災時警報装置付 停電時自動警報装置付 車いす仕様付 (2号機のみ、背板はフレネルレンズ仕様) 視覚警報装置付 (1, 2号機) 点字 音声合成アナウンスタ付 =車いす専用=仕様付 (1, 2号機) 警報装置付 (自立型、LED) 緊急停止装置のまちづくり専用仕様

かご仕様	
側板、戸	ダイノックシート貼り、一般硬光面
脚柱、天井、床板	ステンレスヘアライン
天井	ダラックタイプ
床	ビニールシート A
取手	視覚アルミ
操作盤	ステンレスヘアライン

出入口乗場仕様	
立枠	鋼板 塗装上 (メタリック塗装2色)
扉	鋼板 塗装上 (メタリック塗装2色)
戸	鋼板 塗装上 (メタリック塗装2色)
取手	視覚アルミ
ホールボタン	ステンレスヘアライン
ホールランタン	鋼板塗装上

- エレベーター 陸外工事
- [1] 陸外工事関係
- 昇降機出入口扉の穴明け工事。
 - 三方取付後の壁及び床の仕上げ工事。
 - ピット防水工事。
 - 昇降機レベル、出入口ドアハンガリアン用ファスナー設置及び調整。
 - 出入口三方枠、取手、取付ボタン表示灯取付材料の設置工事。
- [2] 電気工事関係
- (1) 引込電線 (動力用線は制御室までの引込距離により下記とする)
- | | | |
|--------------|------------|--------------------------------------|
| 電力用電線 AC3φ | 200V 50Hz | XI 規格 / 台 |
| 電線 | 50A | 最大引込距離 (m) 43 81 104 |
| トランス 容量 | 10kVA | 線サイズ (mm ²) 5.5 8.0 14.0 |
| 照明用電線 AC1φ | 100V 50Hz | 2mmφ X 2 回路 |
| インターホン 用電線 | | 0.5mm ² X 2 8本 |
| アース線 (D線) | | 3.5mm ² |
| 停電時自動警報装置用電線 | AC1φ100V5A | 2mm ² X 2 本 / 台 |
- 電線引込位置は最低層レベル+500~1000とし
配管径は100mm配管径出し400mm
最低層レベルに引込込み出来ない場合は最低層天井裏から引込みとし
配管径出しは380mm+階高とする。
- (2) 乗場用コンセント-2E (2 極穴 アース付) AC100V10A 以上
- 最低停止層から平均ピット内 (1 層所 / 台)。
 - 乗場用コンセント-2E (2 極穴 アース付) AC100V10A 以上
- エレベーター-両時器用として乗場中継室からエレベーター-制御室までの電気配管工事を行うこと。(最小径径 25mm)

製作図による

revision	内容

松田平田・丸川設計共同企業体

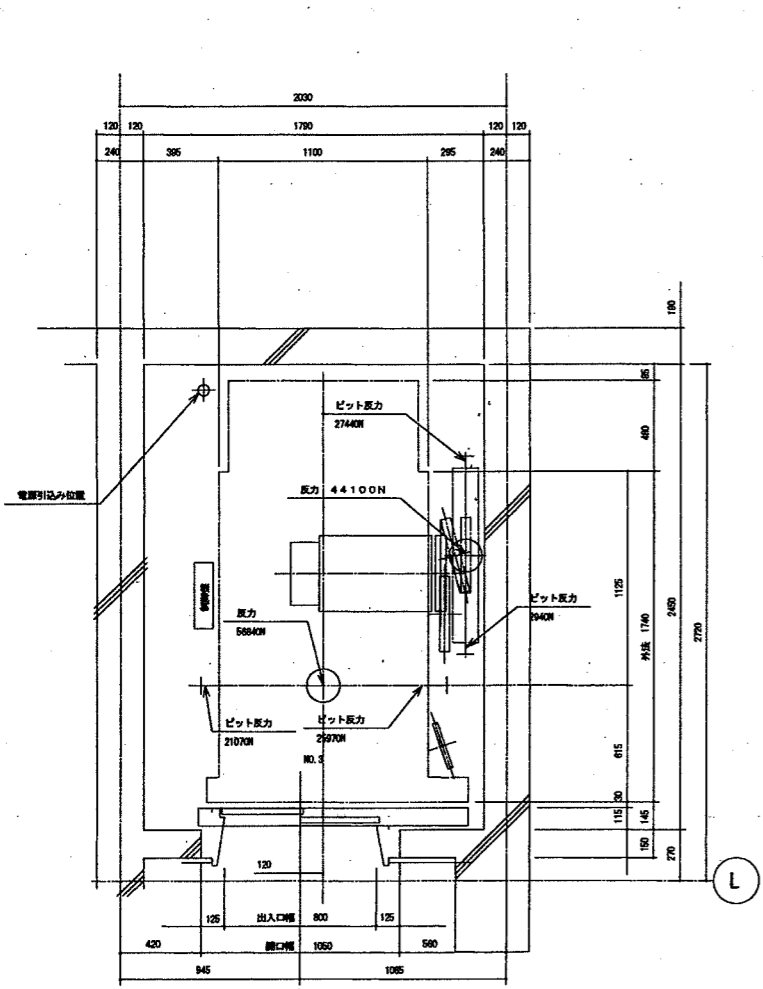
project no. A3693 つくば外国人研究者用舎(仮称) 建築工事

date 99.09.30 drawn by checked by

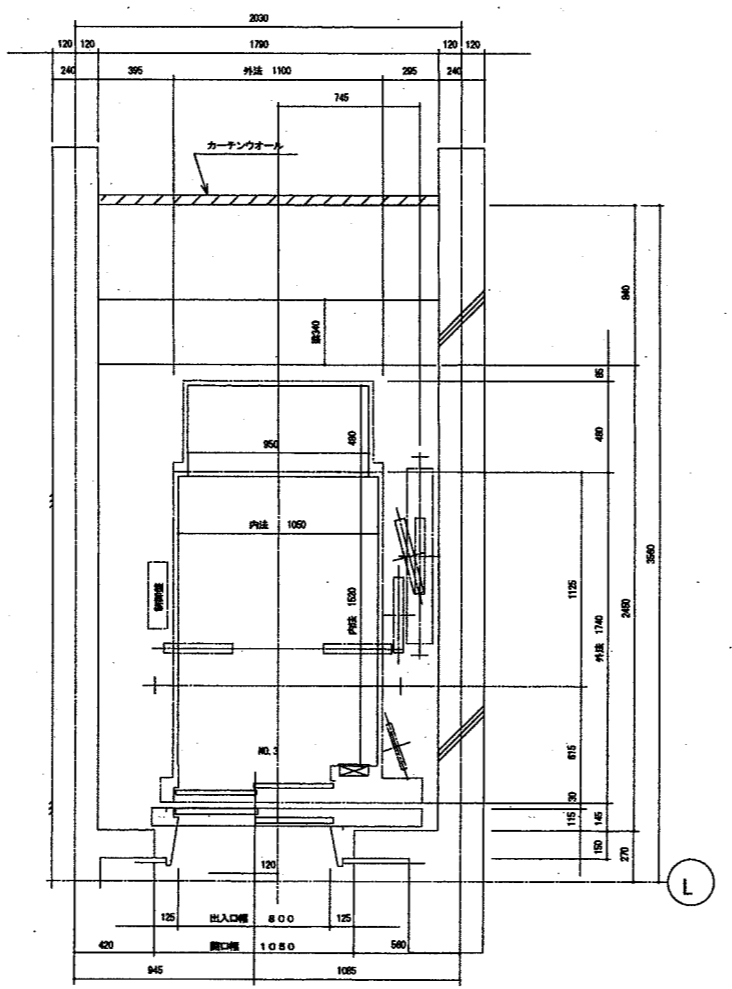
エレベーター-詳細図-1 (NO.1, NO.2)

scale 1:20 1:50

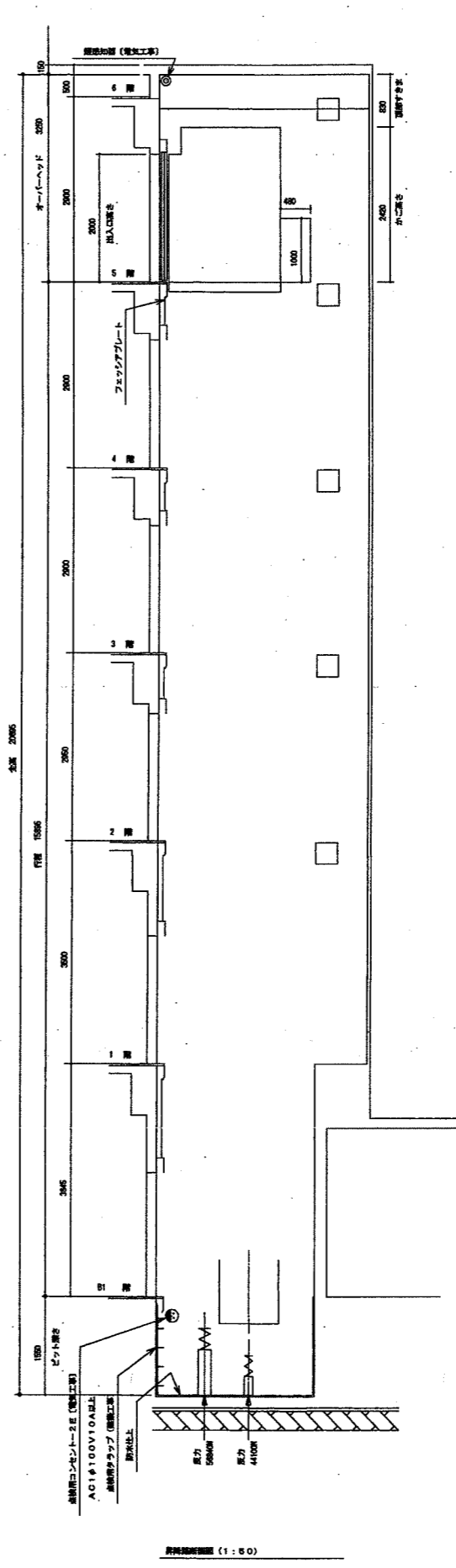
701



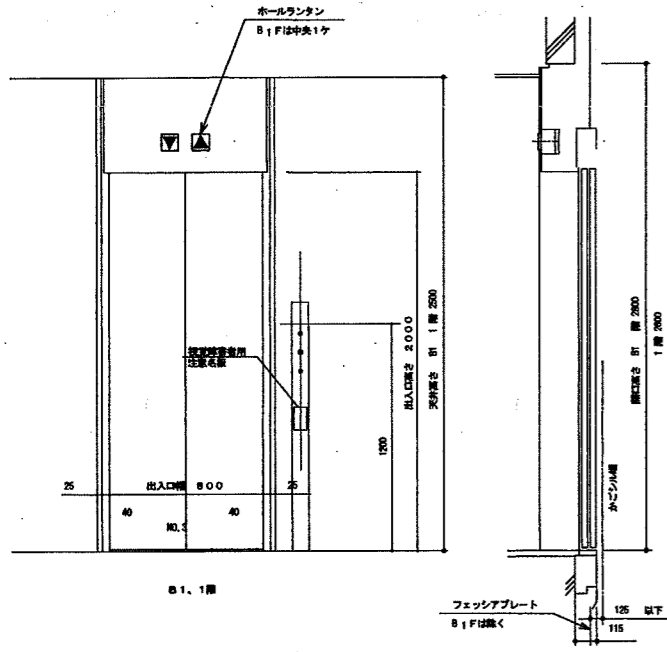
① 1階昇降機平面図 (1:20)



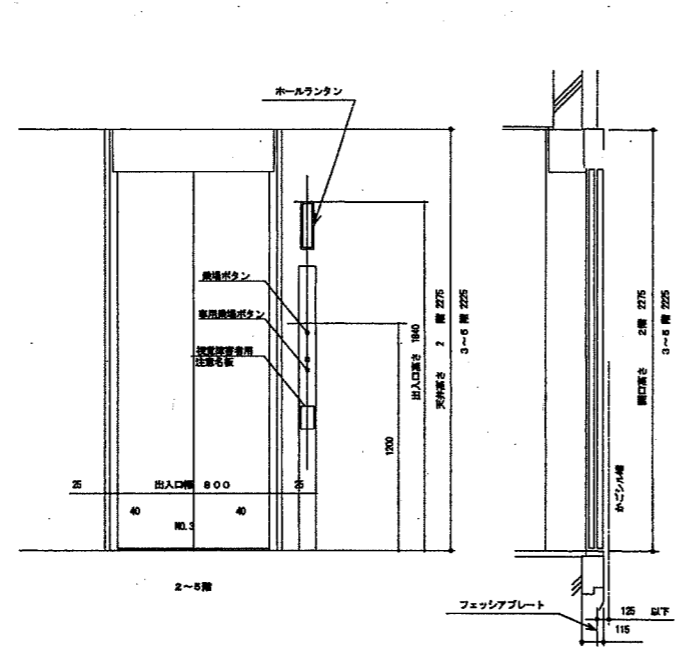
1-5階昇降機平面図 (1:20)



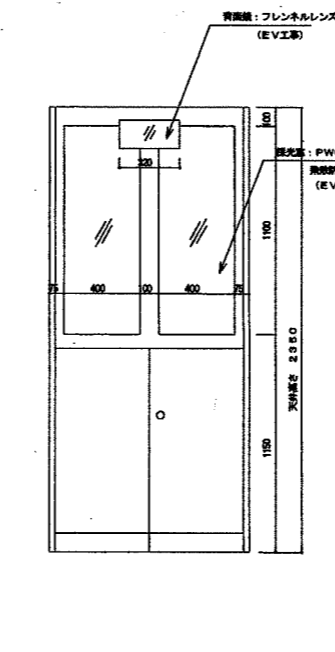
昇降機平面図 (1:50)



出入口正面図及昇降機 (1:20)



出入口正面図及昇降機 (1:20)



かご内図面 (1-3号機内通) 昇降機 (1:20)

エレベーター仕様	
号機名	NO.3
形式用途	共同住宅用 EV (機械レスタイプ)
定員積載質量	800kg 8人乗
実積速度	90m/min
運転方式	VF コレクタプロントロール (マイコン制御、気配りアナウンス付)
停止層	8層所 (B1、1~5層)
かご内法	開口 1050mm 奥行 1520mm 出入口幅 800mm 出入口高さ 2000mm
電機仕様	AC 3φ 200V 50Hz AC 1φ 100V 50Hz
運転装置	両扉両面式インターホン 遠隔監視制御専用 インターフェース付
特記事項	初層階地盤時時刻調整付、火災時警報通知付 待電時自動待電装置付 車いす仕様付 (両扉両面式フレネルレンズ仕様) 視覚障害者仕様付 点字 音声合成アナウンス付 鏡映面仕様の手づくり美観適用

かご仕様	
扉板	ダイノックシート貼り、一部鏡光面
鋼柱、天井、構木	ステンレスヘアライン
天井	ダラックスタイプ
床	ビニールシート A
取手	鏡面アルミ
製作廠	ステンレスヘアライン

出入口仕様	
立枠	鋼板 塗装仕上げ (メタリック塗装2色)
扉板	鋼板 塗装仕上げ (メタリック塗装2色)
戸	鋼板 塗装仕上げ (メタリック塗装2色)
取手	鏡面アルミ
ホールボタン	ステンレスヘアライン
ホールランタン	B1、1階扉板取付点 2~5階取付点 (アクリル内蔵式)

エレベーター取付工事

- (1) 建築工事関係
- 昇降機出入口廻りの穴明け工事。
 - 三方待電付体の壁及び床の仕上げ工事。
 - ピット防水仕上げ工事。
 - 昇降機レール、出入口ドアハンガ固定用ファスナ設置及び閉止調整。
 - 出入口三方枠、取手、取付ボタン取付取付用鋼材の設置工事。
- (2) 電気工事関係
- (1) 引込電線 (電力用線は納品までの引込距離により下記とする)
- | 種別 | 電圧 | 電流 | 最大引込距離 (m) | X1 | 距離 / 台 |
|--------|-------|------|----------------------|------|---------|
| 動力用電線 | AC 3φ | 200V | 50Hz | 37 | 58 |
| | | | | 3.5 | 5.5 |
| トランス専用 | 40A | 40VA | 2mm ² X 1 | 0.9m | 2本 / 1本 |
| | | | | 3.5m | 2本 / 1本 |
- (2) 照明用電線 AC 1φ 100V 50Hz
- (3) インターホン 両面監視用電線 AC 1φ 100V 50Hz 2mm² X 1
- (4) アース線 (D種) 3.5mm²
- (5) 待電時自動待電装置用電線 AC 1φ 100V 50Hz 2mm² X 2本 / 台
- 電線引込位置は最下層レベル+500~1000とし、配管引出しは50mm配管引出し400mm、最下層レベルに引き込み出来ない場合は最下層天井裏から引込みとし、配管引出し長さは3500mm+階段とする。
- (2) 最終用 コンセント→2E (2 個穴 アース付) AC 100V 10A 以上、
- 1) 最下層待電から手の届くピット内 (1 箇所 / 台)。
- (3) 扉板取付 (昇降機外扉から扉取付用鋼材)

エレベーター取付工事として電力用線からエレベーター取付までの電気配管工事取付工事のこと。(最小径径 25mm)

製作図による

revision	内容

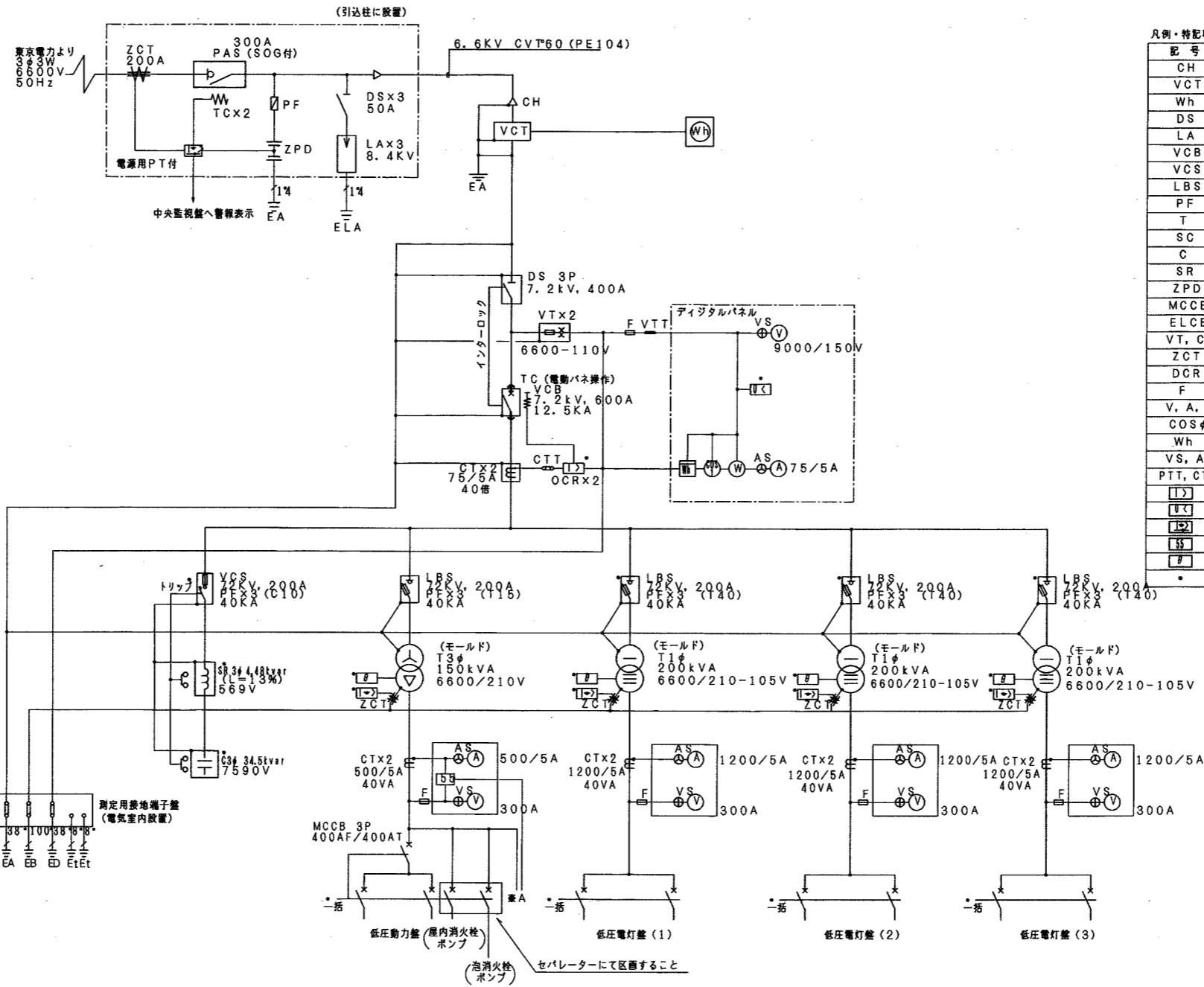
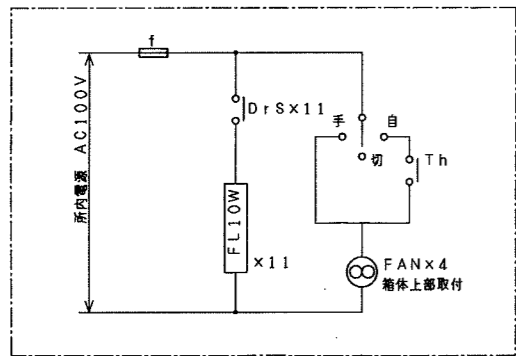
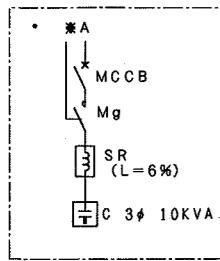
<p>松田平田・丸川設計共同企業体</p> <p>MHS 松田平田 丸川設計</p>		<p>project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称) 建築工事</p> <p>date 99.09.30 drawn by checked by</p>	<p>エレベーター詳細図-2 (NO.3)</p> <p>scale 1:20 1:50</p> <p>92</p>
--	--	---	--

電気設備工事 図面リスト			図面名称			図面名称			図面名称			図面名称		
通番	図番	縮尺	通番	図番	縮尺	通番	図番	縮尺	通番	図番	縮尺	通番	図番	縮尺
1	000	-	50	501	-									
2	001	-	51	502	-									
3	002	-	52	503	-									
4	003	-	53	504	1/200									
5	004	-	54	505	1/200									
6	005	-	55	506	1/200									
7	006	1/200	56	507	1/200									
			57	508	1/200									
			58	509	-									
			59	510	1/50									
8	101	-	60	511	-									
9	102	-	61	512	-									
10	103	-	62	513	1/100									
			63	601	-									
11	201	-	64	602	-									
12	202	-	65	603	1/200									
13	203	-	66	604	1/200									
14	204	-	67	605	-									
15	205	1/200	68	606	1/100									
16	206	1/200	69	607	1/100									
17	207	1/200												
18	208	1/200												
19	209	1/200	70	701	-									
20	210	1/200	71	702	-									
			72	703	1/200									
			73	704	1/200									
			74	705	1/200									
21	301	-	75	706	1/200									
22	302	-	76	707	1/200									
23	303	-	77	708	1/200									
24	304	-												
25	305	-												
26	306	1/200												
27	307	1/200												
28	308	1/200	78	801	1/200									
29	309	1/200	79	802	1/200									
30	310	1/200	80	803	1/200									
31	311	1/200	81	804	1/200									
32	312	1/100	82	805	1/200									
33	313	1/100												
34	314	1/100												
35	315	1/100												
			83	901	1/30									
			84	902	1/30									
			85	903	1/30									
36	401	-	86	904	1/30									
37	402	-	87	905	1/30									
38	403	-	88	906	1/30									
39	404	-	89	907	1/30									
40	405	-	90	908	1/30									
41	406	-	91	909	-									
42	407	1/200	92	910	-									
43	408	1/200	93	911	1/30									
44	409	1/200	94	912	1/30									
45	410	1/200	95	913	1/50									
46	411	1/200	96	914	1/20									
47	412	1/200	97	915	1/20									
48	413	1/100	98	916	1/30									
49	414	1/100	99	917	1/20									
			100	918	1/30									
			101	919	1/30									

松田平田・丸川設計共同企業体 			Project No. A3693 〃 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事 Date 99.09.30 Drawn by checked by		図面リスト 電気 001
--------------------	--	--	---	--	--------------------

- 注記
特記なき各種機器の操作、表示は下記注記事項による。
- すべての操作表示用電源はDC24Vとする。
 - VCB及びVLSは電磁操作式とする。
 - 幹線始動警報は変圧器毎に於て変圧器毎に警報表示し、且つ受変電一括警報として中央監視盤に表示する。(SOGトリップ、受変電高圧部、低圧部)
 - 変圧器は全てモールド型とし、防振仕様とする。
 - コンデンサーは全て圧力警報接点付とする。
 - 配線用遮断器の遮断容量は短絡電流に充分耐え得る容量を有するものを使用する。
 - 製作図には、耐振計算書、盤内温度上昇計算書、遮断協調曲線、換気計算書を添付する。
 - 指定色塗装とする。
 - 付属品、予備品として下記のものを含めること。
作業機 : 2本
電力ヒューズ : 定格毎に3本
回路用ヒューズ : 実装数
 - 各故障警報表示は、一括して中央監視盤へ移報すること。
 - 低圧動力盤、低圧電灯盤には、保護用としてアクリルパネル盤を取り付けること。
 - 防火電源回路の電流計算式(低圧動力盤)

- ① 変圧器 150kVA 定格二次電流×2.14 = 882A
- ② 主幹を除いた遮断器の定格電流の合計 = 925A
故に ① < ② より一般負荷の主幹は省略不可
- ③ 変圧器 150kVA 定格二次電流×1.5 = 618A
- ④ 一般負荷の主幹 MCB = 400A
④ < ③

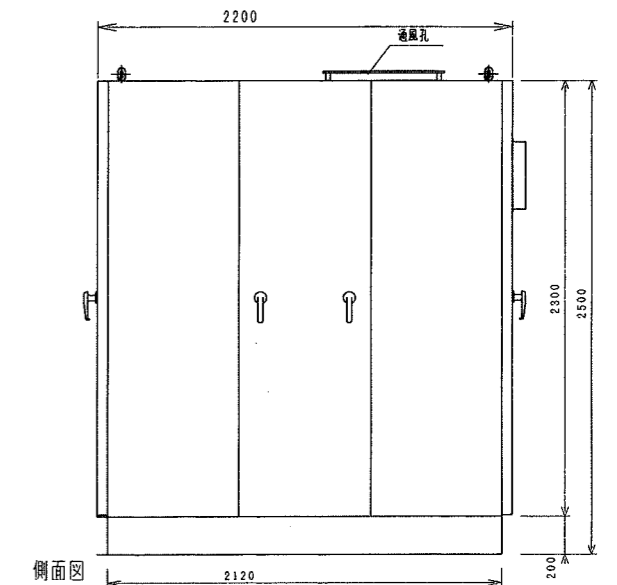
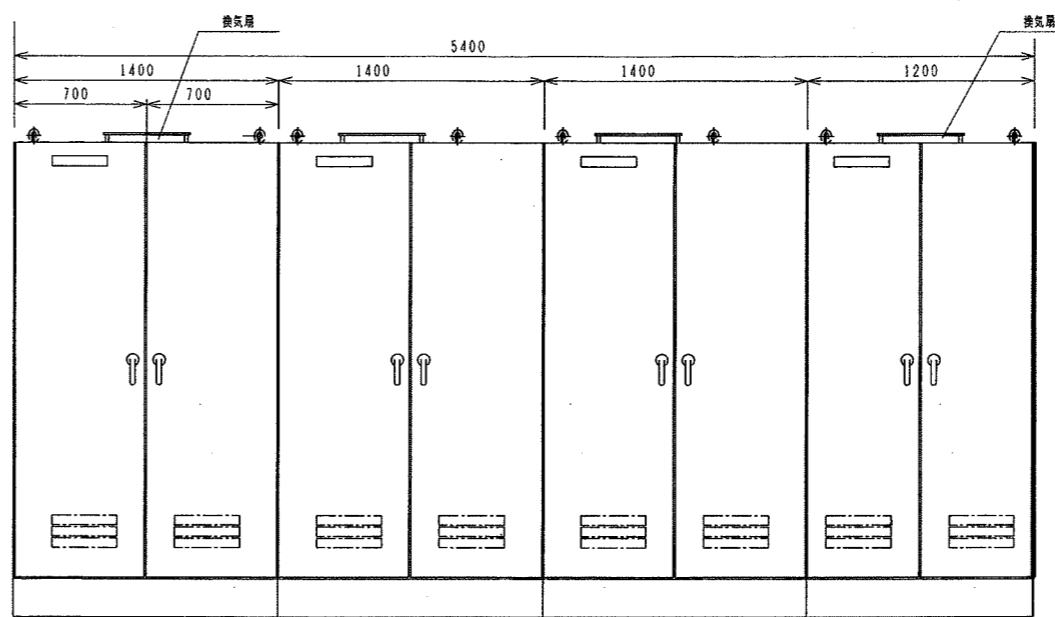
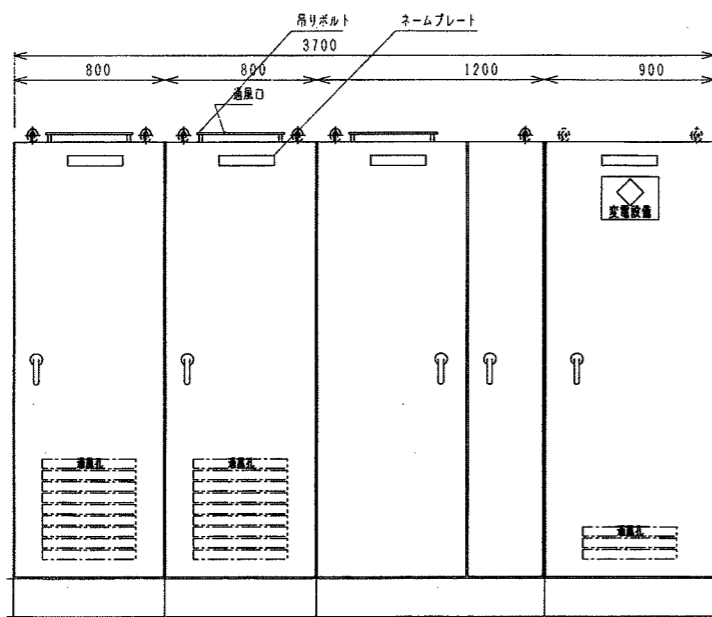
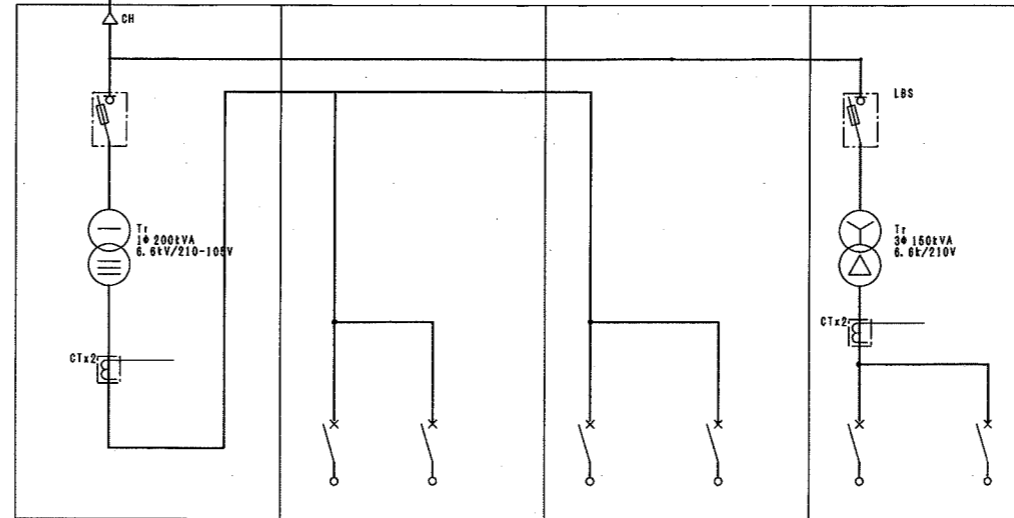
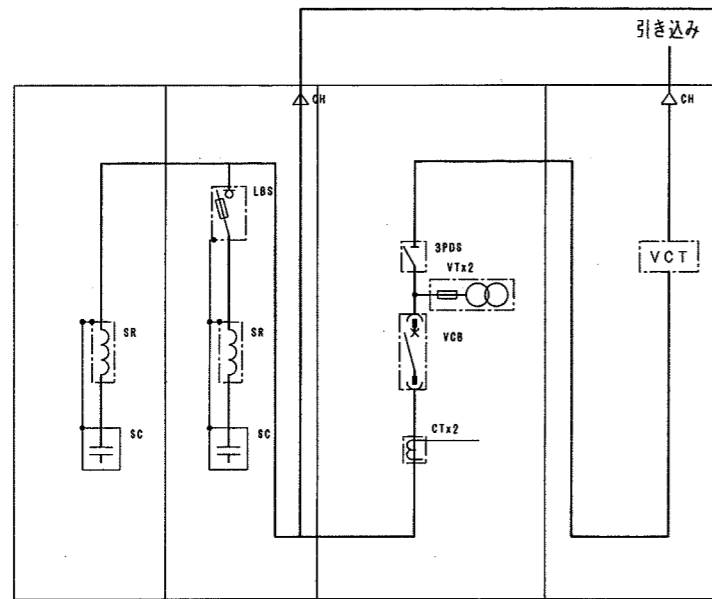


凡例・特記事項

記号	名称	特記事項
CH	ケーブルヘッド	
VCT	取引用変成器面	電力会社取付
Wh	取引用電力計	電力会社取付
DS	断り器	エボキシ
LA	避雷器	ギャップ付、酸化亜鉛形
VCB	真空遮断器	
VCS	真空接点器	
LBS	高圧負荷開閉器	限流ヒューズ付、ストライカー設置付、保護アクリル板付
PF	電力ヒューズ	限流形
T	変圧器	モールド式、省エネ型
SC	高圧進相コンデンサー	乾式、放電抵抗内蔵
C	低圧コンデンサー	乾式
SR	直列リアクトル	乾式(L=13%)
ZPD	接地用コンデンサー	
MCCB	配線用遮断器	フラッシュプレート付(防災用は耐火ブレーカーとし赤色とする。)
ELCB	漏電遮断器	フラッシュプレート付
VT, CT	計器用変圧(交流)器	高圧(エボキシ樹脂モールド)、低圧(樹脂モールド)、1.0級
ZCT	零相変流器	モールド形
DCR	放電抵抗	
F	ヒューズ	
V, A, W	電圧計、電流計、電力計	デジタル型、110角、1.5級
COSφ	力率計	デジタル型、110角、1.5級
Wh	電力計	普通級、検定付
VS, AS	電圧(電流)計切替スイッチ	
PTT, CTT	試験用電圧(電流)端子	
[I]	過電流継電器	埋込形
[U]	不足電圧継電器	埋込形
[D]	地絡方向継電器	埋込形
[S]	自動力率調整器	埋込形
[P]	温度継電器	埋込形
*	故障表示	一括して中央監視へ移報

配電盤名称	幹線番号	幹線サイズ	幹線容量 (KW)	MCCB容量 (AF/AT)	負荷名称	配電盤名称	幹線番号	幹線サイズ	幹線容量 (KVA)	MCCB容量 (AF/AT)	負荷名称	配電盤名称	幹線番号	幹線サイズ	幹線容量 (KVA)	MCCB容量 (AF/AT)	負荷名称	配電盤名称	幹線番号	幹線サイズ	幹線容量 (KVA)	MCCB容量 (AF/AT)	負荷名称												
低圧動力盤	p1	CVT38*E8*	18.00	3P225/125	B1P-1	低圧電灯盤 (1)	k1	CVT22*E5.5*	14.83	3P100/100	B1L-1	低圧電灯盤 (2)	j14	CVT100*E8*	28.00	3P225/150	住戸分電盤	低圧電灯盤 (3)	j31	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤												
	p2-1	CVT14*E5.5*	11.00	3P100/75	B1P-2		k2	CVT150*E2*	49.82	3P400/300	1L-3, B1L-2		j15-16	CVT100*E8*	56.00	3P225/225	住戸分電盤		j32	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤												
	p2-2	CVT14*E5.5*	7.90	3P100/75	B1P-3		k3	CVT100*E14*	36.53	3P225/200	1L-1, 1L-2		j17-18	CVT100*E8*	56.00	3P225/150	住戸分電盤		j33	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤												
	p3	CVT22*E5.5*	13.50	3P100/100	B1P-4		k4	CVT22*E5.5*	10.23	3P100/75	1L-4, 2L-1		k19	CVT100*E8*	40.00	3P225/150	住戸分電盤		j34	CVT38*E5.5*	8.00	3P50/50	住戸分電盤												
	p4	CVT14*E5.5*	4.03	3P50/50	1P-1		k5	CVT60*E8*	25.04	3P225/150	1L-NE, 3L-NE		k20	CVT38*E5.5*	16.00	3P50/50	住戸分電盤		j35	CVT38*E5.5*	8.00	3P50/50	住戸分電盤												
	p5	CVT22*E5.5*	6.50	3P50/50	排水処理制御盤, 1P-2		k6	CVT22*E5.5*	17.17	3P100/75	1L-SW		k21	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤		j36	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤												
	p6	CVT14*E5.5*	3.90	3P50/50	3P-1		k7	CVT60*E8*	20.69	3P225/125	4L-1, 3L-NE		k22	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤		j37	CVT60*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤												
	p7	CVT22*E5.5*	12.20	3P100/100	5P-1		k8	CVT60*E14*	35.81	3P225/200	9L-1		k23	CVT22*E5.5*	8.00	3P50/50	住戸分電盤		j38	CVT60*E5.5*	16.00	3P100/100	住戸分電盤												
	p8	CVT14*E5.5*	6.40	3P100/75	9P-1		(計534.12)	所内電源	k10	1.00	3P50/20		所内電源	k24	CVT38*E5.5*	8.00	3P50/50		住戸分電盤	j39	CVT60*E5.5*	16.00	3P100/100	住戸分電盤											
	p9-1	CVT14*E5.5*	5.50	3P50/50	ELV制御盤(1-1)																				低圧電灯盤 (3)	k25	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤	j40	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
	p9-2	CVT14*E5.5*	5.50	3P50/50	ELV制御盤(1-2)																					k26	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤	j41	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
	p10	CVT14*E5.5*	3.70	3P50/50	ELV制御盤(2)																					k27	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤	j42	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤
p11	FPT14*E5.5*	7.50	3P50/50 (耐火)	屋内消火栓ポンプユニット	k28	CVT38*E5.5*						12.00						3P100/75								住戸分電盤	j43	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤				
p12	FPT100*E14*	37.00	3P225/125 (耐火)	消火栓ポンプユニット	k29	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤	j44	CVT100*E14*	30.00	3P225/175	住戸分電盤																					
				予備	k30	CVT38*E5.5*	12.00	3P100/75	住戸分電盤	j45	CVT60*E5.5*	30.00	3P225/175	住戸分電盤																					
				予備						j46	CVT60*E5.5*	30.00	3P225/175	住戸分電盤																					
				予備																															
(計135.68)					(計264.00)					(計318.00)																									

revisions



名称	低圧コンデンサ盤	高圧コンデンサ盤	高圧受電盤	高圧引込盤
記号	4	3	2	1

低圧電灯盤	低圧電灯盤	低圧電灯盤	低圧動力盤
6	7	8	5

注記) 形状及び寸法は参考とする。

revision			

松田平田・丸川設計共同企業体

MHS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 つかば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事
date 99.09.30 drawn by checked by

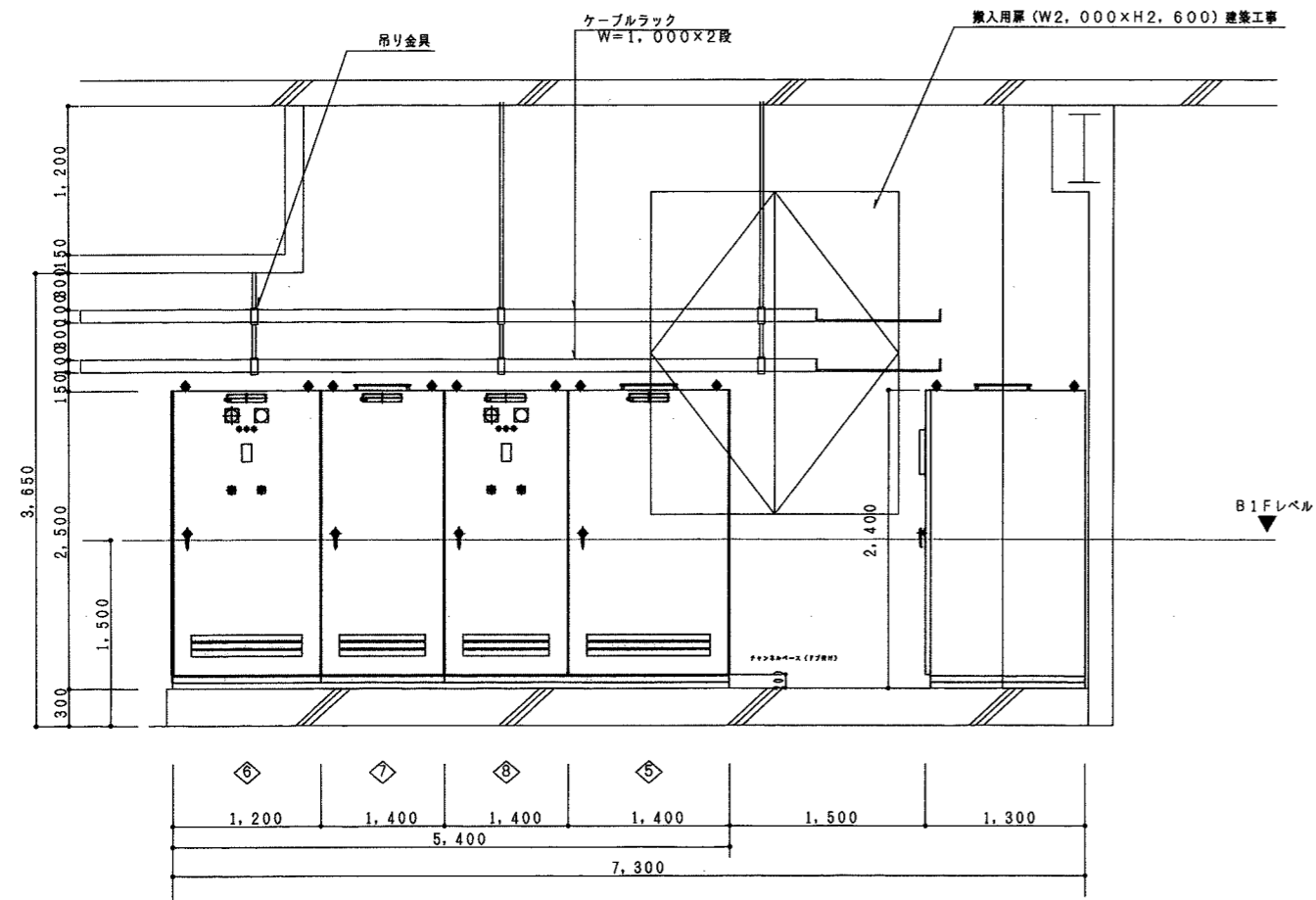
受変電設備 ブロック単線図
no scale/A1

電気

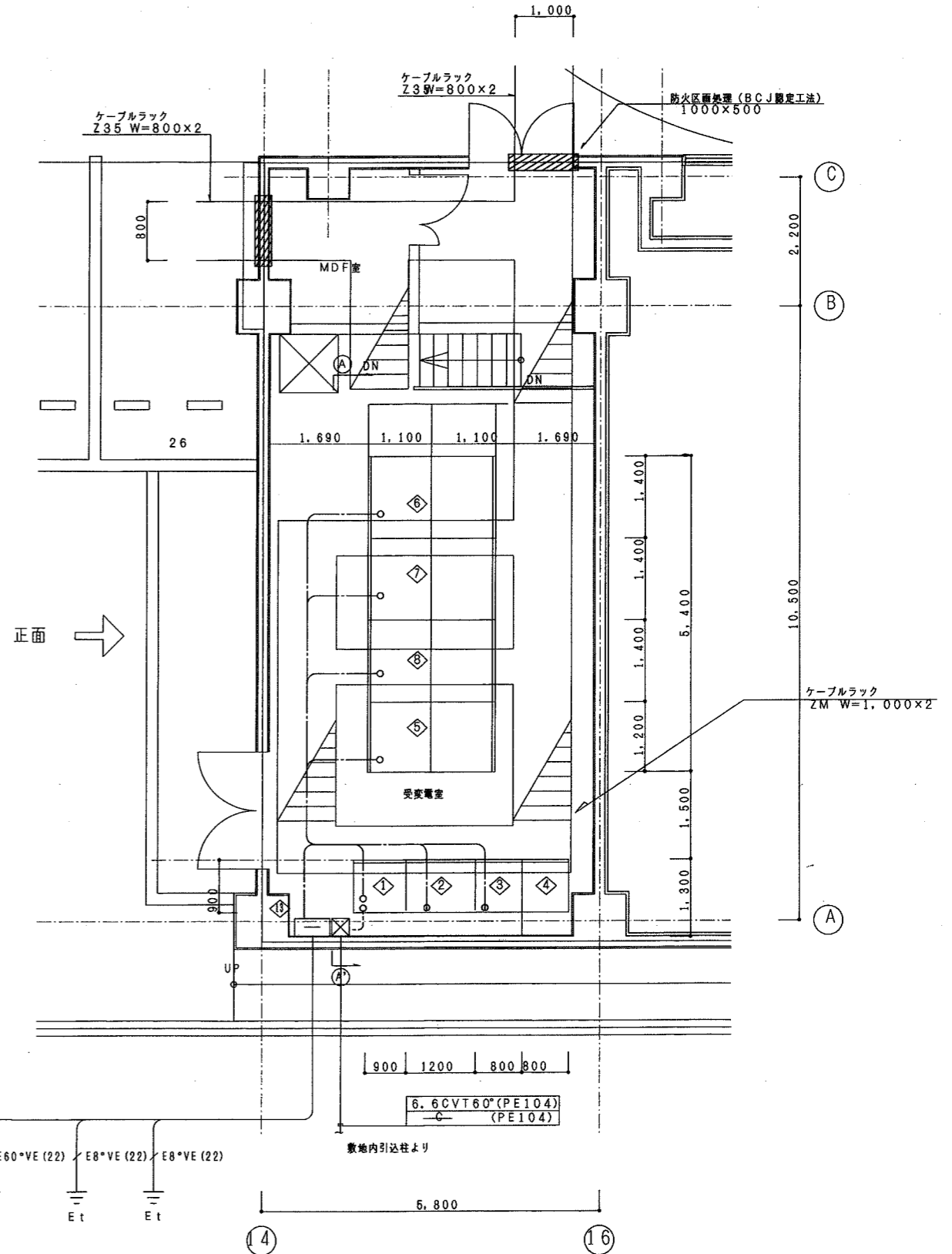
102

配号	名称	備考
①	受電盤	
②	VCB盤	
③	高圧SC盤	
④	低圧SC盤	
⑤	低圧動力盤(1)	3φ 150kVA
⑥	低圧電灯盤(1)	1φ 200kVA
⑦	低圧電灯盤(2)	1φ 200kVA
⑧	低圧電灯盤(3)	1φ 200kVA
⑨	接地端子盤	

自	至	ケーブルサイズ	備考
②	⑤	6kV CVT38*	
①	③	EA 38" EB 60" ED 38"	
④	③	EA 38" EB 60" ED 38"	
⑧	③	EA 38" EB 60" ED 38"	
		ED 38"	
①		中継盤 CVV2.0"-3C	



電気室 (A) (A)断面詳細図 S=1/30



電気室 平面詳細図 S=1/50

revisions	date	description

松田平田・丸川設計共同企業体 		project no. A3693 date 99.09.30	つかば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事 drawn by checked by	受変電設備 配置図 電気 103 scale no scale / A1
---------------------------	--	------------------------------------	--	---

共用幹線サイズ表

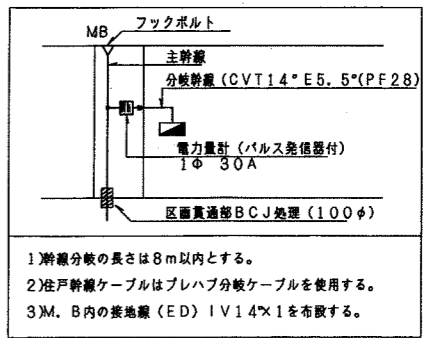
電気方式	幹線番号	系統	行先	幹線サイズ	接地線	配管	備考
AC3φ3W 200V	p1		B1P-1	CVT38°	8°		
	p2-1			CVT38°			
	p2-2		B1P-2	CVT14°	5.5°		
			B1P-3	CVT14°	5.5°		
	p3		B1P-4	CVT22°	5.5°		
	p4		1P-1	CVT14°	5.5°		
	p5			CVT22°			
			排水処理幹線	CVT14°	5.5°		
			1P-2	CVT14°	5.5°		
	p6		3P-2	CVT14°	5.5°		
	p7		5P-1	CVT22°	5.5°		
	p8		9P-1	CVT14°	5.5°		
p9-1		11V幹線	CVT14°	5.5°			
p9-2		7V幹線	CVT14°	5.5°			
p10		4V幹線	CVT14°	5.5°			
p11		共用電気ケーブル	FPT14°	5.5°			
p12		共用電気ケーブル	FPT60°	14°			
AC1φ3W 200/100V	q1		B1L-1	CVT22°	5.5°		
	q2			CVT150°			
			1L-3	CVT150°	22°		
			B1L-2	CVT60°	5.5°		
	q3			CVT100°			
			1L-1	CVT60°	8°		
			1L-2	CVT38°	5.5°		
	q4			CVT22°			
			2L-1	CVT14°	5.5°		
			1L-4	CVT14°	5.5°		
	q5			CVT60°			
			1L-NE	CVT60°	8°		
			3L-NE	CVT60°	5.5°		
	q6			CVT22°	5.5°		
	q7			CVT60°			
			4L-1	CVT22°	5.5°		
		3L-SW	CVT22°	5.5°			
q8			CVT60°	8°			

住戸幹線サイズ表 (兼分岐幹線サイズは注記参照)

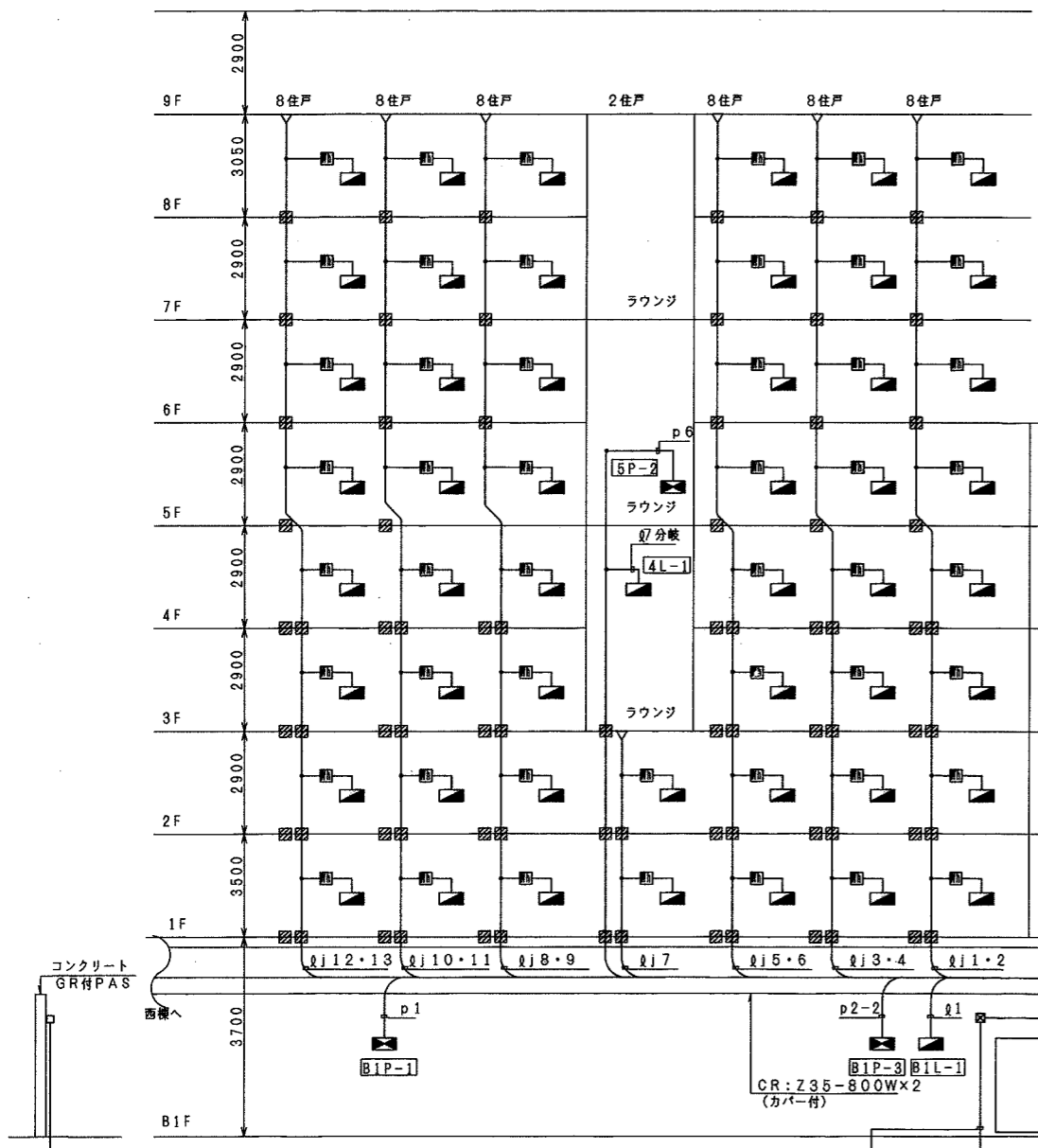
電気方式	幹線番号	幹線サイズ	備考
AC1φ3W 200/100V	qj1-2~qj5-6	CVT100°	
	qj7	CVT22°	
	qj8-9~qj11-13	CVT100°	
	qj14~qj19	CVT100°	
	qj21,qj22	CVT38°	
	qj23~qj30	CVT38°	
	qj31~qj33	CVT60°	
	qj20,qj34,qj35	CVT38°	
	qj36~qj39	CVT60°	
	qj40~qj44	CVT100°	
qj45,qj46	CVT60°		

注記

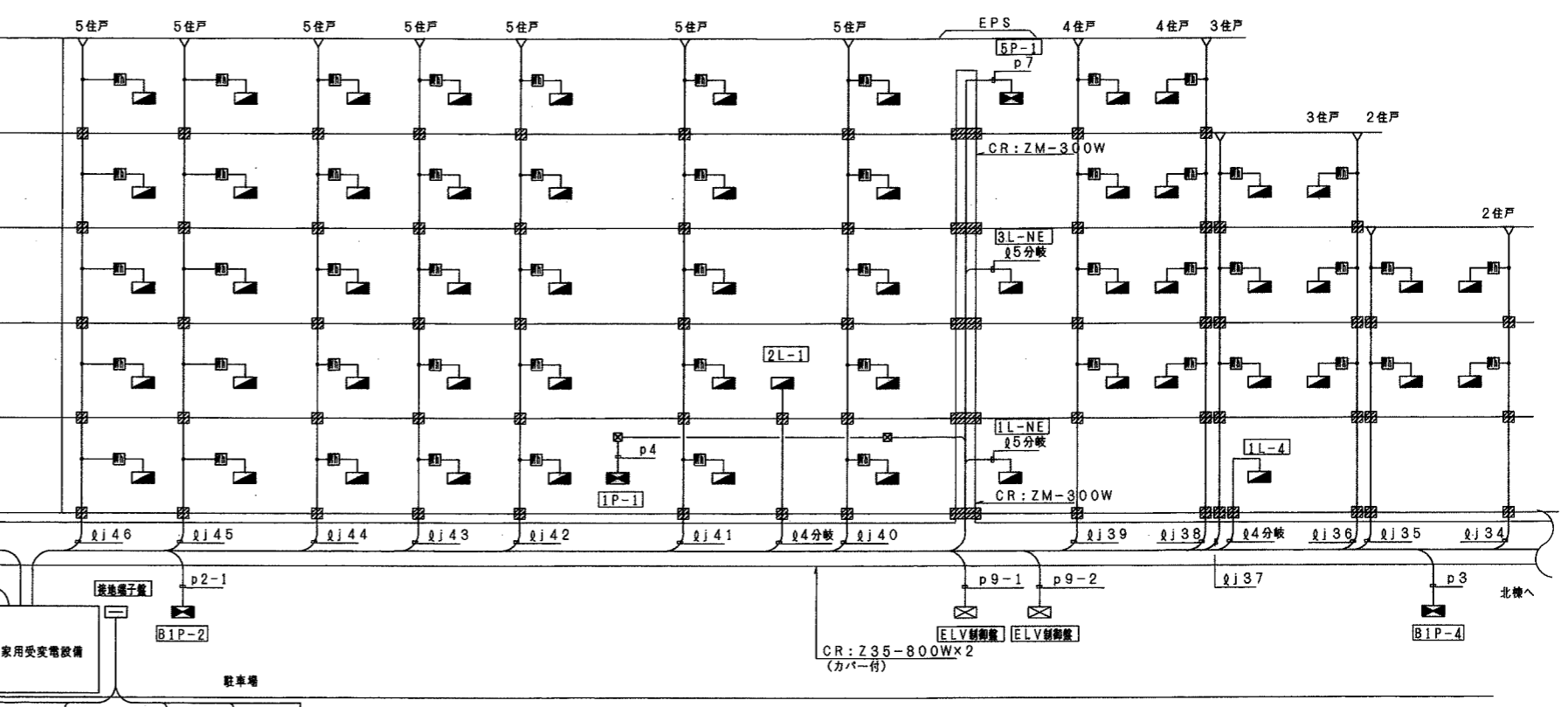
1. 特記なき幹線サイズ・幹線番号は幹線サイズ表を参照とする。幹線サイズ表の配管は、幹線保護管とする。
2. 特記なきケーブルラック上の接地線(ED)サイズは1V60×1とする。
3. ラックより壁までの接地線サイズは幹線サイズ表を参照とする。
4. 区画貫通部BCJ処理を示す。
5. 特記なき分電盤(盤名称のないものは、住戸分電盤とし、住戸分岐は下記とする。



南棟



東棟



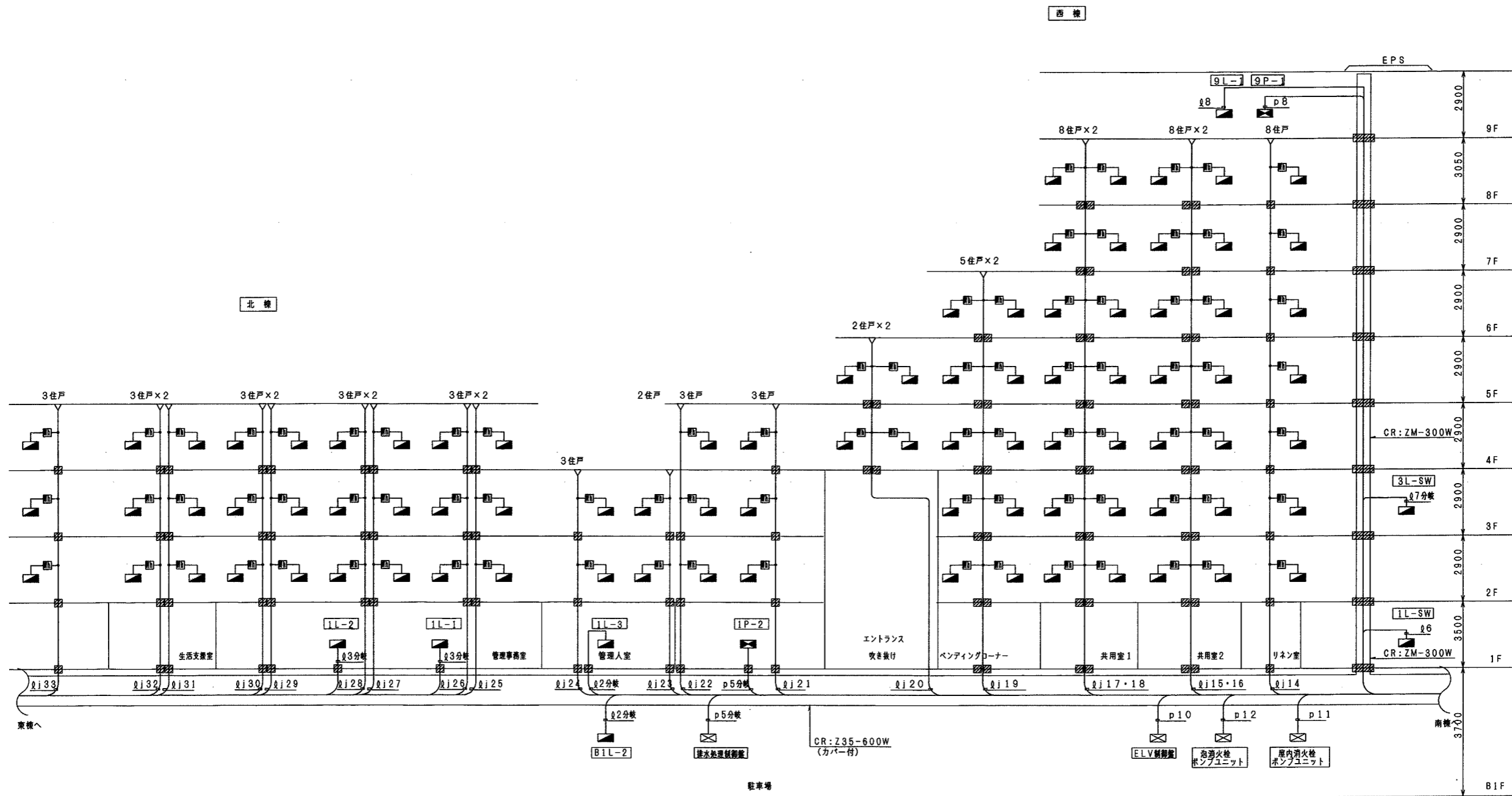
幹線系統図(南・東棟)

revisions		

松田平田・丸川設計共同企業体
 松田平田 丸川設計

project no. A3693	つくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事
date 99.09.30	drawn by checked by

幹線設備 系統図(1)
scale no scale / A1



revisions		

松田平田・丸川設計共同企業体

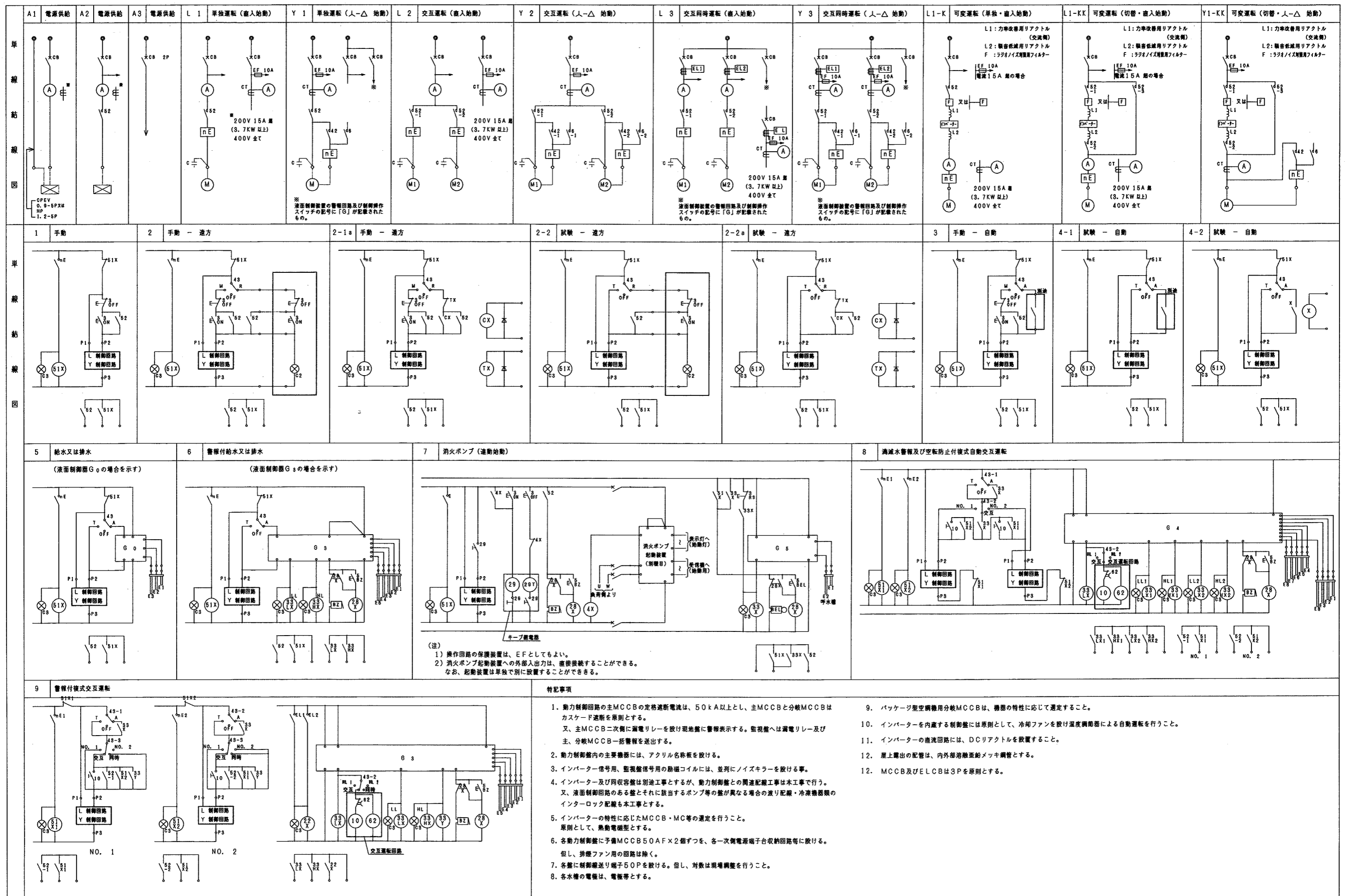
MHS 松田平田 丸川設計

project no. A3693
 date 99.09.30
 つかば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事
 drawn by / checked by

幹線設備 系統図(2)
 scale no scale / A1

電気

202



特記事項		盤名称	電源種別	回路	遮断器	付属回路	負荷容量 (VA)	備考	盤名称	電源種別	回路	遮断器	付属回路	負荷容量 (VA)	備考	盤名称	電源種別	回路	遮断器	付属回路	負荷容量 (VA)	備考		
記号	内容・仕様	形式	計量容量	記号	記号	記号	負荷容量 (VA)		形式	計量容量	記号	記号	記号	負荷容量 (VA)		形式	計量容量	記号	記号	記号	負荷容量 (VA)		備考	
							照明	コンセント						照明	コンセント						照明	コンセント		
盤形式	G	一般埋込型	MCCB3P 100/100 計14,829VA 幹線NO.1 CVT38*	B1L-1 (T) AC1φ3W 200/100V	5		1,920		B1P-2へ B1P-4へ	MCCB3P 225/125 計21,617VA 幹線NO.2 3分岐 CVT60*	IL-1 (T) AC1φ3W 200/100V	A	4		20		B1L-2 (T) AC1φ3W 200/100V	MCCB3P 100/100 計14,607VA 幹線NO.3 3分岐 CVT38*	A	4		30		誘導灯
	T	一般露出型 (外扉付)			5		1,680					B	4		20							誘導灯		
	D	一般露出型 (外扉なし)			(A)	7		70					C	4		1,000							中央監視盤	
	1G	一種耐熱埋込型 (コンクリート等耐熱処理を施した壁への埋込)			(B)	7		50					①	4	Rx4	1,168							電灯R49~R52	
	1H	一種耐熱埋込型 (耐熱、処理が施されていない壁への埋込)			(C)	7							②	4	Rx8	1,675							電灯R53~R60	
	1T	一種耐熱露出形			(D)	7	Rx6	1,520					③	4	Rx2	1,533							電灯R61	
	2G	二種耐熱露出形			(E)	4	Rx4	606					④	4	Rx4	380							電灯R63	
	2T	二種耐熱露出形			(F)	4							⑤	4									予備	
					(G)	4							⑥	4									予備	
					(H)	4							⑦	4									予備	
回路記号	①	一般照明回路	AC200V	(I)	7	Rx2	360		①	1	Rx4	304		電灯R67~R69										
	②	一般照明回路	AC100V	(J)	1	Rx4	488		②	1		200		電灯										
	③	一般コンセント回路	AC200V	(K)	7		330		③	1		732		電灯										
	④	一般コンセント回路	AC100V	(L)	1	Rx2	305		④	1		210		非常照明										
	⑤	一般単相動力回路	AC200V	(M)	7		300		⑤	1				リモコントランス										
	⑥	一般単相動力回路	AC100V	(N)	1		400		⑥	1				予備										
				(O)	1				⑦	4		1,000		温水器										
				(P)	1				⑧	4				予備										
				(Q)	1				⑨	4		1,080		空調機										
				(R)	1				⑩	4				予備										
配線用遮断器記号	1	MCCB 1P 50AF 20AT	1Pリモコンリレー×24 リモコンT/U ×6 リモコンTr ×1 伝送ユニット ×1 MCCB ×2 M&A/TU ×2 ※上記を盤内に組込	(S)	7		300		⑪	1		600		コンセント										
	2	MCCB 1P 50AF 30AT		(T)	7		600		⑫	1		300		コンセント										
	3	MCCB 1P 50AF 50AT		(U)	7		400		⑬	1		600		コンセント										
	4	MCCB 2P 50AF 20AT		(V)	7		600		⑭	1		600		コンセント										
	5	MCCB 2P 50AF 30AT		(W)	7		700		⑮	1		600		コンセント										
	6	MCCB 2P 50AF 50AT		(X)	1		200		⑯	1		600		コンセント										
	7	ELCB 2P 50AF 20AT		(Y)	1		500		⑰	1		600		コンセント										
				(Z)	1		300		⑱	1		400		コンセント										
				(AA)	1				⑲	1		300		コンセント										
				(AB)	1				⑳	1		600		コンセント										
附属機器記号	R	リモコンリレー 1P20A	B1L-2 (T) AC1φ3W 200/100V MCCB3P 50/50 計8,021VA 幹線NO.2 2分岐 CVT60* 1Pリモコンリレー×28 リモコンT/U ×7 リモコンTr ×1 MCCB ×2 M&A/TU ×2 ※上記を盤内に組込	(AC)	7		60		(S)	1		800		コンセント										
	WT	電磁接触器+24Hタイマー+光電SW		(AD)	7		55		(T)	7		500		コンセント										
	MT	電力計 (パルス発信器付)		(AE)	4		280		(U)	7		500		コンセント										
	MS	電磁接触器+ (人感センサー)		(AF)	4	Rx4	1,069		(V)	7		500		コンセント										
	MTU	調光用T/Uユニット (白熱灯1,500W用)		(AG)	7	Rx4	1,862		(W)	7		100		車路管制										
	M&A/TU	接点入力T/Uユニット (4入力用)		(AH)	4	Rx2	608		(X)	1				予備										
				(AI)	7	Rx2	240		(Y)	1				予備										
				(AJ)	7	Rx2	1,200		(Z)	1				予備										
				(AK)	7		304		(AA)	1				予備										
				(AL)	1				(AB)	1				予備										
注記	1.	自動火災報知設備回路及び非常放送設備回路等の電源としての配線用遮断器にはその目を赤字で明記し、開放防止装置を設ける。	1Pリモコンリレー×16 リモコンT/U ×4 リモコンTr ×1 ※上記を盤内に組込	(AM)	7		243		(AC)	1		900		空調機										
	2.	各盤に2P50/20×4のスペースを見込むこと。		(AN)	4				(AD)	1		900		空調機										
				(AO)	1				(AE)	1		900		空調機										
				(AP)	1				(AF)	1				予備										
				(AQ)	1				(AG)	1				予備										
				(AR)	1				(AH)	1				予備										
				(AS)	1				(AI)	1				予備										
				(AT)	1				(AJ)	1				予備										
				(AU)	1				(AK)	1				予備										
				(AV)	1				(AL)	1				予備										

特記事項		盤名称					盤名称					盤名称					
記号	内容・仕様	型式	回路記号	回路		備考	型式	回路記号	回路		備考	型式	回路記号	回路		備考	
				断路器	付属回路				断路器	付属回路				断路器	付属回路		断路器
型式	G	一般埋込型															
	T	一般露出型 (外扉付)															
	D	一般露出型 (外扉なし)															
	1G	一種耐熱型 (コンクリート等耐熱処理を施した壁への埋込)															
	1H	一種耐熱型 (耐熱、処理が施されていない壁への埋込)															
	1T	一種耐熱露出型															
	2G	二種耐熱型															
	2T	二種耐熱露出型															
	回路記号	①	一般照明回路	AC200V													
		②	一般照明回路	AC100V													
		③	一般コンセント回路	AC200V													
		④	一般コンセント回路	AC100V													
		⑤	一般単相動力回路	AC200V													
		⑥	一般単相動力回路	AC100V													
		⑦	一般単相動力回路	AC200V													
	配線用遮断器記号	1	MCCB 1P 50AF 20AT														
		2	MCCB 1P 50AF 30AT														
		3	MCCB 1P 50AF 50AT														
4		MCCB 2P 50AF 20AT															
5		MCCB 2P 50AF 30AT															
6		MCCB 2P 50AF 50AT															
7		ELCB 2P 50AF 20AT															
付属機器記号	R	リモコンリレー 1P20A															
	WT	電磁接触器+2.4Hタイマー+光電SW															
	HT	電力量計 (パルス発信器付)															
	MS	電磁接触器+ (人感センサー)															
	MTU	調光用T/Uユニット (白熱灯1, 500W用)															
	MS+TU	接点入力T/Uユニット (4入力用)															
	①																
	②																
	③																
	注	1.	自動火災報知設備回路及び非常放送設備用回路等の電源としての配線用遮断器にはその旨を赤字で明記し、開放防止装置を設ける。														
2.		各盤に2P50/20×4のスペースを見込むこと。															
①																	
②																	
③																	
④																	
⑤																	
⑥																	
⑦																	
⑧																	

1Pリモコンリレー×4
リモコンT/U ×11
リモコンTr ×1
※上記を盤内に組込

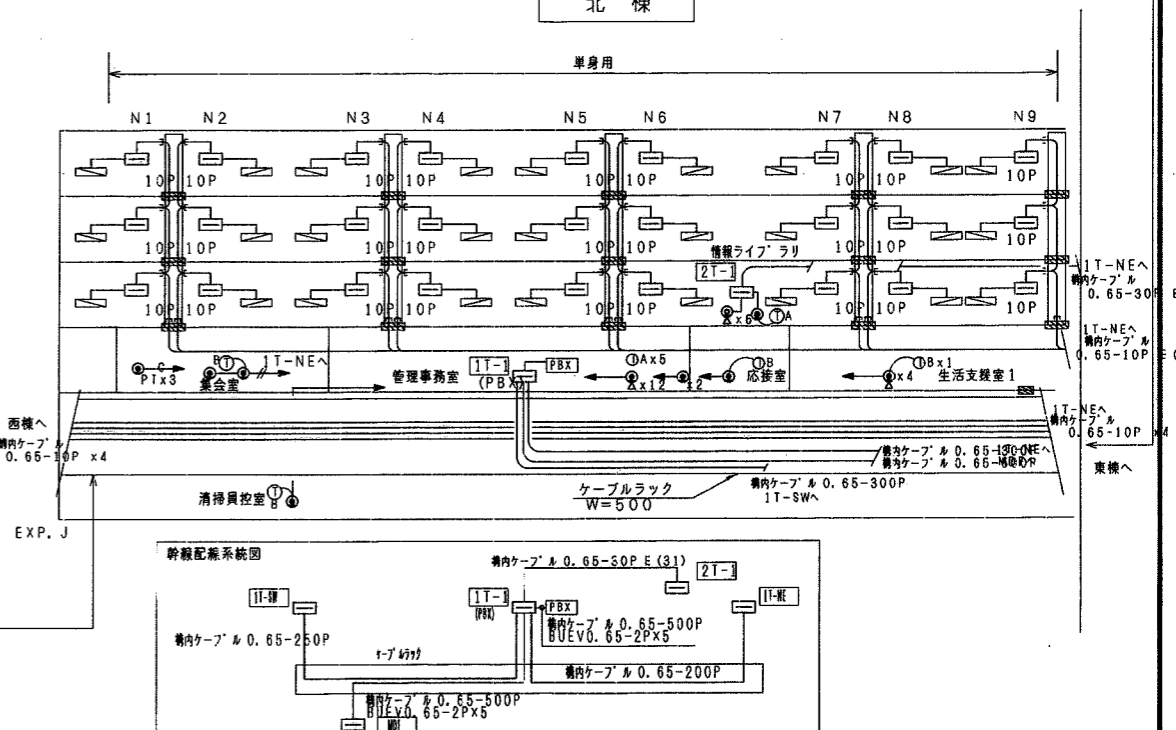
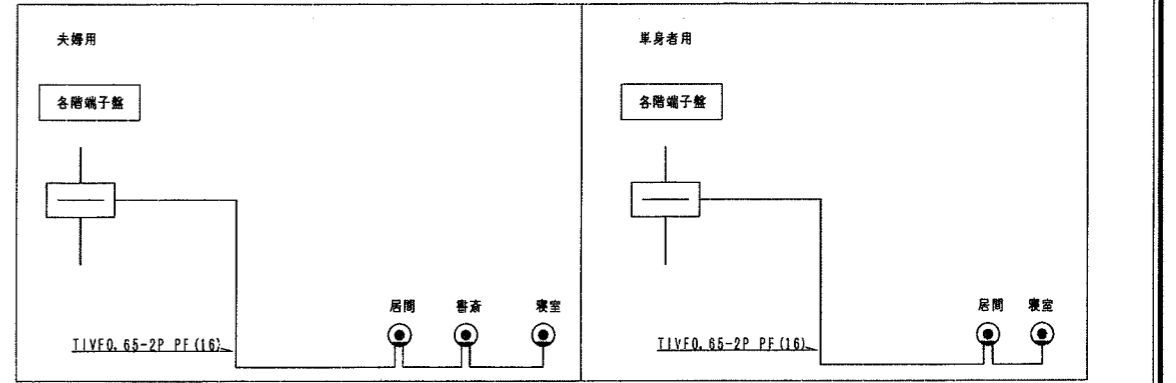
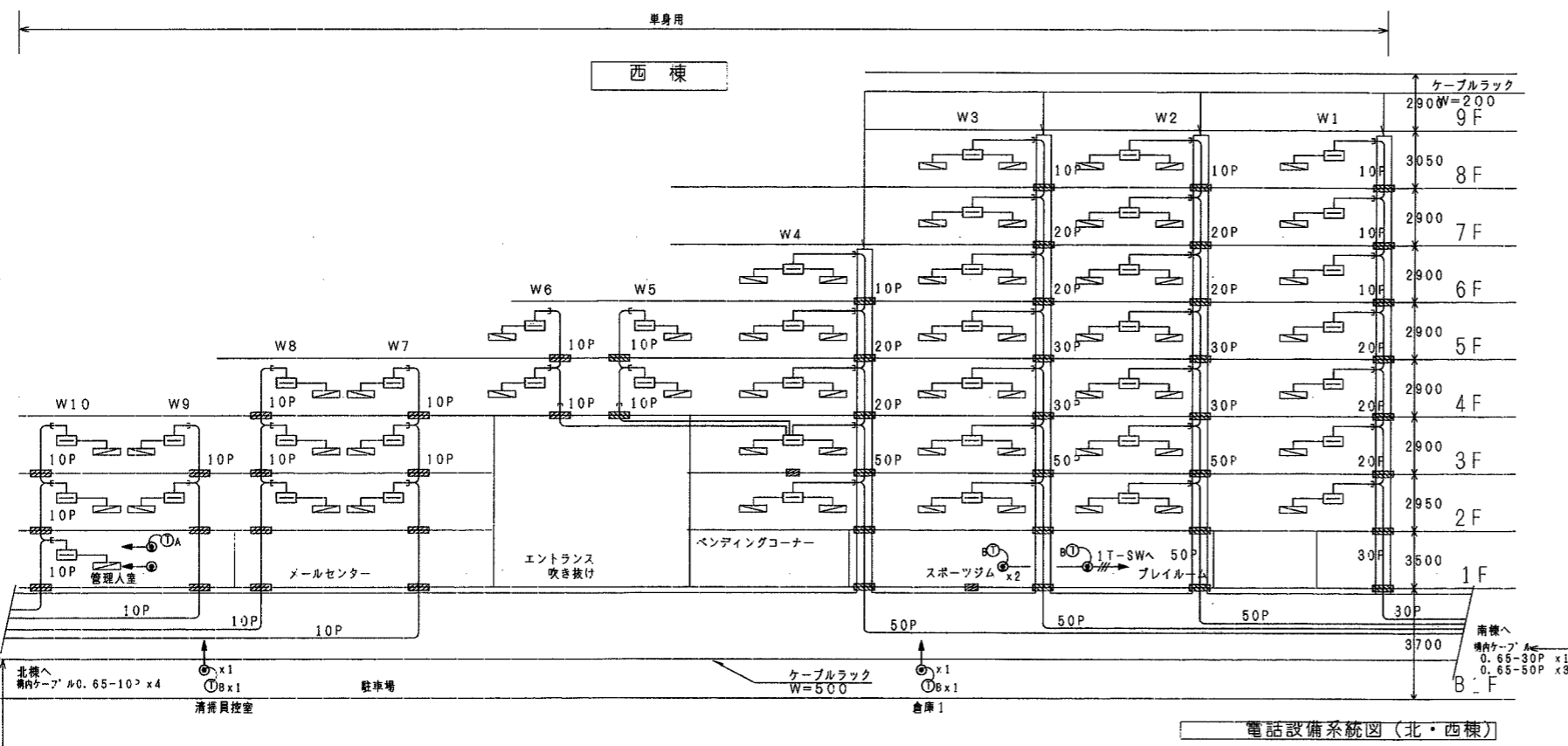
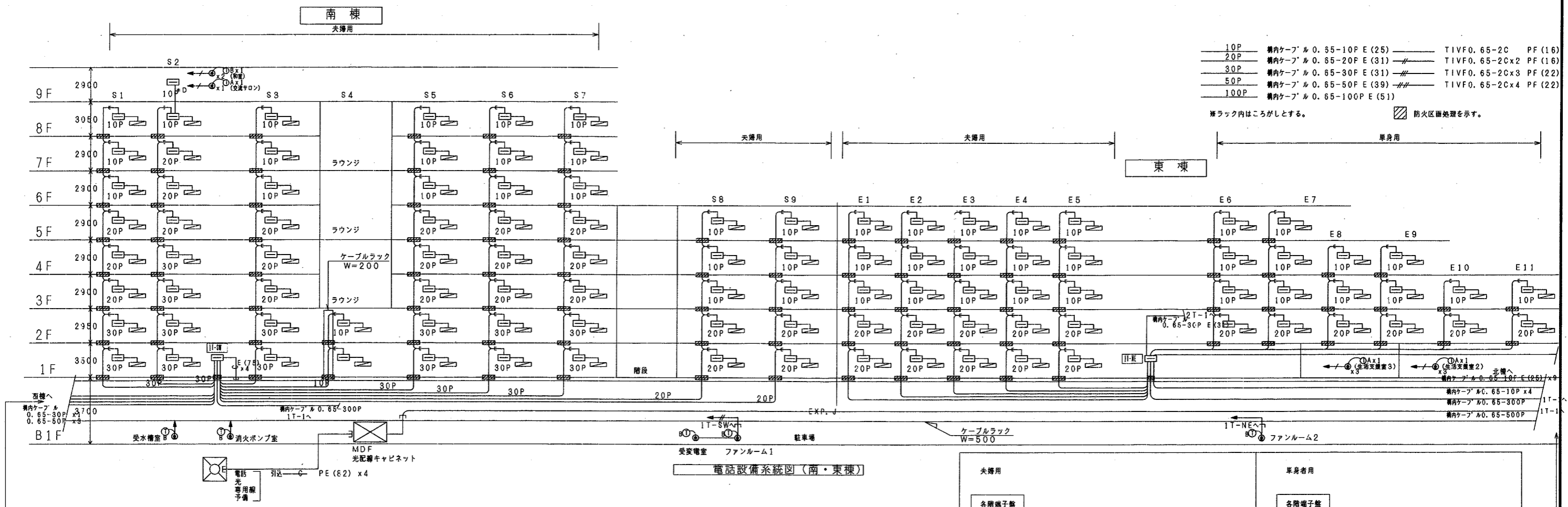
1Pリモコンリレー×28
リモコンT/U ×7
リモコンTr ×1
MT ×3
MS ×4
接点入力TU ×4
※上記を盤内に組込

revisions	date	checked by

特記事項		盤名称	電源種別 幹線記号 主幹・合計容量	回路 記号	遮断器 記号	付属回路 記号	負荷容量 (VA) 照 明 コンセント	備 考	盤名称	電源種別 幹線記号 主幹・合計容量	回路 記号	遮断器 記号	付属回路 記号	負荷容量 (VA) 照 明 コンセント	備 考	盤名称	電源種別 幹線記号 主幹・合計容量	回路 記号	遮断器 記号	付属回路 記号	負荷容量 (VA) 照 明 コンセント	備 考					
盤 形 式	G	一般埋込型	[2L-1](D) AC 1φ3W MCCB3P 100/100V 計 3, 220VA 幹線NO. 54分岐 CVT14	①	4			予備	[3L-NE](D) AC1φ3W 200/100V 計 14, 259VA 幹線NO. 5分岐 CVT60	[3L-1](T) AC 1φ3W MCCB3P 200/100V 計 35, 810VA 幹線NO. 8 CVT60	①	4		420	誘導灯	①	4	R×1	3, 180	電灯R267							
	T	一般露出型 (外扉付)		②	4			予備			②	4	R×1	972	電灯R268												
	D	一般露出型 (外扉なし)		③	4							③	4		184		予備										
	1G	一種耐熱埋込型 (コンクリート等耐熱処理を施した壁への埋込)		④	4							④	4	[W]×2	266		和室PAC										
	1H	一種耐熱埋込型 (耐熱、処理が施されていない壁への埋込)		⑤	4							⑤	4	R×1	530		電灯R269, ELV間接照明										
	1T	一種耐熱露出型		⑥	4							⑥	4	R×2	304		予備R270										
	2G	二種耐熱埋込型		⑦	4							⑦	4	R×2	160		予備										
	2T	二種耐熱露出型		⑧	4							⑧	4	R×2	350		エアコン室内機										
	回 路 記 号	①		一般照明回路	AC200V								①	4	R×2		120	電灯R281, 西棟外灯									
		②		一般照明回路	AC100V								②	4	R×2		150	和室間接照明									
③		一般コンセント回路	AC200V						③	4	[W]×2	216	電灯R282, 西棟外灯														
④		一般コンセント回路	AC100V						④	4			予備														
⑤		一般単相動力回路	AC200V						⑤	4			予備														
⑥		一般単相動力回路	AC100V						⑥	4			電灯、臭気扇、(男女wc)														
配 線 用 遮 断 器 記 号		1	MCCB 1P 50AF 20AT	[4L-1](D) AC1φ3W 200/100V 計 11, 150VA 幹線NO. 7分岐 CVT22	①	1	R×1	2, 592	電灯	[3L-SW](D) AC1φ3W 200/100V 計 9, 538VA 幹線NO. 7分岐 CVT22	[3L-SW](D) AC1φ3W 200/100V 計 9, 538VA 幹線NO. 7分岐 CVT22	①	4		10	誘導灯	①	4			100	電灯R281, 中央監視					
		2	MCCB 1P 50AF 30AT		②	1	R×1	114	電灯			②	4			420		キッチンコンセント									
		3	MCCB 1P 50AF 50AT		③	1	R×1		予備			③	4			600		予備									
		4	MCCB 2P 50AF 20AT		④	1							④	4				600	キッチンコンセント								
	5	MCCB 2P 50AF 30AT	⑤		1	R×4	720	電灯R227~R230	⑤			1						300	コンセント(キッチン)								
	6	MCCB 2P 50AF 50AT	⑥		1	R×1	304	電灯R231	⑥			1						200	コンセント(フロア)								
	7	ELCB 2P 50AF 20AT	⑦		1	R×1	360	電灯R232	⑦			1						300	コンセント(キッチン)								
	附 属 機 器 記 号	R	リモコンリレー 1P20A		計 11, 150VA 幹線NO. 7分岐 CVT22	⑧	1	R×1	1, 440			電灯R233	[MT] ×8 [MT] ×4 ※上記を盤内に組込	[MT] ×10 [MT] ×6 ※上記を盤内に組込	[MT] ×10 [MT] ×6 ※上記を盤内に組込	⑧		1	R×1			⑧	1			300	コンセント(水屋)
		MT	電磁接触器+24Hタイマー+光電SW			⑨	1									⑨		1					300	コンセント(水屋)			
		MS	電力兼計(パルス発信器付)			⑩	1											⑩	1					1, 000	コンセント(電気炉)		
MS		電磁接触器+(人感センサー)	⑪	1						⑪	1								1, 000	コンセント(電気炉)							
MS		調光用T/Uユニット(白熱灯1, 500W用)	⑫	1						⑫	1								1, 000	コンセント(キッチン)							
MS		調光用T/Uユニット(白熱灯1, 500W用)	⑬	1						⑬	1								200	コンセント(和室)							
MS		接点入力T/Uユニット(4入力用)	⑭	1						⑭	1								200	予備							
注 記		1.	自動火災報知設備回路及び非常放送設備回路等の電源としての配線用遮断器にはその目を赤字で明記し、開放防止装置を設ける。	2Pリモコンリレー×9 1Pリモコンリレー×4 リモコンT/U ×1 リモコンT/U ×1 ※上記を盤内に組込		⑮	1				⑮	1								400	予備	⑰	1			409	オートドア
		2.	各盤に2P50/20×4のスペースを見込むこと。			⑯	1					⑯				1					325		女子wcウォシュレット				
						⑰	1					⑰				1					1, 500		男子wcウォシュレット				
			⑱		1					⑱	1					1, 000	温水器										
			⑳		1					㉑	1					1, 000	男子wcウォシュレット										
			㉒		1					㉒	1					1, 000	女子wcウォシュレット										
			㉓		1					㉓	1					1, 500	女子wc(湯沸器)										
			㉔		1					㉔	1					1, 500	男子wc(湯沸器)										
			㉕		1					㉕	1					325	コンセント(ELVホール)										
			㉖		11					㉖	11							コンセント(キッチン廊下)									

revisions			

松田平田・丸川設計共同企業体
 project no. A3693 つかば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事
 date 99.09.30 drawn by checked by
 分電盤結線図(3)
 no scale / A1
 電気 303



NO.	REVISIONS

松田平田・丸川設計共同企業体

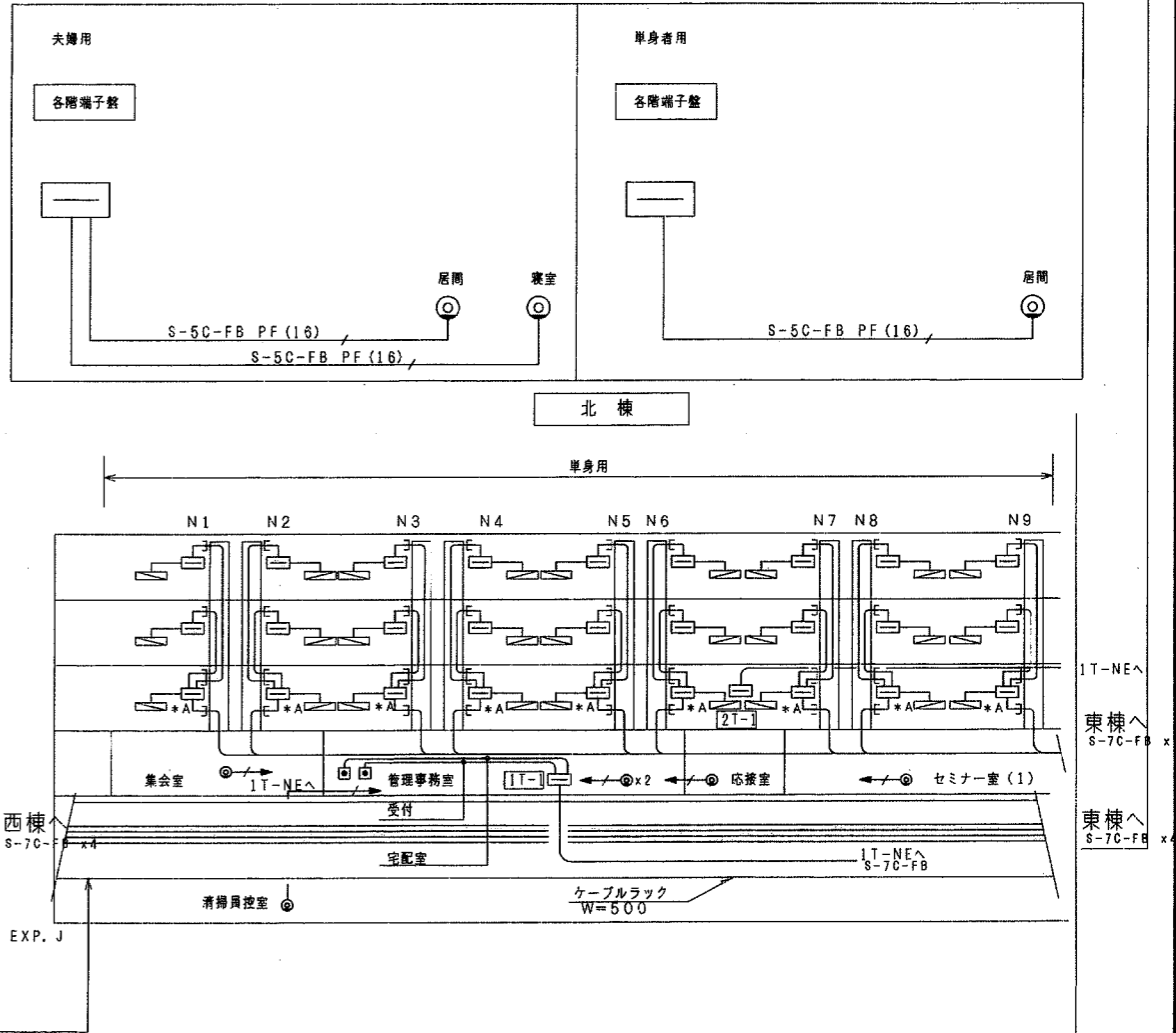
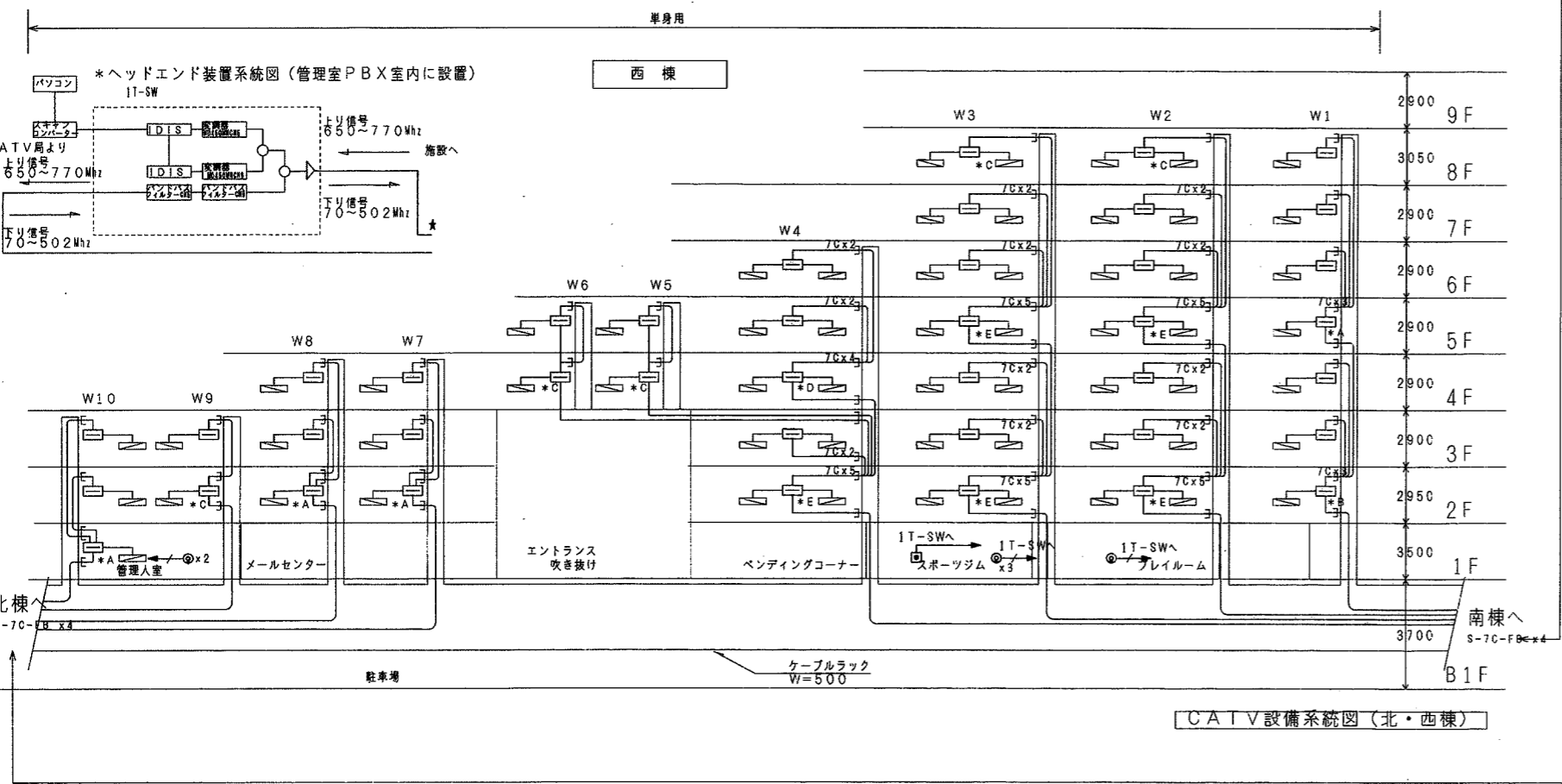
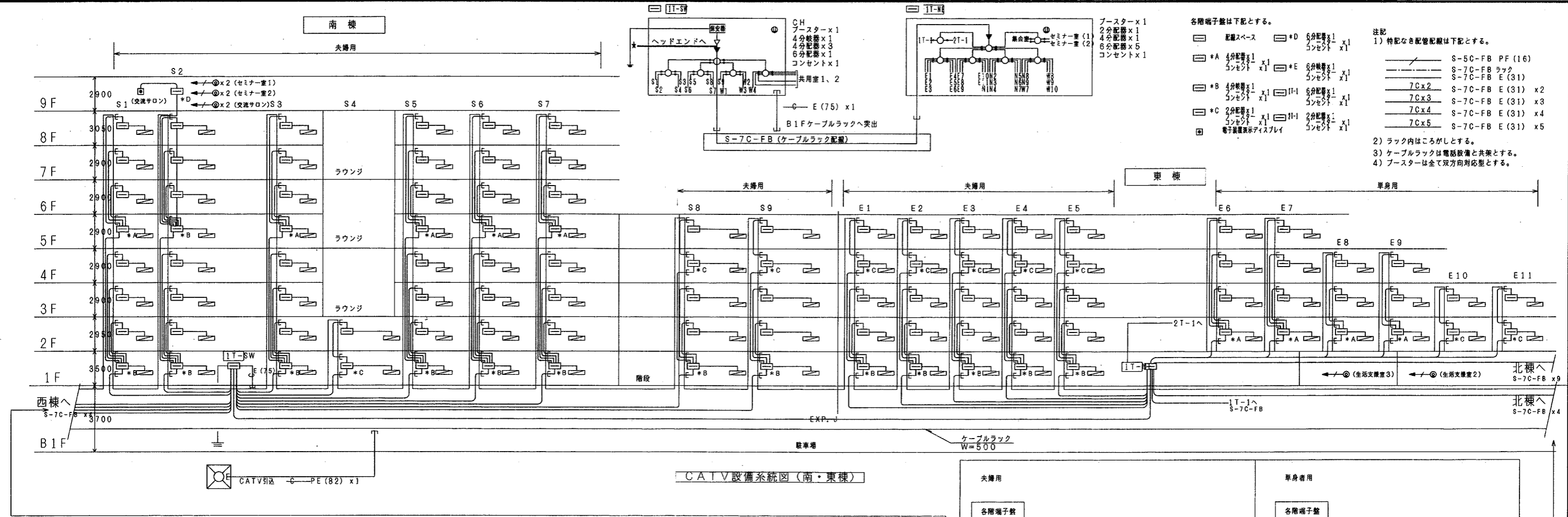
project no. A3693 つかば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事

date 99.09.30 drawn by checked by

電話設備 系統図

scale no scale / A1

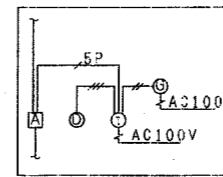
電気 401



NO.	REVISIONS

松田平田・丸川設計共同企業体 		project no. A3693	株式会社 松田平田・丸川設計	テレビ共聴設備 系統図	電気
date 99.09.30		つかば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事	drawn by	checked by	402
scale no scale / A1		99.09.30			

(注1) 住戸内詳細図

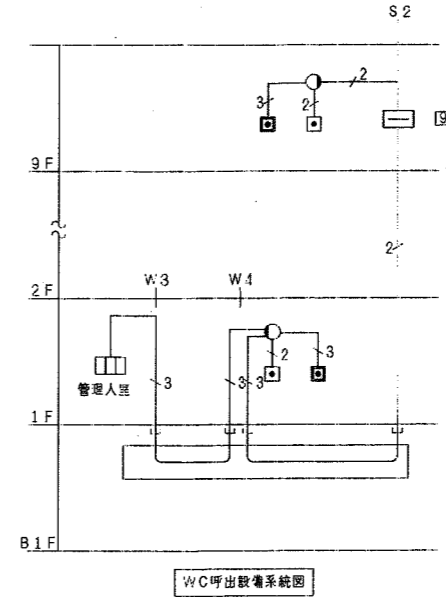
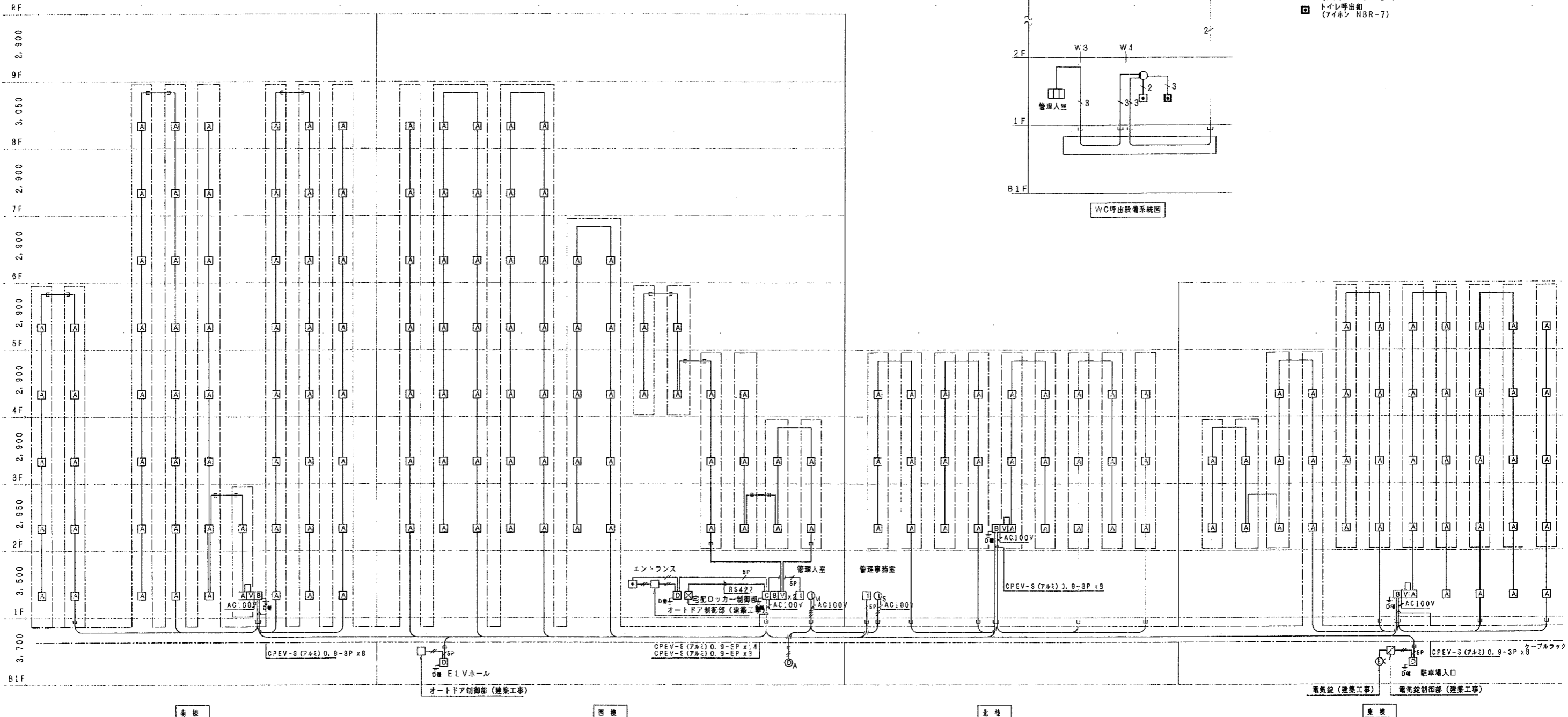


(注2) 特記なき配管配線は下記とする。

- AED. 9-2C PF (16)
- AED. 9-3C PF (16)
- AED. 9-2C x2 FF (16)
- CPEV-S (7#) 0.9-3P x2 E (31)
- 5P CPEV-S (7#) 0.9-5P PF (22)

(注3) ケーブルラック内は、こしがし配線とする。

(注4) シャフト内立上はケーブルラック(電話設備と共製)こしがしとする。

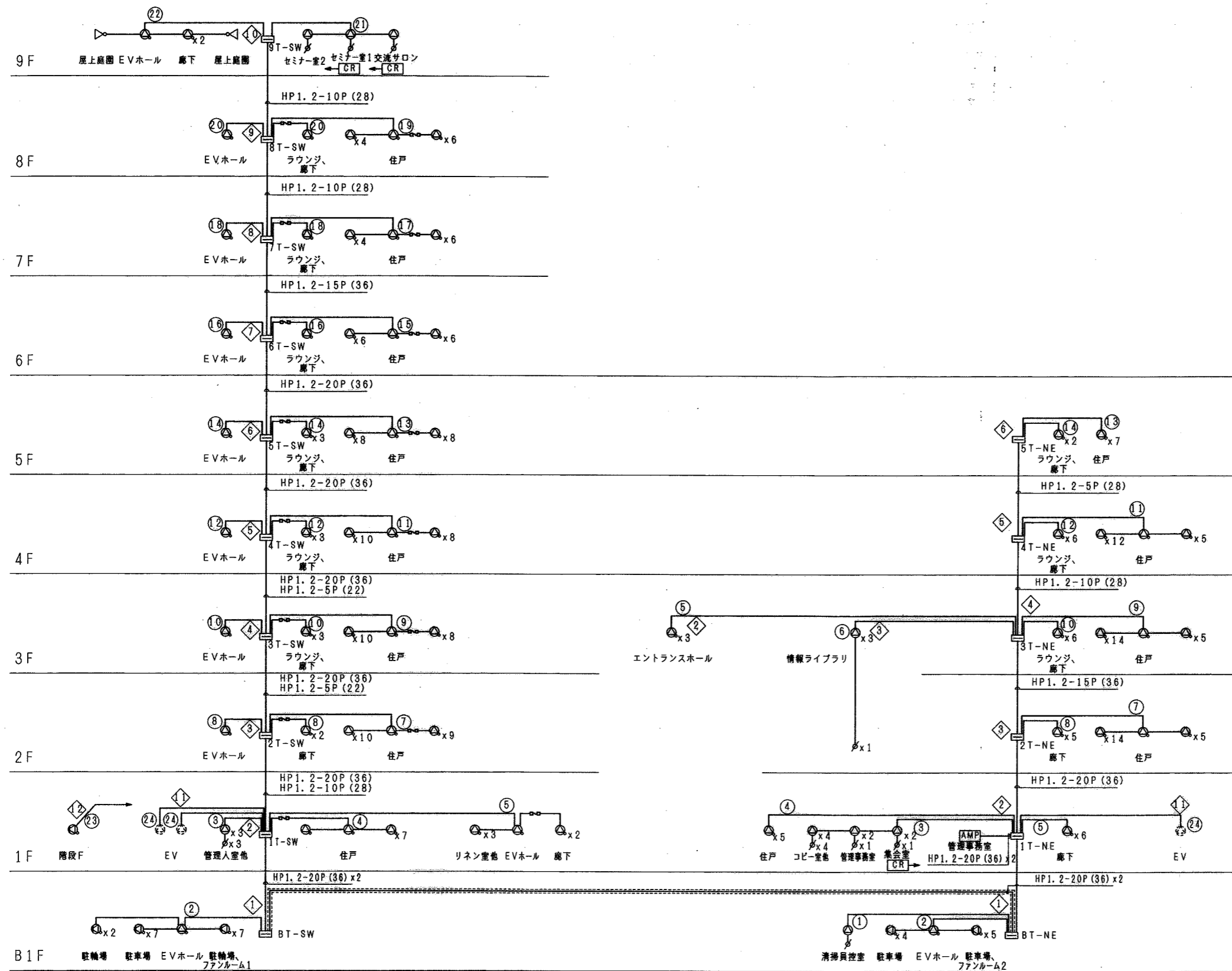


- 2 CPEV1. 2-2C PF (16)
- 3 CPEV1. 2-3C PF (16)
- 表示盤 (アイホン CAN-3C/B)
- 廊下表示灯 (アイホン NBR-4A)
- 復旧用 (アイホン NBR-2A)
- トイレ呼出用 (アイホン NBR-7)

revisions	date	drawn by	checked by

松田平田・丸川設計共同企業体 松田平田 丸川設計		project no. 43693 date 99.09.30	つかば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事 インターホン設備 系統図 scale no scale / A1	電気 403
------------------------------------	--	------------------------------------	---	-----------

縦系統図



凡例

AMP	非常通常放送機器収納架
⊙	天井埋込型スピーカー (ATT付)
⊖	天井埋込型スピーカー (ATT無)
⊕	壁掛型スピーカー (ATT付)
⊗	住宅用コーナー取付スピーカー
△	ソフトホーンスピーカー
#	アッテネータ
CR	電源遮断ユニット

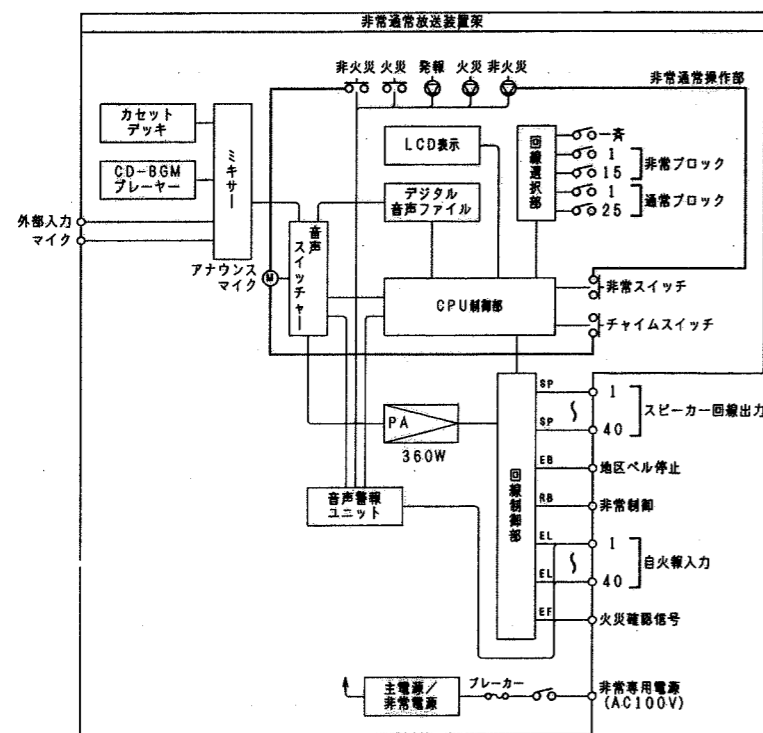
注) 指示なき配線はHP1.2-3C PF (16) とする。

◇	非常系統No
⊙	通常系統No

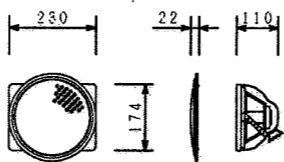
revision			

<p>松田平田・丸川設計共同企業体</p> <p>MHS 松田平田 丸川設計</p>		<p>Project No. A3693</p> <p>つくば外国人研究者用宿舎 (仮称) 電気設備工事</p> <p>Date 99.09.30</p>	<p>放送設備</p> <p>系統図</p> <p>no scale/A1</p>	<p>電気</p> <p>501</p>
--	--	---	---	----------------------

非常通常放送設備ブロック図

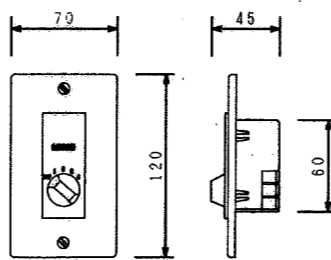


天井埋込型スピーカー (ATTなし)
天井埋込型スピーカー (ATT付)



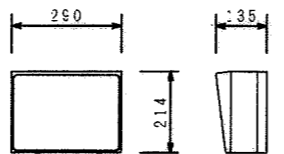
スピーカーユニット	16cmダイナミック型
定格入力	1W/3W/6W
出力音圧レベル	93dB/W(1m)
周波数特性	50~14,000Hz
入力インピーダンス	1.6kΩ (6W)、3.3kΩ (3W)、10kΩ (1W)
スピーカーパネル	ピアノホワイトアルミバンチング
アッテネーター	OFFおよび0、-6、-12dB

アッテネータユニット



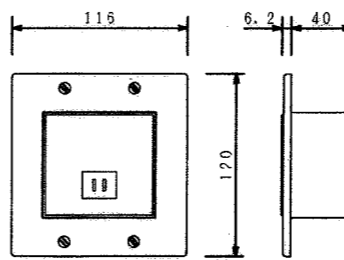
入力容量	6W
入力インピーダンス	20~1.7kΩ
音量調節	5段階 (OFF、0、-6、-12、-18dB)
プレート	フルカラープレート

壁掛型スピーカー (ATT付)



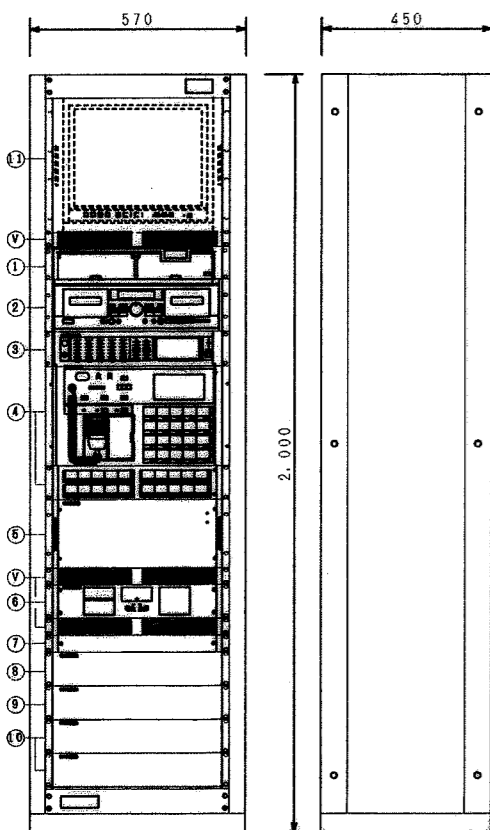
スピーカーユニット	16cmコーン型
定格入力	1W (10kΩ)、3W (3.3kΩ)、6W (1.7kΩ)
出力音圧レベル	92dB/W(1m)
周波数特性	120~13,000Hz
入力インピーダンス	10k/3.3k/1.7kΩ (ハイインピーダンスライン)
アッテネーター	4段階 (大/中/小/切)

電源遮断ユニット



電力容量	最大800W
電流容量	最大10A (ACアウトレット1個)
制御方式	DC24V「断」信号によりAC100Vを「断」
制御電圧	制御(両切り)
制御電流	DC24V、約2mA
電源	AC100V、50/60Hz

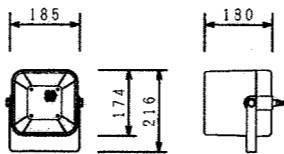
非常通常放送装置架



- 1 CD-BGMプレーヤー
- 2 カセットデッキ
- 3 ミキサーユニット
- 4 非常通常操作部
- 5 360Wパワーアンプ
- 6 非常電源ユニット
- 7 主電源ユニット
- 8 音声警報ユニット
- 9 主入力制御ユニット
- 10 回線制御ユニット
- 11 17型ビデオモニター収納部
- B ブランクパネル
- V ベンチプレートパネル

電源電圧	AC100V、50/60Hz
定格出力	360W
出力制御部	スピーカー出力回線数: 40回線 回線選択スイッチ (非常ブロック): ×15 (個別選択): ×25
入力回路部	非常/通常リモコン、アナウンスマイク、ミキサー、W・チャイム、ボイスファイル、ベネジック、BGM
非常放送操作部	音声警報: 発報放送、火災放送、非火災放送 (シグナル+音声メッセージ) ハンドマイク (ダイナミック型) 付 火災灯、警報作動表示灯、出火表示灯付 起動表示 (本体、リモコン、ベネジック、タイマー) 各種警報表示 (回線短絡、開放、異常、発)
モニタースピーカー	0.45W A.T.T.付、ハウリング防止回路付
非常電源部	ニッケルカドミウム蓄電池、DC24V 自動充電回路、電源電圧監視内蔵
自火警連絡	連絡/連絡一斉
音声警報ユニット	外部音声警報ソフト付 個別地区信号入力数: 5.9 火災確認信号入力数: 1、EB信号出力数: 1
通信回線制御	RS-485による制御
カセットデッキ	ダブルデッキ方式、ピッチコントロール付
CD-BGMプレーヤー	マガタン方式、5枚連続演奏可能

ソフトホーンスピーカー



スピーカーユニット	12cm防滴型
定格入力	6W/3W/1W
出力音圧レベル	96dB/W(1m)
周波数特性	150Hz~15kHz
入力インピーダンス	1.7kΩ/3.3kΩ/10kΩ
質量	1.7kg

防滴型天井スピーカー



スピーカーユニット	9cm防滴型
定格入力	3W/1W
出力音圧レベル	90dB/W(1m)
周波数特性	150Hz~18kHz
入力インピーダンス	3.3kΩ/10kΩ
質量	700g

松田平田・丸川設計共同企業体



松田平田 丸川設計

Project No. A3693 つくば外国人研究者用宿舎 (仮称) 電気設備工事

Date 99.09.30

Drawn by

Checked by

放送設備
機器図

Scale no scale/A1

電気

502

1階集会室AV設備 機器構成表

番号	機器名称	数量	本工事	別途工事	備考
A1	AV操作ワゴン	1式	○		
A2	AV機器架(A)	1式	○		
A3	デジタル書画カメラ	1式	○		
A4	メインスピーカ(取付金具共)	2式	○		
A5	リアスピーカ(取付金具付)	2台	○		
A6	天井埋込スピーカ	4台	○		
A7	D-ILAマルチメディアプロジェクター	1式	○		
A8	接続盤	1面	○		
A9	レクチャー卓	1台	○		
A10	ワイヤレスアンテナ(天井埋込型)	2台	○		
A11	壁付マイクコンセントプレート(1ヶ用)	2面	○		
A12	フロアマイクコンセント(1ヶ用)	1台	○		
A13	ワイヤレスマイク(ハンド型)	2本	○		
A14	ワイヤレスマイク(タイピン型)	2本	○		
A15	ダイナミックマイク(ロホン)	2本	○		
A16	延長用マイクコード(10m)	2本	○		
A17	卓上型マイクスタンド	1本	○		
A18	床上型マイクスタンド	1本	○		
A19	100型電動巻上スクリーン	1式	○		
A20	スクリーンリモートパネル	1面	○		

9階交流サロンAV設備 機器構成表

番号	機器名称	数量	本工事	別途工事	備考
C1	50型ILAテレビ	1式	○		
C2	AVコントロールアンプ	1台	○		
C3	全世界対応VTR	1台	○		
C4	DVD/LDプレーヤ	1台	○		
C5	主電源ユニット	1台	○		
C6	フロントスピーカ(側置)	2式	○		
C7	センタースピーカ(側置)	1式	○		
C8	リアスピーカ(スタンド付)	2式	○		

1階セミナー室-1 AV設備 機器構成表

番号	機器名称	数量	本工事	別途工事	備考
B1	AV機器架(B)	1式	○		
B2	デジタル書画カメラ	1式	○		
B3	メインスピーカ(取付金具共)	2式	○		
B4	リアスピーカ(取付金具付)	2台	○		
B5	D-ILAマルチメディアプロジェクター	1式	○		
B6	レクチャー卓	1台	○		
B7	ワイヤレスアンテナ(天井埋込型)	2台	○		
B8	壁付マイクコンセントプレート(1ヶ用)	2面	○		
B9	フロアマイクコンセント(1ヶ用)	1台	○		
B10	ワイヤレスマイク(ハンド型)	2本	○		
B11	ワイヤレスマイク(タイピン型)	2本	○		
B12	ダイナミックマイク(ロホン)	2本	○		
B13	延長用マイクコード(10m)	2本	○		
B14	卓上型マイクスタンド	1本	○		
B15	床上型マイクスタンド	1本	○		
B16	80型電動巻上スクリーン	1式	○		
B17	スクリーンリモートパネル	1面	○		

9階交流サロン音響設備 機器構成表

番号	機器名称	数量	本工事	別途工事	備考
D1	システムアンプ	1台	○		
D2	MD/CDコンプレッショントラック	1台	○		
D3	ダブルカセットデッキ	1台	○		
D4	天井埋込スピーカ	4台	○		
D5	ワイヤレスアンテナ(天井埋込型)	2台	○		
D6	ワイヤレスマイク(ハンド型)	2本	○		
D7	ワイヤレスマイク(タイピン型)	2本	○		

BB77603E

revision			

松田平田・丸川設計共同企業体

MIS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事

date 99.09.30

drawn by

checked by

視聴覚設備 1階集会室

9階交流サロン

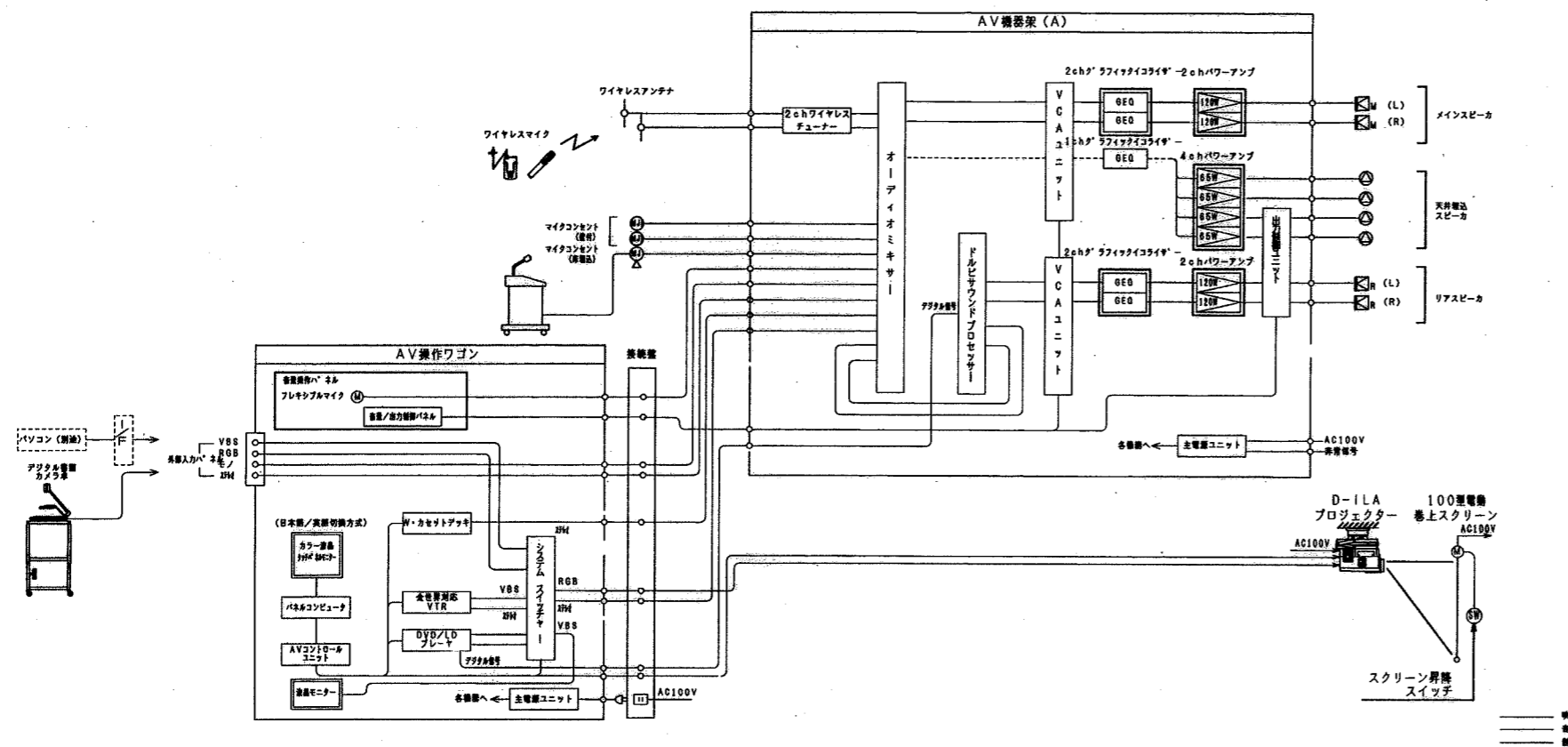
機器構成表

no scale/A1

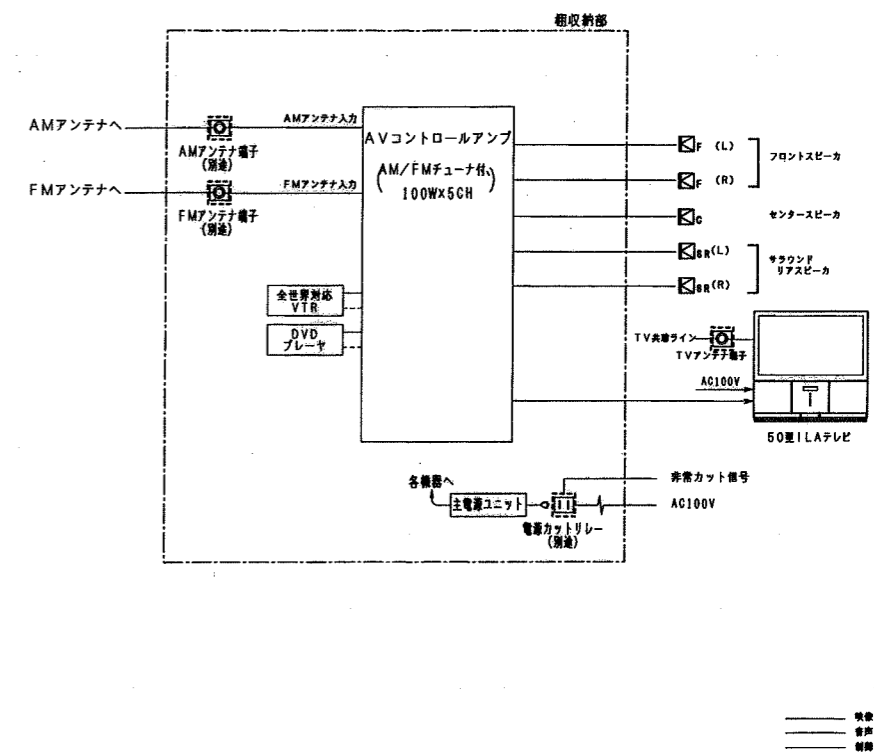
電気

509

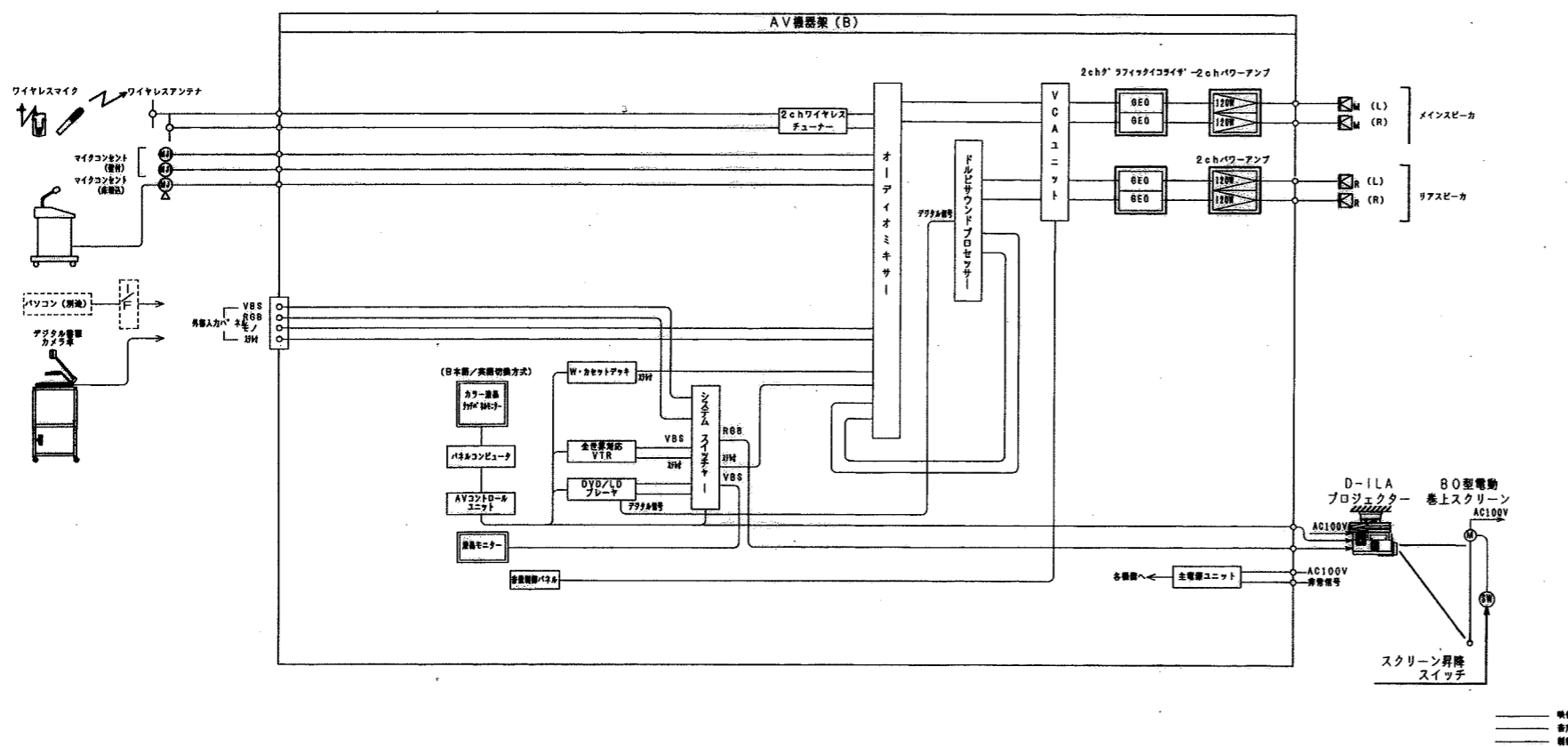
1階集会室 AV設備システム系統図



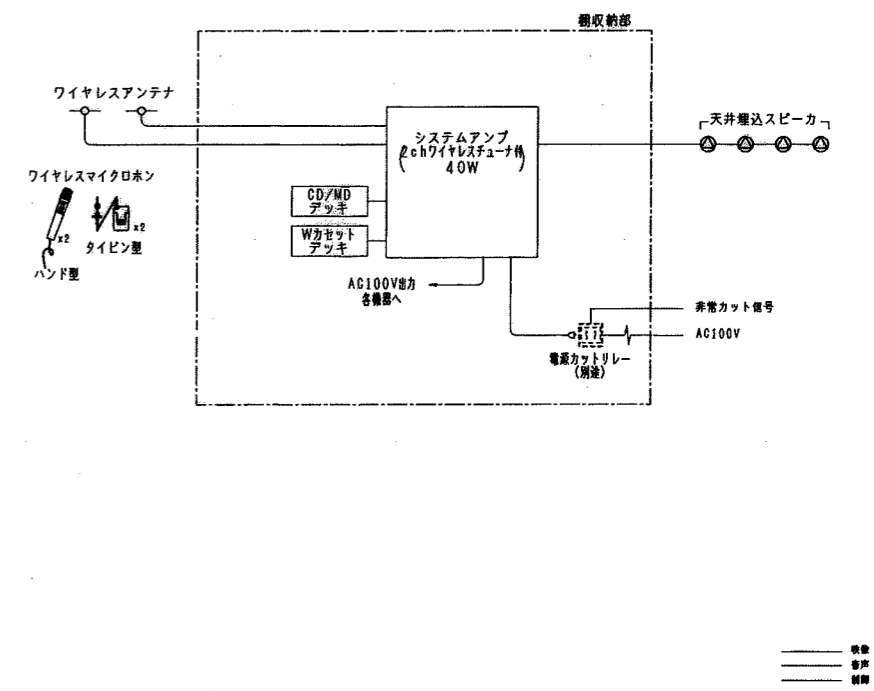
9階交流サロンAV設備 システム系統図



1階セミナー室-1 AV設備システム系統図



9階交流サロン音響設備 システム系統図



WB77605C

revisions		

松田平田・丸川設計共同企業体

MIS 松田平田 丸川設計

project no. A3693
 99.09.30
 株式会社 丸川設計
 松田平田

視聴覚設備 1階集会室
 9階交流サロン
 システム系統図
 no scale/A1

電気
 510

AV操作ワゴン

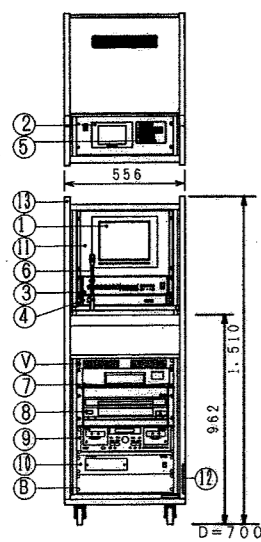


Table with 3 columns: No, Name, Specifications. Includes items like main power unit, audio output, and AV control unit.

Table with 3 columns: No, Name, Specifications. Includes items like touch panel, monitor, and system switcher.

AV機器架 (B)

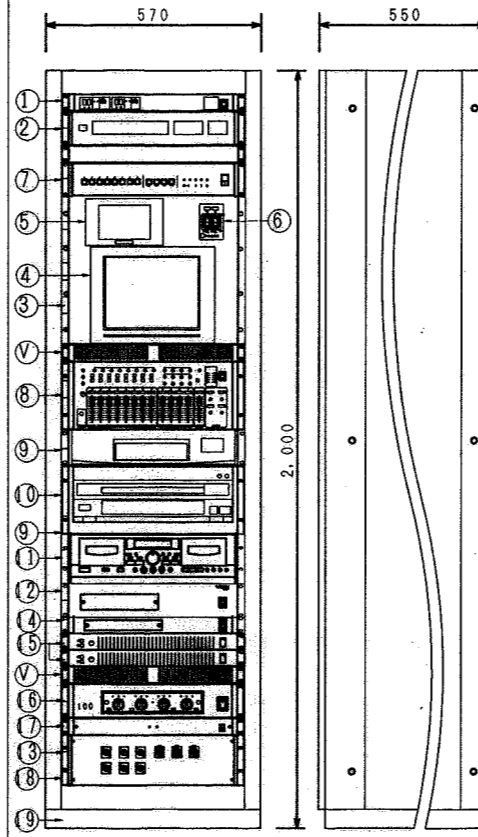


Table with 3 columns: No, Name, Specifications. Includes items like touch panel, monitor, and system switcher.

デジタル書画カメラ

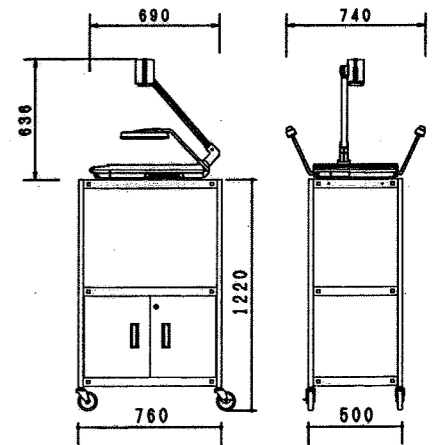


Table with 2 columns: Name, Specifications. Includes details about the camera's lens, zoom, and resolution.

AV機器架 (A)

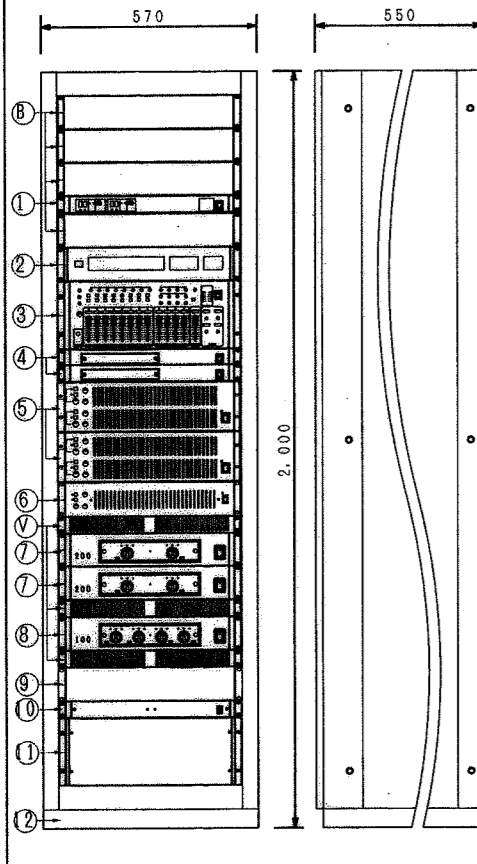


Table with 3 columns: No, Name, Specifications. Includes items like touch panel, monitor, and system switcher.

D-ILAプロジェクター (取付金具付)

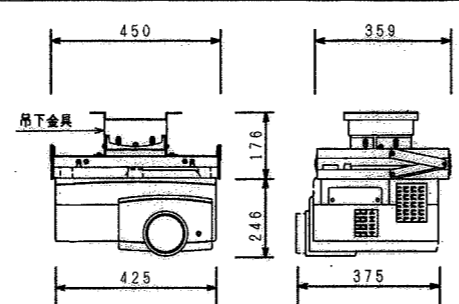


Table with 2 columns: Name, Specifications. Includes details about the projector's display size, zoom, and resolution.

メインスピーカ (取付金具付)

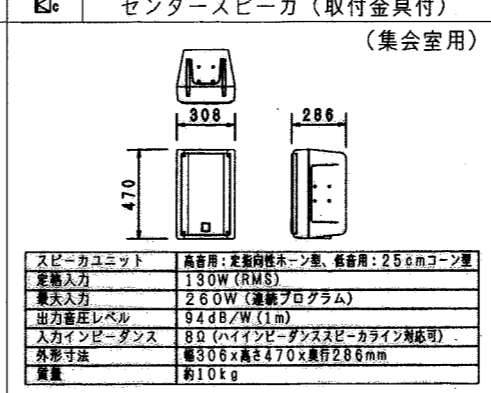


Table with 2 columns: Name, Specifications. Includes details about the speaker's power, frequency response, and weight.

メインスピーカ (取付金具付)

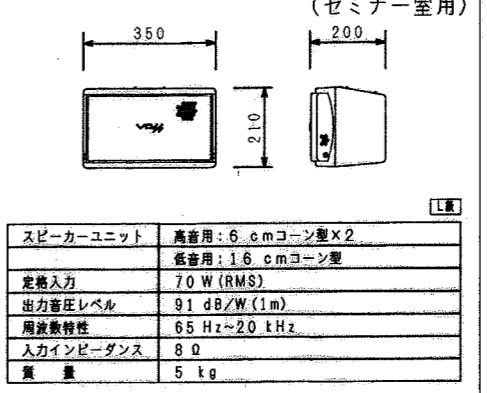


Table with 2 columns: Name, Specifications. Includes details about the speaker's power, frequency response, and weight.

天井埋込スピーカ

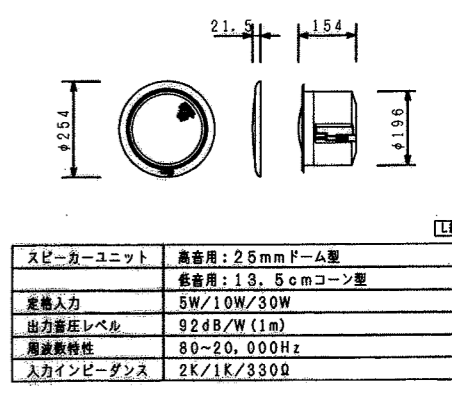


Table with 2 columns: Name, Specifications. Includes details about the speaker's power, frequency response, and weight.

BB77604D

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

A3693 つかば外国人研究者用宿舎 (仮称) 電気設備工事

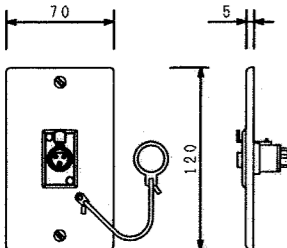
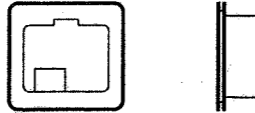
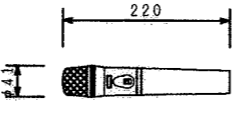
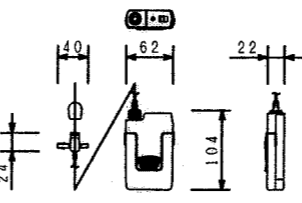
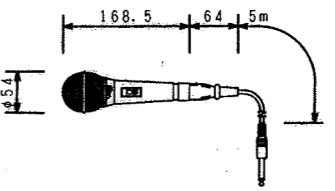
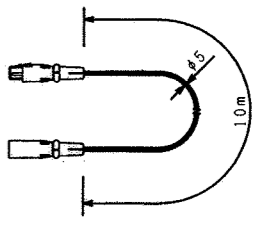
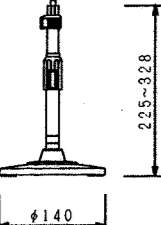
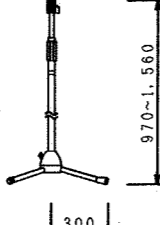
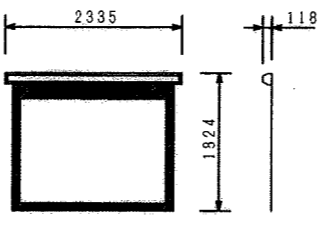
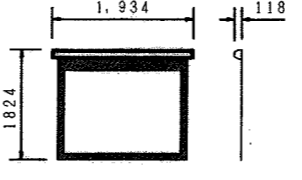
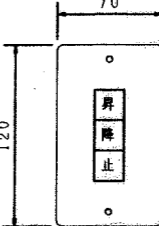
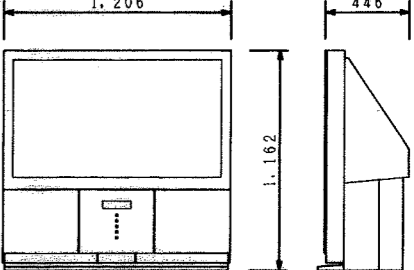
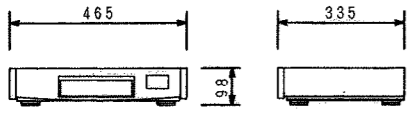
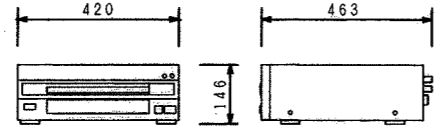
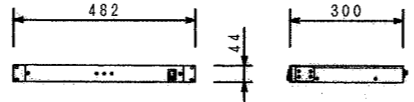
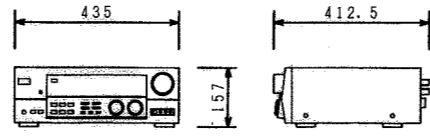
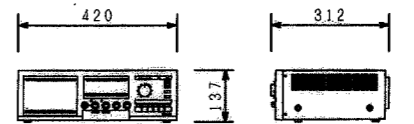
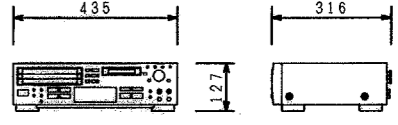
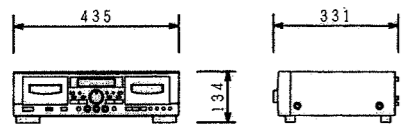
99.09.30

視聴覚設備 1階集客室

9階交流サロン

電気

511

<p>壁付マイクコンセントプレート (1ヶ用)</p>  <table border="1"> <tr><td>コネクター</td><td>XLR-3-31タイプ</td></tr> <tr><td>適合ボックス</td><td>JIS1 1個用スイッチボックス</td></tr> <tr><td>プレート</td><td>新金属</td></tr> </table>	コネクター	XLR-3-31タイプ	適合ボックス	JIS1 1個用スイッチボックス	プレート	新金属	<p>フロアマイクコンセント (1ヶ用)</p>  <table border="1"> <tr><td>コネクター</td><td>マイク: XLR-3-31×1</td></tr> <tr><td>材質</td><td>アルミダイカスト</td></tr> </table>	コネクター	マイク: XLR-3-31×1	材質	アルミダイカスト	<p>ワイヤレスマイク (ハンド型)</p>  <table border="1"> <tr><td>電波形式</td><td>F3E</td></tr> <tr><td>送信周波数</td><td>800MHz帯の30波から1波選択</td></tr> <tr><td>発振方式</td><td>水晶制御PLLシンセサイザ方式</td></tr> <tr><td>空中線電力</td><td>5mW</td></tr> <tr><td>マイクユニット</td><td>単一指向性エレクトレットコンデンサ型</td></tr> <tr><td>アンテナ</td><td>内蔵式</td></tr> <tr><td>電源</td><td>DC1.5V (単三乾電池1本) 又は専用ニッカド電池</td></tr> </table>	電波形式	F3E	送信周波数	800MHz帯の30波から1波選択	発振方式	水晶制御PLLシンセサイザ方式	空中線電力	5mW	マイクユニット	単一指向性エレクトレットコンデンサ型	アンテナ	内蔵式	電源	DC1.5V (単三乾電池1本) 又は専用ニッカド電池	<p>ワイヤレスマイク (タイピン型)</p>  <table border="1"> <tr><td>電波形式</td><td>F3E</td></tr> <tr><td>送信周波数</td><td>800MHz帯の30波から1波選択</td></tr> <tr><td>発振方式</td><td>水晶制御PLLシンセサイザ方式</td></tr> <tr><td>空中線電力</td><td>5mW</td></tr> <tr><td>マイクユニット</td><td>単一指向性エレクトレットコンデンサ型</td></tr> <tr><td>アンテナ</td><td>内蔵式</td></tr> <tr><td>電源</td><td>DC1.5V (単三乾電池1本) 又は専用ニッカド電池</td></tr> </table>	電波形式	F3E	送信周波数	800MHz帯の30波から1波選択	発振方式	水晶制御PLLシンセサイザ方式	空中線電力	5mW	マイクユニット	単一指向性エレクトレットコンデンサ型	アンテナ	内蔵式	電源	DC1.5V (単三乾電池1本) 又は専用ニッカド電池	<p>ダイナミックマイクロホン</p>  <table border="1"> <tr><td>形式</td><td>単一指向性ダイナミック型</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>50 Hz~17 kHz</td></tr> <tr><td>出力インピーダンス</td><td>600 Ω平衡 (フォノプラグ内で不平衡)</td></tr> <tr><td>感度</td><td>-55.5 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)</td></tr> <tr><td>質量</td><td>280 g</td></tr> </table>	形式	単一指向性ダイナミック型	周波数特性	50 Hz~17 kHz	出力インピーダンス	600 Ω平衡 (フォノプラグ内で不平衡)	感度	-55.5 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)	質量	280 g	<p>延長用マイクコード (10m)</p>  <table border="1"> <tr><td>コード</td><td>ビニール被覆2芯シールド線</td></tr> <tr><td>コネクター</td><td>XLR-3-11Cタイプ</td></tr> </table>	コード	ビニール被覆2芯シールド線	コネクター	XLR-3-11Cタイプ																														
コネクター	XLR-3-31タイプ																																																																																						
適合ボックス	JIS1 1個用スイッチボックス																																																																																						
プレート	新金属																																																																																						
コネクター	マイク: XLR-3-31×1																																																																																						
材質	アルミダイカスト																																																																																						
電波形式	F3E																																																																																						
送信周波数	800MHz帯の30波から1波選択																																																																																						
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザ方式																																																																																						
空中線電力	5mW																																																																																						
マイクユニット	単一指向性エレクトレットコンデンサ型																																																																																						
アンテナ	内蔵式																																																																																						
電源	DC1.5V (単三乾電池1本) 又は専用ニッカド電池																																																																																						
電波形式	F3E																																																																																						
送信周波数	800MHz帯の30波から1波選択																																																																																						
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザ方式																																																																																						
空中線電力	5mW																																																																																						
マイクユニット	単一指向性エレクトレットコンデンサ型																																																																																						
アンテナ	内蔵式																																																																																						
電源	DC1.5V (単三乾電池1本) 又は専用ニッカド電池																																																																																						
形式	単一指向性ダイナミック型																																																																																						
周波数特性	50 Hz~17 kHz																																																																																						
出力インピーダンス	600 Ω平衡 (フォノプラグ内で不平衡)																																																																																						
感度	-55.5 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)																																																																																						
質量	280 g																																																																																						
コード	ビニール被覆2芯シールド線																																																																																						
コネクター	XLR-3-11Cタイプ																																																																																						
<p>卓上型マイクスタンド</p>  <table border="1"> <tr><td>マイク取付高さ</td><td>最高328mm~最低225mm</td></tr> <tr><td>マイク取付ネジ</td><td>3/8インチ (16UNS)</td></tr> <tr><td>付属交換ネジ</td><td>5/16インチ (18UNC) (本体にセット)</td></tr> <tr><td></td><td>5/8インチ (27UNS)</td></tr> <tr><td>ロック方式</td><td>スリープロック方式</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>ボール: クロームメッキ</td></tr> <tr><td></td><td>ベース: 鍍銀ライトグレー焼付塗装</td></tr> </table>	マイク取付高さ	最高328mm~最低225mm	マイク取付ネジ	3/8インチ (16UNS)	付属交換ネジ	5/16インチ (18UNC) (本体にセット)		5/8インチ (27UNS)	ロック方式	スリープロック方式	仕上	ボール: クロームメッキ		ベース: 鍍銀ライトグレー焼付塗装	<p>床上型マイクスタンド</p>  <table border="1"> <tr><td>マイク取付高さ</td><td>最高1,560mm~最低970mm</td></tr> <tr><td>マイク取付ネジ</td><td>3/8インチ (16UNS)</td></tr> <tr><td>付属交換ネジ</td><td>5/16インチ (18UNC) (本体にセット)</td></tr> <tr><td></td><td>5/8インチ (27UNS)</td></tr> <tr><td>ロック方式</td><td>スリープロック方式</td></tr> <tr><td>仕上</td><td>ボール: 黒色焼付塗装</td></tr> <tr><td></td><td>脚部: 黒色塗装 (折りたたみ式)</td></tr> </table>	マイク取付高さ	最高1,560mm~最低970mm	マイク取付ネジ	3/8インチ (16UNS)	付属交換ネジ	5/16インチ (18UNC) (本体にセット)		5/8インチ (27UNS)	ロック方式	スリープロック方式	仕上	ボール: 黒色焼付塗装		脚部: 黒色塗装 (折りたたみ式)	<p>100型電動巻上スクリーン</p>  <table border="1"> <tr><td>仕様</td><td>AC100V, 50/60Hz, 100W, プレーキ機構, サーマル内蔵</td></tr> <tr><td>生地</td><td>ビーズ</td></tr> <tr><td>ケースカラー</td><td>ブラック</td></tr> <tr><td>サイズ</td><td>100インチ</td></tr> </table>	仕様	AC100V, 50/60Hz, 100W, プレーキ機構, サーマル内蔵	生地	ビーズ	ケースカラー	ブラック	サイズ	100インチ	<p>80型電動巻上スクリーン</p>  <table border="1"> <tr><td>仕様</td><td>AC100V, 50/60Hz, 100W, プレーキ機構, サーマル内蔵</td></tr> <tr><td>生地</td><td>ビーズ</td></tr> <tr><td>ケースカラー</td><td>ブラック</td></tr> <tr><td>サイズ</td><td>1,626×1,219</td></tr> </table>	仕様	AC100V, 50/60Hz, 100W, プレーキ機構, サーマル内蔵	生地	ビーズ	ケースカラー	ブラック	サイズ	1,626×1,219	<p>スクリーンリモートプレート</p>  <table border="1"> <tr><td>プレート</td><td>新金属 1ヶ用</td></tr> <tr><td>スイッチ</td><td>操作ボタン×3</td></tr> </table>	プレート	新金属 1ヶ用	スイッチ	操作ボタン×3	<p>50型ILAプロジェクションテレビ</p>  <table border="1"> <tr><td>ブラウン管</td><td>50型フラットワイド, ILAプロジェクション</td></tr> <tr><td>チューナー</td><td>BS, VHF, UHF, CATV (C13~38)</td></tr> <tr><td>音声出力</td><td>5W+5W+20W (φ10cm×2/φ16cm)</td></tr> <tr><td>入力</td><td>ビデオ×5, S映像×4, D4×3, コンポネント</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC100V, 317W</td></tr> <tr><td>質量</td><td>54kg</td></tr> </table>	ブラウン管	50型フラットワイド, ILAプロジェクション	チューナー	BS, VHF, UHF, CATV (C13~38)	音声出力	5W+5W+20W (φ10cm×2/φ16cm)	入力	ビデオ×5, S映像×4, D4×3, コンポネント	電源	AC100V, 317W	質量	54kg																						
マイク取付高さ	最高328mm~最低225mm																																																																																						
マイク取付ネジ	3/8インチ (16UNS)																																																																																						
付属交換ネジ	5/16インチ (18UNC) (本体にセット)																																																																																						
	5/8インチ (27UNS)																																																																																						
ロック方式	スリープロック方式																																																																																						
仕上	ボール: クロームメッキ																																																																																						
	ベース: 鍍銀ライトグレー焼付塗装																																																																																						
マイク取付高さ	最高1,560mm~最低970mm																																																																																						
マイク取付ネジ	3/8インチ (16UNS)																																																																																						
付属交換ネジ	5/16インチ (18UNC) (本体にセット)																																																																																						
	5/8インチ (27UNS)																																																																																						
ロック方式	スリープロック方式																																																																																						
仕上	ボール: 黒色焼付塗装																																																																																						
	脚部: 黒色塗装 (折りたたみ式)																																																																																						
仕様	AC100V, 50/60Hz, 100W, プレーキ機構, サーマル内蔵																																																																																						
生地	ビーズ																																																																																						
ケースカラー	ブラック																																																																																						
サイズ	100インチ																																																																																						
仕様	AC100V, 50/60Hz, 100W, プレーキ機構, サーマル内蔵																																																																																						
生地	ビーズ																																																																																						
ケースカラー	ブラック																																																																																						
サイズ	1,626×1,219																																																																																						
プレート	新金属 1ヶ用																																																																																						
スイッチ	操作ボタン×3																																																																																						
ブラウン管	50型フラットワイド, ILAプロジェクション																																																																																						
チューナー	BS, VHF, UHF, CATV (C13~38)																																																																																						
音声出力	5W+5W+20W (φ10cm×2/φ16cm)																																																																																						
入力	ビデオ×5, S映像×4, D4×3, コンポネント																																																																																						
電源	AC100V, 317W																																																																																						
質量	54kg																																																																																						
<p>全世界対応VTR</p>  <table border="1"> <tr><td>録画方式</td><td>VHS方式</td></tr> <tr><td>使用テープ</td><td>VHS (S-VHSビデオカセットによる録画再生機能つき)</td></tr> <tr><td>テレビジョン方式</td><td>NTSC/PAL-M, PAL/PAL-N, SECAM/MESECAM</td></tr> <tr><td>映像S/N</td><td>43dB以上 (SP時)</td></tr> <tr><td>水平解像度</td><td>220本以上 (NTSC/SP時), 240本 (PAL/SP時)</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC100V, 20W</td></tr> <tr><td>質量</td><td>5.7kg</td></tr> </table>	録画方式	VHS方式	使用テープ	VHS (S-VHSビデオカセットによる録画再生機能つき)	テレビジョン方式	NTSC/PAL-M, PAL/PAL-N, SECAM/MESECAM	映像S/N	43dB以上 (SP時)	水平解像度	220本以上 (NTSC/SP時), 240本 (PAL/SP時)	電源	AC100V, 20W	質量	5.7kg	<p>DVD/LDプレーヤ</p>  <table border="1"> <tr><td>再生可能メディア</td><td>DVDビデオ, LD, LD-G, ビデオCD</td></tr> <tr><td>音楽</td><td>CD, CD-G, CDV</td></tr> <tr><td>出力</td><td>コンポジット映像出力×1, S映像×2, ビデオ出力×2</td></tr> <tr><td></td><td>オーディオ出力 (アナログ) 2系統</td></tr> <tr><td>音声特性</td><td>S/N: 115dB, ダイナミックレンジ: 103dB</td></tr> <tr><td></td><td>全高調歪率: 0.002%</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>48kHz: 4Hz~22kHz/96kHz: 4Hz~44kHz</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC100V, 43W</td></tr> <tr><td>質量</td><td>8.5kg</td></tr> </table>	再生可能メディア	DVDビデオ, LD, LD-G, ビデオCD	音楽	CD, CD-G, CDV	出力	コンポジット映像出力×1, S映像×2, ビデオ出力×2		オーディオ出力 (アナログ) 2系統	音声特性	S/N: 115dB, ダイナミックレンジ: 103dB		全高調歪率: 0.002%	周波数特性	48kHz: 4Hz~22kHz/96kHz: 4Hz~44kHz	電源	AC100V, 43W	質量	8.5kg	<p>主電源ユニット</p>  <table border="1"> <tr><td>AC100V入力</td><td>20Aサーキットブレーカー×1</td></tr> <tr><td>AC100V出力</td><td>スイッチ連動: 9 (合計最大10A×3)</td></tr> <tr><td>その他</td><td>スイッチ非連動: 3 (合計最大15A)</td></tr> <tr><td></td><td>外部起動スイッチ用電子付</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC100V, 50/60Hz</td></tr> </table>	AC100V入力	20Aサーキットブレーカー×1	AC100V出力	スイッチ連動: 9 (合計最大10A×3)	その他	スイッチ非連動: 3 (合計最大15A)		外部起動スイッチ用電子付	電源	AC100V, 50/60Hz	<p>AVコントロールアンプ</p>  <table border="1"> <tr><td>定格出力</td><td>100W×5CH (20Hz~20kHz)</td></tr> <tr><td>入力</td><td>映像×5, S映像×4, デジタル音声×3, アナログ音声×8</td></tr> <tr><td>出力</td><td>映像×3, S映像×2, 音声×3</td></tr> <tr><td>その他</td><td>PEM・DDコンバーター, K2インターフェース, AM/FMチューナー</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC100V, 230W</td></tr> <tr><td>質量</td><td>11.7kg</td></tr> </table>	定格出力	100W×5CH (20Hz~20kHz)	入力	映像×5, S映像×4, デジタル音声×3, アナログ音声×8	出力	映像×3, S映像×2, 音声×3	その他	PEM・DDコンバーター, K2インターフェース, AM/FMチューナー	電源	AC100V, 230W	質量	11.7kg	<p>システムアンプ (2chワイヤレスチューナ付)</p>  <table border="1"> <tr><td>定格出力</td><td>40W</td></tr> <tr><td>スピーカー制御出力</td><td>5回線 (ハイインピーダンススピーカー出力)</td></tr> <tr><td>入力回路</td><td>マイク×2, マイク/外部, 外部, リモコンマイク, パワーアンプ入力</td></tr> <tr><td>出力回路</td><td>音楽, ライン</td></tr> <tr><td>その他</td><td>4音チャイム, 非常時音声遮断, ワイヤレスアンプ2分割, 3種ユニット組込可</td></tr> <tr><td></td><td>2chワイヤレスチューナ</td></tr> </table>	定格出力	40W	スピーカー制御出力	5回線 (ハイインピーダンススピーカー出力)	入力回路	マイク×2, マイク/外部, 外部, リモコンマイク, パワーアンプ入力	出力回路	音楽, ライン	その他	4音チャイム, 非常時音声遮断, ワイヤレスアンプ2分割, 3種ユニット組込可		2chワイヤレスチューナ	<p>CD/MDコンビネーションデッキ</p>  <table border="1"> <tr><td>CDプレーヤー部</td><td>CD-TEXT対応3CDチェンジャー方式</td></tr> <tr><td></td><td>周波数特性: 8Hz~20kHz</td></tr> <tr><td></td><td>S/N: 94dB</td></tr> <tr><td></td><td>スピード調節: ±12%</td></tr> <tr><td>MDレコーダー部</td><td>周波数特性: 8Hz~20kHz</td></tr> <tr><td></td><td>S/N: 88dB</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC100V, 50/60Hz, 15W</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約6kg</td></tr> </table>	CDプレーヤー部	CD-TEXT対応3CDチェンジャー方式		周波数特性: 8Hz~20kHz		S/N: 94dB		スピード調節: ±12%	MDレコーダー部	周波数特性: 8Hz~20kHz		S/N: 88dB	電源	AC100V, 50/60Hz, 15W	質量	約6kg
録画方式	VHS方式																																																																																						
使用テープ	VHS (S-VHSビデオカセットによる録画再生機能つき)																																																																																						
テレビジョン方式	NTSC/PAL-M, PAL/PAL-N, SECAM/MESECAM																																																																																						
映像S/N	43dB以上 (SP時)																																																																																						
水平解像度	220本以上 (NTSC/SP時), 240本 (PAL/SP時)																																																																																						
電源	AC100V, 20W																																																																																						
質量	5.7kg																																																																																						
再生可能メディア	DVDビデオ, LD, LD-G, ビデオCD																																																																																						
音楽	CD, CD-G, CDV																																																																																						
出力	コンポジット映像出力×1, S映像×2, ビデオ出力×2																																																																																						
	オーディオ出力 (アナログ) 2系統																																																																																						
音声特性	S/N: 115dB, ダイナミックレンジ: 103dB																																																																																						
	全高調歪率: 0.002%																																																																																						
周波数特性	48kHz: 4Hz~22kHz/96kHz: 4Hz~44kHz																																																																																						
電源	AC100V, 43W																																																																																						
質量	8.5kg																																																																																						
AC100V入力	20Aサーキットブレーカー×1																																																																																						
AC100V出力	スイッチ連動: 9 (合計最大10A×3)																																																																																						
その他	スイッチ非連動: 3 (合計最大15A)																																																																																						
	外部起動スイッチ用電子付																																																																																						
電源	AC100V, 50/60Hz																																																																																						
定格出力	100W×5CH (20Hz~20kHz)																																																																																						
入力	映像×5, S映像×4, デジタル音声×3, アナログ音声×8																																																																																						
出力	映像×3, S映像×2, 音声×3																																																																																						
その他	PEM・DDコンバーター, K2インターフェース, AM/FMチューナー																																																																																						
電源	AC100V, 230W																																																																																						
質量	11.7kg																																																																																						
定格出力	40W																																																																																						
スピーカー制御出力	5回線 (ハイインピーダンススピーカー出力)																																																																																						
入力回路	マイク×2, マイク/外部, 外部, リモコンマイク, パワーアンプ入力																																																																																						
出力回路	音楽, ライン																																																																																						
その他	4音チャイム, 非常時音声遮断, ワイヤレスアンプ2分割, 3種ユニット組込可																																																																																						
	2chワイヤレスチューナ																																																																																						
CDプレーヤー部	CD-TEXT対応3CDチェンジャー方式																																																																																						
	周波数特性: 8Hz~20kHz																																																																																						
	S/N: 94dB																																																																																						
	スピード調節: ±12%																																																																																						
MDレコーダー部	周波数特性: 8Hz~20kHz																																																																																						
	S/N: 88dB																																																																																						
電源	AC100V, 50/60Hz, 15W																																																																																						
質量	約6kg																																																																																						
<p>ダブルカセットデッキ</p>  <table border="1"> <tr><td>トラック方式</td><td>コンパクトカセット・ステレオ</td></tr> <tr><td>ヘッド</td><td>デッキA: 再生, デッキB: 消去, 録音, 再生</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>30Hz~16kHz (メタルテープ)</td></tr> <tr><td>S/N</td><td>54dB (メタルテープ)</td></tr> <tr><td>ワウ・フラッター</td><td>0.08%WRMS</td></tr> <tr><td>その他</td><td>ピッチコントロール (デッキA), マイクキッキング</td></tr> <tr><td>電源</td><td>AC100V, 17W</td></tr> <tr><td>質量</td><td>4.9kg</td></tr> </table>	トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ	ヘッド	デッキA: 再生, デッキB: 消去, 録音, 再生	周波数特性	30Hz~16kHz (メタルテープ)	S/N	54dB (メタルテープ)	ワウ・フラッター	0.08%WRMS	その他	ピッチコントロール (デッキA), マイクキッキング	電源	AC100V, 17W	質量	4.9kg																																																																							
トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ																																																																																						
ヘッド	デッキA: 再生, デッキB: 消去, 録音, 再生																																																																																						
周波数特性	30Hz~16kHz (メタルテープ)																																																																																						
S/N	54dB (メタルテープ)																																																																																						
ワウ・フラッター	0.08%WRMS																																																																																						
その他	ピッチコントロール (デッキA), マイクキッキング																																																																																						
電源	AC100V, 17W																																																																																						
質量	4.9kg																																																																																						

BB77605E

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. A3693 つかば外国人研究者用宿舎 (仮称) 電気設備工事

date 99.09.30

drawn by checked by

視覚設備 1階集会所

9階交流サロン

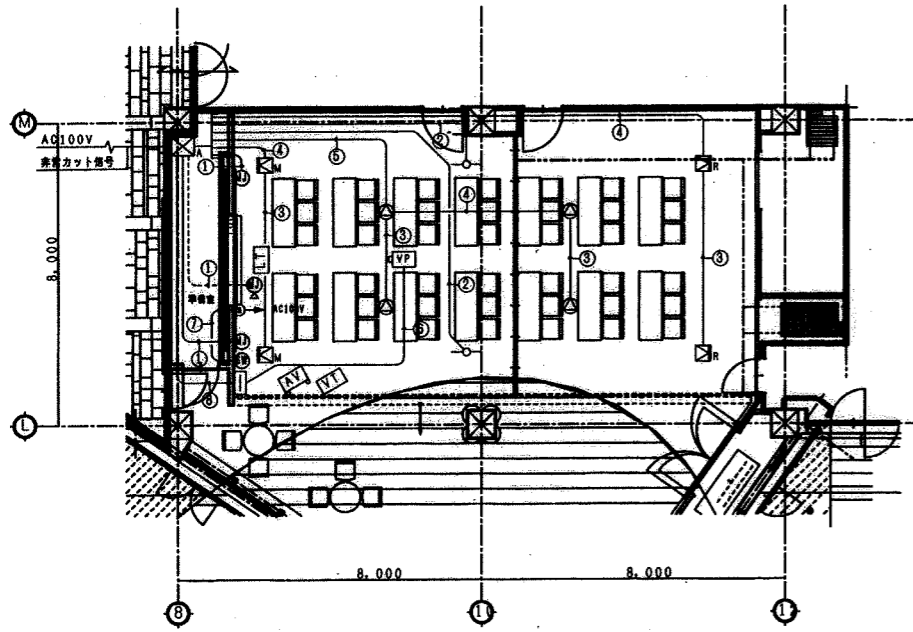
機器図 (2)

no scale/A1

電気

512

1階集会室 配管配線図(S=1/100)



凡例

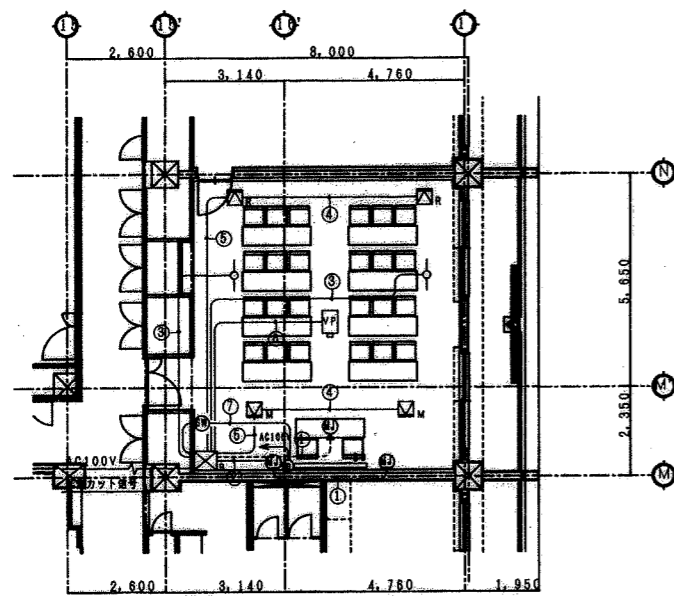
記号	機器名称
⊠	AV機器架(A)
AV	AV操作ワゴン
VP	D-ILAマルチメディアプロジェクター
M	メインスピーカ
R	リアスピーカ
⊙	天井埋込スピーカ
○	ワイヤレスアンテナ
⊕	マイクコンセント(1ヶ用)
⊖	フロアマイクコンセント(1ヶ用)
≡	接続盤
●	100型電動巻上スクリーン
⊕	スクリーンリモートパネル
LT	レクチャー卓
VT	デジタル書画カメラ卓

特記事項

指定なき配管・配線を下記に示す。

- ① 4E6AT(E19)
- ② 5C-FB(PF16)
- ③ 4S8(PF16)
- ④ 4S8x2(PF22)
- ⑤ 4S8x4(PF36)
- ⑥ VS-5C(PF36)
- VC2.0-2C(PF36)
- CPEVO.65-10P(PF22)
- ⑦ IV1.6x6(PF22)
- ⑧ 4E6ATx8(S1)
- 5C-FBx1(PF22)
- VS-5C(PF36)
- D202-7P(PF22)x2
- IV2.0-5C(PF16)

1階セミナー室-1 配管配線図(S=1/100)



凡例

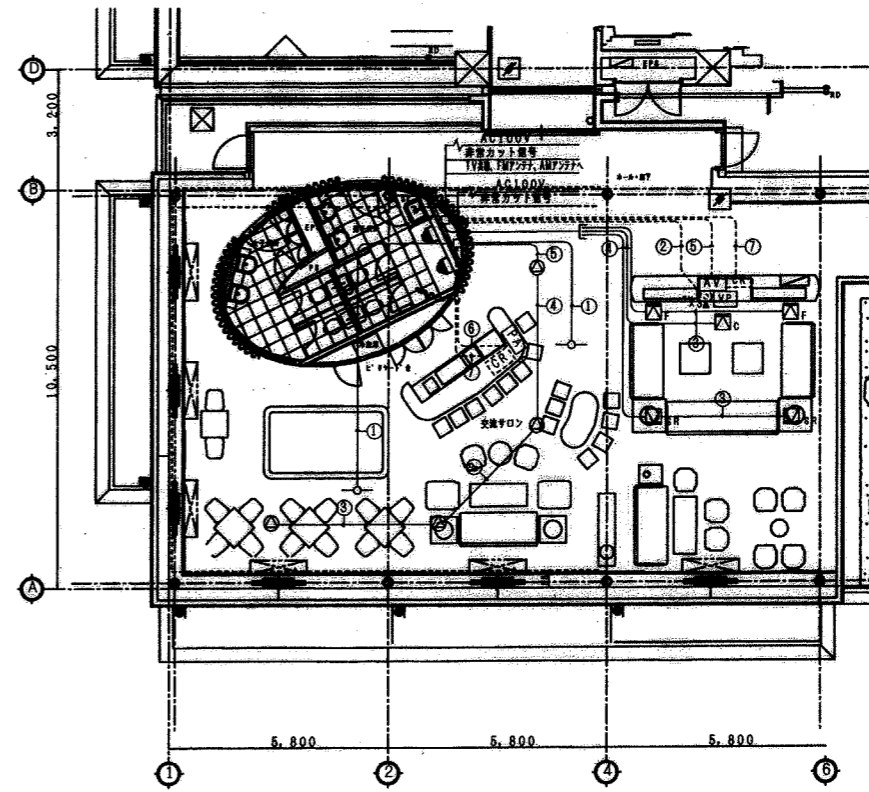
記号	機器名称
⊠	AV機器架(B)
VP	D-ILAマルチメディアプロジェクター
M	メインスピーカ
R	リアスピーカ
○	ワイヤレスアンテナ
⊕	マイクコンセント(1ヶ用)
⊖	フロアマイクコンセント(1ヶ用)
●	80型電動巻上スクリーン
⊕	スクリーンリモートパネル
LT	レクチャー卓
VT	デジタル書画カメラ卓

特記事項

指定なき配管・配線を下記に示す。

- ① 4E6AT(E19)
- ② 4E6ATx2(E19)
- ③ 5C-FB(PF16)
- ④ 4S8(PF16)
- ⑤ 4S8x2(PF22)
- ⑥ VS-5C(PF36)
- VC2.0-2C(PF36)
- CPEVO.65-10P(PF22)
- ⑦ IV1.6x6(PF22)

9階交流サロン 配管配線図(S=1/100)



凡例

記号	機器名称
AV	AV機器(AVアンプ, VTR, DVDプレーヤ)
VP	50型ILAプロジェクションテレビ
M	メインスピーカ
C	センタースピーカ
R	サラウンドスピーカ
PA	音響機器(システムアンプ, MD/CDデッキ, Wカセットデッキ)
⊙	天井埋込スピーカ
○	ワイヤレスアンテナ
CR	電源遮断ユニット(全館放送工事)
⊕	直列ユニット(TV共聴工事)

特記事項

指定なき配管・配線を下記に示す。

- ① 5C-FB(PF16)
- ② 5C-FBx3(PF28)
- ③ 4S8(PF16)
- ④ 4S8x2(PF22)
- ⑤ 4S8x5(PF36)
- 5C-FBx3(PF28)
- ⑥ 4S8x2(PF22)
- 5C-FBx2(PF22)
- ⑦ IV1.6x3(PF16)
- HP1.2-2C(PF16)

HB77611C

revision	date	description

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

PROJECT NO. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事

DATE 99.09.30 DRAWN BY CHECKED BY

視聴覚設備 1階集会室 9階交流サロン

平面図 1:100/A1

電気

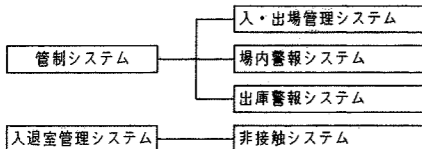
513

駐車場管制・入退室管理設備仕様書

1. 概要

本システムは入口にリモコンキー用受信器を内蔵したカーゲートを設置し、出口には逆送を防止するためのコントローラを内蔵したカーゲートを設置することによって無人にて入出庫管理を行う。

2. システム構成



3. システム概要

(1) 入・出場管理システム

・入場時、入庫車がカーゲート前にてリモコンキーにより信号を送信すると、ゲートバーが自動的に開き入庫可能となる。車両がゲートバーを完全に通過すると車路に埋設されたループコイルが車両を検知し、ゲートバーは自動的に閉まる。
送信された信号が無効の場合、インターホンにて係員と連絡を取り、係員が遠隔操作卓よりゲートバーを開くことができる。
リモコンキーを所持しない外来者は、のインターホンにて係員と連絡を取り、係員が遠隔操作卓よりゲートバーを開け入庫させる。
・出場時、出庫車がカーゲート前に近づくと、車路に埋設されたループコイルが車両を検知し、ゲートバーが自動的に開き出庫可能となる。車両がゲートバーを完全に通過すると車路に埋設されたループコイルが車両を検知し、ゲートバーは自動的に閉まる。
遠隔操作卓は管理事務室・管理人室に各1台設置し、どちらからも操作可能とする。

(2) 場内警報システム

入口合流箇所には常時点滅の信号灯（入庫車優先）を、又、屋内から屋外への出口には黄色回転灯を設置し、場内の通行の安全を図る。

(3) 出庫警報システム

出庫時、出口のゲートバー開信号により出庫注意灯を動作（「出庫注意」点滅、回転灯点灯等）させ付近の歩行者や車両に注意を喚起し、通行の安全を図る。

(4) 入退室管理システム

宿舍に入退室する場合は、リモコンキーを使用する。

4. 機器構成

図記号	機器構成	記号	数量	備考
CG	カーゲート	CG1, 2	2台	バー：中折式 CG1:受信器内蔵
LD	車両検知器	LD	1台	壁付型
	ループ感知器		3台	
LC	ループコイル	LC1~6	6本	
MC	遠隔操作卓	MC1, 2	2台	卓上型 インターホン兼機付
SG	2面1位信号灯	SG	1灯	天井吊下型
RL	黄色回転灯	RL	1灯	自立ポール型
RSG	出庫注意灯	RSG	1灯	自立ポール型 別途建築工事
PS	制御器	PS	1台	壁付型
A	受信器	A1~4	5台	天井吊込型 1台はCG1に組み込み
B	電気錠制御盤	B1, 2	2台	壁付型
C	電気錠	C1, 2	2台	扉取付型

5. 機器動作

(1) 動作表

記号	通過順	機器動作
CG1 (入口)	LC1→	受付準備
	リモコンキーにて信号を送信	CG1, ゲートバー自動開
CG2 (出口)	LC2→	CG1, ゲートバー自動閉
	LC3→	CG2, ゲートバー自動開
LD	LC4→	RSG, 「出庫注意」点滅、回転灯点灯及びブザー鳴動
	LC5→LC6	CG2, ゲートバー自動閉
A1~4	リモコンキーにて信号を送信	RL、回転灯点灯
		扉ロック解除又は自動開閉

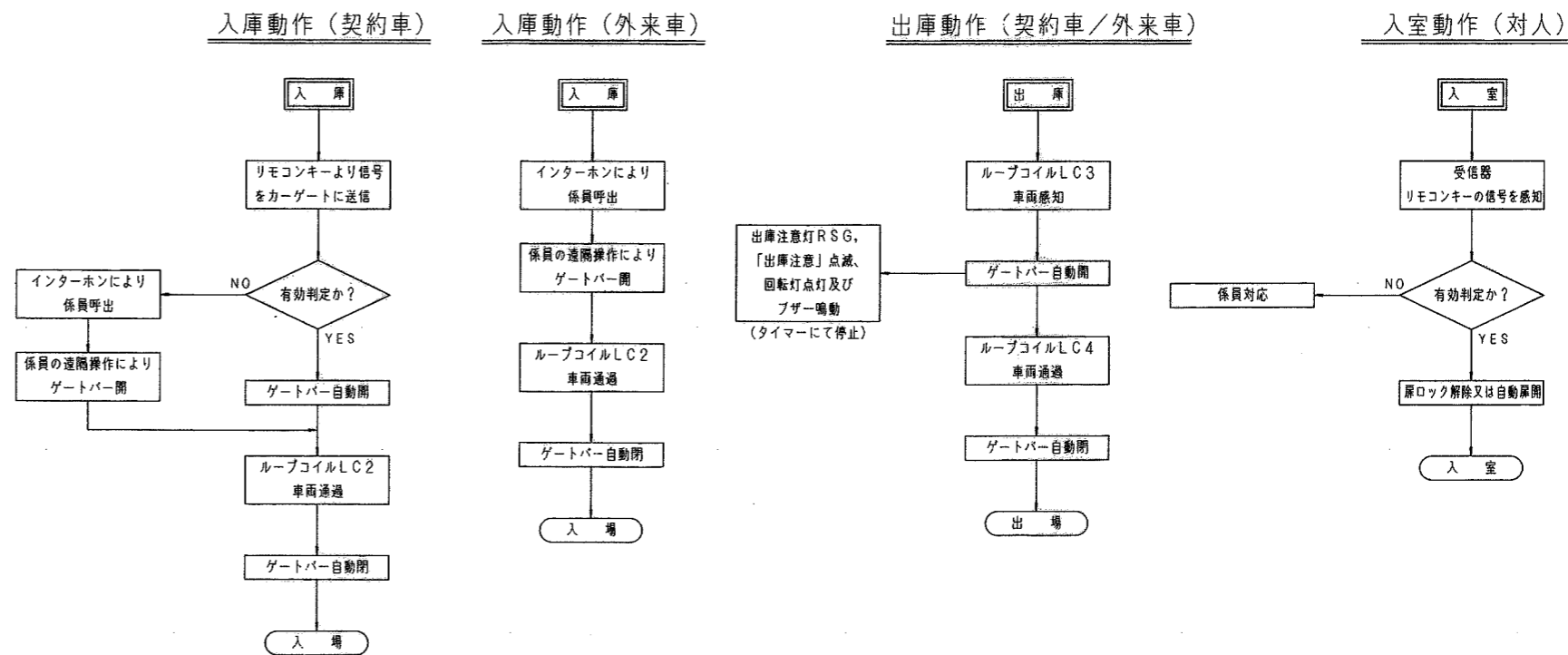
(2) 信号灯点灯時間

信号灯の点灯時間は、タイマーにより各々1秒から60秒の任意の時間に設定可能とする。

6. その他

- (1) 機器はすべて指定色塗装とする。
- (2) リモコンキー350個を用意する。

7. フローチャート



松田平田・丸川設計共同企業体

MIS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 - つくば外国人研究者用宿舍（仮称）電気設備工事

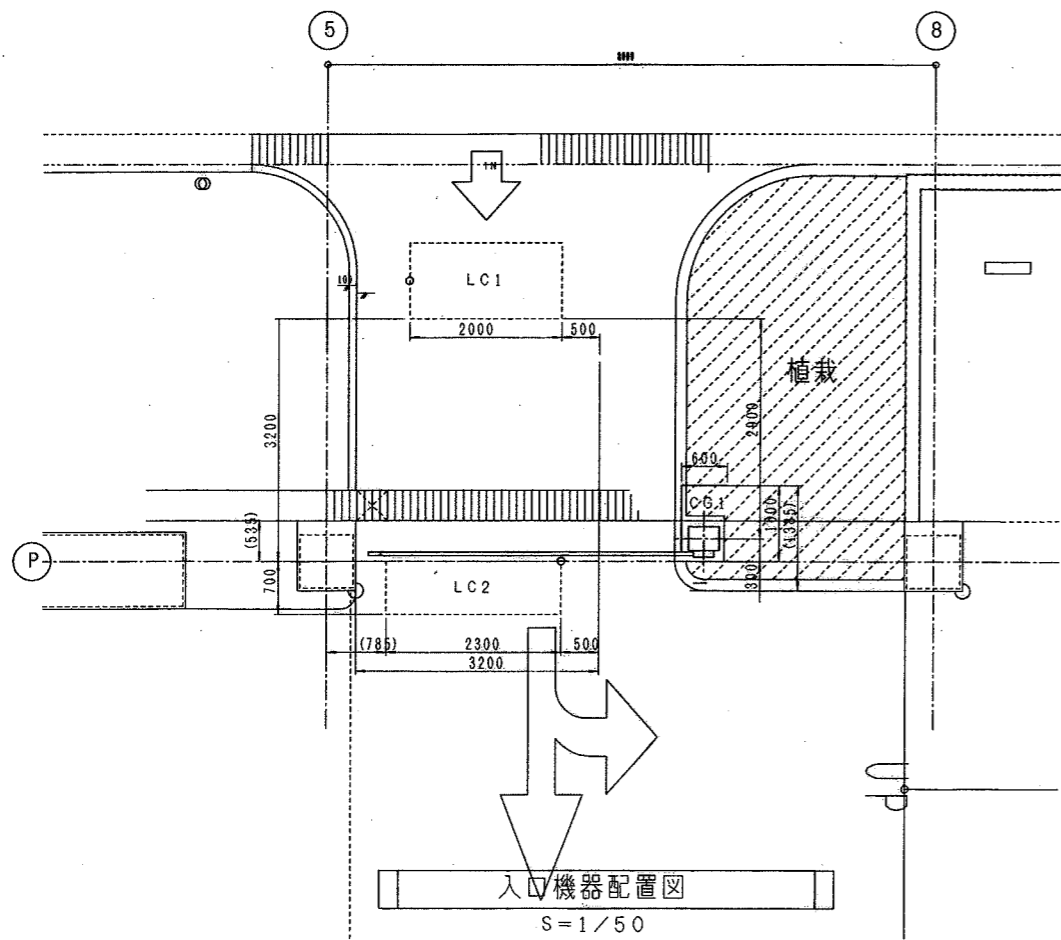
date 99.09.30 drawn by checked by

車路管制・入退室管理設備仕様書

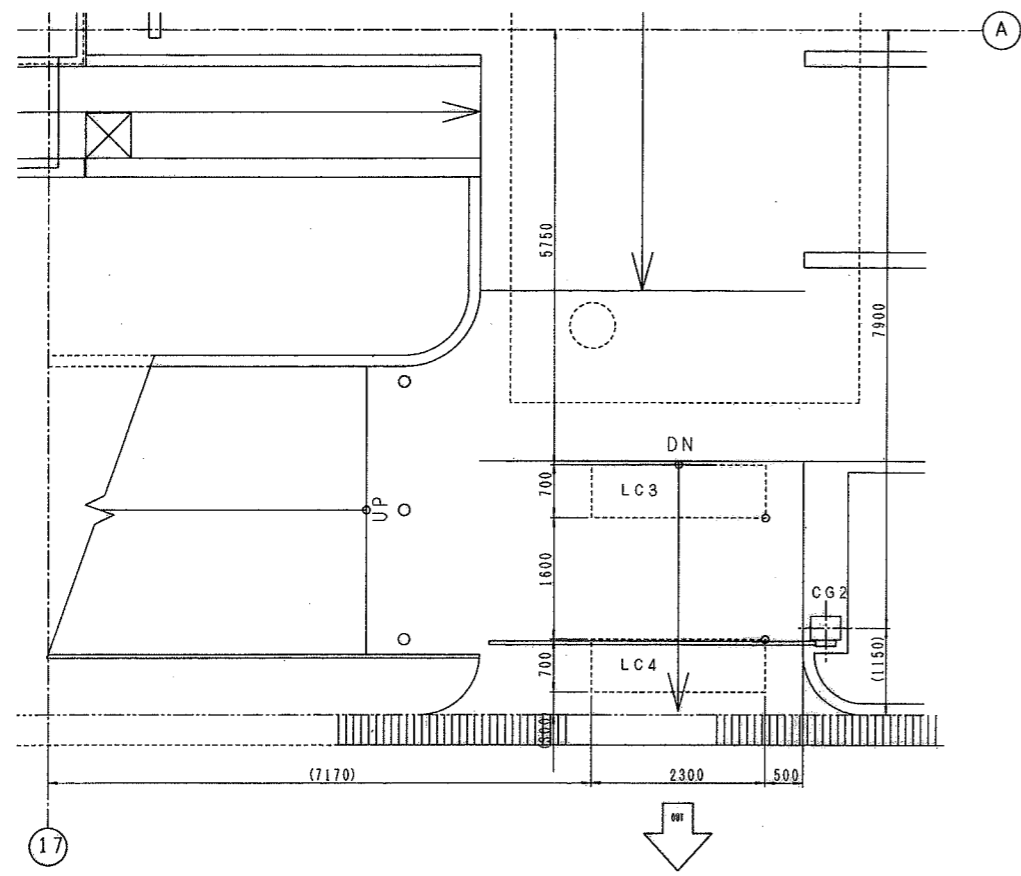
no scale/A1

電気

601



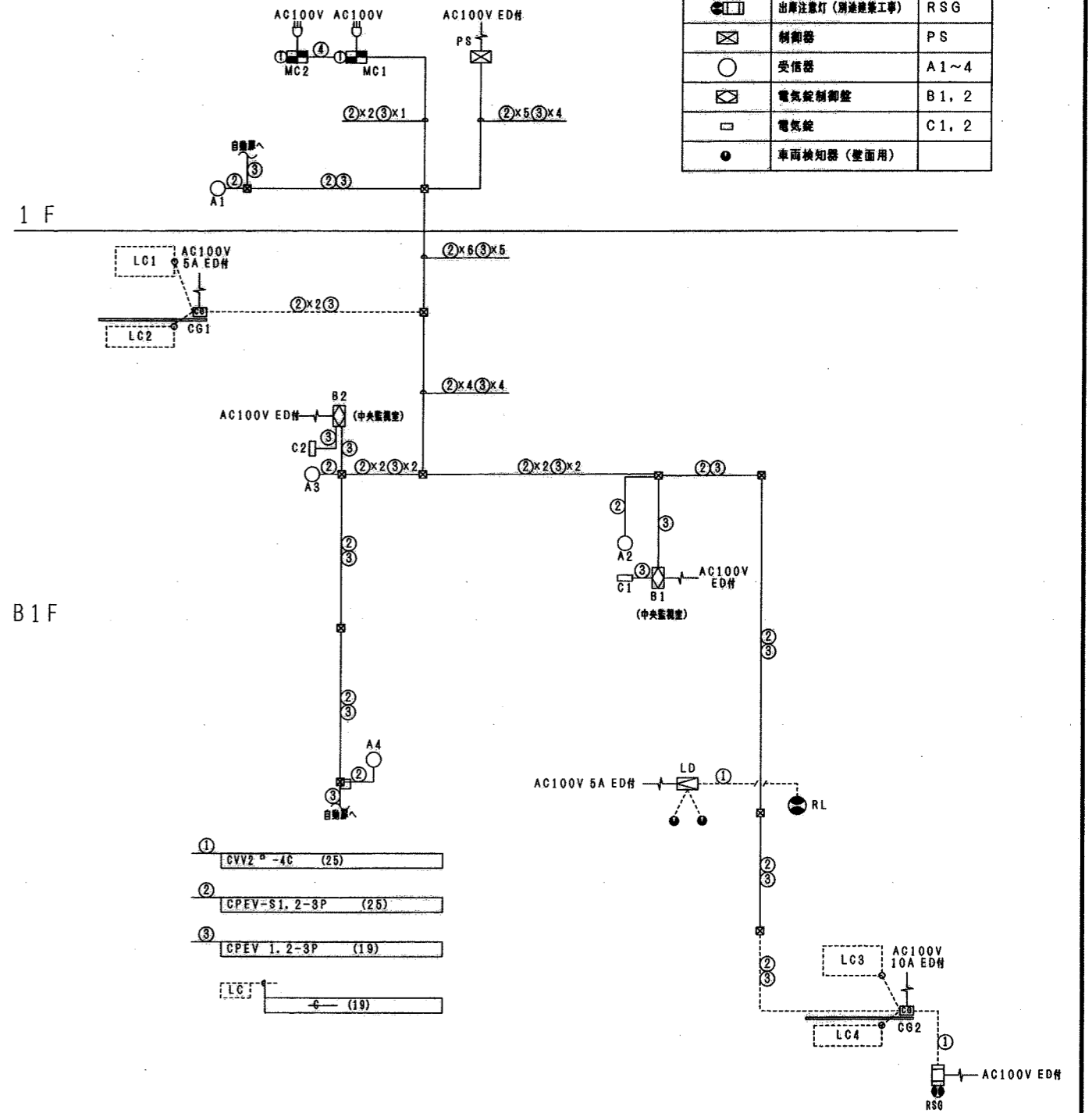
入口機器配置図
S=1/50



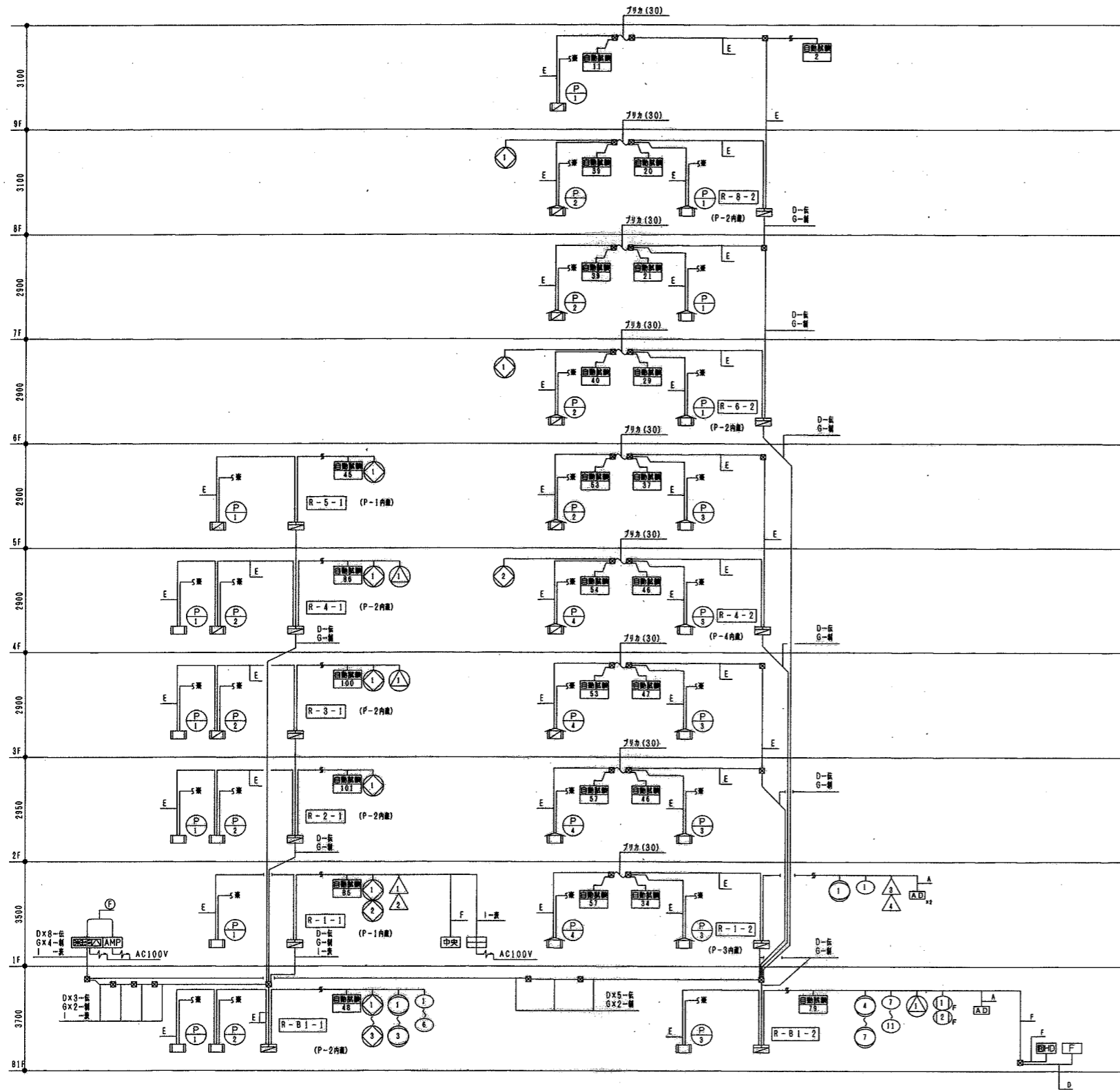
出口機器配置図
S=1/50

図記号	機器構成	記号
■	カーゲート	CG1, 2
⊠	車両検知器	LD
○	ループ感知器	
⊠	ループコイル	LC1~6
⊠	遠隔操作車	MC1, 2
●	黄色回転灯	RL
⊠	出庫注意灯 (別途建築工事)	RSG
⊠	制御器	PS
○	受信器	A1~4
⊠	電気錠制御盤	B1, 2
□	電気錠	C1, 2
●	車両検知器 (壁面用)	

機器系統図



- ① GYV2[®]-4C (25)
- ② CPEV-S1.2-3P (25)
- ③ CPEV 1.2-3P (19)



設備系統図

中継器設置点数表

中継器 番 号 名 称	階 (監視・制御エリア)	自火警設備					消火設備		防火・防煙設備		ガス漏れ設備		その他		伝送系統	自火警設備		自動試験機 動作感知器		伝送系統	
		人 出 力 信 号 内 訳	消 火 火 災 警 報	消 火 火 災 警 報	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ		防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ	防 火 警 報 シ ャ ワ タ		防 火 警 報 シ ャ ワ タ
R-8-2	9F														⑧	1	13			⑧	
	8F															2	59				
R-6-2	7F															2	60				
	6F															2	69				
R-4-2	5F														⑦	2	90			⑦	
	4F															2	100				
	3F														⑥	2	100			⑥	
	2F															2	103				
R-1-2	1F														⑤	2	91			⑤	
R-B1-2	B1F														④	1	79			④	
R-5-1	5F														③	1	45			③	
R-4-1	4F															2	86				
R-3-1	3F														②	2	100			②	
R-2-1	2F															2	101				
R-1-1	1F														①	1	85			①	
R-B1-1	B1F															2	48				
合 計																28	12			1229	

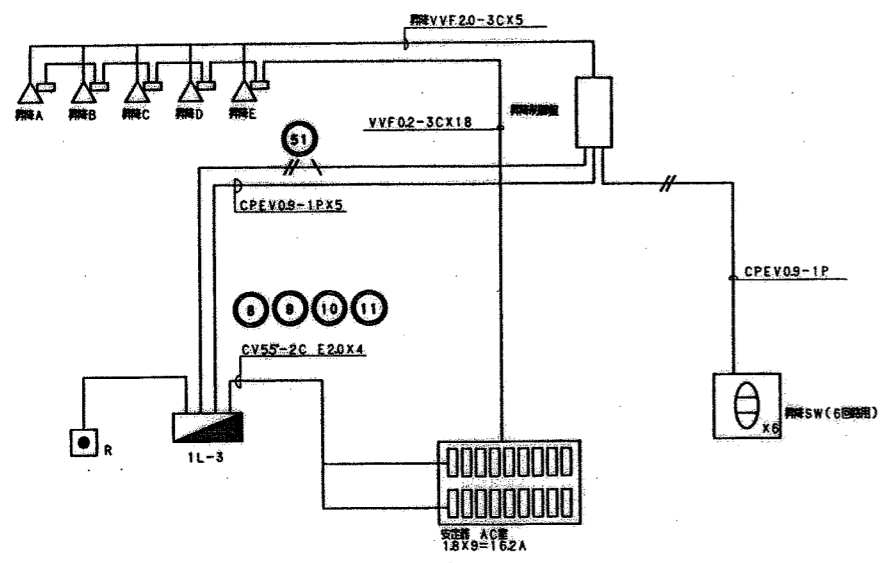
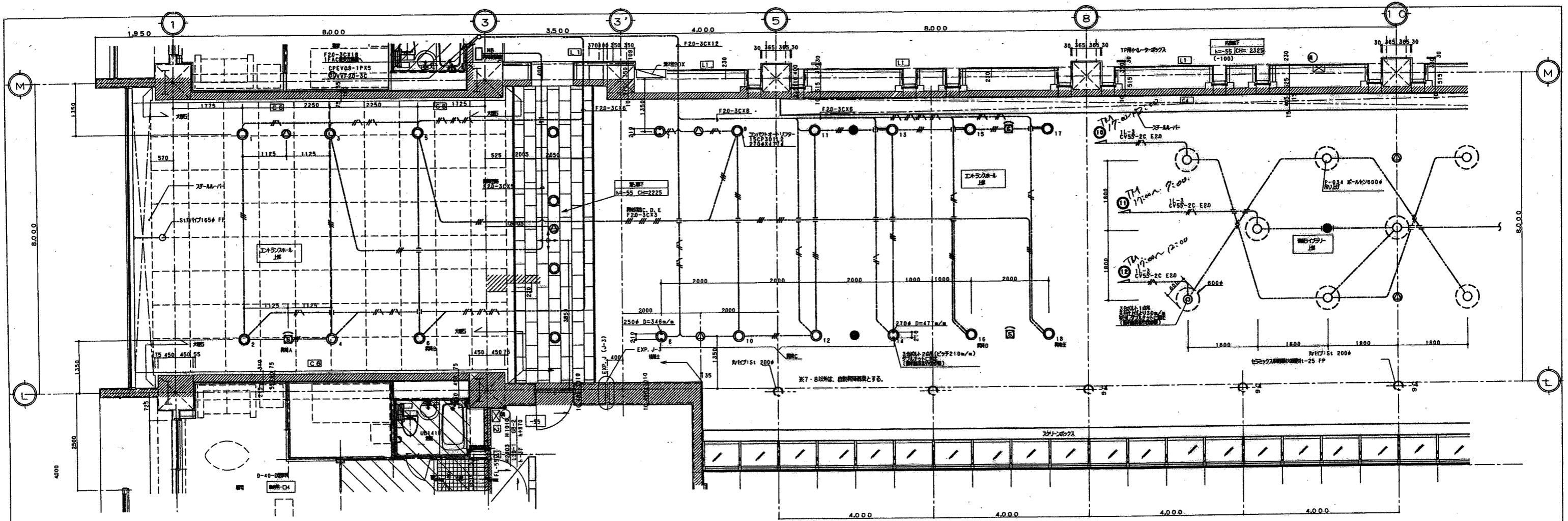
※：中継器管内ユニットに含みます
※1：中継器管内ユニットに含みます、感知器ベース取付用中継器を使用する

配管配線表

記号	ケーブル配線	配管
A	HP1.2-2C	(PF16)
B	HP1.2-3C	(PF16)
C	HP1.2-4C	(PF16)
D	HP1.2-3P	(PF22)
E	HP1.2-5P	(PF22)
F	HP1.2-10P	(PF28)
G	HP2.0 ^φ -10P	(PF36)
H	AE0.9-3P	(PF16)
I	AE0.9-5P	(PF22)

幹線ケーブル内訳
伝・・・伝送線
制・・・制御線
表・・・表示機用線

※①はケーブル配線とする。



名称	真(上層)ラウンジ
材質	下地: LGS+PB 95 全面フローリングのLEP-2
寸法	
天井高	4.68FL+2.050
階層	地下2階(自衛用)
備考	床仕上げ: 4.68FL-55-50

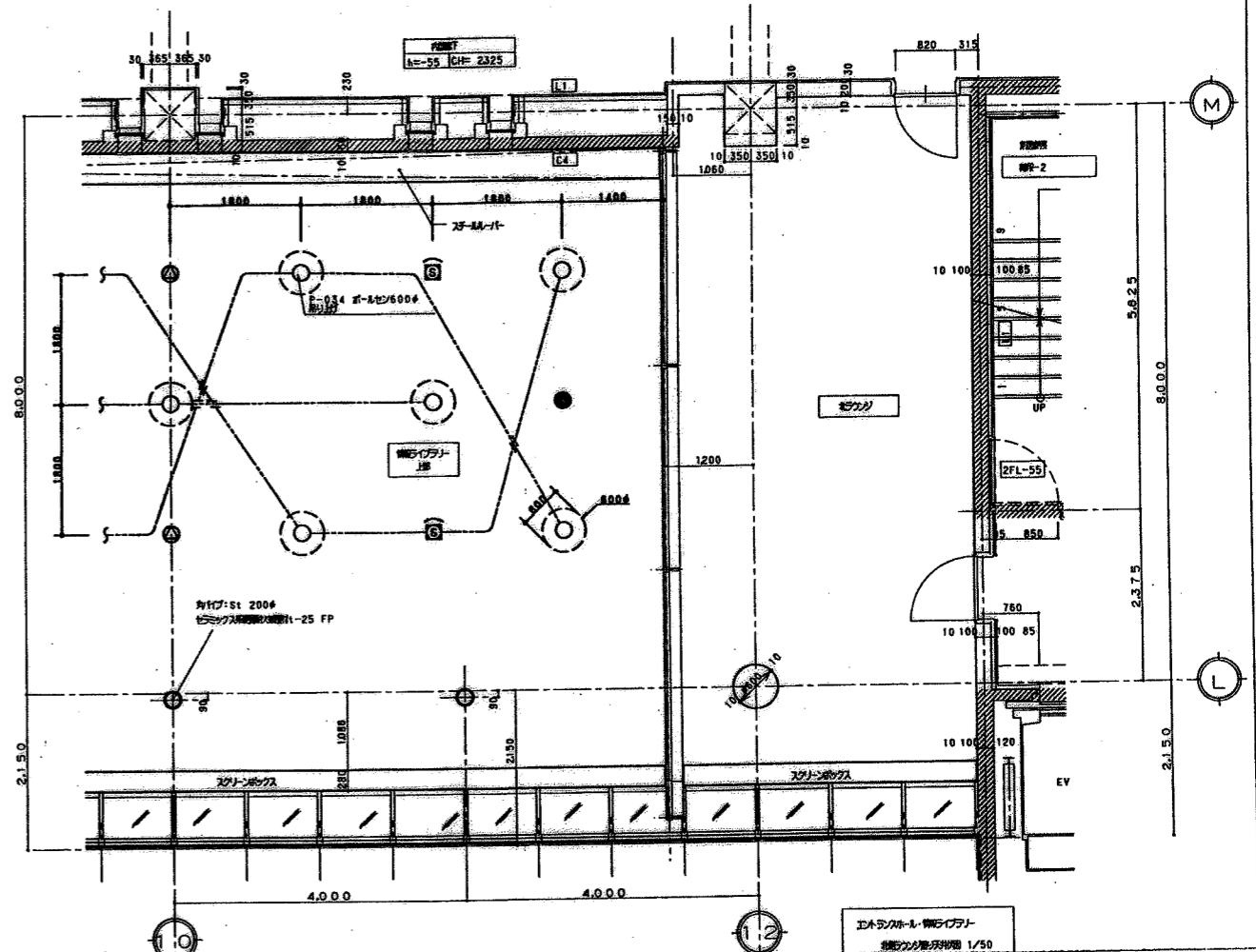
名称	真(中層)ラウンジ
材質	下地: LGS+PB 95 全面フローリングのLEP-2
寸法	
天井高	3.57FL+4.850-5.250
階層	地下2階(自衛用)
備考	床仕上げ: 3.57FL+4.50

名称	エントランスホール
材質	下地: LGS+PB 125+85 全面フローリングのLEP-2 一部アクリル樹脂のPL-3(オーブメント)BAF
寸法	
天井高	1FL+8.000
階層	地下1階(自衛用)
備考	床仕上げ: 1FL-50

名称	エレベーター
材質	下地: LGS+PB 95 AMB 80
寸法	
天井高	8.000X3.000
階層	地下1階(自衛用)
備考	床仕上げ: 3FL-55

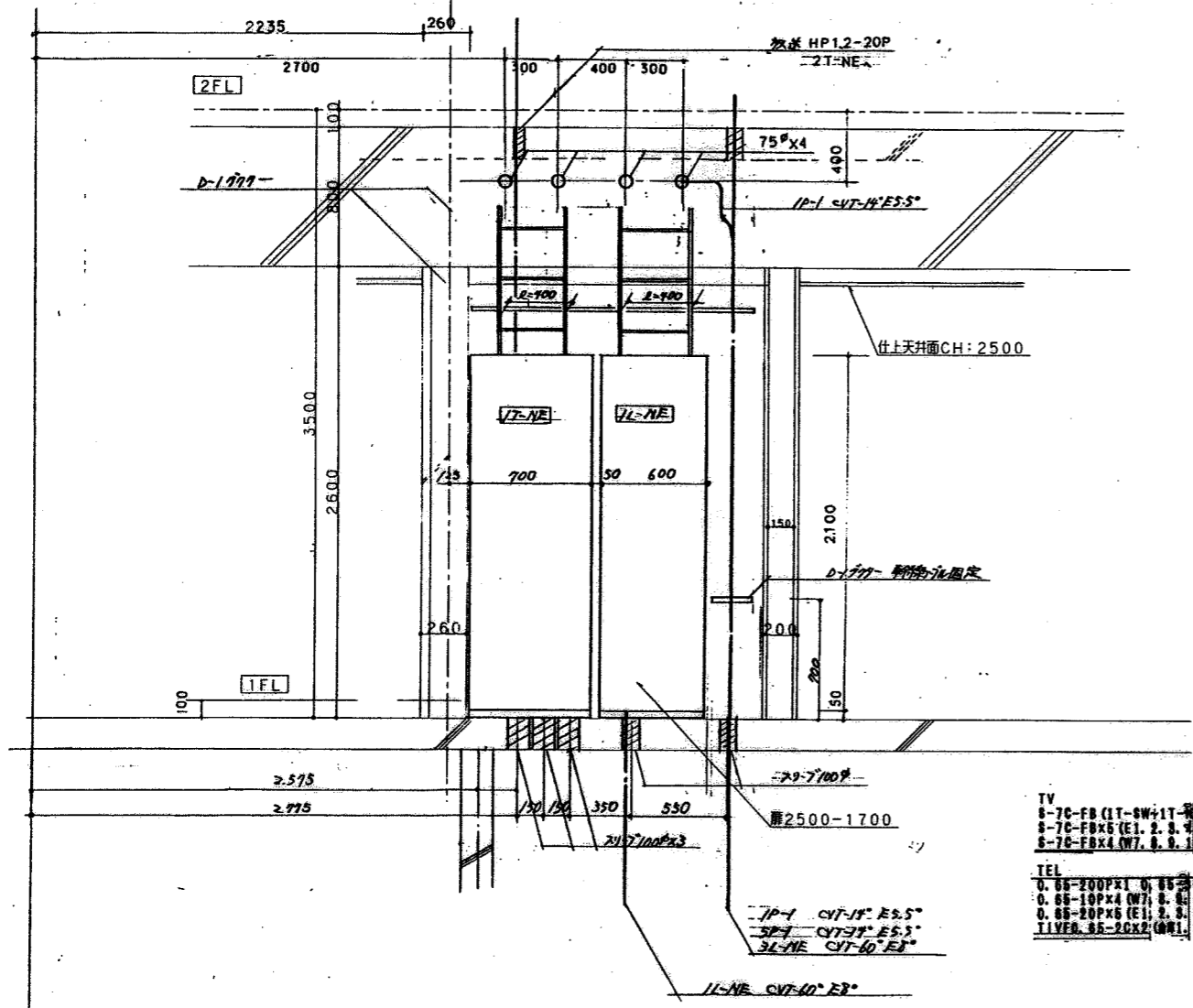
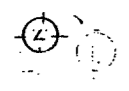
名称	エレベーター
材質	下地: LGS+PB 125+85 全面フローリングのLEP-2 一部アクリル樹脂のPL-3(オーブメント)BAF
寸法	
天井高	2FL+5.120
階層	地下2階(自衛用)
備考	床仕上げ: 2FL+95

名称	エレベーター
材質	下地: LGS+PB 95 全面フローリングのLEP-2
寸法	
天井高	3.45FL+2.170
階層	地下2階(自衛用)
備考	床仕上げ: 3.45FL-55

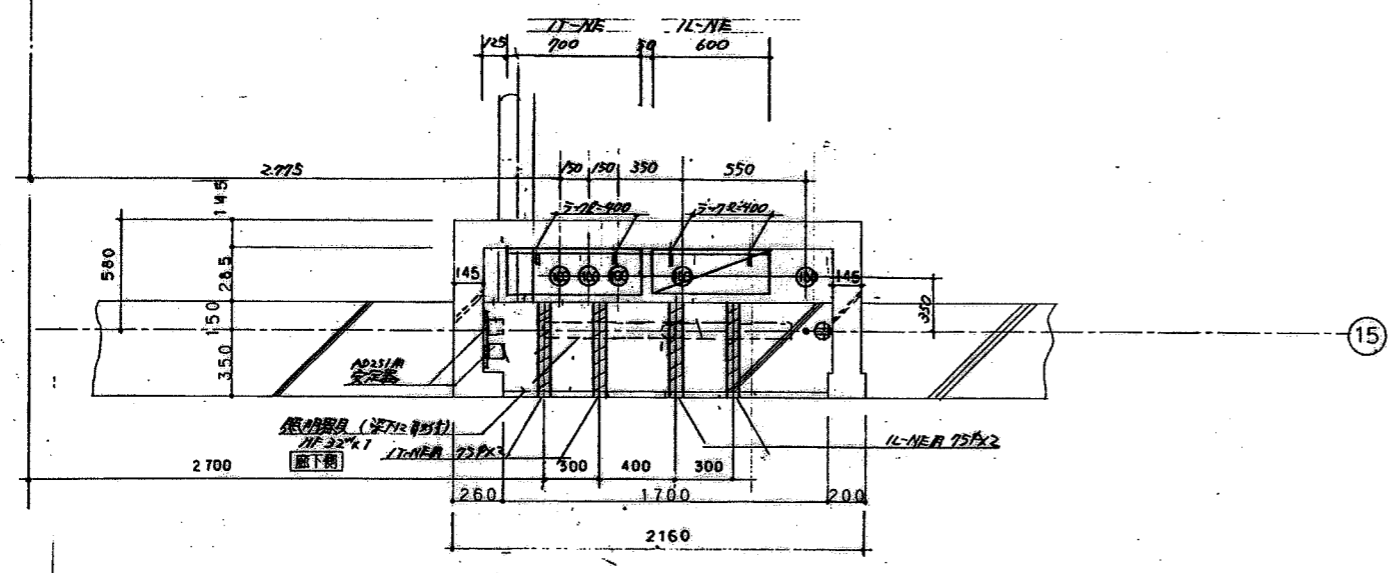
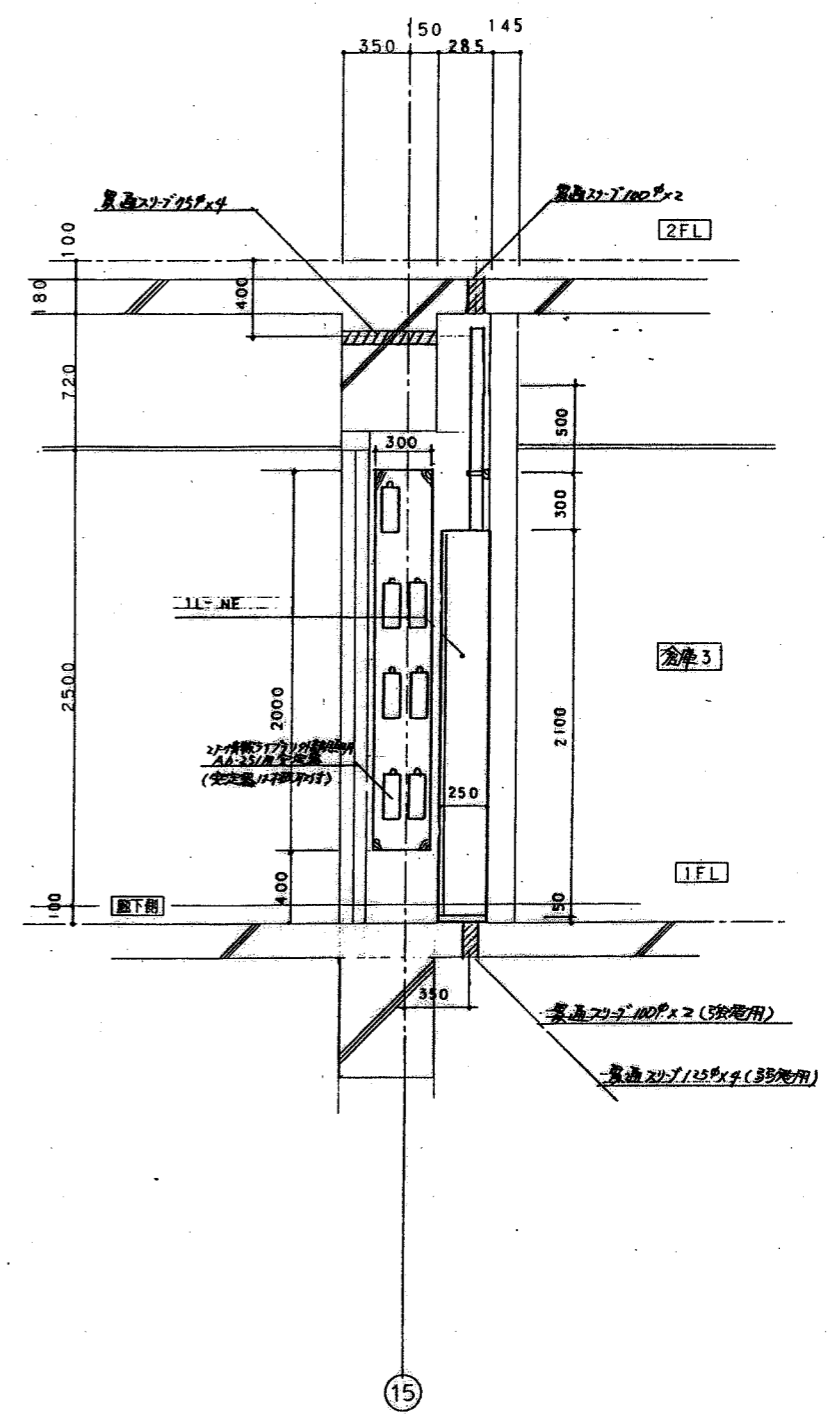


revision			

松田平田・丸川設計共同企業体 		Project No. A3693 株式会社外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事	電気 913
Date 99.09.30 Drawn by Checked by	松田平田 丸川設計	80/A1 エントランスホール、情報ライブラリー、北・南ラウンジ廻り詳細図	

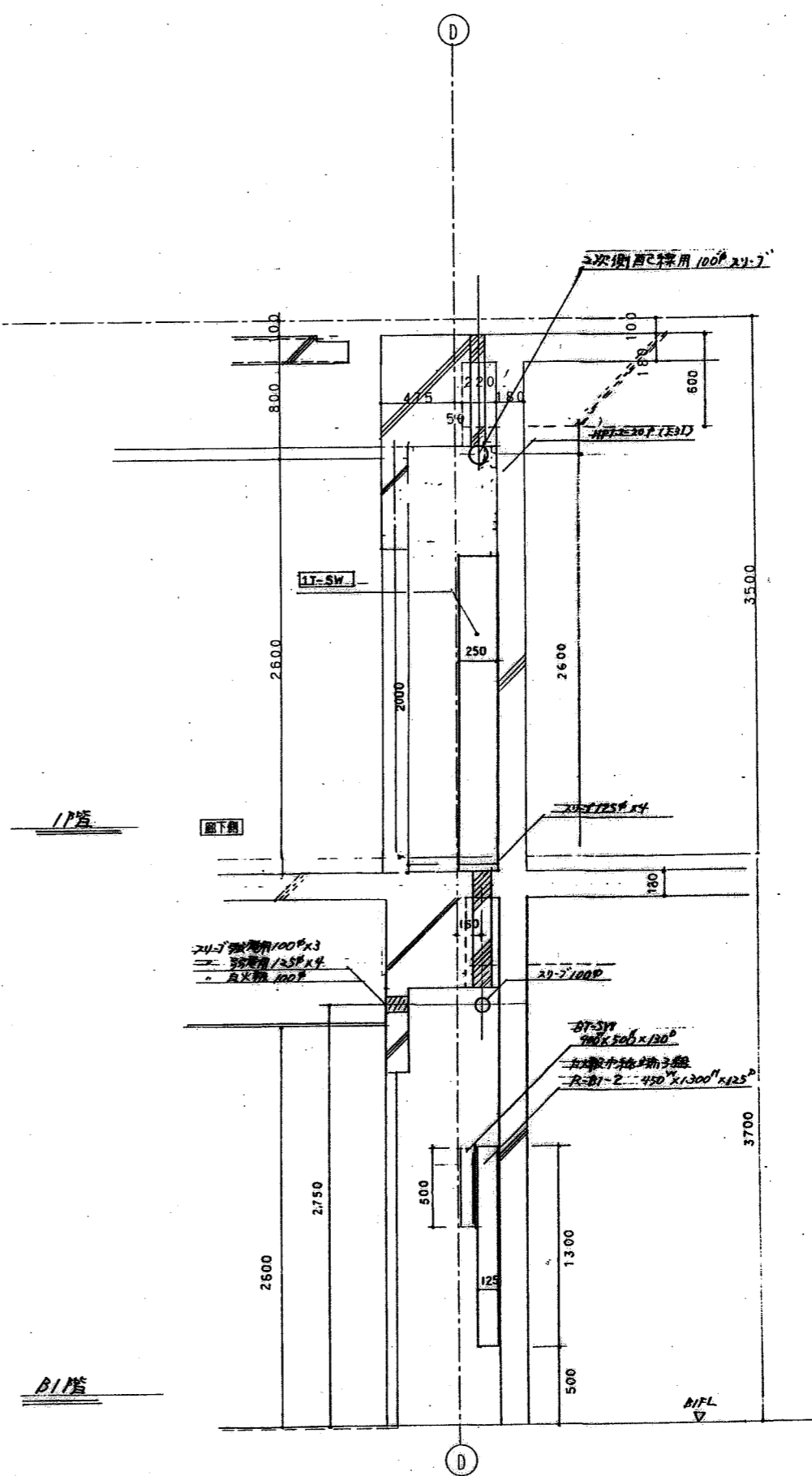
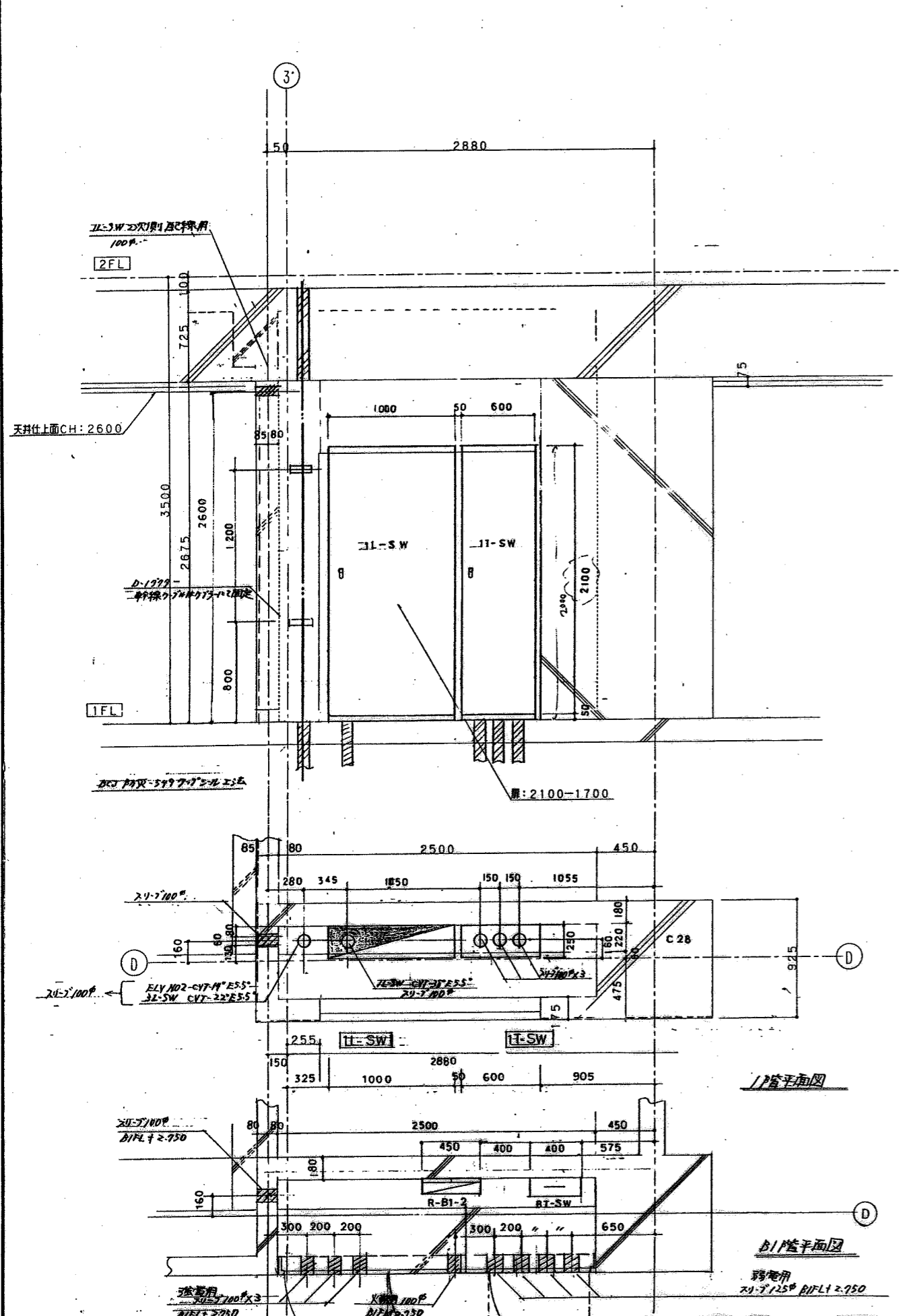


- TV
 S-7C-FB (1T-SW+1T-NE)
 S-7C-FBx6 (E1, 2, 3, 4, 5)
 S-7C-FBx4 (W7, 8, 9, 10)
- TEL
 O. 6S-200Px1 (O. 6S-20PK1) (1T-1T-SW)
 O. 6S-10P4 (W7; 8, 9, 10)
 O. 6S-20PK6 (E1; 2, 3, 4, 5)
 T.I.V.E.R. 6S-2CK2 (W1, 2)



REVISION			

松田平田・丸川設計共同企業体 		PROJECT NO. A3693	つくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事	1階北東側電気シャフト詳細図	電気 914
DATE	99.09.30	DRAWN BY		CHECKED BY	
SCALE	20/A1				

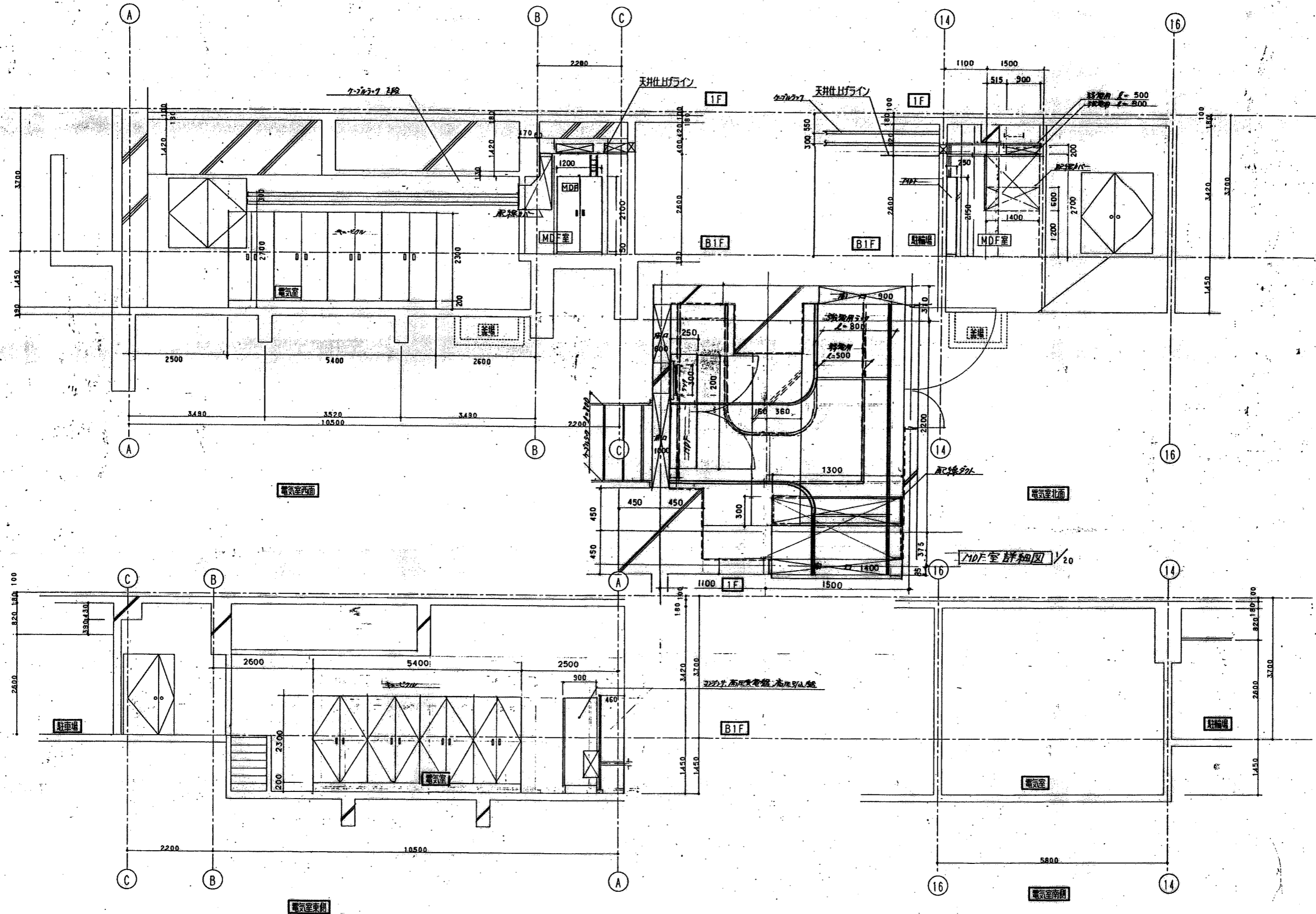


松田平田・丸川設計共同企業体
 M&S 松田平田 丸川設計

Project No. A3693 - つくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事
 Date 99.09.30
 Drawn by
 Checked by

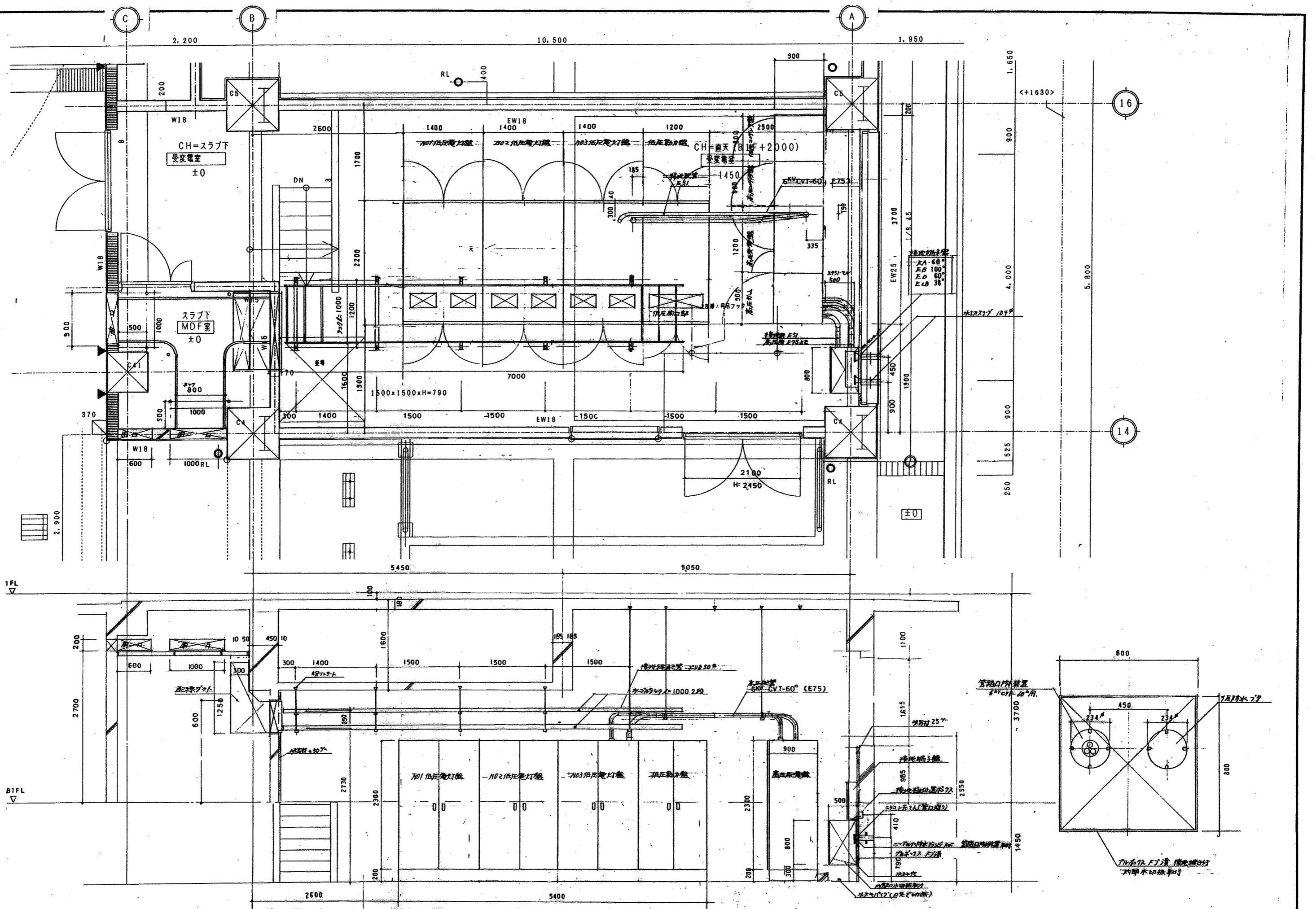
1階南西側電気シャフト詳細図
 20/A1

電気
 915



revision	date	drawn by	checked by

松田平田・丸川設計共同企業体 		project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事	電気 918
松田平田	丸川設計	date 99.09.30 drawn by checked by	MDF室・電気室詳細図 sheet 30/A1



revision	date	drawn by	checked by

松田平田・丸川設計共同企業体 MPS 松田平田 丸川設計		project no. A3693 につくば外国人研究者用宿舎(仮称)電気設備工事 date 99.09.30 drawn by checked by	電気室詳細図 30/A1	電気 919
--	--	---	-----------------	-----------

機械設備											
空調・衛生	000	図面リスト	No Scale	衛生	101	衛生機器・器具一覧表	No Scale	空調	101	機器一覧表 (1)	No Scale
空調・衛生	001	特記仕様書	No Scale	衛生	102	給水・ガス系統図	No Scale	空調	102	機器一覧表 (2)	No Scale
空調・衛生	002	工事区分表	No Scale	衛生	103	排水系統図	No Scale	空調	103	機器一覧表 (3)	No Scale
空調・衛生	003	YES工事区分表	No Scale	衛生	104	地階衛生平面図	1:200	空調	104	機器一覧表 (4)	No Scale
空調・衛生	004	建築概要・敷地案内図	1:5000, 1:500	衛生	105	地階衛生平面図 (雨水)	1:200	空調	105	空調配管・ダクト系統図	No Scale
				衛生	106	1階衛生平面図	1:200	空調	106	地階空調平面図	1:200
				衛生	107	2階・3階衛生平面図	1:200	空調	107	1階空調平面図	1:200
				衛生	108	4階・5階衛生平面図	1:200	空調	108	2階・3階空調平面図	1:200
				衛生	109	6階・7階衛生平面図	1:200	空調	109	4階・5階空調平面図	1:200
				衛生	110	8階・9階・PH階衛生平面図	1:200	空調	110	6階・7階空調平面図	1:200
				衛生	111	夫婦用住戸平面詳細図 (A・Bタイプ)	1:50	空調	111	8階・9階・PH階空調平面図	1:200
				衛生	112	夫婦用住戸平面詳細図 (C・Dタイプ)	1:50	空調	112	1階ダクト・配管平面詳細図	1:100
				衛生	113-1	専所有者住戸平面詳細図 (イ・ロ・ハタイプ)	1:50	空調	113	9階ダクト・配管平面詳細図	1:100
				衛生	113-2	カウンスリング・ゲストルーム詳細図	1:50	空調	114	地階ファンルーム詳細図	1:50
				衛生	114	便所及び管理人員詳細図	1:50	空調	115	南棟ラウンジ詳細図	1:50
				衛生	115	地階受水増量平面詳細図	1:30	空調	116	夫婦用住戸詳細図 (A・Bタイプ)	1:50
				衛生	116	MB廻り詳細図	1:30	空調	117	夫婦用住戸詳細図 (C・Dタイプ)	1:50
				衛生	117	散水機器廻り詳細図	1:50	空調	118	専所有者住戸平面詳細図 (イ・ロ・ハタイプ)	1:50
				衛生	118	倉庫・管理棟詳細図	No Scale	空調	119	ゲスト・カウンスリングルーム詳細図	No Scale
				衛生	119	系統図 (消火)	1:200	空調	200	制気口リスト	No Scale
				衛生	120	地階平面図 (消火)	1:200	空調	201	中央監視機能概要・回路図	No Scale
				衛生	121	1階平面図 (消火)	1:200	空調	202	中央監視設備仕様書	No Scale
				衛生	122	2階・3階平面図 (消火)	1:200	空調	203	自動制御フロー図	No Scale
				衛生	123	4階・5階平面図 (消火)	1:200	空調	204	中央監視点一覧表	1:200
				衛生	124	6階・7階平面図 (消火)	1:200	空調	205	地階自動制御平面図	1:200
				衛生	125	8階・9階・PH階平面図 (消火)	No Scale	空調	206	1階自動制御平面図	1:200
				衛生	201	ディスボーズ排水処理設備 (1)	1:50	空調	207	2階・3階自動制御平面図	1:200
				衛生	202	ディスボーズ排水処理設備 (2)	1:50	空調	208	4階・5階自動制御平面図	1:200
				衛生	203	ディスボーズ排水処理設備 (3)	1:50	空調	209	6階・7階自動制御平面図	1:200
				衛生	204	ディスボーズ排水処理設備 (4)	1:10, 1:3	空調	210	8階・9階・PH階自動制御平面図	
				衛生	205	ディスボーズ排水処理設備 点検室詳細図	1:10	空調	211	散水設備自動制御平面図	
				衛生	206	ディスボーズ排水処理設備 制御盤図	1:50				
				衛生	207	ディスボーズ装置専有夫婦住戸左納まり	1:15				
				衛生	208	ディスボーズ装置専有夫婦住戸右納まり	1:15				
				衛生	209	ディスボーズ装置 (兼会場)	1:20				
				衛生	210	ディスボーズ装置 (交流サロン)	1:30				

空調・衛生設備工事特記仕様書

□ 工事名称・その他

Table with project details: 工事名称 (つば外国人研究者用者舎(仮称)機械設備工事), 建築主 (科学技術振興事業団), 建築主住所 (埼玉県川口市本町4-1-B 川口センタービル), 敷地所在地 (茨城県つくば市二の宮一丁目六番地), 建築用途 (共同住宅)

□ 建築概要

Table with building specifications: 階数 (地下1階, 地上9階, 塔屋1階), 延床面積 (m²), 高さ (標準階高より m), 構造 (SRC, RC, S (北棟・東棟: RC, 南棟・西棟・地階: SRC))

□ 工事項目

Table listing construction items: 空気調和, 換気設備工事, 給排水衛生設備工事, 給排水設備工事, 衛生設備工事, 給排水衛生設備工事, 給排水設備工事, 衛生設備工事, 給排水衛生設備工事, 給排水設備工事, 衛生設備工事

□ 総則

Table with general conditions: 適用 (○印を適用する), 標準仕様書 (本特記仕様書以外の事項は全て下記共通仕様書による), 設計図書優先順位 (1. 現場説明及び質疑応答, 2. 特記仕様書, 3. 設計図書, 4. 標準仕様書), 工場検査 (下記項目に関して工場において所定の試験を行い, その試験成績を提出する), 支給品 (下記項目に関しては支給品とし, 現場搬入方法ならびに梱包等は協議による), 竣工図書 (竣工図書に添付する), 竣工写真 (竣工工事竣工写真を含む), その他

□ 設計条件

Table with design conditions: 外気 (夏季 33℃, 冬季 -1.8℃), 室内 (夏季 26±2℃, 冬季 22±2℃), 湿度 (夏季 63%, 冬季 46%), 風速 (成行 ±0.15 m/s), 圧力 (成行 ±0.5 mmHg)

□ 工事内容

Table detailing construction content: 空気調和設備 (温水ボイラ, 蒸気ボイラ, 冷凍機, ヒートポンプ), 換気設備 (第1種, 第2種, 第3種), 排水設備 (機械排水, 衛生排水, 雨水), 衛生器具設備 (大便器, 小便器, 洗面器), 消火設備 (屋内消火栓, スプリンクラー), ガス設備 (都市ガス), 生ゴミ処理装置 (排水処理装置)

□ 使用材料

Table listing materials: 管 (給水, 排水, 配管), 配管 (水道用硬質塩化ビニル, 水道用ポリエチレン), 配管 (耐熱性塩化ビニル管, 耐熱性塩化ビニル管), 配管 (排水用硬質塩化ビニル管), 配管 (耐熱性塩化ビニル管), 配管 (排水用硬質塩化ビニル管), 配管 (耐熱性塩化ビニル管)

□ 特記事項

- 屋外露出保温外装 (断熱材, 着色断熱板, アルミニウム板), ○ステンレス鋼板, ○断熱材のアンカーボルトは全てSUS製とする, ○断熱材のアンカーボルトは全てSUS製とする, ○断熱材のアンカーボルトは全てSUS製とする

□ 工事区分表 (別紙工事区分表参照)

Table with construction classification: 工事項目 (給排水衛生設備, 給排水設備, 衛生器具設備, 消火設備, ガス設備, 生ゴミ処理装置), 電気 (照明, 空調, 換気, 排水ポンプ), 衛生 (トイレ, 洗面, 浴), 配管 (給水, 排水), 電気 (照明, 空調, 換気, 排水ポンプ), 衛生 (トイレ, 洗面, 浴), 配管 (給水, 排水)

□ メーカーリスト (順不同)

Table listing manufacturers: ボンブ (後) 産直製作所, パッケージ型換気扇 (GHP含む) (後) 三洋電機, 送風機 (後) 産直製作所, 換気扇 (後) 東芝, 制御箱 (後) 富士電機, ダンパー (後) 富士電機, 金熱交換器 (後) 松下電器産業, 中央監視装置 (後) トキメック, 自動制御装置 (後) 横河ジョンソン, 鋼管 (後) 川崎製鉄, 鋼管継手 (後) 友成工業, 特殊管及継手 (後) 小島製作所, 鋼製部品 (後) 伊藤製作所, 弁 (後) キップ, 衛生陶器 (後) INAX, 水栓 (後) INAX, 消火栓 (後) 伊藤製作所, 消火装置 (後) 川崎製鉄, 給湯ボイラー・ガス湯沸器 (後) ガスター, 電気湯沸器 (後) 東芝, ヒューム管 (後) 帝國ヒューム管, 保温材 (後) 旭ファイバ, 保温材 (後) 内外アスベスト, 生ゴミ処理装置 (後) 東洋製紙, 厨用器具 (後) 伏元調理機器, 計量器 (後) 愛知時計電機

松田平田・丸川設計共同企業体 (Mitsuda Hirata・Marukawa Keisaku Kyogai Kaisha), project no. A3693, date 01.05, 特記仕様書, 空気・衛生, No Scale, 001

TES工事区分表

	工 事 項 目	TESI事	TESI事以外		
			建築工事	衛生工事	電気工事
	< 熱源機関連 >				
1	熱源機の搬入据付工事	○			
2	熱源機下部までの一次側給水工事(バルブ含)			○	
3	バルブより熱源機接続までの給水配管工事(保温工事含)			○	
4	熱源機下部までの給湯配管工事			○	
5	熱源機下部より熱源機接続までの給湯配管工事(保温工事含)			○	
6	熱源機接続までのガス工事			○	
7	熱源機接続までの電源・アース工事				○
8	熱源機~コントロールボックス間の電線管工事	○			
9	熱源機~コントロールボックス間の通線・結線工事	○			
10	配線用ボックス取付工事(電源用)				○
11	配線用ボックス取付工事(操作線用)	○			
12	コントロールボックスの取付工事	○			
13	コントロールボックス取付用の裏ボックス工事	○			
14	ヘッダーユニット取付工事(保温材含)	○			
15	オーバーブロー管工事(ベランダ放流)	○			
16	オーバーブロー管用排水管・ホッパー工事			○	
17	熱源機用壁掛金具	○			
18	熱源機用配管カバー(H=450)の取付工事	○			
19	アルコープアダプター取付工事	○			
20	排気変更アダプター取付工事	○			
	< 暖冷房放熱機関連 >				
1	室内放熱器用電気コンセント及び一次側電源供給工事				○
2	壁掛型放熱器用壁補強工事(コンパネ補強)		○		
3	天井カセット型放熱器用天井枠補強工事		○		
4	隠蔽型放熱器用吸込・吹出グリル	○			
5	隠蔽型放熱器用吸込・吹出グリル取付工事及び補強工事	○			
6	室外機用一次側電源供給工事及びアース工事(接続含む)				○
7	室外機ベース工事	○			
8	室外機用架台及び取付工事(2段横架台・天井吊架台)	○			
9	冷媒配管工事	○			
10	室外機~室内機間の渡り線工事	○			
11	冷媒ガス充填工事	○			
12	スリムダクト工事	○			
13	ラッキング工事	○			
14	ドレン配管工事(ベランダ放流・専用管へ接続)			○	
15	専用ドレン管工事			○	

TES工事区分表

	工 事 項 目	TESI事	TESI事以外		
			建築工事	衛生工事	電気工事
	< 床暖房関連 >				
1	下地合板敷設工事		○		
2	温水マットの敷設工事	○			
3	温水マットの養生工事	○			
4	温水マット用連絡管工事	○			
5	タミー合板敷設工事		○		
6	床仕上げ(フローリング及び、カーペット)工事		○		
7	床暖房コントローラ~熱源機間の電線管工事	○			
8	床暖房コントローラ~熱源機間の通線・結線工事	○			
9	床暖房コントローラ取付工事	○			
10	床暖房コントローラ取付用裏ボックス工事	○			
	< 浴室暖房乾燥機関連 >				
1	浴室暖房乾燥機の搬入据付工事	○			
2	浴室暖房乾燥機取付用アンカー工事	○			
3	浴室暖房乾燥機取付用吊りボルト工事	○			
4	浴室暖房乾燥機取付用ユニットバス開口・取付枠工事		○		
5	浴室暖房乾燥機用換気ダクト工事(接続まで)			○	
6	浴室暖房乾燥機用一時側電源・アース工事				○
7	浴室暖房乾燥機用コントロールボックス取付工事	○			
8	浴室暖房乾燥機用コントロールボックスの裏ボックス工事	○			
9	浴室暖房乾燥機~コントロールボックス間の電線管工事	○			
10	浴室暖房乾燥機~コントロールボックス間の信号線通線・結線工事	○			
11	ユニットバス天井点検口工事		○		
12	ユニットバス内物干機取付工事		○		
	< 暖房、追焚配管工事関連 >				
1	ベアチューブ配管工事	○			
2	ベアチューブ用スリーブ工事	○			
3	ベアチューブ用スリーブ仮補修工事	○			
4	ベアチューブ用スリーブ防水工事	○			
5	ベアチューブ用防火区画貫通処理工事	○			
6	配管用ふかし工事		○		
7	他配管交差部養生工事	○			

revisions _____

松田平田・丸川設計共同企業体

松田平田 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)機械設備工事

date 01.05. drawn by checked by

TESI工事区分表

scale No Scale

空調・衛生

003

□工事名称・その他
Table with columns: 工事名称, 建築主, (住所・氏名・電話), 建築用途, 工事種別

□敷地
Table with columns: 敷地所在地, (地名地番・住居表示), 用途地域の指定, 防火地域の指定, 日照規制, 法定建築率, 法定容積率, 高度地区, 前面道路, その他の地区

□適用法制度・その他
Table with columns: 適用法, 高さ制限, 容積率

□規模
Table with columns: 階数, 各部の長さ, 駐車台数, 増築予定

□面積
Table with columns: A) 敷地面積, B) 建築面積, C) 延床面積, D) 駐車庫面積, E) 住宅用地下室, F) 住宅用地下・屋敷, G) 給排水面積, H) 建築率, I) 容積率

□寸法
Table with columns: 主な寸法, 高さ, スパン

□外壁の工法
Table with columns: 主な工法, 屋根工法

□構造
Table with columns: 構造形式, 構造種別, 基礎種別, 基礎埋設

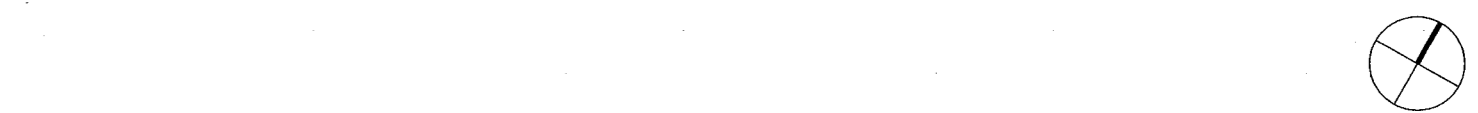
□内部の主要な仕上材(住戸部分)
Table with columns: 床, 壁, 天井

□外部仕上
Table with columns: 屋根, (防水・仕上・断熱・防湿), アスファルト防水, アスファルト防水, 屋根アスファルト防水, ウレタン塗膜防水

外観
Table with columns: 外観, 窓, 玄関, 外壁

外部設備
Table with columns: 手すり, タラップ, 丸窓, ルーフドレン, 雨樋, ガラリ, 雨樋格子

□その他の工事範囲
Table with columns: 付帯設備, 固定家具, 什器, カーテン, プラインド, 敷物, 郵便受, 線管, 社名板・表札, 表示板・サイン等, 黒板・掲示板, 快写スクリーン, 定礎板, 厨房器具, 洗濯器具, 建築照明, カガミ, 消火器BOX



地積図 1:400

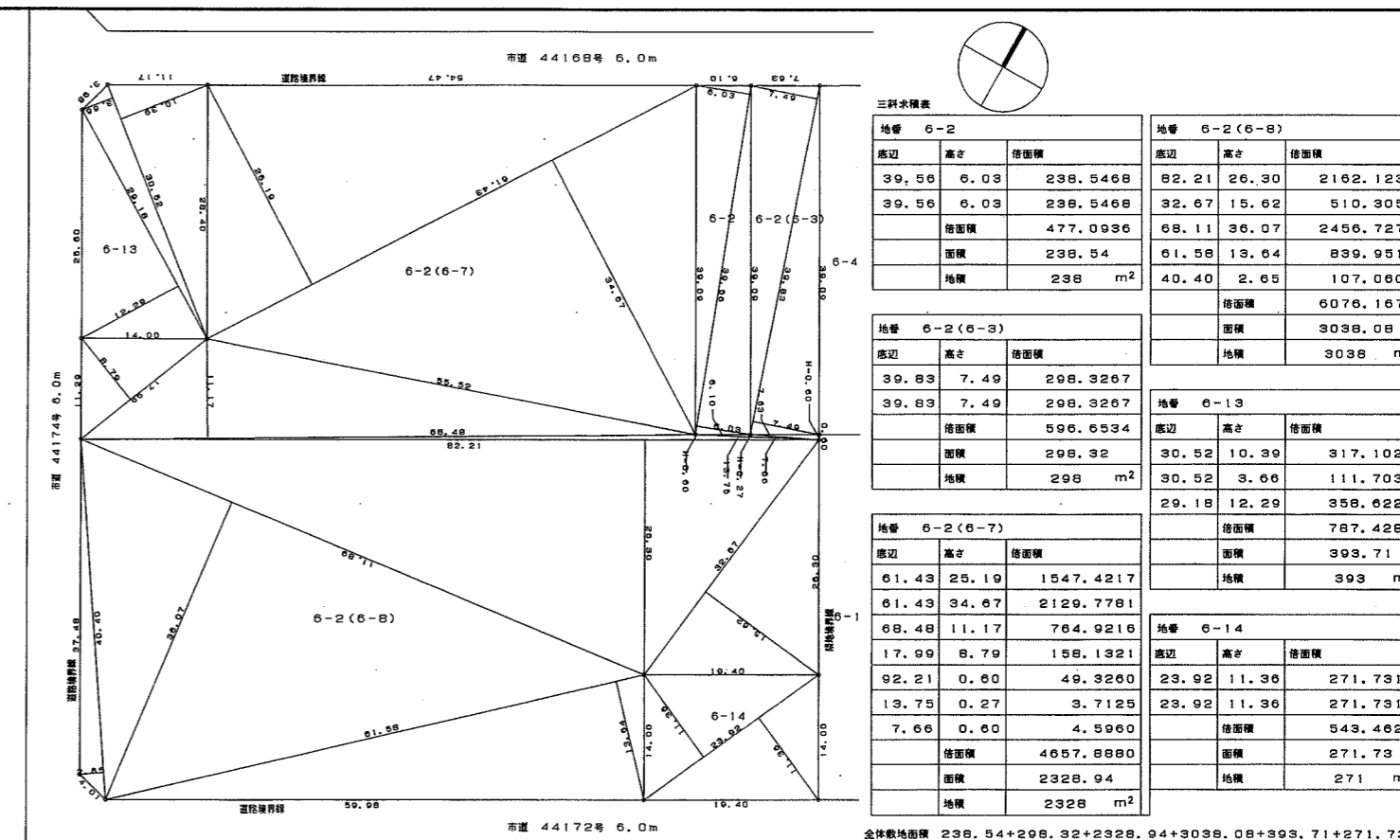


Table with columns: 確認, 修正, 承認

Project information block including: 松田平田・丸川設計共同企業体, Project No. A3693, Date 01.05, Scale 1/5000, 1/500, and other details.

機器一覧表 (衛生)

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考	
				相	電圧	KW	起動	階		室名
WT-1	受水槽	1	型式: 鋼板製中仕付(給水車対応型) 呼称水量: 48 m³/日 有効水量: 31 m³/日 外形寸法: 4000 x 6000 x 2000H 附 属: 1. OG 付 属 品: タラップ×2組、通気管、梁台(内部組込)、マンホール600 x 3組(組付) 防 食: 内外面エポキシ樹脂被膜付ライニング(内面0.4t以上、外面0.2t以上)					B1F	受水槽室	
P-1	加圧給水ポンプユニット	1	型式: インバーター制御方式(2台並列3台ローテーション) 容 量: 40φ x 80φ x 540 l/min x 48m 電動機4種式、内面ナイロンコーティング 付 属 品: 制御盤(電圧切替機能、電圧昇降制御、警報用外部接点付) 圧力タンク、圧力スイッチ、フローリレー、逆流防止機能、標準付属品	3	200	3.7x2	直入	B1F	受水槽室	
P-2	排水ポンプ	4	型式: 水中ポンプ 容 量: 50φ x 100 l/min x 5m 付 属 品: 水中ケーブル、箱フレンジ	3	200	0.4	直入	B1F	受水槽室下排水槽 受電室下排水槽	
GW-1	ガス式瞬間湯沸器	1	型式: PS設置型(FF型) 給湯能力: 24号 用 途: 給湯・風呂追いだし・自動湯張 付 属 品: リモコン					1F	管理入室	
GW-2	ガス式瞬間湯沸器	1	型式: 壁内壁掛型(FF型) 給湯能力: 16号 用 途: 給湯 付 属 品: リモコン					1F	集会議室	

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考	
				相	電圧	KW	起動	階		室名
EW-1	電気貯湯式湯沸器	4	型式: 台下設置型 貯 湯 量: 20 リットル 付 属 品: ウィークリータイマー、減圧弁	1	200	2.1	直入	B1F	清掃員更衣室 管理事務室 1F カウンセリング室	参考型番 EW-20N3
EW-2	電気貯湯式湯沸器	6	型式: 床置型 貯 湯 量: 20 リットル 付 属 品: ウィークリータイマー、減圧弁	1	100	1.5	直入	1F	便所1 1F 便所2 9F 便所	
EW-3	電気貯湯式湯沸器	1	型式: 床置型 貯 湯 量: 20 リットル 付 属 品: ウィークリータイマー、減圧弁	1	200	2.0	直入	9F	交流サロン	参考型番 REK22C2
DS-1	ディスポーザ	184	型式: 壁内設置型(自動運転・自動給水方式) 処理能力: 600 g/min 備 考: 排水処理設備と一体で認定	1	100	0.7		1F	集会議室 9F 交流サロン 各階 住戸	参考型番 NJ6200A

衛生器具表

器具名	品名 (参考型番)	室名 主 附 属 品	階										塔屋	住戸	合 計	
			B1F	1F	2F	6F	9F	塔屋	住戸	合 計						
座便式大便器	C480	TV750SR, TCF561MS3, YH120M														6
座便式大便器	C780B 5791B	T8791SA, TCF661R, T53875, エロンテクト加工													80	83
座便式大便器	C780BP	TCF776, TS116MK														1
身障者用大便器	C48AS	TU1410, TS116MDAY, T110BML1, T110BC1, T110BM8 T110BM1, T110BM3, TCF561M, TV740BR														2
小便器	UFS620CE			2												6
洗面器	L548	TLPS1UIX, TS127		2												12
洗面器	L548	TLF30UDX														1
洗面器	L525	TLPS1UIX														1
身障者洗面器	L103CF	TE84Q, LM531														2
座便式大便器	C454PV			1	2											3
ペーパータオルホルダー	YKL110			1	1											6
掃除機	SK22A	T23AE20		1												3
洗濯機パン	PWP800S	TW245X													80	80
洗濯機パン	PWP640S	TW245X													104	104
水 栓																
混合栓	TKG31UPX															1
単水栓	T200S13	ホーム水栓 回転型														10
電源用混合水栓	T230UDX		1													2
換水栓	T37S13															3
散水栓	T28AH13	床埋込型散水栓BOX(雑用対応)													6	6
散水栓	T28AH13	床埋込型散水栓BOX(防火水栓補給水対応)													1	1
散水栓	T28AH13	壁埋込型散水栓BOX(洗車対応)													1	1
熱湯用単水栓	T36FDU13H														1	1

※ 大便器はセフィロンテクト加工(借出)とする。

松田平田・丸川設計共同企業体



松田平田



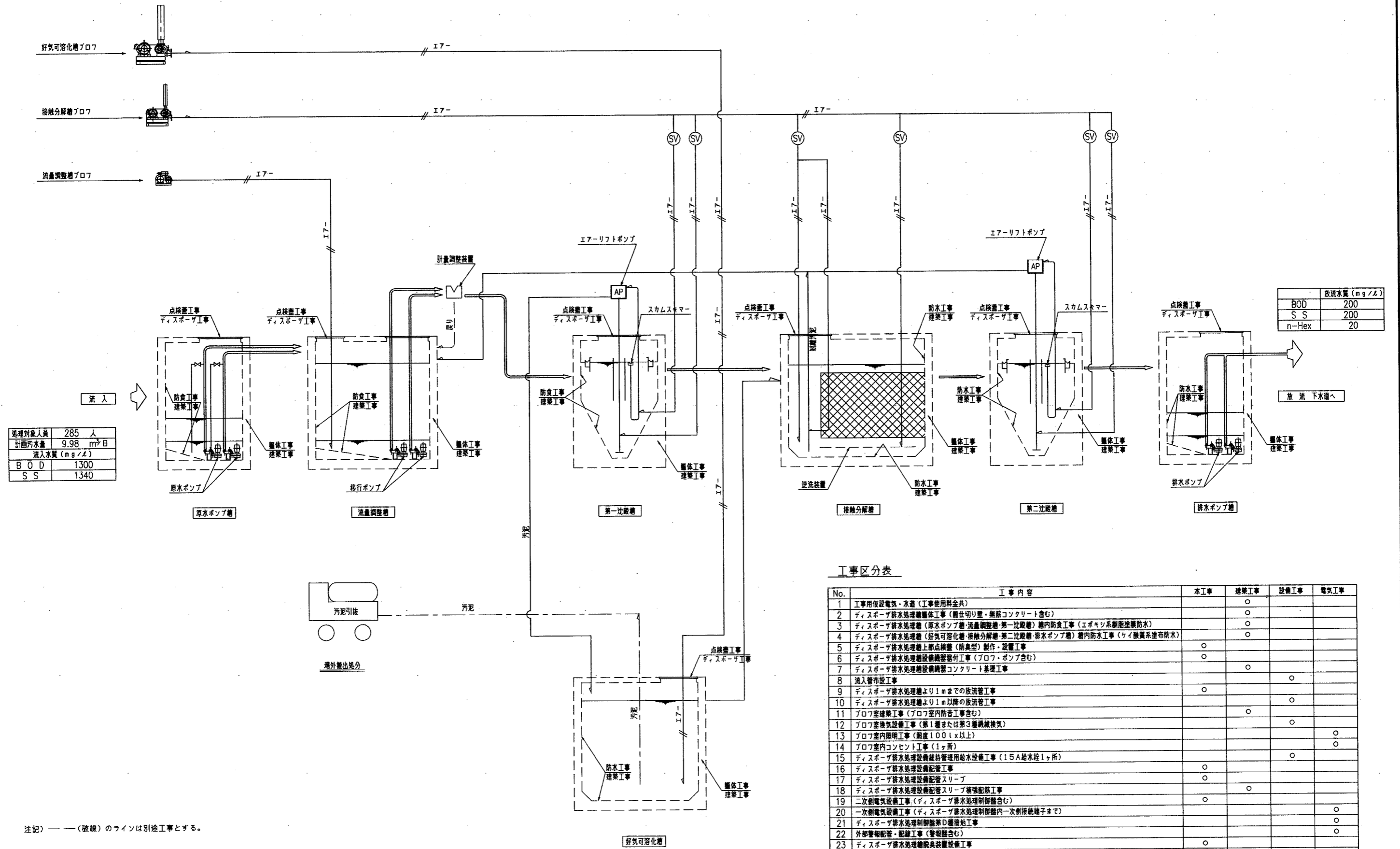
丸川設計

A3600 株式会社 松田平田・丸川設計共同企業体 (仮称) 機械設備工事

01.05.

衛生機器・器具一覧表

衛生



処理対象人員	285 人
計画汚水量	9.98 m ³ /日
流入水質 (mg/L)	
BOD	1300
S S	1340

	放流水質 (mg/L)
BOD	200
S S	200
n-Hex	20

工事区分表

No.	工事内容	本工事	建築工事	設備工事	電気工事
1	工事に伴う電気・水道 (工事使用料金共)		○		
2	ディスポーザ排水処理槽躯体工事 (圍仕切り壁・無筋コンクリート含む)		○		
3	ディスポーザ排水処理槽 (原水ポンプ槽・流送調整槽・第一沈殿槽) 槽内防水工事 (エポキシ系樹脂塗膜防水)		○		
4	ディスポーザ排水処理槽 (好気可溶性槽・接触分解槽・第二沈殿槽・排水ポンプ槽) 槽内防水工事 (ケイ酸系塗布防水)		○		
5	ディスポーザ排水処理槽上部点検蓋 (防臭型) 製作・設置工事	○			
6	ディスポーザ排水処理槽設備機器付工事 (プロフ・ポンプ含む)	○			
7	ディスポーザ排水処理槽設備機器コンクリート基礎工事		○		
8	流入管布設工事			○	
9	ディスポーザ排水処理槽より1mまでの放流管工事	○			
10	ディスポーザ排水処理槽より1m以降の放流管工事			○	
11	プロフ室建築工事 (プロフ室内防音工事含む)			○	
12	プロフ室換気設備工事 (第一種または第三種機械換気)			○	
13	プロフ室内照明工事 (照度100lx以上)				○
14	プロフ室内コンソント工事 (1ヶ所)				○
15	ディスポーザ排水処理設備維持管理用給水設備工事 (15A給水栓1ヶ所)			○	
16	ディスポーザ排水処理設備配管工事	○			
17	ディスポーザ排水処理設備配管スリーブ	○			
18	ディスポーザ排水処理設備配管スリーブ補強配管工事		○		
19	二次側電気設備工事 (ディスポーザ排水処理制御盤含む)	○			
20	一次側電気設備工事 (ディスポーザ排水処理制御盤内一次側接続端子まで)				○
21	ディスポーザ排水処理制御盤第0種接地工事				○
22	外部警報配管・配線工事 (警報盤含む)				○
23	ディスポーザ排水処理設備器具設置工事	○			
24	ディスポーザ排水処理設備器具配管工事	○			
25	水張り試験		○		
26	試運転	○			
27	水張り及び試運転用水		○		

注記) —— (破線) のラインは別途工事とする。

松田平田・丸川設計共同企業体

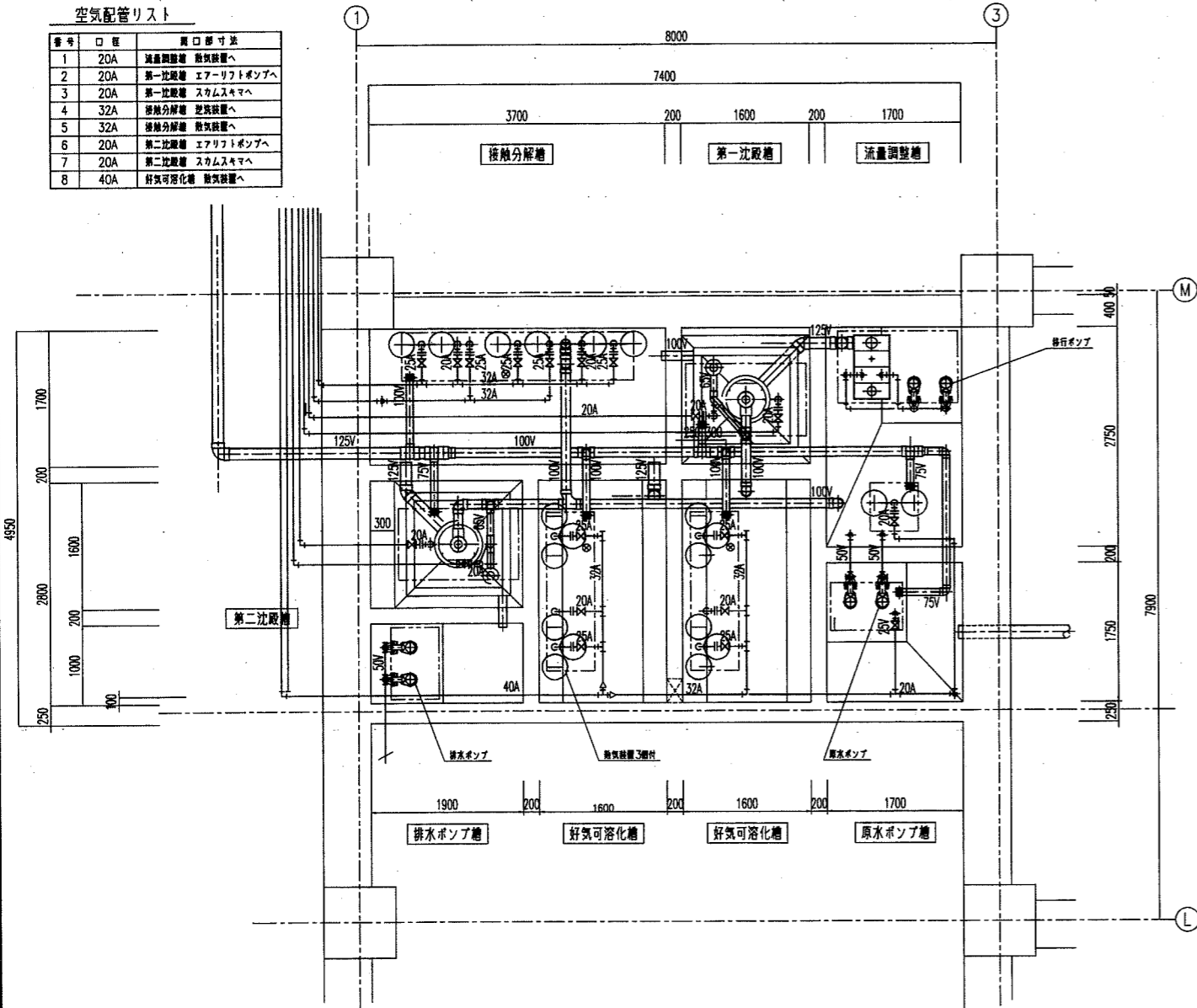
松田平田 丸川設計

ディスポーザ排水処理設備 11
1:40

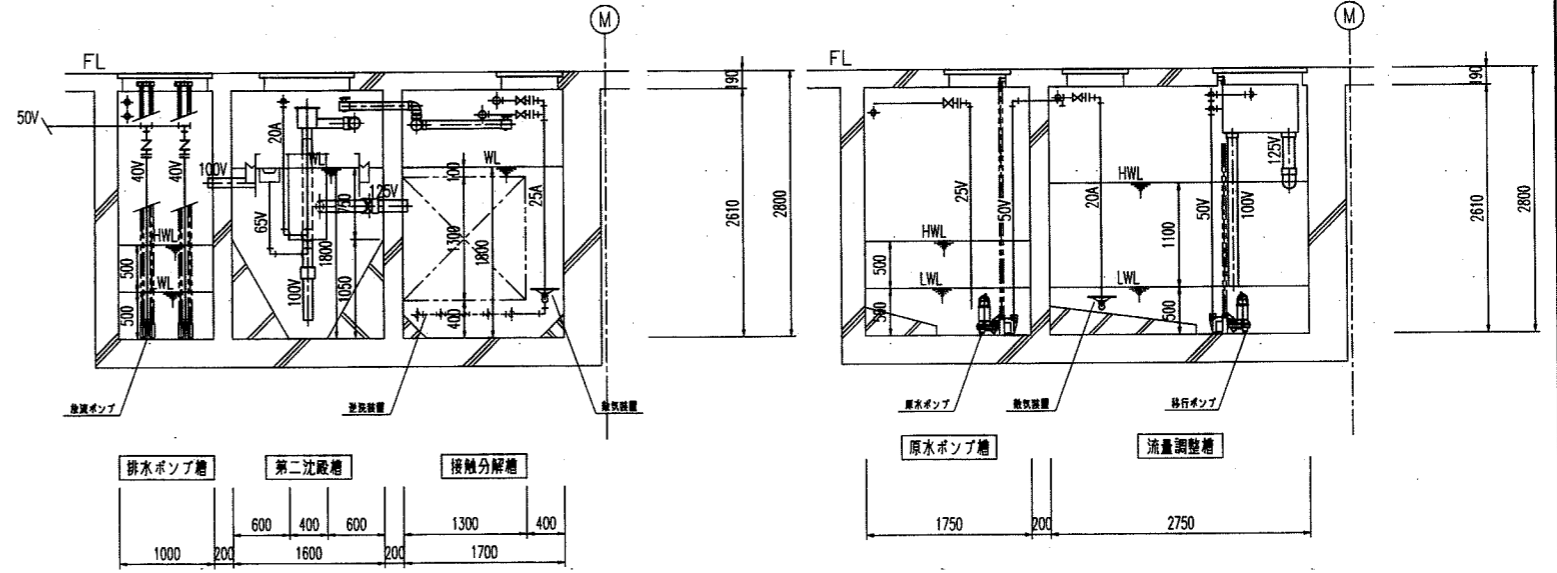
201

空気配管リスト

番号	口径	開口部寸法
1	20A	送風機設置 散気装置へ
2	20A	第一沈殿槽 エアリフトポンプへ
3	20A	第一沈殿槽 スカムスキマへ
4	32A	接触分解槽 送風機設置へ
5	32A	接触分解槽 散気装置へ
6	20A	第二沈殿槽 エアリフトポンプへ
7	20A	第二沈殿槽 スカムスキマへ
8	40A	好気可溶化槽 散気装置へ

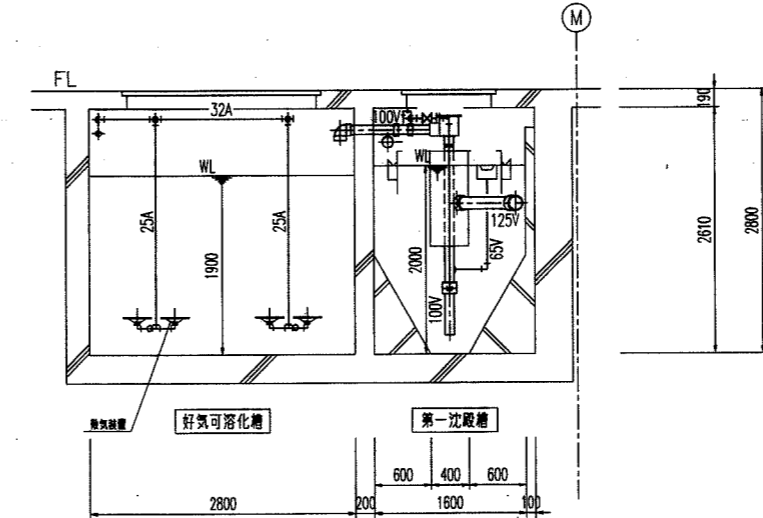


槽内平面図 S=1/40

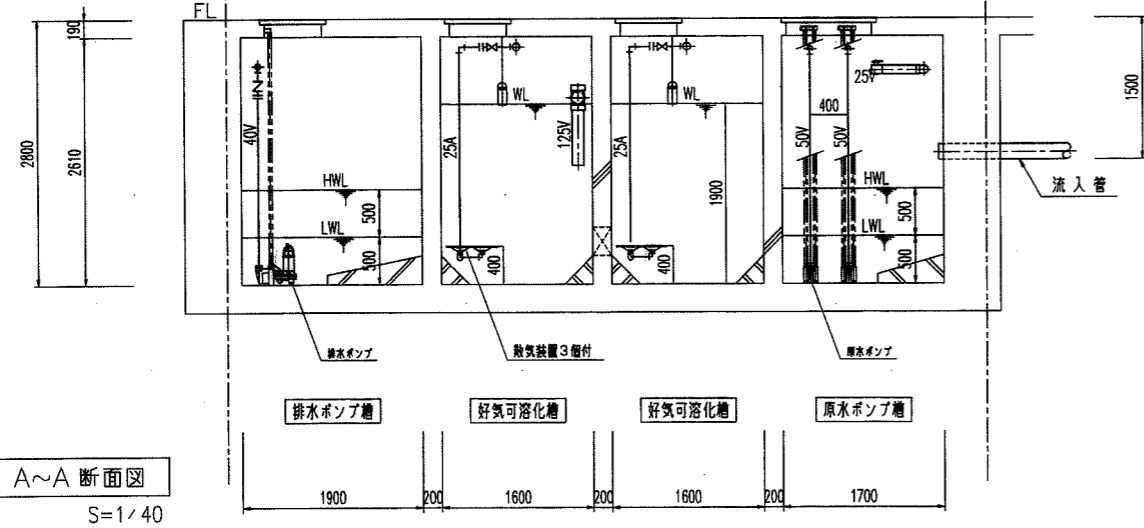


C~C 断面図 S=1/40

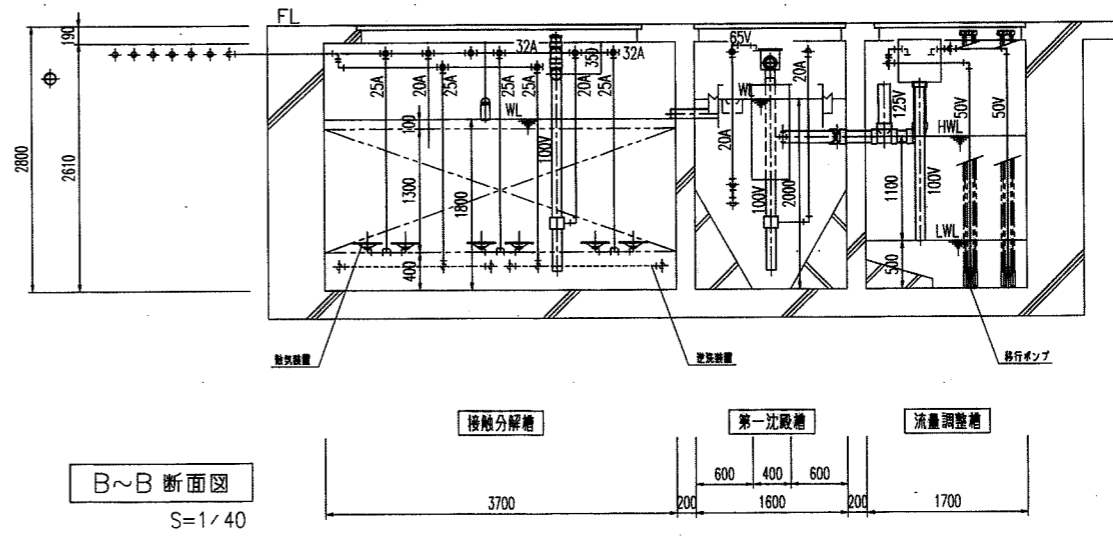
E~E 断面図 S=1/40



D~D 断面図 S=1/40



A~A 断面図 S=1/40



B~B 断面図 S=1/40

<p>設計者 松田平田・丸川設計共同企業体</p> <p>校核者</p> <p>承認者</p> <p>作成日</p> <p>図面番号</p>	<p>設計者 松田平田</p> <p>校核者</p> <p>承認者</p> <p>作成日</p> <p>図面番号</p>	<p>設計者 丸川設計</p> <p>校核者</p> <p>承認者</p> <p>作成日</p> <p>図面番号</p>
--	--	--

松田平田・丸川設計共同企業体

株式会社 松田平田 丸川設計

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112

設計者 松田平田 丸川設計

校核者

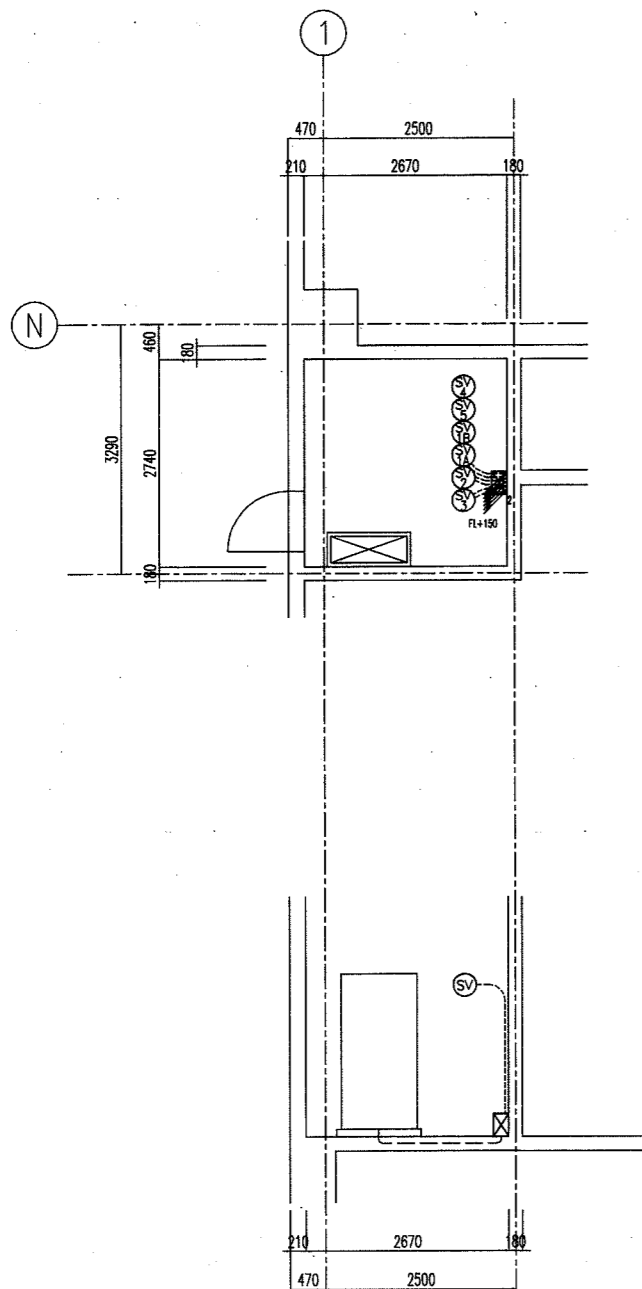
承認者

作成日

図面番号

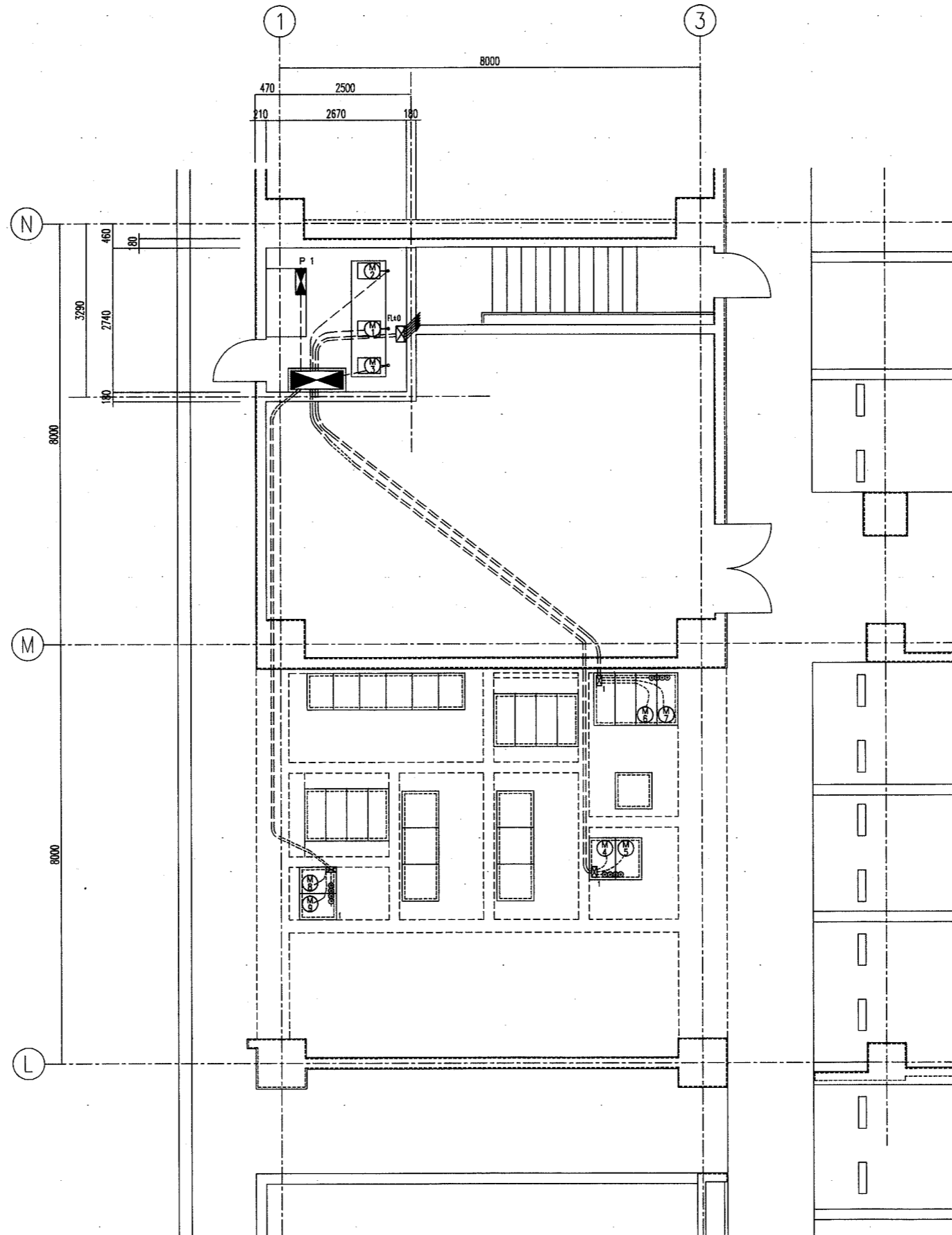
1:40

202



動力配線図

1/50



機器名称	容量	電線、ケーブル	電線管
M 1 排気分解機プロフ	1.5 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(22)
M 2 排気可溶性プロフ	1.5 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(22)
M 3 調整機排気プロフ	0.3 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(22)
M 4 No.1 排水ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(28)
M 5 No.2 排水ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(28)
FS 排水ポンプ用フロースイッチ	x 4	EM-CEE 2 ^φ -5 ^φ	(22)
M 6 No.1 移行ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(28)
M 7 No.2 移行ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(28)
FS 流量調整機用フロースイッチ	x 4	EM-CEE 2 ^φ -5 ^φ	(22)
M 8 No.1 排水ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(22)
M 9 No.2 排水ポンプ	0.25 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(22)
FS 排水ポンプ用フロースイッチ	x 4	EM-CEE 2 ^φ -5 ^φ	(22)
SV 1A 排水電磁弁		EM-CEE 2 ^φ -3 ^φ	(28)
SV 1B 逆止電磁弁		EM-CEE 2 ^φ -3 ^φ	(28)
SV 2 第一比設給スカムシキマ電磁弁		EM-CEE 2 ^φ -3 ^φ	(28)
SV 3 第二比設給スカムシキマ電磁弁		EM-CEE 2 ^φ -3 ^φ	(28)
SV 4 第三比設給スカムシキマ電磁弁		EM-CEE 2 ^φ -3 ^φ	(28)
SV 5 第四比設給スカムシキマ電磁弁		EM-CEE 2 ^φ -3 ^φ	(28)
P 1 脱臭装置	0.5 kW	EM-CE 2 ^φ -4 ^φ	(28)
脱臭装置管線		EM-CEE 2 ^φ -2 ^φ	(28)

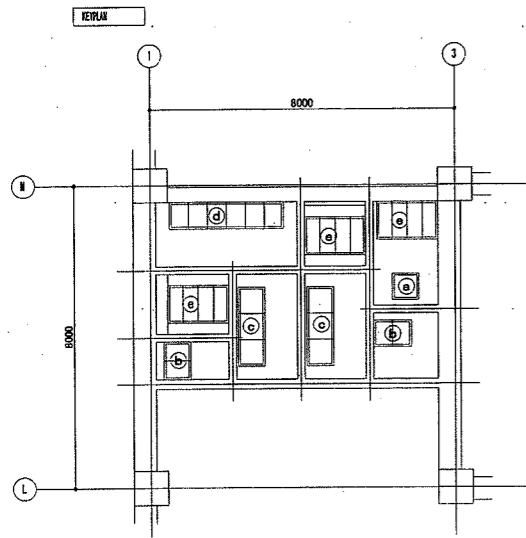
注記

明記なき電線管はPF管とする。

☒ 1 PB 200 x 200 x 100 VE

☒ 2 PB 300 x 300 x 200 VE

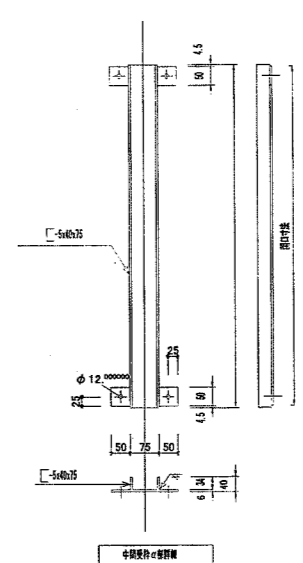
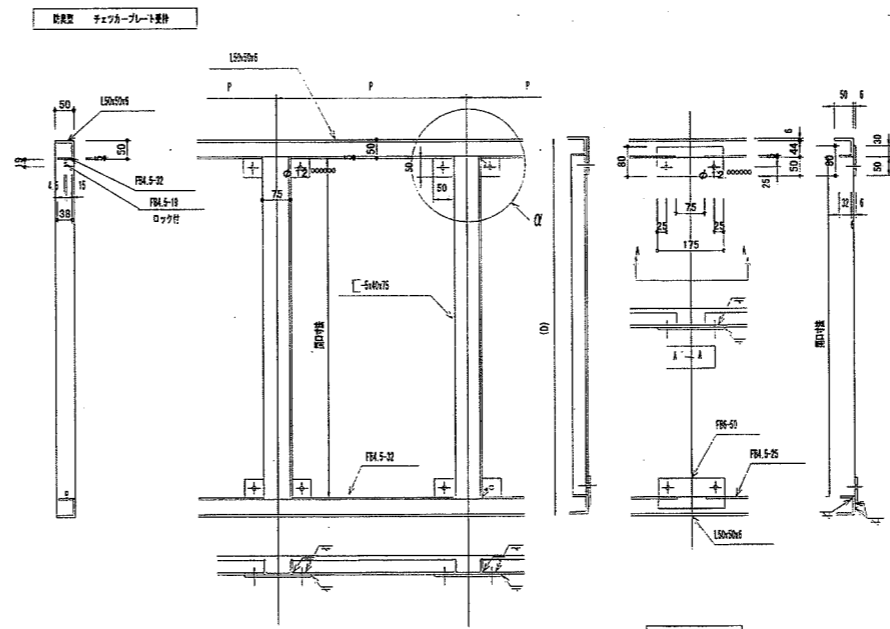
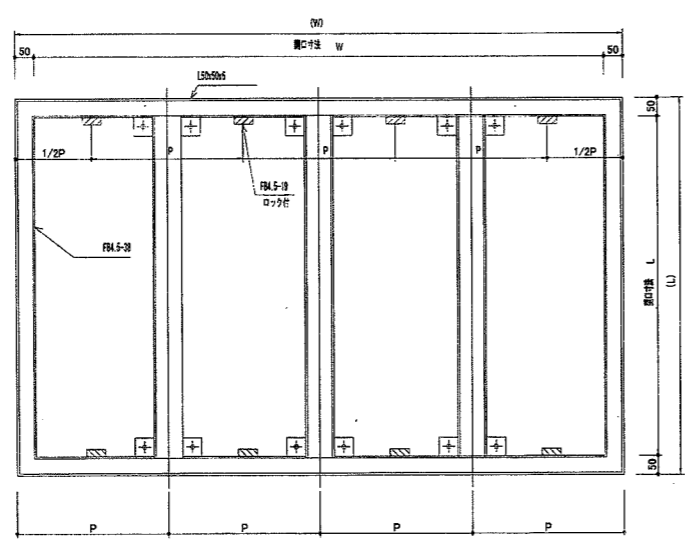
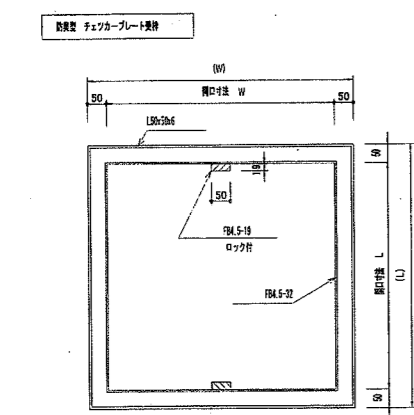
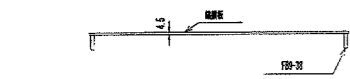
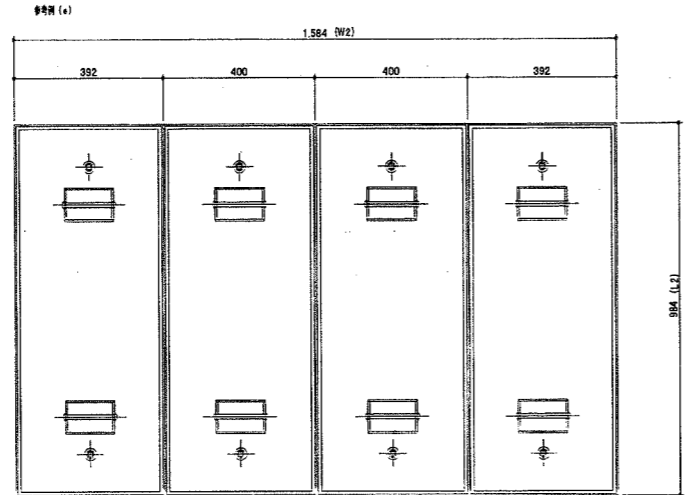
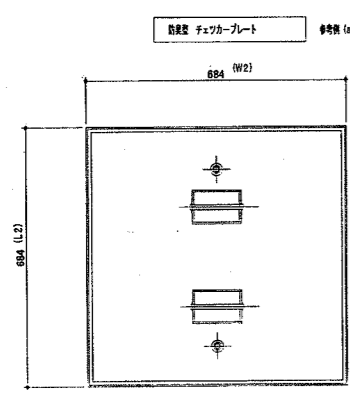
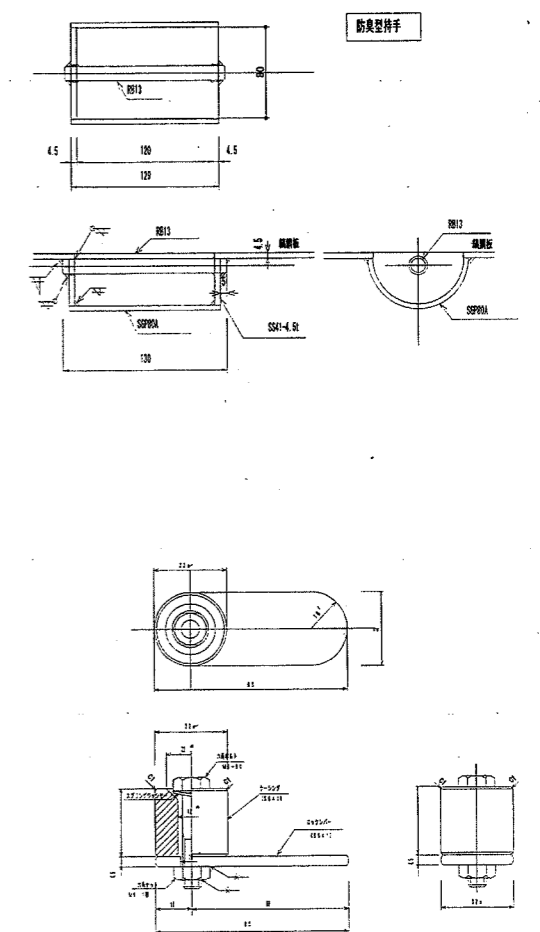
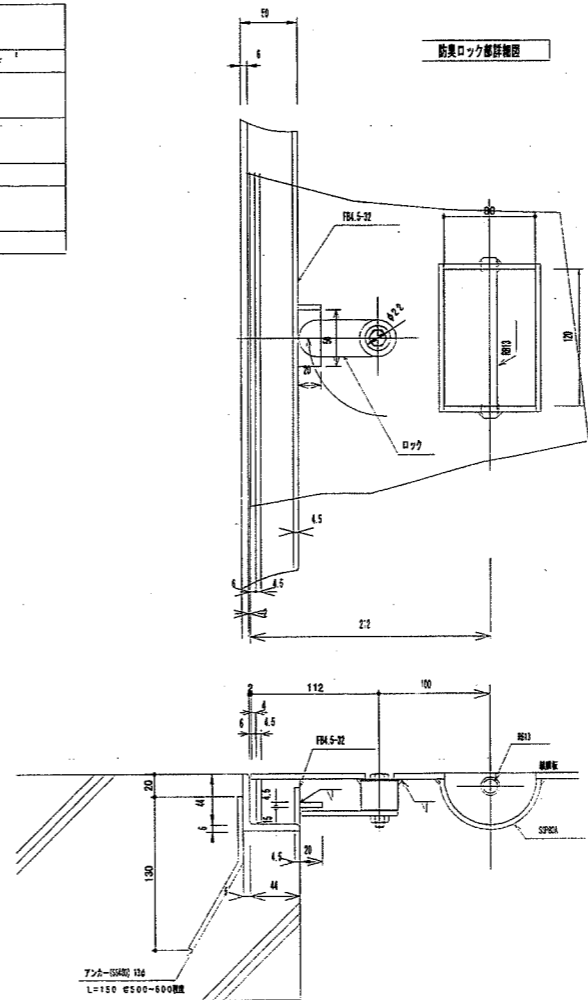
<p>149</p>	<p>松田平田・丸川設計共同企業体</p> <p>MHS 松田平田 丸川設計</p>	<p>プロジェクト名</p> <p>つくば市個人研究管理センター（仮称）附属設備工事</p> <p>設計者</p> <p>監理者</p> <p>作成者</p>	<p>システム・設備管理図</p> <p>1/50</p>	<p>204</p>
------------	--	---	-------------------------------	------------



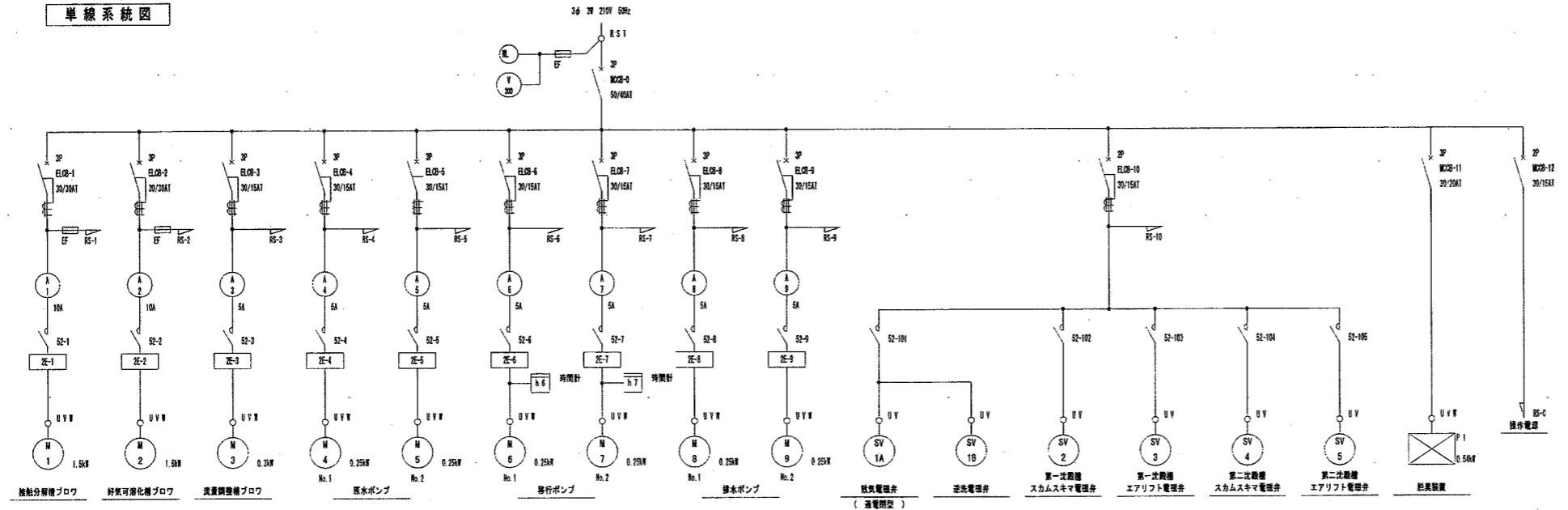
設備量リスト

番号	開口		受付方法			設備量			設置量 (kg)	設置量 (kg)	備考
	L	W	(L)	(W)	P	(L2)	(W2)	設置			
(a)	600	600	1	700	700	684	684	1	25	16	歩行用 500kg/m 以下
(b)	600	900	2	700	1000	500	655	4	19	24	"
(c)	600	2000	2	700	2100	700	684	4	25	41	"
(d)	600	2800	1	700	3000	500	655	4	19	63	"
								2	19		
(e)	900	1500	2	1000	1800	400	594	3	22	49	"
								6	22		

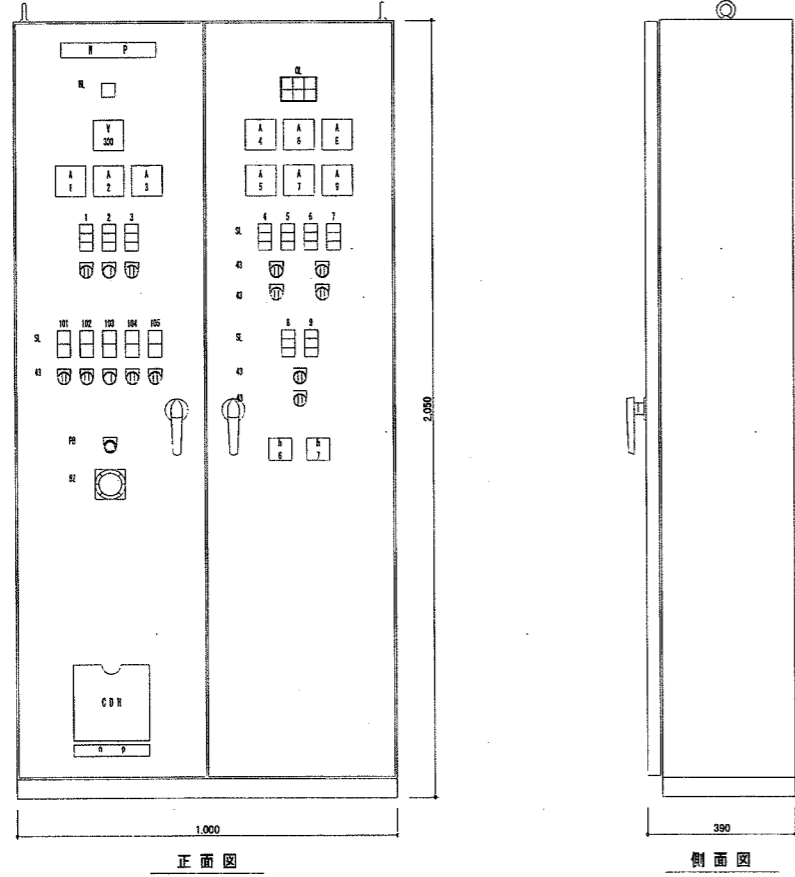
材質
受付・点検蓋板 (SS400) タールエポキシ樹脂塗装とする。



動力制御盤
単線系統図



図体寸法図
1/10

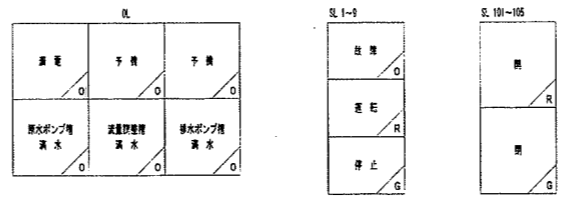


用途名板一覧

No.	主電線
RL 1	脱脂分離槽ブロウ
RL 2	好気可溶性槽ブロウ
RL 3	流量調整槽ブロウ
RL 4	No.1 排水ポンプ
RL 5	No.2 排水ポンプ
RL 6	No.1 移行ポンプ
RL 7	No.2 移行ポンプ
RL 8	No.1 排水ポンプ
RL 9	No.2 排水ポンプ
RL 101	脱脂/逆洗切替電機弁
RL 102	第一洗脱槽スカムスキマ電機弁
RL 103	第一洗脱槽エアリフト電機弁
RL 104	第二洗脱槽スカムスキマ電機弁
RL 105	第二洗脱槽エアリフト電機弁

番号	機器名称	運転方法
1	脱脂分離槽ブロウ	手動一切-自動 自動=タイムスイッチ及び電圧降下復帰による自動運転。
2	好気可溶性槽ブロウ	手動一切-自動 自動=タイムスイッチによる自動運転。
3	流量調整槽ブロウ	手動一切-自動 自動=流量調整槽フロートスイッチ及びフライングタイマーによる自動運転。
4	No.1 排水ポンプ	手動一切-自動 自動=排水槽フロートスイッチによる自動運転。
5	No.2 排水ポンプ	手動一切-自動 No.1-交互-No.2 故障時自動供給
6	No.1 移行ポンプ	手動一切-自動 自動=流量調整槽フロートスイッチによる自動運転。
7	No.2 移行ポンプ	手動一切-自動 No.1-交互-No.2 故障時自動供給
8	No.1 排水ポンプ	手動一切-自動 自動=排水槽フロートスイッチによる自動運転。
9	No.2 排水ポンプ	手動一切-自動 No.1-交互-No.2 故障時自動供給
101	脱脂/逆洗切替電機弁	手動一切-自動 自動=順子タイマーによる自動運転。
102	第一洗脱槽スカムスキマ電機弁	手動一切-自動 自動=順子タイマーによる自動運転。
103	第一洗脱槽エアリフト電機弁	手動一切-自動 スカムスキマ運転 → エアリフト運転 → 停止 の繰り返し
104	第二洗脱槽スカムスキマ電機弁	手動一切-自動 自動=順子タイマーによる自動運転。
105	第二洗脱槽エアリフト電機弁	手動一切-自動 スカムスキマ運転 → エアリフト運転 → 停止 の繰り返し

注記: 処理槽外管管線は、処理槽接続用管 (1φ) とし漏電圧検出とする。



機器一覧表(1)

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考	
				相	電圧	KW	起動	階		室名
PAC-1	空冷式パナソニック(78F) 室外機 (1階エントランス系統)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 45.0 kw 暖房能力 53.0 kw 燃料消費量 4.0 Nm ³ /h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振	3	200	1.59	直入	6F	屋上	
PAC-1-1	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 天井カセット型(4方向吹出型) 冷房能力 9.0 kw 暖房能力 10.6 kw 送風機 付属品 気化式加湿器(0.8kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ	1	200	0.05	直入	1F	管理入室	
PAC-1-2	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 床置ダクト接続型 冷房能力 22.4 kw 暖房能力 26.0 kw 送風機 4080 m ³ /h x 110 Pa 付属品 気化式加湿器(4.5kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	3	200	1.5	直入	1F	エントランス	
PAC-1-3	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 天井カセット型 冷房能力 4.5 kw 暖房能力 5.3 kw 送風機 付属品 遠方監視用基板	1	200	0.25	直入	B1F	清掃員更衣室	
PAC-1-4	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 壁掛型 冷房能力 7.1 kw 送風機 付属品 遠方監視用基板	1	200	0.25	直入	B1F	廃棄物集積所	
PAC-2	空冷式パナソニック(78F) 室外機 (1階集会議室系統)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 56.0 kw 暖房能力 67.0 kw 燃料消費量 4.95 Nm ³ /h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振	3	200	1.59	直入	6F	屋上	
PAC-2-1	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 床置ダクト接続型 冷房能力 22.4 kw 暖房能力 26.5 kw 送風機 4080 m ³ /h x 40 Pa 付属品 気化式加湿器(4.5kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	3	200	0.75	直入	1F	集会議室	
PAC-2-2	空冷式パナソニック(78F) 室内機	4	型式 天吊ダクト型 冷房能力 9.0 kw 暖房能力 10.6 kw 送風機 1200 m ³ /h x 110 Pa 付属品 気化式加湿器(2.0kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.13	直入	1F	集会議室	
PAC-3	空冷式パナソニック(78F) 室外機 (1階管理事務室系統)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 56.0 kw 暖房能力 63.0 kw 燃料消費量 4.95 Nm ³ /h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振	3	200	1.58	直入	6F	屋上	
PAC-3-1	空冷式パナソニック(78F) 室内機	8	型式 天井カセット型(4方向吹出型) 冷房能力 4.5 kw 暖房能力 5.3 kw 送風機 付属品 気化式加湿器(0.8kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ	1	200	0.845	直入	1F	管理事務室	

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考	
				相	電圧	KW	起動	階		室名
PAC-3-2	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 天井カセット型(4方向吹出型) 冷房能力 7.1 kw 暖房能力 8.5 kw 送風機 付属品 気化式加湿器(0.8kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.845	直入	1F	倉庫(4)	
PAC-3-3	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 天井ダクト型 冷房能力 7.1 kw 暖房能力 8.5 kw 送風機 付属品 気化式加湿器(2.0kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ	1	200	0.845	直入	1F	応接室	
PAC-4	空冷式パナソニック(78F) 室外機 (1階セミナー室系統)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 22.4 kw 暖房能力 26.5 kw 燃料消費量 3.23 Nm ³ /h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振、排気フード	1	200	0.95	直入	6F	屋上	
PAC-4-1	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 天井ダクト型 冷房能力 9.0 kw 暖房能力 10.6 kw 送風機 付属品 気化式加湿器(2.0kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ	1	200	0.4	直入	1F	セミナー室(1)	
PAC-4-2	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 天井ダクト型 冷房能力 9.0 kw 暖房能力 10.6 kw 送風機 付属品 気化式加湿器(2.0kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板、ドレンアップメカ	1	200	0.05	直入	1F	セミナー室(2)	
PAC-5	空冷式パナソニック(78F) 室外機 (1階共用室系統)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 28.0 kw 暖房能力 33.5 kw 燃料消費量 2.55 Nm ³ /h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振、排気フード	1	200	0.95	直入	6F	屋上	
PAC-5-1	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 天吊ダクト型 冷房能力 11.2 kw 暖房能力 13.2 kw 送風機 1620 m ³ /h x 60 Pa 付属品 気化式加湿器(2.7kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.5	直入	1F	共用室(1)	
PAC-5-2	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 天吊ダクト型 冷房能力 11.2 kw 暖房能力 13.2 kw 送風機 1620 m ³ /h x 60 Pa 付属品 気化式加湿器(2.7kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.5	直入	1F	共用室(2)	
PAC-6	空冷式パナソニック(78F) 室外機 (2階情報ライブラリー ペリメーター系統)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 22.4 kw 暖房能力 26.5 kw 燃料消費量 2.04 Nm ³ /h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振、排気フード	1	200	0.95	直入	6F	屋上	
PAC-6-1	空冷式パナソニック(78F) 室内機	1	型式 床置ダクト接続型 冷房能力 22.4 kw 暖房能力 26.5 kw 送風機 4080 m ³ /h x 90 Pa 付属品 気化式加湿器(4.5kg/h)、7/8寸(メーカー標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	3	200	0.7	直入	1F	集会議室	

注1. 機種別に示す電圧は参考とする。
注2. 機種別に示すパナソニック能力は「1」を基準とする。
注3. 室外機は指定色塗料とする。

松田平田・丸川設計共同企業体

A3693

つくば外国人研究者用宿舎(仮称)機械設備工事

機器一覧表(1)

空調



松田平田

丸川設計

01.06.

No Scale

101

機器一覧表 (2)

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考
				相	電圧	KW	起動	階	
PAC-7	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 45.0 kw 暖房能力 53.0 kw 燃料消費量 4.0 Nm3/h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振	3	200	1.59	直入	6F 屋上	
PAC-7-1	空冷式パナソニック (7F)	2	型式 床置ダクト接続型 冷房能力 22.4 kw 暖房能力 26.5 kw 送風機 4080 m3/h x .90 Pa 付属品 気化式加湿器 (4.5 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	1.4	直入	2F 情報ライブラリー	
PAC-8	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 45.0 kw 暖房能力 53.0 kw 燃料消費量 4.0 Nm3/h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振	3	200	1.58	直入	6F 屋上	
PAC-8-1	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 天吊ダクト型 冷房能力 7.1 kw 暖房能力 8.5 kw 送風機 1200 m3/h x 100 Pa 付属品 気化式加湿器 (2.0 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.8	直入	3F 北ラウンジ	
PAC-8-2	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 天吊ダクト型 冷房能力 14.0 kw 暖房能力 17.0 kw 送風機 2040 m3/h x 100 Pa 付属品 気化式加湿器 (3.8 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.8	直入	4F 北ラウンジ	
PAC-8-3	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 天吊ダクト型 冷房能力 14.0 kw 暖房能力 17.0 kw 送風機 2040 m3/h x 100 Pa 付属品 気化式加湿器 (3.8 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.8	直入	5F 北ラウンジ	
PAC-9	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 45.0 kw 暖房能力 53.0 kw 燃料消費量 4.95 Nm3/h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振	3	200	1.59	直入	PHF 屋上	
PAC-9-1	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 床置ダクト接続型 冷房能力 14.0 kw 暖房能力 16.0 kw 送風機 4080 m3/h x 180 Pa 付属品 気化式加湿器 (3.4 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	3	200	2.19	直入	3F 南ラウンジ	
PAC-9-2	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 床置ダクト接続型 冷房能力 14.0 kw 暖房能力 16.0 kw 送風機 4080 m3/h x 180 Pa 付属品 気化式加湿器 (3.4 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	3	200	2.19	直入	5F 南ラウンジ	
PAC-9-3	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 床置ダクト接続型 冷房能力 14.0 kw 暖房能力 16.0 kw 送風機 4080 m3/h x 180 Pa 付属品 気化式加湿器 (4.5 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	3	200	2.19	直入	7F 南ラウンジ	

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考
				相	電圧	KW	起動	階	
PAC-10	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 ガスエンジンヒートポンプ式 冷房能力 56.0 kw 暖房能力 67.0 kw 燃料消費量 4.95 Nm3/h (13A) 消費電力 付属品 スプリング防振、排気フード	3	200	0.59	直入	PHF 屋上	
PAC-10-1	空冷式パナソニック (7F)	1	型式 天井ビルトイン型 冷房能力 14.0 kw 暖房能力 17.0 kw 送風機 1200 m3/h x 40 Pa 付属品 気化式加湿器 (1.1 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.1	直入	9F 和室	
PAC-10-2	空冷式パナソニック (7F)	6	型式 床置ローボイ隠蔽型 冷房能力 4.5 kw 暖房能力 5.3 kw 送風機 付属品 気化式加湿器 (0.4 kg/h)、7/8寸 (JIS標準品) リモコン、遠方発停監視用制御基板	1	200	0.04	直入	9F 交流サロン	
AC-2	空冷式パナソニック	5	型式 天吊ダクト型 冷房能力 3.6 kw 暖房能力 4.5 kw 送風機 690 m3/h x 78 Pa 付属品 リモコン	1	200	1.6	直入	1F ガスト、カウンセリング室	

注1. 機種表に示す電気消費量は参考とする。
注2. 機種表に示すパナソニック能力はJIS標準とする。
注3. 室外機は指定色塗料とする。

松田平田・丸川設計共同企業体

A3893 株式会社 松田平田丸川設計 (仮称) 機械設備工事

機器一覧表 (2)

MHS 松田平田 丸川設計

01.05.

No Scale

空調

102

機器一覧表(3)

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考
				相	電圧	KW	起動	階	
HEX-1	空調換気扇	1	型式 静止型全熱交換器(カセット型) 150 m3/h × 50 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.1	直入	B1F	清掃員更衣室
HEX-2	空調換気扇	4	型式 静止型全熱交換器(カセット型) 320 m3/h × 100 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.2	直入	1F	管理事務室
HEX-3	空調換気扇	1	型式 静止型全熱交換器(天吊埋込型) 350 m3/h × 100 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.17	直入	1F	応接室
HEX-5	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器(カセット型) 350 m3/h × 100 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.2	直入	1F	倉庫(4)
HEX-6	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器(カセット型) 350 m3/h × 100 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.2	直入	1F	セミナー室(1)(2)
HEX-7	空調換気扇 (1F集会所系統)	4	型式 静止型全熱交換器(天吊埋込型) 800 m3/h × 100 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.35	直入	1F	廊下
HEX-8	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器(カセット型) 350 m3/h × 100 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.2	直入	1F	共用室(1)(2)
HEX-10	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器(天吊埋込型) 500 m3/h × 100 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.2	直入	9F	交流サロン
HEX-11	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器(天吊埋込型) 500 m3/h × 100 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.2	直入	9F	和室
HEX-A	空調換気扇	2	型式 静止型全熱交換器(天吊埋込型) 250 m3/h × 64 Pa 交換効率 60%以上 付属品 コントロールスイッチ、遠方発停監視用制御基板	1	100	0.12	直入	1F	カウンセリング室
SF-1	送風機	1	型式 ラインファン 送風機 No. 3 × 1500 m3/h × 110 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.27	直入	B1F	受水槽室 EF-5と連動
SF-2	送風機	1	型式 片吸込シロッコファン 送風機 No. 3 /I × 10000 m3/h × 150 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	2.2	直入	B1F	受変電室 EF-6と連動
SF-3	送風機	1	型式 ラインファン 送風機 No. 3 × 1500 m3/h × 100 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.15	直入	1F	集会所(PAC置場) EF-21と連動
EF-1	排風機	1	型式 ラインファン 送風機 NO. 3 × 1340 m3/h × 50 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	1	100	0.15	直入	B1F	廃棄物集積所
EF-2	排風機	1	型式 天井扇 送風機 580 m3/h × 60 Pa	1	100	0.1	直入	B1F	倉庫1
EF-3	排風機	1	型式 天井扇 送風機 480 m3/h × 60 Pa	1	100	0.1	直入	B1F	倉庫2

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考
				相	電圧	KW	起動	階	
EF-5	排風機	1	型式 ラインファン 送風機 No. 3 × 1500 m3/h × 100 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.15	直入	B1F	受水槽室 SF-1と連動
EF-6	排風機	1	型式 片吸込シロッコファン(天吊り) 送風機 No. 3 /I × 10000 m3/h × 130 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	2.2	直入	B1F	受変電室 SF-2と連動
EF-7	排風機	2	型式 片吸込シロッコファン 送風機 No. 6 /I × 40000 m3/h × 220 Pa 送風機 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	11.0	△	B1F	駐車場 ファン-11-2
EF-8	排風機	1	型式 ラインファン 送風機 NO. 2 × 730 m3/h × 50 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	1	100	0.04	直入	B1F	消火ポンプ室
EF-9	排風機	1	型式 天井扇 送風機 120 m3/h × 60 Pa	1	100	0.1	直入	B1F	浄化槽機械室
EF-10	排風機	1	型式 天井扇 送風機 180 m3/h × 70 Pa	1	100	0.034	直入	1F	倉庫1
EF-11	排風機	1	型式 天井扇 送風機 110 m3/h × 60 Pa	1	100	0.02	直入	1F	宅配ボックス室
EF-12	排風機 (1F便所1系統)	2	型式 ラインファン 送風機 No. 3 × 425 m3/h × 60 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	1	100	0.04	直入	1F	自販機室
EF-13	排風機 (1F便所2系統)	1	型式 ラインファン 送風機 No. 3 × 425 m3/h × 40 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	1	100	0.025	直入	1F	リネン庫(2)
EF-14	排風機	1	型式 天井扇 送風機 400 m3/h × 60 Pa	1	100	0.06	直入	1F	自販機室
EF-15	排風機	1	型式 天井扇 送風機 360 m3/h × 100 Pa	1	100	0.061	直入	1F	リネン庫1
EF-16	排風機	1	型式 天井扇 送風機 530 m3/h × 100 Pa	1	100	0.122	直入	1F	リネン庫2
EF-18	排風機	1	型式 天井扇(オール金属タイプ) 送風機 200 m3/h × 70 Pa	1	100	0.056	直入	1F	管理人室 ミニキッチン
EF-19	排風機	1	型式 天井扇(二部扇用) 送風機 80 m3/h × 90 Pa	1	100	0.03	直入	1F	管理人室 便所
EF-20	排風機	1	型式 天井扇(浴室用) 送風機 60 m3/h × 70 Pa	1	100	0.016	直入	1F	管理人室 UB
EF-21	排風機	1	型式 ラインファン 送風機 No. 3 × 1500 m3/h × 100 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.15	直入	1F	集会所フード SF-3と連動
EF-22	排風機	1	型式 天井扇 送風機 110 m3/h × 120 Pa	1	100	0.037	直入	1F	倉庫2
EF-23	排風機	1	型式 天井扇 送風機 130 m3/h × 90 Pa	1	100	0.034	直入	1F	倉庫3

注1. 機器に示す電圧は参考とする。
注2. 機器に示すパワージャンプ能力はJIS基準とする。
注3. 送風機は指定色塗料とする。

機器一覧表(4)

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考
				相	電圧	KW	起動	階	
EF-24	排風機 (2F情報リブ列系統)	1	型式 ラインファン 送風機 No. 3 x 870 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.15	直入	1F 集客室(PAC置場)	PAC-6-1と連動
EF-25	排風機 (3~5F北リブ列系統)	3	型式 天井扇 送風機 630 m ³ /h x 130 Pa	1	100	0.15	直入	5F D\$1S	
EF-26	排風機 (2・3F廊下系統)	1	型式 ラインファン 送風機 No. 3 x 1500 m ³ /h x 80 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.15	直入	5F D\$1S	
EF-27	排風機	1	型式 ストレートシロッコファン 送風機 No. 3 x 360 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.25	直入	4F 南ラウンジ	PAC-9-1と連動
EF-28	排風機	1	型式 ストレートシロッコファン 送風機 No. 3 x 360 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.25	直入	6F 南ラウンジ	PAC-9-2と連動
EF-29	排風機	1	型式 ストレートシロッコファン 送風機 No. 3 x 360 m ³ /h x 100 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	3	200	0.25	直入	8F 南ラウンジ	PAC-9-3と連動
EF-30	排風機 (9F便所系統)	2	型式 ラインファン 送風機 No. 3 x 445 m ³ /h x 80 Pa 付属品 防振装置(ハンガタイプ防振吊金具)	1	100	0.04	直入	9F 女子便所	
DF-1	排風機	16	型式 誘引型(天吊露出形ノズル 100φx3) 送風機 630 m ³ /h	1	100	0.12	直入	B1F 駐車場	参考型番 トップノット型TYPE II
F-1	排風機	83	型式 三室用中間ダクトファン 送風機 190 m ³ /h x 80 Pa	1	100	0.029	直入	夫婦用住戸 A-B-C-Dタイプ UB	
F-2	排風機	48	型式 中間ダクトファン 送風機 70 m ³ /h x 70 Pa	1	100	0.025	直入	単身者用住戸 イ・ハタイプ UB	
F-3	レンジフード ※別途建築工事	189	型式 給排気型 送風機 500 m ³ /h x 70 Pa	1	100	0.101	直入	夫婦・単身者用 住戸 台所	参考型番 LCR-3A-601V
F-5	排風機	2	型式 天井扇 送風機 100 m ³ /h x 70 Pa	1	100	0.02	直入	1F カウンセリング室	
FA-1	光触媒装置	8	型式 光触媒ユニット チャンバー内設置タイプ 処理風量 720 m ³ /h	1	100	0.5	直入	1F 集客室	参考型番 TSP200 チャンバ - 1000x500x300H

記号	機器名称	台数	仕様	電源			設置場所		備考
				相	電圧	KW	起動	階	
TES関連機器<単身者用>									
空冷ヒートポンプ									
AC-2	室外ユニット	104	型式 1室用TESエアコン 冷房能力 2.5 kw 送風機 圧縮機 付属品 スライドブロック基礎	1	100	0.02	直入	単身者用住戸 イ・ハタイプ ベランダ	参考型番 CGS-22SF-1
AC-2-1	室内ユニット	104	型式 壁埋込型 暖房能力 3.9 kw 送風機 付属品 フィルター(メーカー標準品) 化粧カバー(木目・縦格子)、リモコン	1	100	0.02	直入	居間	CG-22BSO-AT
KF-1	浴室暖房乾燥機	48	型式 天井埋込型 (FAN無) 加熱能力 3.25 kw 風量 70 m ³ /h	1	100	0.058	直入	単身者用 住戸 UB	参考型番 ABD-28KSF
KF-2	浴室暖房乾燥機	56	型式 天井埋込型 (FAN付) 加熱能力 3.25 kw 風量 70 m ³ /h	1	100	0.080	直入	単身者用 住戸 UB	参考型番 ABD-28KTSF
FD-1	床暖房	104	型式 TESカーペット仕上げ					単身者用 住戸 台所	
TES-1	TES熱源機	104	型式 屋外壁掛型 給湯能力 24号 用途 冷暖房・床暖房・給湯・浴室暖房乾燥機・風呂追いだし 付属品 リモコン、配管化粧カバー600H、指定焼付塗装					住戸	AT-366RSA-AQ
TES関連機器<夫婦用>									
空冷ヒートポンプ									
AC-1	室外ユニット	80	型式 2室用マルチTESエアコン 冷房能力 4.5 kw 送風機 圧縮機 付属品 スライドブロック基礎	1	200	0.02	直入	夫婦用住戸 A・B・C・Dタイプ ベランダ	参考型番 CGS-502E-21K
AC-1-1	室内ユニット	160	型式 壁埋込型 暖房能力 3.9 kw 送風機 付属品 フィルター(メーカー標準品) 化粧カバー(木目・縦格子)、リモコン	1	100	0.02	直入	居間・寝室	CG-22BSO-AT
KF-1	浴室暖房乾燥機	83	型式 天井埋込型 加熱能力 3.25 kw 風量 70 m ³ /h	1	100	0.058	直入	夫婦用住戸 UB	参考型番 ABD-28KSF
FD-1	床暖房	170	型式 TESカーペット仕上げ					夫婦用住戸 台所	
TES-1	TES熱源機	83	型式 屋外壁掛型 給湯能力 24号 用途 冷暖房・床暖房・給湯・浴室暖房乾燥機・風呂追いだし 付属品 リモコン、配管化粧カバー600H、指定焼付塗装					住戸	AT-366RSA-AQ

注1. 機種名に示す電気消費量は参考とする。
注2. 機種名に示すパッケージ能力はJIS基準とする。
注3. 室外機は指定色塗料とする。

制気口リスト

階	室名	吹出口				吸込口				内貼り									
		型式	流体	サイズ	風量<吹>	型式	流体	サイズ	風量<吸>	あり	なし	個数	全風量	あり	なし	個数	全風量		
B1F	受水暗室	HS	OA	300×300	735					—	—	2	1470						
	MDF	HS	OA	350×350	1000	550×550×400				—	—	1	1000						
	受電暗室	HS	OA	1500×900	9550					—	—	2	19100						
1F	リネン庫-1	VHS	OA	250×250	360	450×450×400				—	○	1	360						
	リネン庫-2	VHS	OA	300×300	530	500×500×400				—	○	1	530						
	管理人洗面所																		
	共用室-1	BL-D	SA	6000L	1680	6200×300×400				○	—	1	1680	CL-S	RA	6000L	840	6200×300×400	
	共用室-2	BL-D	SA	6000L	1680	6200×300×400				○	—	1	1680	CL-S	RA	6000L	840	6200×300×400	
	エントランス	ノズル	SA	300φ	582	500×500×500				○	—	7	4080						
	集会議室	—	SA	照明吹出し (建築工事)	400	差込ファン1200L							12	4800	—	RA	照明吸込み (建築工事)	400	差込ファン1200L
	集会議室	—	SA	建築工事	4080	2500×800×1800				○	—	1	9080	—	EA	建築工事	4080		
	応接室	BL-D	SA	4000L	960	4200×300×400				○	—	1	960	CL-D	RA	4000L	960	4200×300×400	
	身障者便所-1	VHS	OA	150×150	150	300×300×300				○	—	1	150	HS	EA	150×150	150	300×300×300	
	男子便所-1	—	OA	建築工事	510	2000×200×300				○	—	1	510	—	EA	建築工事	510	2000×200×300	
	女子便所-1	—	OA	建築工事	330	2200×200×300				○	—	1	330	—	EA	建築工事	330	2000×200×300	
	男子便所-2	—	OA	建築工事	460	1800×200×300				○	—	1	460	—	EA	建築工事	460	2000×200×300	
女子便所-2	—	OA	建築工事	390	1800×200×300				○	—	1	390	—	EA	建築工事	390	2000×200×300		
2F	廊下																		
	情報フィアフリー	—	SA	建築工事	4080	500×600×2500				○	—	2	8160	—	RA	建築工事	4080		
3F	廊下																		
	フウンジ(南)	—	SA	建築工事	3170	4750×300×300				○	—	1	3170	スリット	RA	建築工事	3410		
	フウンジ(北)	BL-D	SA	7000L	2080	7200×300×400				○	—	1	2080	CL-D	RA	3500L	1040	3700×300×400	

階	室名	吹出口				吸込口				内貼り									
		型式	流体	サイズ	風量	型式	流体	サイズ	風量	ボックス	あり	なし	個数	全風量	あり	なし	個数	全風量	
4F	フウンジ(南)																		
	フウンジ(北)	BL-D	SA	7000L	2080	7200×300×400				○	—	1	2080	CL-D	RA	3500L	1040	3700×300×400	
5F	フウンジ(南)	—	SA	建築工事	3170	4750×300×300				○	—	1	3170	スリット	RA	建築工事	3410		
	フウンジ(北)	BL-D	SA	7000L	2080	7200×300×400				○	—	1	2080	CL-D	RA	3500L	1040	3700×300×400	
	フウンジ(南)	スリット	SA	建築工事	910	1000×400×400				○	—	1	910	HS	EA	250×250	240		
6F	和室(1)	KLS1	SA	2000L	920	4200×200×300				○	—	2	1840						
	和室(2)	KLS1	SA	2000L	1020	4200×200×300				○	—	2	2040						
7F	水屋	KLS1	SA	1000L	200	1200×200×250				○	—	1	200	KLS1	RA	1000L	200	1200×200×250	
	交流サロン	KLS1	SA	2000L	167	2200×200×250				○	—	6	1000	KLS1	RA	2000L	167	2200×200×250	
8F	女子便所	—	OA	建築工事	445								1	445	—	EA	建築工事	445	
	男子便所	—	OA	建築工事	445								1	445	—	EA	建築工事	200	
	廊下																		

revisions

松田平田・丸川設計共同企業体		Project no. A3693	つくば外国人研究者用宿舎(仮称)機械設備工事	
MS 松田平田	丸川設計	Date 01.05.	Drawn by	Checked by
		制気口リスト		
				空調
				120
Scale No Scale				

1. 表示機能

- (1) 画面展開方式

管理ポイントを階層的に分類し階層毎の目次表示を行い、容易にリスト画面・系統別グラフィック画面の展開が可能とする。
また、リスト画面/グラフィック画面の切替が容易に行える。
- (2) システムリストおよびシステムグラフィック画面の表示
 - a. CRT画面の表示

各種システムリストおよびグラフィック画面等は、データ表示エリアに表示する。(画面操作コマンドを含む)
また、各種操作(オン/オフ・設定等)コマンドは、データ表示エリア内にウィンドウ表示する。
 - b. リストおよびグラフィック画面の表示

管理ポイントの状態・制御設定値等は、リストあるいはグラフィック画面にシステム単位で一括表示する。グラフィック画面には、システム系統図とともに、管理ポイントデータが表示される。
 - c. 画面分割(マルチウィンドウ)表示

選択された複数の画面(リストおよびグラフィック)を、ウィンドウ表示することができる。(均等分割表示・多重画面表示等)
 - d. 画面アイコン表示

重要画面や使用頻度の高い画面をアイコン(画面最小化給文字)化して常時表示させ、マウスの選択操作により画面のワンタッチ表示ができる。
 - e. 画面拡大および縮小表示

グラフィック画面の拡大および縮小表示ができ、拡大時にはスクロール(縦/横)表示操作ができる。
- (3) 未確認警報および警報点一覧表示

警報発生時の未確認警報一覧や過去から現在までに発生した警報点一覧の表示ができる。
- (4) 管理点情報表示

全管理ポイントの種々の管理ポイント情報を表示する。
- (5) トレンドデータおよびグラフ表示

計測ポイント・状態ポイントのトレンドデータを、リストまたはグラフ表示する。
- (6) 棒グラフ表示

動力機器等の運転時間・動作回数・警報回数の積算値を、棒グラフにて表示する。
- (7) 各種一覧表示

動力機器・停止機器・発停点・計測点の一覧表示をする。
- (8) カレンダー表示

CRT画面に年/月/日・曜日・時刻の表示をする。
また、表示消去および再表示ができる。
- (9) 警報メッセージ表示

スケジュール制御・アナログ上下限監視等の機能のパラメータの設
り設定された警報メッセージを、表示することができる。
- (10) 警報発生時自動該当画面表示

警報発生したポイントのリストまたはグラフィック画面を、自動的に表示させることができる。

2. 監視機能(CRT)

- (1) 警報監視

警報発生時、管理ポイント名称・日付・時刻・警報メッセージ等を表示し、警報音とともに通知する。
- (2) アナログ上下限/偏差警報監視

計測ポイント毎に設定された上下限値/偏差値を越えた場合に、警報として通知する。
- (3) 積算値上限警報監視

積算ポイント毎に、設定された上限値を越えた場合に警報として通知する。
- (4) 発停エラー/反指令監視

オン/オフ操作出力後、一定時間後に対象ポイントの状態が命令と一致しない場合に、警報として通知する。また、手動によるオン/オフ操作を行い、その状態が反指令の場合も、警報として通知する。
- (5) 稼働時間/動作回数/警報回数積算監視

動力機器等の稼働時間・オン/オフ動作回数・警報発生回数を、積算し、設定した値を越えた場合に、警報として通知する。
- (6) 自己診断監視

システムの通信状態を常時監視し、異常発生時に警報として通知する。

4. 制御機能

- (1) スケジュール発停/設定制御

オン/オフポイントおよび設定ポイントに対して、ポイント毎にスケジュール時刻を設定し、それに従い自動的にオン/オフまたは設定をする。スケジュールは週間スケジュールを基本に、他に臨時日/休日/特定日があり1分単位で設定できる。また、1日のオン/オフ回数は、5回までできる。
 - (2) ソフトインターロック制御

1ポイントまたは複数ポイントの状態変化により、予め指定した他のポイントに対して、オン/オフ等の命令を自動的に送出する。
 - (3) 火災時空調動力停止制御

火災発生警報信号(防災警報)入力により、予め設定した区画の空調機や給/排気ファンを、自動および手動操作にて一斉停止する。
 - (4) 復元処理制御

商用電源復帰後、ポイント毎のスケジュール発停制御の状態に、復帰する。
3. 操作機能
- (1) 個別オン/オフ操作

リスト画面またはグラフィック画面からポイント単位で、オン/オフ操作ができる。
 - (2) 設定操作

リスト画面またはグラフィック画面から、温度・湿度・ダンパ開度等の設定ポイントに対し、設定操作ができる。
 - (3) ポイントロックおよびアンロック操作

管理ポイントに対して、操作禁止や監視中止等の指定操作および解除操作ができる。
 - (4) パラメータ設定変更操作

スケジュール制御・アナログ上下限監視等の機能のパラメータの設定および変更操作ができる。
 - (5) 各種一覧表示操作

未確認警報一覧・運転機器一覧等の各種一覧表示操作ができる。
 - (6) カレンダー変更操作

年/月/日/曜日/時刻の変更操作ができる。

5. 記録およびデータ保存機能

- (1) 警報発生記録

警報発生時に、メッセージプリンタに印字することができる。(警報印字:赤色)
 - (2) 状態変化記録

ポイントの状態変化通知を、メッセージプリンタに印字することができる。(状態変化:黒色)
 - (3) 操作記録

発停あるいは設定操作を行った場合に、メッセージプリンタに印字することができる。(操作印字:青色)
 - (4) 各種一覧記録

各種一覧画面から一覧データの印字ができる。
 - (5) 自己診断記録

中央監視装置・ローカル機器等の異常発生時に、メッセージプリンタに印字できる。(異常発生印字:赤色)
 - (6) トレンドデータ/グラフ記録

トレンド取集指定されたポイントのデータ(リスト)またはグラフを記録することができる。
 - (7) ポイントヒストリ

管理ポイント毎に、アナログ点の場合は30分周期で48データ、デジタル点の場合はイベント毎に10データを、保存することができる。
 - (8) ヒストリカルレコード

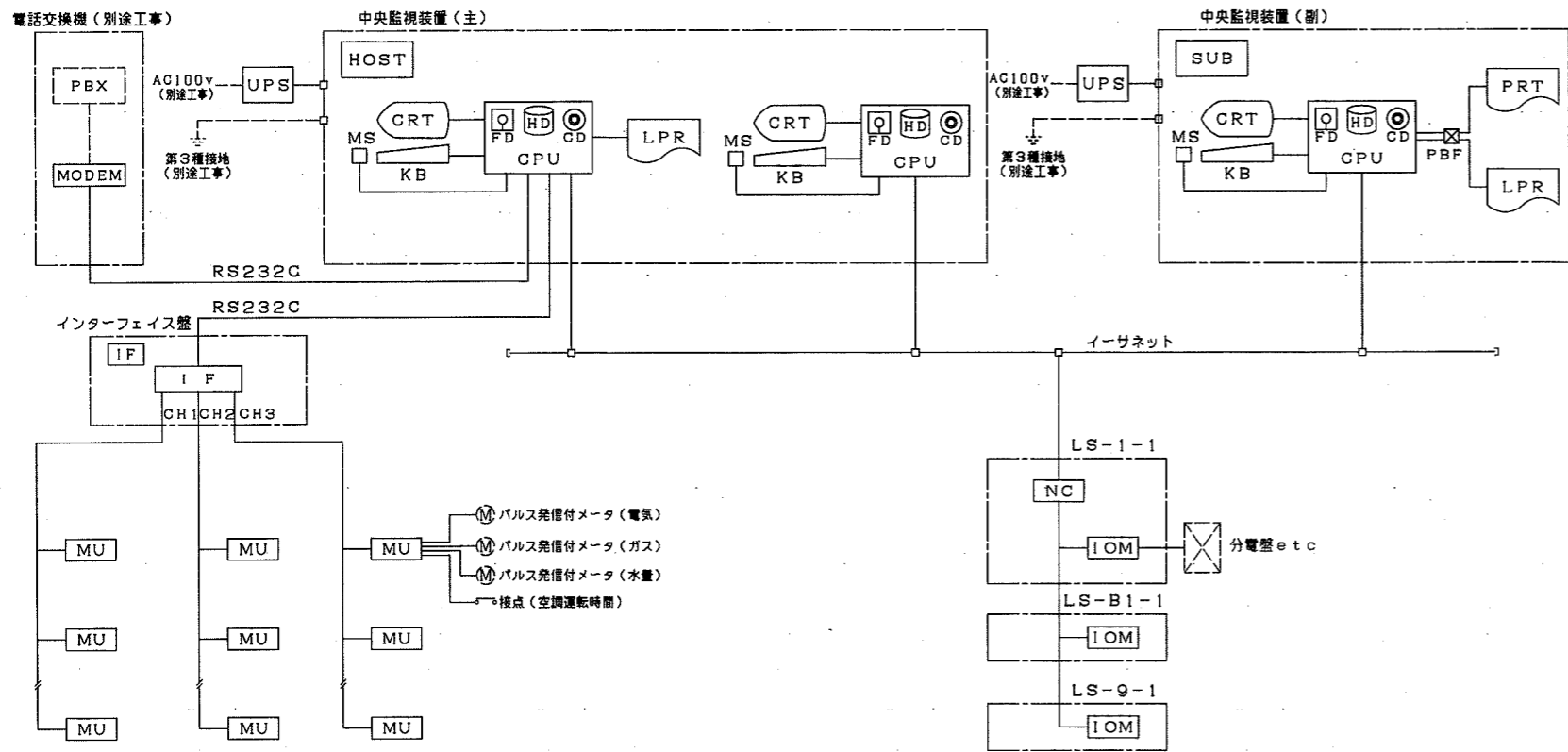
ポイントの警報発生および正常復帰・状態変化・各種操作等のデータを、保存することができる。
6. 料金計算機能
- (1) 電力・ガス・水道等のパルス信号を入力し、インターフェイス装置(検針盤)に各種メータのデータを蓄え、中央監視装置によりそのデータを処理し、請求書発行を行う。
 - (2) 電話交換機(PBX)とモデムを接続し、個別電話を使用量のデータを中央監視にて、料金計算処理し、請求書発行を行う。
(管理事務室内モデム~PBX間は別途工事)

内容	リモート盤	配線	監視対象制御盤等	備考
オン/オフ操作	オン オフ			CX, TXは、DC24V
状態・故障監視				52Xは、 51Xは、 無電圧接点
オン/オフまたは切替操作	オン/オフ			TXは、DC24V
状態監視				52Xは、無電圧接点 ラッチ出力
状態・故障監視				51X、52Xは、無電圧接点
上下限警報監視				上限、下限は、無電圧接点
状態または故障・警報監視				無電圧接点
計測				0~10V 4~20mA
積算				電力・水道・ガス等 [パルス幅 1sec以上]

revisions		

松田平田・丸川設計共同企業体		project no. A3693	つくば外国人研究者用宿舎(仮称)機械設備工事	自動制御フロー図	空調
IMS 松田平田 丸川設計		date 99.09.30	drawn by	checked by	201
				scale No Scale	

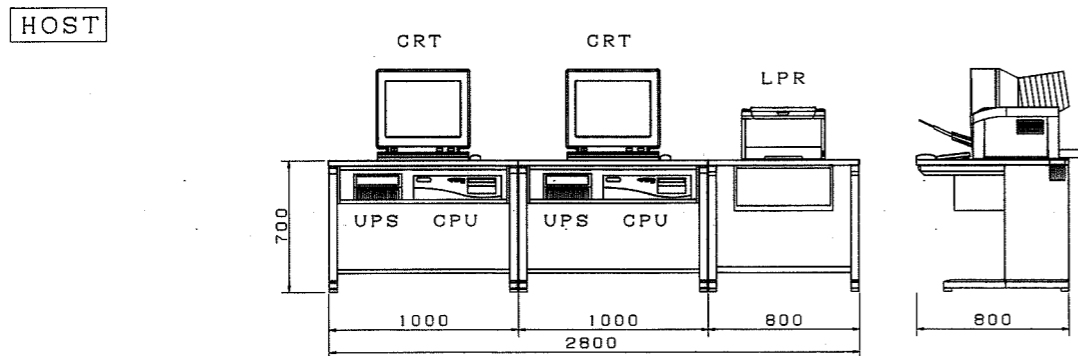
中央監視システム構成図



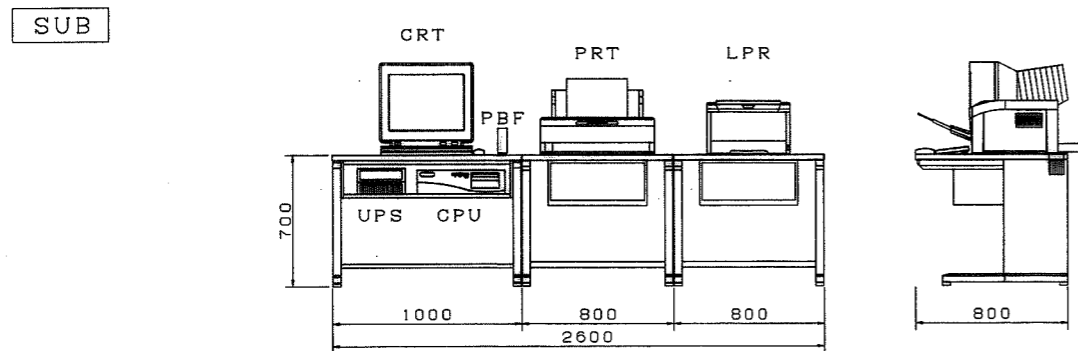
中央監視装置ハード仕様概要

記号	名称	機能概要	ハード仕様概要	備考
中央監視装置	CPU	中央処理装置 システム全体の管理、処理を行う。	主処理装置 主記憶容量 補助記憶装置 OS	マイクロプロセッサ 96MB以上 固定ディスク (HD) 3.2GB以上 フロッピーディスク (FD) 3.5インチ CD-ROM (CD) 16倍速以上 MS-WINDOWS 95
	CRT	カラーディスプレイ システムのオペレーションガイドとして、各種一覧、システムグラフィックの表示を行う。 また、マルチウィンドウ表示による複数のグラフ、データの同時表示機能により、監視、操作が容易に行える。	CRT 表示色 文字種類 表示文字数 表示ドット数	21インチ高解像度型 256色以上 ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字 12000字(キャラクター) 1024×768ドット
	KB / MS	キーボード マウス	キー形式 マウス	フルキーボード 機械式
	LPR	レーザープリンタ 印字操作により、状態変化履歴、警報履歴、操作履歴のメッセージ印字を行う。 又、手動にて請求書発行を行う。	印字方式 印字速度 印字用紙	半導体レーザービーム走査方式 自動給紙 A4: 8枚/分、B4: 5枚/分、A3: 4枚/分 B5/A4/B4/A3版カット紙
	PRT	メッセージプリンタ 警報時、状態変化時、操作時、その他の各種印字要求時にメッセージ形式で印字する。	印字方式 印字速度 印紙用紙 印字色	ノンインパクトシリアルカラーバブルジェット方式 最大694CPS A4/A3/15インチ 3色(赤、青、黒)、画面印字時256色以上
PBF	プリンターバッファ プリンター出力の一時記憶や、出力先の切替を行う。	ポート 記憶容量 転送速度 転送方法	3ポート 4MB 280K CPS DMA (ダイレクトアクセス) 方式	
NC	ネットワーク コントローラ 中央監視装置とIOM間のコミュニケーションを行う。	主処理装置 記憶容量	マイクロプロセッサ 10MB	
IOM	入出力モジュール 管理ポイントの入力又は出力を行う。	入出力仕様	中央監視点入出力インターフェイス参照	
LS	ローカル盤 NC・IOMを取納し、中央監視(管理ポイント)の入出力を行う。	管理ポイント	中央監視点一覧表参照	
UPS	無停電電源装置 (簡易型) 停電時にもシステムの必要部分が機能するように、電源供給を行う。	入力電源 出力電源 出力容量 停電補償時間	1φ 100V 1φ 100V 600VA 10分間	
IF	インターフェイス装置 検針端末ユニット(MU)の管理・処理を行い、中央監視装置(主)との通信を行う。	接続チャンネル数 接続端末ユニット数 表示部 操作部 プリンタ	最大3チャンネル 最大100ユニット/1チャンネル 5桁液晶表示 専用操作キー・テンキー 28文字/行	
MU	検針端末ユニット パルス・接点の入力を行う。	入力仕様 入力数	中央監視装置入出力インターフェイス参照 パルス入力×3、接点入力×1	

中央監視装置(主)参考姿図



中央監視装置(副)参考姿図



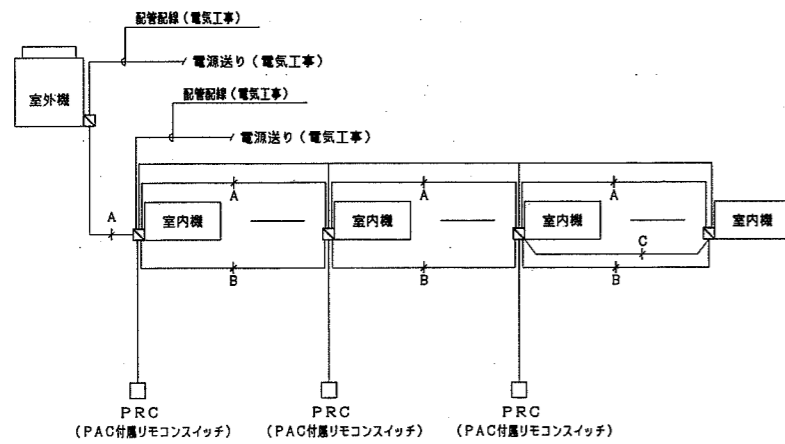
revisions		

松田平田・丸川設計共同企業体

MIS 松田平田 丸川設計

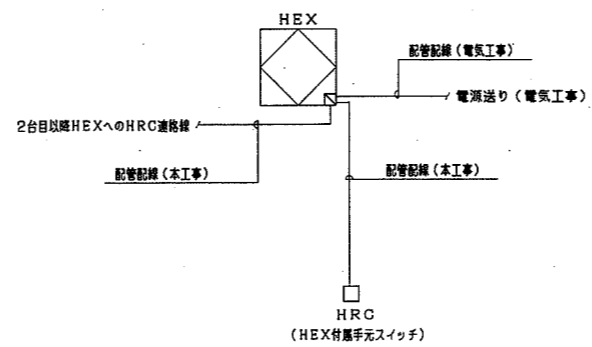
project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)機械設備工事
date 99.09.30
drawn by
checked by

中央監視設備 仕様書
空調
202
No Scale

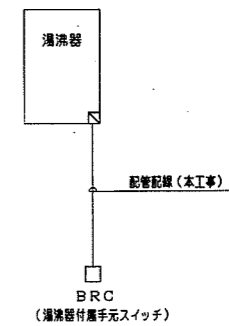


注) A. 室内外連絡線、配管配線は本工事とする。
 B. 室内機間連絡線、配管配線は本工事とする。
 C. リモコン連絡線、配管配線は本工事とする。

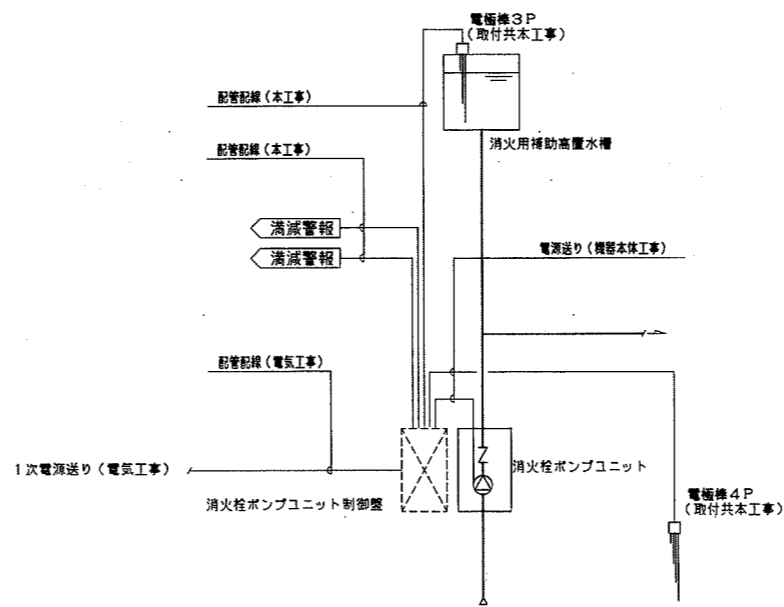
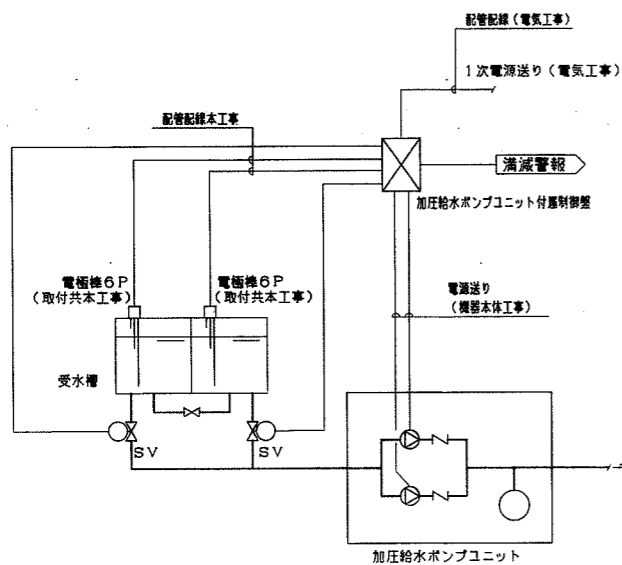
- ・ 室内機-PRC間送り線、配管配線は本工事とする。
- ・ PRC取付は本工事とする。



注)。HRCの本体取付は本工事とする。



注)。BRCの本体取付は本工事とする。



rev1		
rev2		
rev3		
rev4		
rev5		

松田平田・丸川設計共同企業体

MIS 松田平田 丸川設計

project no. A3693 つくば外国人研究者用宿舍(仮称)機械設備工事

date 99.09.30

drawn by

checked by

自動制御フロー図

scale No Scale

空調

203

中央監視点一覧表

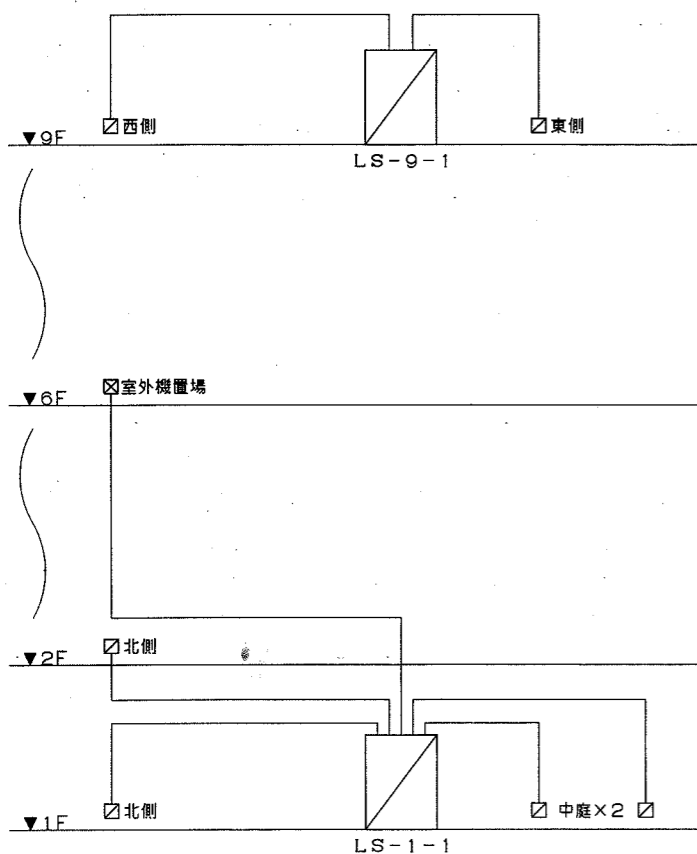
Table with columns: 記号, 名称, 監視対象盤, リモートステーション, 操作・監視, 監視, 計測, 計量, ログ, 備考. It lists various monitoring points such as B1F elevator control, B1F parking lot, and B1F seminar room.

Table with columns: 記号, 名称, 監視対象盤, リモートステーション, 操作・監視, 監視, 計測, 計量, ログ, 備考. It lists monitoring points for the 3rd floor, including lounge areas, seminar rooms, and various mechanical equipment like fans and pumps.

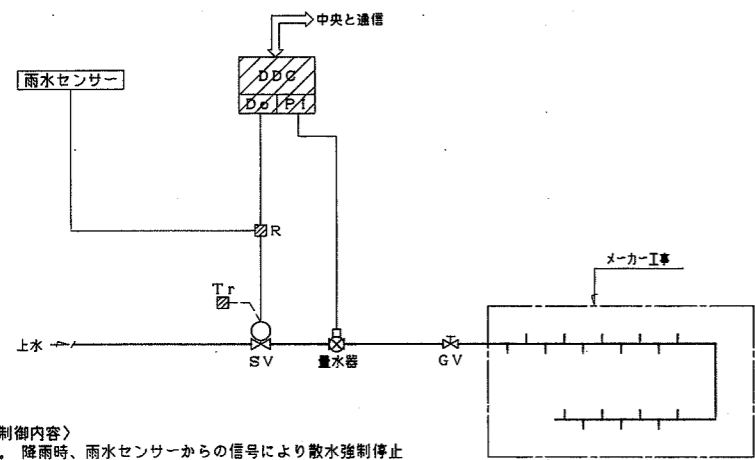
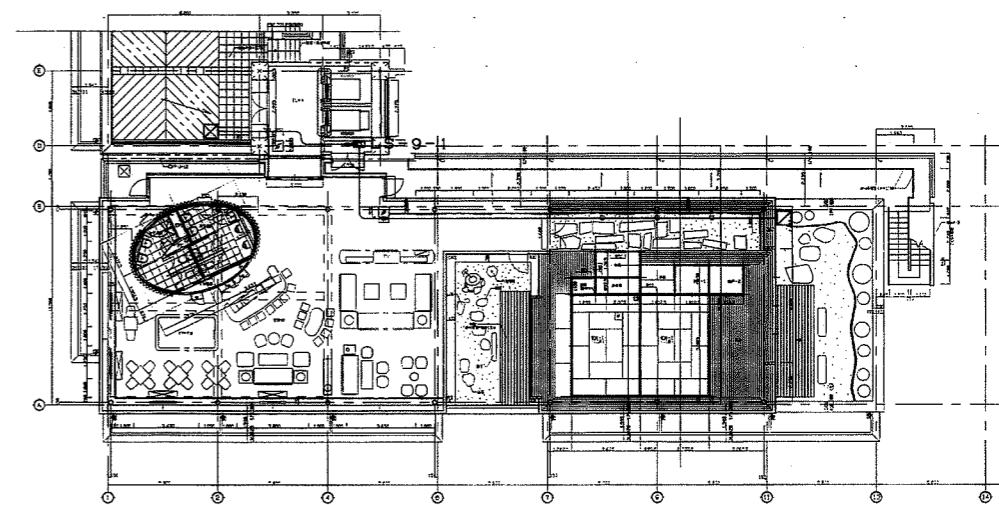
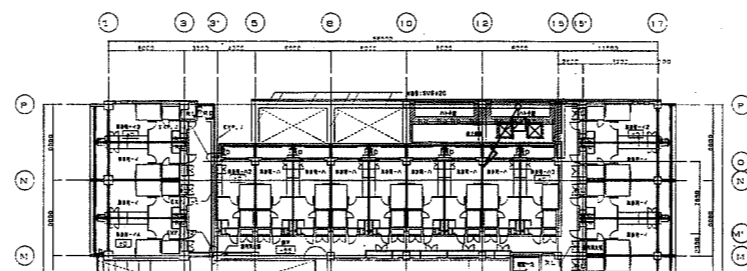
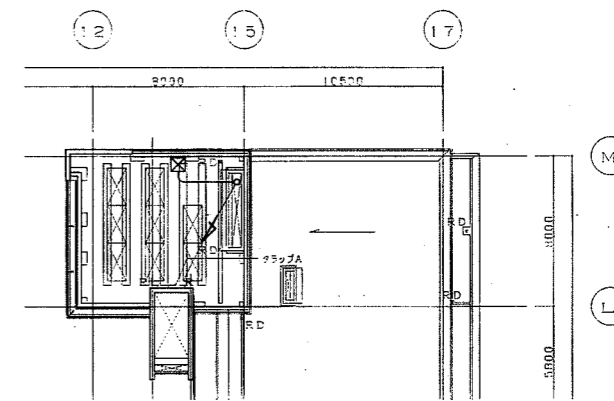
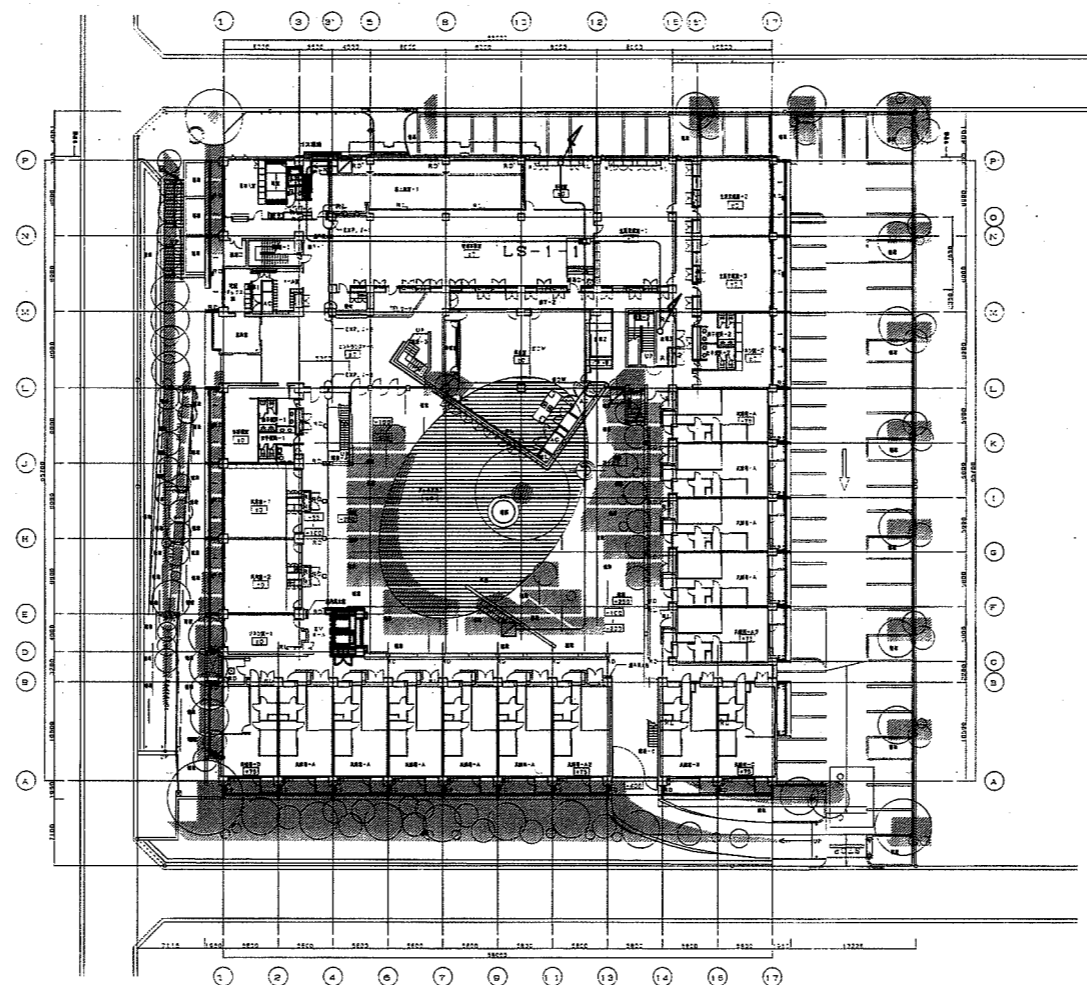
Empty lines for signature or stamp at the bottom left of the page.

Project information block including: 松田平田・丸川設計共同企業体 (Joint Design Firm: Matsuda Hirata & Marukawa Design), PROJECT NO. A3693, 中央監視点一覧表 (Central Monitoring Point List Table), and 空調 (HVAC). It also contains a scale indicator 'No Scale' and the page number '204'.

散水設備系統図



☒: 量水メータ, 電磁弁
☒: 雨水センサ



〈制御内容〉
1. 降雨時、雨水センサーからの信号により散水強制停止

〈中央と通信〉
1. 量水器による流量計測
2. スケジュール機能による電磁弁ON/OFF
3. 過大流量時警報

散水設備フロー (6sets)

revision			

松田平田・丸川設計共同企業体

MHS 松田平田 丸川設計

PROJECT NO. A3693 つくば外国人研究者用宿舎(仮称)機械設備工事

DATE 01.03.11

drawn by

checked by

散水設備自動制御平面図

scale No Scale

空調

211

施設概要（竹園ハウス）

※図面は竣工当時のものであり、現況と異なる場合は現況を優先いたします。

I. 設計資料概要		II. 工事区分		III. 建築工事特記仕様書	
<p>建物名称: 新技術実証棟(仮称) 用途: 実証棟</p> <p>所在地: 東京都中央区新富町 建築主: 新技術実証棟</p> <p>用途地積: 1,500㎡ 防火地域: 防火地域 防火種別: 防火地域</p> <p>建坪面積: 2,598.70㎡ 容積率: 173.25%</p> <p>延床面積: 2,598.70㎡ 容積率: 173.25%</p> <p>階数: 7階</p> <p>最高高さ: 29.7M</p> <p>基礎下地: 2層コンクリート</p> <p>主体構造: 鉄筋コンクリート造</p> <p>建築面積: 467.0㎡</p>	<p>① 設備機器・配管配線の床、壁及び天井の改修・製作・設置</p> <p>② 建物内電気引込用マンホール並びにタラップの設置</p> <p>③ ダクト付置の換気ファン類の設置</p> <p>④ 一般換気扇の設置</p> <p>⑤ 照明器具及びスピーカーなどの取付けのための天井ボード類下地切込み及び枠組補強</p> <p>⑥ 鉄筋コンクリート造などの躯体貫通又は半貫通部分(設置機器・配管配線用)の補強</p> <p>⑦ 同上貫通又は半貫通部分のスリーブ、箱などの製作・設置</p> <p>⑧ 鉄骨部分の貫通スリーブの製作・設置及び補強</p> <p>⑨ 大規模な機器類(キュービクルなど)の基礎の製作・設置</p> <p>⑩ 小規模な機器類の基礎、架台の製作・設置</p> <p>⑪ 防火(煙)シャッターの製作・設置及び自動閉鎖装置の製作取付け</p> <p>⑫ 同上自動閉鎖装置、感知器の製作・設置及び配管配線工事</p> <p>⑬ 防火戸の扉、枠製作・設置(自動閉鎖装置用切込み補強共)</p> <p>⑭ 同上自動閉鎖装置、連動制御器、感知器の製作・設置及び配管配線工事</p> <p>⑮ 可動式防煙壁の製作設置及び自動降下装置制御装置の製作取付け</p> <p>⑯ 同上連動制御器、感知器の製作設置及び配管配線工事</p> <p>⑰ ダクト内の防火ダンパー、排煙ダンパーの製作設置及び自動閉鎖装置の製作取付け</p> <p>⑱ 同上連動制御器、感知器の製作設置及び配管配線工事</p> <p>⑲ 機器類付属制御盤とその二次側配管配線工事</p> <p>⑳ 自動制御などの現場要への電源接続</p> <p>㉑ ガス漏れ火災警報設備</p> <p>㉒ 火警、火報本体及びコントロールと電源盤以降の配管配線工事</p> <p>㉓ 電動ブラインド、電動カーテン、電動シャッター、自動ドアなどの制御配管配線工事</p> <p>㉔ 機械設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事</p> <p>㉕ 生産設備用機器、付属制御盤などの取付け及び二次側配管配線工事</p> <p>㉖ 光天井などの照明器具用箱体及び下面仕上材料(ルーバー等)</p> <p>㉗ 屋外キュービクルなどのネットフェンス</p> <p>㉘ 電気設備用ハンドホール、マンホール、外灯基礎</p> <p>㉙ 自家発電設備用オイルタンク及びサービスタンク迄の油配管工事</p> <p>㉚ 自家発電設備用給排水配管工事</p> <p>㉛ エレベーター、エスカレーターの一二次側電源供給工事</p> <p>㉜ エレベーター昇降路内の点検用コンセント</p> <p>㉝ エレベーターシャフト外の遠方操作又は警報監視、インターホン用配管配線工事</p> <p>㉞ エレベーター遠方操作、警報監視及びインターホンの取付け及び調整(監視盤DC電源共)</p> <p>㉟ エレベーター機械室内非常電源と商用電源切替閉鎖装置</p> <p>㊱ エスカレーター底部取付のスピーカー、感知器取付</p> <p>㊲ 立体駐車場非常用電源</p> <p>㊳ 湧水機、蓄熱槽などの躯体断熱層内外防水(仕上げ)マンホール並びにタラップの設置</p> <p>㊴ 排水槽などの躯体断熱層内外防水(仕上げ)マンホール並びにタラップの設置</p> <p>㊵ 浄化槽設備の躯体及び内外防水(仕上げ)マンホール並びにタラップの設置</p> <p>㊶ 排水槽、浄化槽などの内外装置の設置</p> <p>㊷ 建物内の排水溝、配管ピット(内外防水並びに仕上げ共)及び付属装置の設置</p> <p>㊸ 煙突工事(内部フィン、タテ、掃除口扉排水抜き管の設置)</p> <p>㊹ 同上煙突の製作・設置</p> <p>㊺ 建物外壁に取付給排気用ガラの製作・設置</p> <p>㊻ 同上外壁ガラのウエザーカバーの製作・設置</p> <p>㊼ 建物内壁などに取付吹出口、吸込口のガラリなどの製作・設置</p> <p>㊽ 同上化粧用特殊ガラリの製作・設置</p> <p>㊾ 各室建具ガラリの製作・設置</p> <p>㊿ 吹出口、吸込口などの取付けのための孔あけ及び枠組補強(インサート共)</p> <p>51. 二重スラブ内の連通管、通気管及びマンホールの設置</p> <p>52. 地下室などの二重壁内の水抜き管の設置</p> <p>53. ルーフドレン類及びたてどいの設置</p> <p>54. 同上たてどいのGL以下部分の配管(曲り管共)第一掛まで</p> <p>55. 湧り付け流し台ガス台及び戸棚の設置</p> <p>56. 別途流し類の配管接続及び排水金物</p> <p>57. 湧り付け浴槽の設置</p> <p>58. 既設浴槽の設置(バランス釜使用の場合はそれを含む)</p> <p>59. ユニットバス類の設置</p> <p>60. ユニットバス類の配管接続</p> <p>61. 浴室、脱衣室、洗面所、便所などに取付けの防湿機</p> <p>62. 機械排煙口の製作設置</p> <p>63. 長を底盤設置・断熱ピット</p> <p>64. 内へ電源供給</p>	<p>① 共通仕様書</p> <p>② 項目・特記事項の適用</p> <p>③ 設計図書の特記事項</p>	<p>1. 建築材料</p> <p>2. 特別な材料の工法</p> <p>3. 発生材の処理</p> <p>4. 着工中一時及び竣工時の提出書類</p> <p>5. 工事写真</p> <p>6. 工事完成図</p> <p>7. 工事区分など</p> <p>8. 起工式上棟式に要する費用</p> <p>9. 契約</p> <p>10. 建設工事保険</p> <p>11. 設計GL</p> <p>12. 電気担当技術者</p> <p>13. 技能士</p> <p>14. 立会い検査及び試験</p> <p>15. 品質管理</p> <p>16. 作品の対外発表</p>	<p>2. 仮設工事</p> <p>3. 土工</p> <p>4. 地盤工事</p> <p>5. 鉄筋工事</p> <p>6. 鉄骨工事</p> <p>7. コンクリート</p> <p>8. フロント・エレベーター・エレベーター・エレベーター</p>	<p>危険防止及び保安上支障のないものとし、工事現場周囲に体統よく設ける。 ○鉄板(※ベント仕上・塗装なし 高さ※3m・m程度)→※※※※※ ○有刺鉄線(高さ15m程度)</p> <p>規模・10m・20m・35m・65m・100m・m 設けない (2.3.3) (2.3.1表)</p> <p>備品など(2.3.4)のほか、ファクシミリを含む通信費、複写費、工事用連絡紙。</p> <p>構内既存の施設・利用できる(※有償・無償)○利用できない</p> <p>構内既存の施設・利用できる(※有償・無償)○利用できない</p> <p>電気 ○本工事に含む ○含まない 水道 ○本工事に含む ○含まない ガス ○本工事に含む ○含まない 下水 ○本工事に含む ○含まない</p> <p>本設受電後 基本料金・本工事に含む ○含まない 使用料金 ○本工事に含む ○含まない 電器取付後 基本料金・本工事に含む ○含まない 使用料金 ○本工事に含む ○含まない ガス 基本料金・本工事に含む ○含まない 使用料金 ○本工事に含む ○含まない 下水 使用料金 ○本工事に含む ○含まない</p> <p>※現場説明事項によるほか、工事に撤去移設を要する軽微なものは本工事の範囲とする。</p> <p>※特記設計仕様書は係員の指示による。</p> <p>建物位置と敷地との相対関係、搬出方法及び敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画等を作成し係員の承諾を受ける。(建設省計画局建設業課指導要領「市街地土木工事公衆災害防止対策」を遵守すること。)</p> <p>種別・A種(山砂) ※B種(根切り土の良質土)・造成残土(3.2.3) ※ 構外に搬出し適切に処理する(残土捨場の許可書を提出すること)(3.2.5) ○構内指示の場所に敷ならす・構内指示の場所に埋填</p> <p>建築工事特記仕様書(6)参照</p> <p>同上</p> <p>同上(耐火被覆を含む)</p> <p>種別 施工箇所 (6.12.2) ※ A種 B種以外の部分 (6.12.1表) ※ B種 一般層根防水層の地下</p> <p>せき板の種類 材種・適用箇所 (6.13.1) ○木製 ○合板 一般用せき板 JAS規格品 ※JAS規格による合板 ※12mm厚 ジョイント打放し用せき板 A種 ※B種・C種 (6.13.2表) 合板以外 材種・適用箇所 金属製 材種・適用箇所</p> <p>型枠用材 ※ボルト式 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げの程度 (6.13.3) (6.13.2表) A種 ※B種・C種</p> <p>ここに記載以外の特記仕様書(6)による。</p> <p>補強コンクリートブロック造 ※コンクリートブロック製及び石膏 (8.1.1) (8.2.1) 種類 ※C種普通ブロック ※ (8.2.1表) 厚さ ※150mm ・150mm・120mm・100mm ※の厚さ ※の高さ2m以下 ※120 ※の高さ2m以上 ※150</p> <p>コンクリート 充てん用及びまぐさ用 ※180kg/cf 設計基準強度 上記以外 ※210kg/cf</p> <p>鉄筋 (5.1.1表) ※B種SD40 壁 ※ (8.2.2表) 配筋 ※ (8.2.2表) 8.2.3表</p>

2. レンガ (8.3.2)
3. プレキャストコンクリート (8.4.3)
4. A.L.C.パネル (8.5.2)
5. GRCパネル
6. P.C.カーテンウォール (8.6.4)

9 ① アスファルト防水 (9.1.2)
2. 合成高分子膜防水 (9.2.2)
③ 塗膜防水 (9.3.1)
4. モルタル防水 (9.3.2)
⑤ 防水施工の漏水試験 (9.3.2)
⑥ 責任施工の保証 (9.3.2)

⑦ シーリング施工箇所 (9.4.2)
(9.4.1.表)

10 1. 花こう岩類の石張り (10.2.2)
2. 大理石張り (10.3.2)
3. テラゾーブロック張り (10.4.2)
④ 敷石及び階段石 (10.5.2)
5. テラゾータイル張り (10.6.1)
6. 取付け工法 (10.6.1)

11 ① 陶磁器質タイル張り (11.1.1)
2. 陶磁器質タイル型枠先付け (11.2.2)

3. 特殊タイル
4. 検査 (11.1.4)
① 木材 (12.1.2)

② 表面仕上げ (12.1.4)
3. 化粧助造作用集材 (12.1.6)
4. 造作用集材 (12.1.7)
5. 防ぎ処理 (12.1.13)
⑥ 防虫処理 (12.1.14)
⑦ 床板張り (12.6.1)

13 ① 長尺亜鉛めっき鋼板 (13.1.1)
② 折板 (外壁を含む) (13.2.2)
③ と い (13.2.3)

① 表面処理 (14.2.1)
② 軽量鉄骨天井下地 (14.4.1)
③ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.2)
④ 手摺り (14.6.1)
⑤ クラップ (14.6.2)
6. 金属成形板張り (14.7.1)
⑦ アルミニウム製笠木 (14.8.2)

ステンレスの表面仕上げ仕様
① モルタル塗り (15.3.1)
2. A.L.C.パネル用特殊ラスター塗り (15.5.1)
③ 仕上塗材仕上げ (15.6.1)

規格名称及び規格番号 種類(呼び名) 仕上げ 工法 施工箇所
JIS A 6909の規格品
JIS A 6915の規格品
JIS A 6910の規格品

15	4. 吹付け材吹付け	複雑仕上り塗材の表面仕上り 防火材料 ※屋内の壁及び天井の仕上り塗材仕上りは基材同様の認定表示のあるものとする。 ALCパネルの内装目地の形状 ※V形
	⑤ 特殊仕上り	軽量骨材吹付け吹付け材の種類 ※JIS A 6917 (軽量骨材仕上り塗材)の規格品 仕上げ厚さ ※5mm ロックウール吹付け 吹付け厚さ
16	① アルミウム製建具	外部に面する建具の性能
	② 網製建具	鉄板の厚さ ※(16.3.1表)
17	③ 網製軽量建具	召合せ、縦小口包板 ※網板・ステンレス網板・アルミ合金
	④ ステンレス製建具	曲げ加工 ※普通曲げ
18	5. 自動扉	開閉機構 駆動力
	6. 強化ガラスドア	指詰め防止スリット
19	① 重量シャッター	防火、防煙以外のシャッターケース
	8. 軽量シャッター	開閉機構 ※手動式
20	① 木製建具	建具材の種類
	② ガラス	フロート板ガラス
21	13. オーバーヘッドドア	シャッター材料
	14. 特殊建具	扉の開閉方式
22	15. 金属製シャッター	扉の開閉位置
	⑥ 錠鎖	取付け工法は、概説用取付マニュアル

17	① 防火材料	屋内の壁及び天井の塗装仕上りは、基材同様の認定表示のあるものとする。(17.1.1)
18	② 素地ごしらえ	木部 鉄面 モルタル及びプラスチック面 コンクリート、ALCパネル面 石こうボード及びその他ボード面
	③ さび止め塗料塗布	鉄面さび止め塗料の種類
19	④ 合成樹脂溶剤系(SOP)	塗料種類 屋外 ※2種 鉄面合成樹脂溶剤系塗料塗布
	⑤ 合成樹脂エポキシ樹脂塗布(EPT)	工法 コンクリート、モルタル、プラスチック、石膏ボードなど
20	⑦ 塩化ビニル樹脂系樹脂塗布(VE)	工法
	8. 799樹脂系樹脂塗布(AE)	工法
21	⑨ 799樹脂系樹脂塗布(IE)	工法
	⑩ クリアラッカー塗布(LC)	工法
22	11. 799樹脂系樹脂塗布(UC)	工法
	12. マスチック塗料塗布(MR)	工法
23	① 防火材料	※壁及び天井の仕上り材は防火性能について認定表示のあるものとする。
	② ビニル床シート張り	材料
24	③ ビニル床シート及び床材張り	ビニル床シート種類
	④ 合成樹脂塗布床	種類
25	⑤ 石こうボード及び石膏ボード張り	材料名

6. フローリング張り	合板類の張付け工法
① 壁紙張り	防火材料の品質
	防火性能種別
② 畳敷き	工法
	種類
③ ジョウタン敷き	ジョウタンの品質検査
	種類
④ 断熱・防露材料及びその他の材料張り	種類
	種類

19	① 路床	シ断層
	② 路盤	材料
20	③ アスファルト舗装	加熱アスファルト混合物の種類
	④ コンクリート舗装	材料
21	⑤ 特殊舗装	材料
	⑥ 街き、緑石及び柵溝	緑石の形状
22	⑦ マーキング	材料
	⑧ 歩道巾	材料
23	① 排水工事	材料
	② 植樹	植込み用土
24	③ 芝張り	芝
	④ 客土	客土

外部仕上表			内部仕上材料表			内部仕上表												天井		天井高		備考		
位置	部位	仕上	仕上	記号	下地材料・厚さ	種別・形状・備考	床												天井		天井高		備考	
屋根	PH階	C・T + アスファルト舗装 S + 折板 H=160 アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=230 折板裏: アルミラジアル	東	A	RC・T		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2				
				B	RC + C・T																			
				C	RC + M																			
				D	RC + M・T																			
7階	C・T 2層構造 E 折板 H=160 アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=225 折板裏: アルミラジアル	東	E	RC + 鋼筋Mφ10 + PPφ25 + PW(2)φ12 + SMφ10																				
			F	RC + AWP + Cφ50+80-T																				
			G	W + PW(2)φ15																				
			H	RC + 鋼筋Mφ10 + PPφ25 + PW(2)φ12																				
1F	一般外壁 PH外壁 柱 梁 天井 床 壁 窓	C + M + タイル張(92×192) 無蓋張り 見切板: アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=230 折板裏: アルミラジアル 柱: C打板φ100埋込み + 補修 + フッ素樹脂塗料(メタリック) 梁: C打板φ100埋込み + 補修 + フッ素樹脂塗料(メタリック) 天井: アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=225 折板裏: アルミラジアル 床: C + M + タイル張(92×192) 無蓋張り 壁: アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=230 折板裏: アルミラジアル 窓: アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=230 折板裏: アルミラジアル	壁・雨木・柱	A	RC打板φ100埋込み + 補修																			
				B	RC打板φ100埋込み + Mウツ壁																			
				C	RC + M																			
				D	RC + 折板φ15 + GB(2)φ12 (GL±0.5)																			
2F	一般外壁 PH外壁 柱 梁 天井 床 壁 窓	C + M + タイル張(92×192) 無蓋張り 見切板: アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=230 折板裏: アルミラジアル 柱: C打板φ100埋込み + 補修 + フッ素樹脂塗料(メタリック) 梁: C打板φ100埋込み + 補修 + フッ素樹脂塗料(メタリック) 天井: アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=225 折板裏: アルミラジアル 床: C + M + タイル張(92×192) 無蓋張り 壁: アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=230 折板裏: アルミラジアル 窓: アルミバリア付鋼板φ0.8 ラジアル加工 + マニッシュトφ5 完成: アルミ製製品 W=230 折板裏: アルミラジアル	天井・梁	A	RC打板φ100埋込み + 補修																			
				B	RC打板φ100埋込み + Mウツ壁																			
				C	LGs + GB(2)φ9.0																			
				D	LGs + GB(1)φ9.0 + AB(3)φ10																			

不燃材料・準不燃材料通則認定番号		特記事項 (他に特記なき限り下記事項による)	
第1001号	石粉スレート	第2014号	石膏ボード
第1002号	化粧石膏ボード	第2015号	石膏ボード
第1003号	石膏ボード 厚12mm	第2016号	石膏ボード
第1007号	化粧石膏ボード	第2007号	石膏防水ボード
第1021号	ロックウール吸音板(岩綿吸音板)	第2011号	普通不燃セメント板
第1022号	ロックウール吸音板(岩綿吸音板)	第2012号	環境不燃セメント板
第1023号	吹付ロックウール	第2021号	強化ビニール樹脂金網層板
第1031号	グラスウール吸音板 1~4号	第2031号	木セメント板
第1032号	グラスウール化粧吸音板	第2071号	化粧石膏ボード
第1041号	彩色塗料板		
第1051号	強化ビニール樹脂金網層板(0.2mm)		
第1001号	(屋根) 同上		
第1141号	カラーアルミ		
第1061号	石粉塗料カルシウム板		

不燃材料・準不燃材料通則認定番号		特記事項 (他に特記なき限り下記事項による)	
第0005号	石膏吸音板		

一般材料		塗料		内装材料		
RC	鉄筋コンクリート	AL	アルミニウム	OP	油性顔料ペイント JIS K5511.2.5 UC	
SRC	鉄骨鉄筋コンクリート	SUS	ステンレススチール	SOP	合成樹脂接着剤	
C	コンクリート	GIS	珪酸塩繊維板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント 5663	
S	鉄骨	SGP	配管用炭素鋼管(白管)	EPT	合成樹脂エマルジョン接着剤 5668	
CB	コンクリートブロック	MP	多形繊維塗料	5667		
A.L.C	オートクレーブ軽量気泡コンクリート	MR	マニッシュト塗料	TXE	ターミネーション樹脂エナメル	
PC	プレキャストコンクリート	T	漆	BP	グランドコート	
PS	プレストレストコンクリート	B	珪酸塩繊維板	CP(1)	カーペット(タフタカーペット)	
LGs	軽量鉄骨	AE	アルミ樹脂エナメル	5582	CP(2)	カーペット(タフタカーペット)
W	木造	PP	ポリプロピレン	5654	CP(3)	カーペット(タフタカーペット)
LC	軽量コンクリート	SM	珪酸塩繊維板	5572	CL(1)	クロス(不燃ビニール)
S	スチール	TB(1)	タフタブロック	5531	CL(2)	クロス(不燃ビニール)
		TB(2)	珪石		CL(3)	クロス(不燃無機質)
					OS	油性スチール
					W	ワックス



株式会社 特設計

2988

新技術集団(株)外国人研究者治務施設建設工事

外部・内部 仕上表(1)

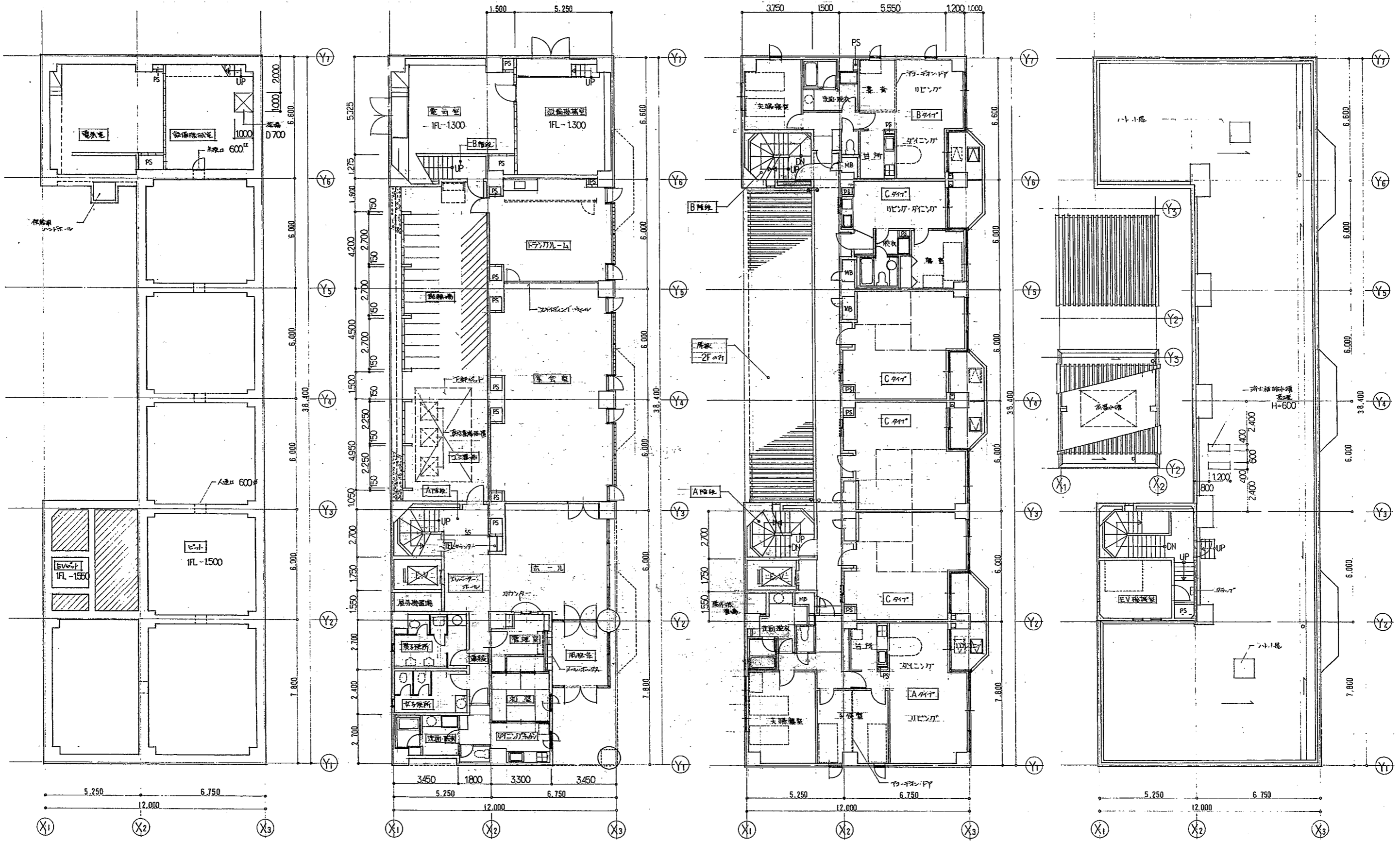
No. / 年月日

区分	内部仕上表	床										天井										天井高	備考	内部仕上表	天井高	備考						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											
2F 住戸部 (A/Cタイプ 共通)	玄関	①																							2.400	下見箱						
	廊下	②																								2.400	(A27722 2350)					
	リビング	②																								2.700	(65系) (7F 2025 下地)					
	台所	②																								2.400	システムキッチン					
	子供部屋	②																								2.700	(7F 2025 下地)					
	寝室	②																								2.700	(7F 2025 下地)					
	原所	②																								2.300	襦					
	洗面・脱衣室	②																								2.300	洗面台・洗剤機付					
	浴室																															
PH F	エレベーター機械室																															
	高層水廻り場																															

材 種 号	一般材料			塗料			内装材料		
	記号	名称	規格	記号	名称	規格	記号	名称	規格
RC	鉄筋コンクリート	AL	アルミニウム	OP	油性珪酸ペイント	JIS K5511.2.5UC	VAT	半硬質ビニルアスベスト床タイル	
SRC	鉄骨鉄筋コンクリート	SUS	ステンレススチール	SOP	合成珪酸珪酸ペイント	5516	VFS(1)	長尺ビニル床シート	
C	コンクリート	OIS	亜鉛めっき鋼板	EP	合成珪酸エマルジョンペイント	5663	VFS(2)	長尺エンボスビニル床シート	
S	鉄骨	SGP	配管用炭素鋼管(白管)	EPT	合成珪酸エマルジョン珪酸塗料	5668	VFS(3)	長尺エンボスビニル床シート	
CB	コンクリートブロック			MP	多形珪酸塗料	5667	TXE	タールエポキシ樹脂エナメル	
ALC	オートクレーブ軽量気泡コンクリート	M	モルタル		マスチック塗料		BP	グラフアイトペイント	
PC	プレキャストコンクリート	T	金ゴテ	VE	塩化ビニル樹脂エナメル	5582	CP(1)	カーペット (アフロードカーペット)	
PS	プレストレストコンクリート	B	刷毛引	AE	アクリル樹脂エナメル	5654	CP(2)	カーペット	
LGS	軽量鉄骨			FE	フタル酸樹脂エナメル	5572	CP(3)	カーペット	
W	木造	LC	クリアラック	LE	ラッカーエナメル	5531	CL(1)	クロス(不燃ビニルクロス)	
LC	軽量コンクリート	TB(1)	テラゾブロック	OS	油性スチン		CL(2)	クロス(不燃702)	
ST	スチール	TB(2)	珪石				CL(3)	クロス(不燃珪酸クロス)	

竣工

株式会社 梓設計	2988	新技術事業団(阪南)外国人研究費助成施設建設工事
大阪府大阪市東淀川区中野1-1-1		外部・内部 仕上表 (2)
No. A-009	縮尺	年月日



ピット階平面図

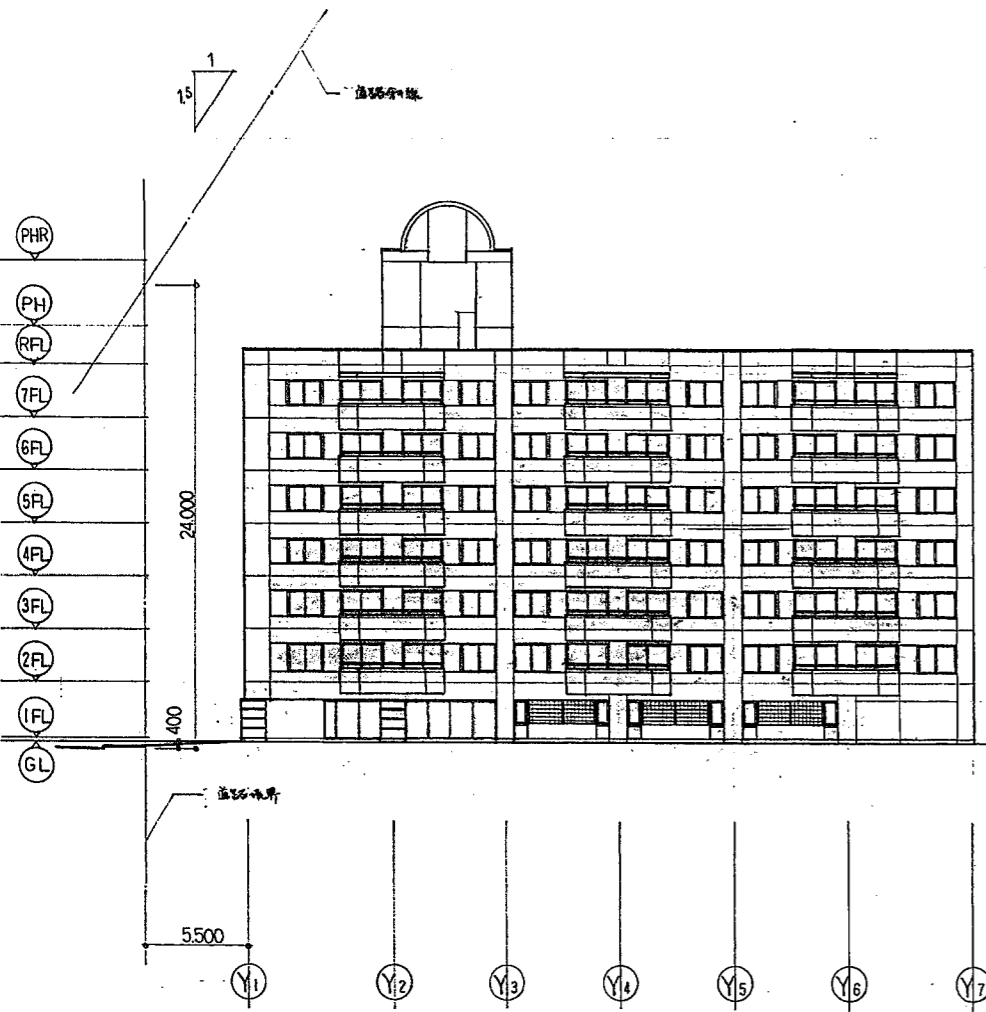
1階平面図

2~7階平面図

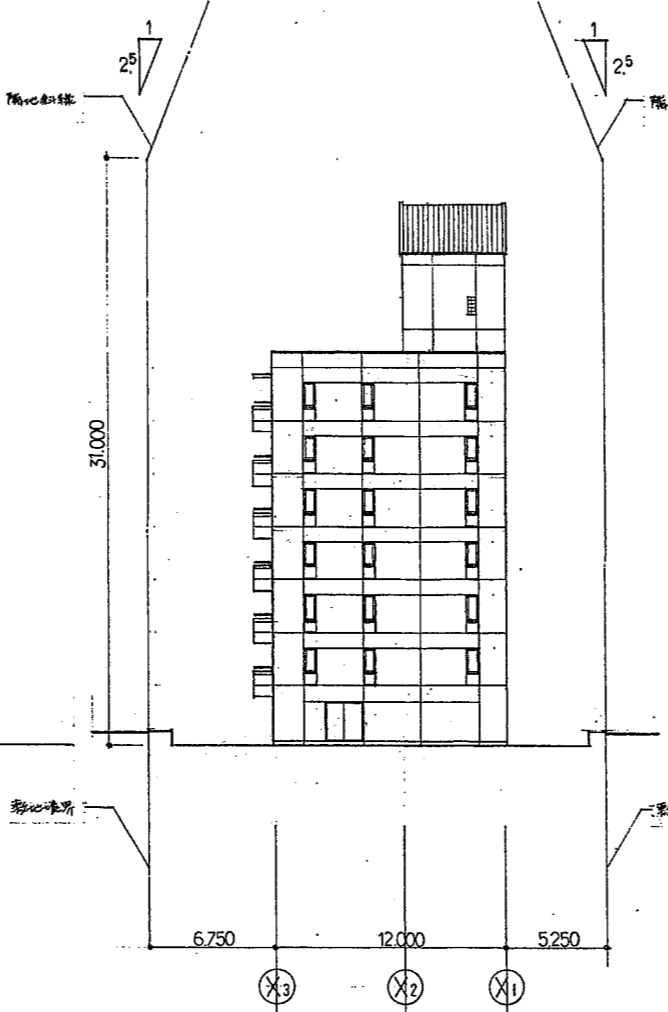
R-PH階平面図

竣工図

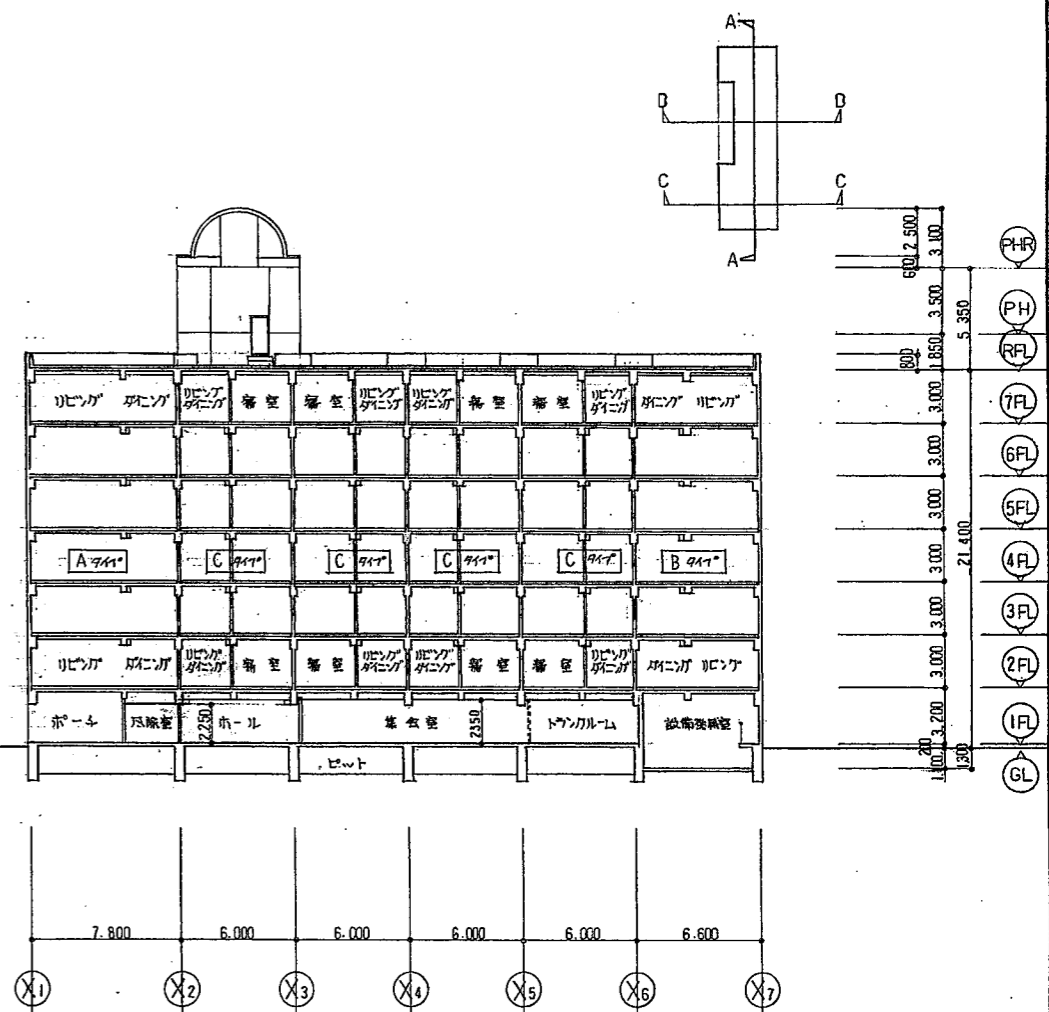
株式会社 梓設計 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL: 03-5561-1111		2988 新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事 ピット1~7-PH階平面図 2-C10 縮尺 1/100 No. 年月日
--	--	---



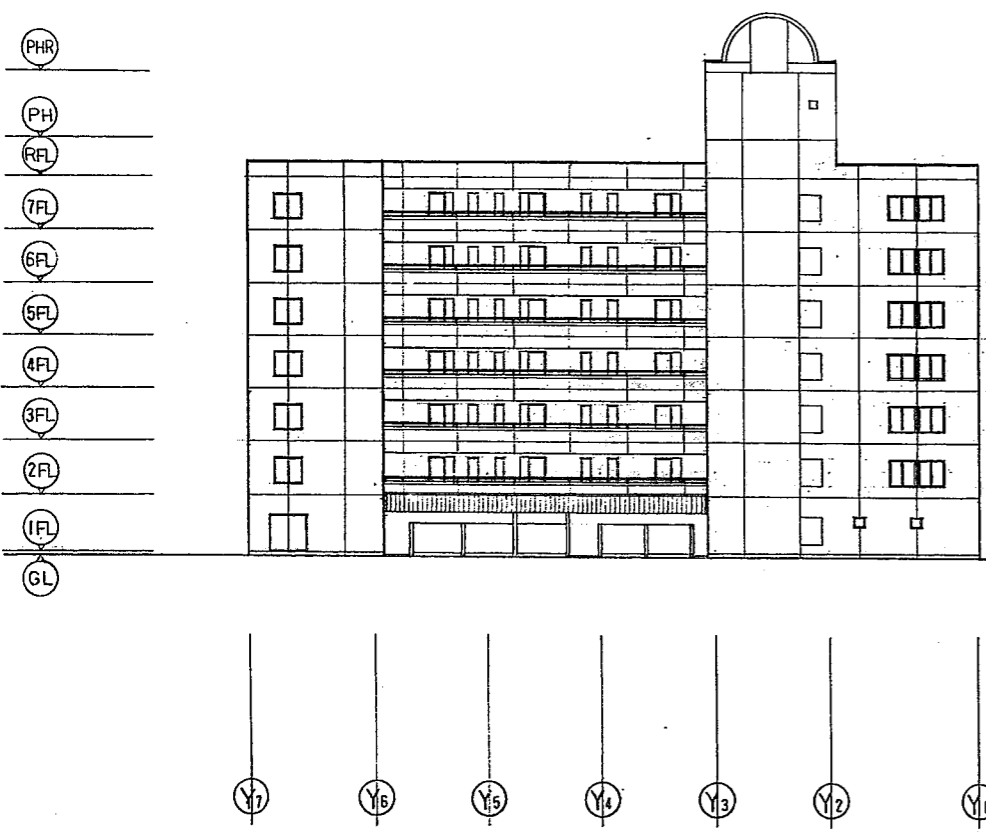
南立面图



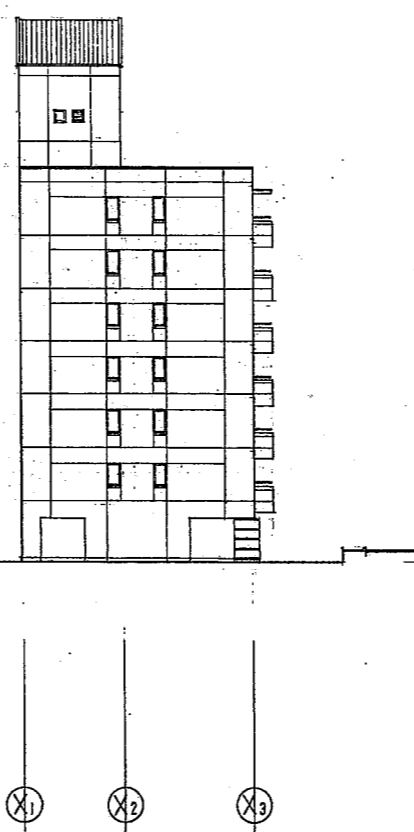
東立面图



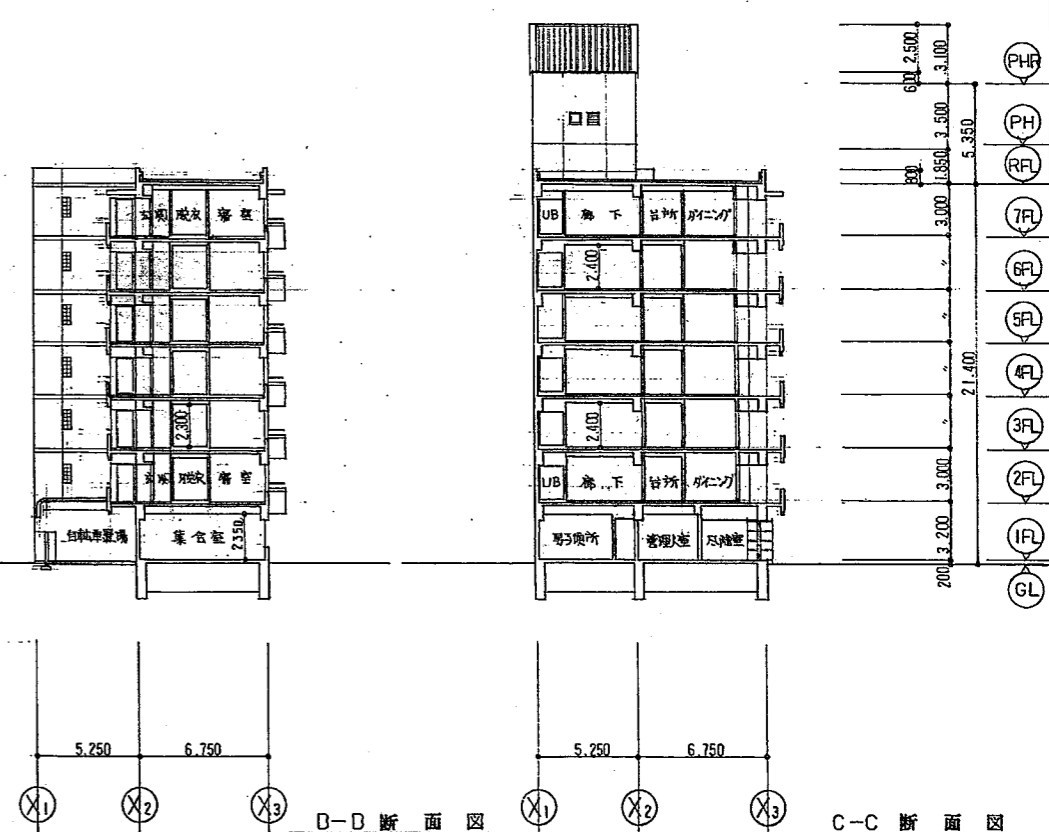
A-A 断面图



北立面图



西立面图

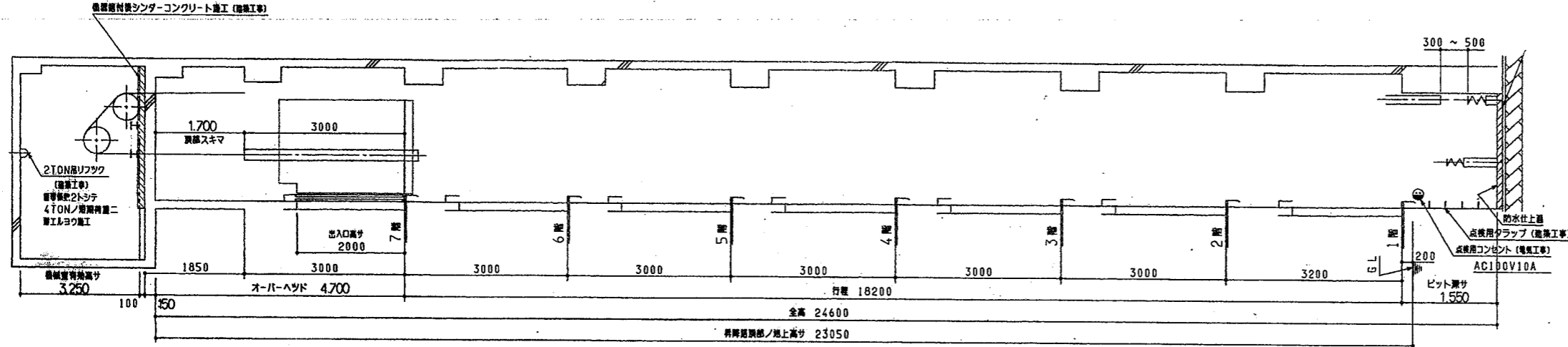


D-D 断面图

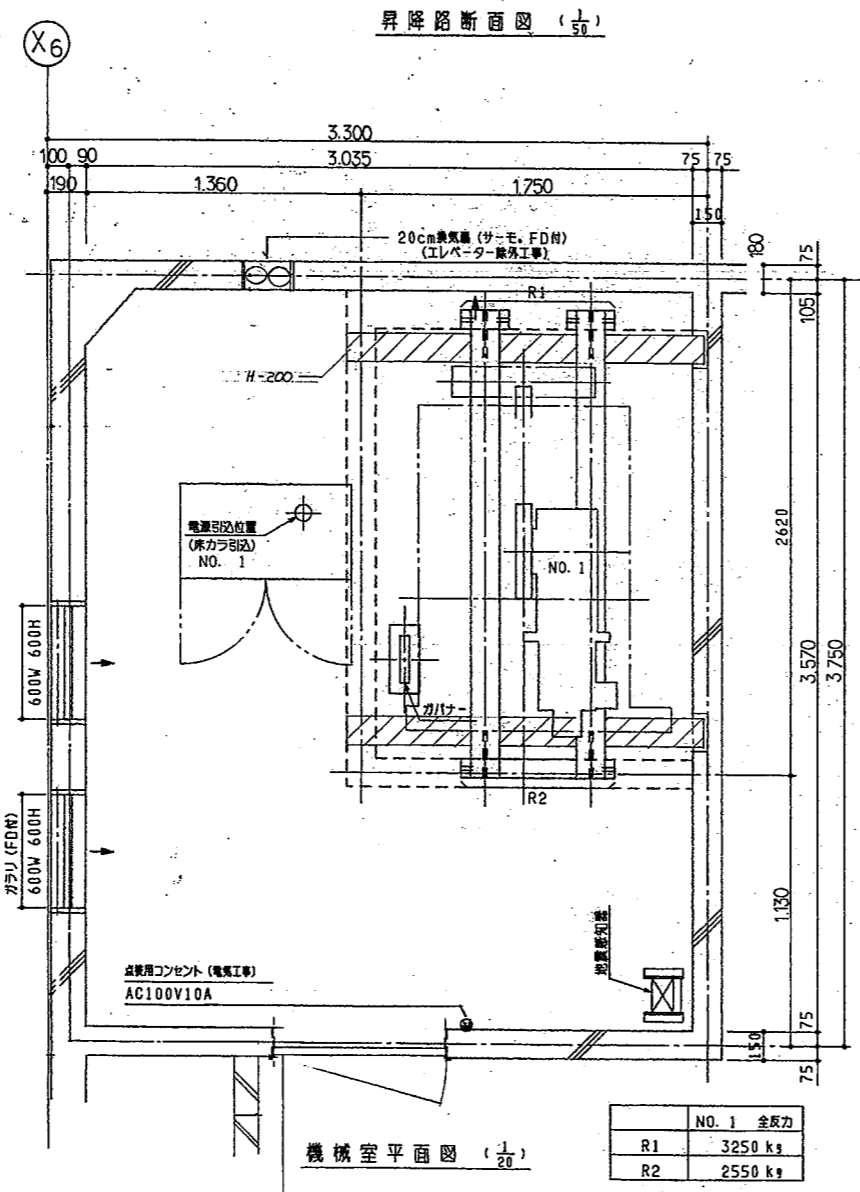
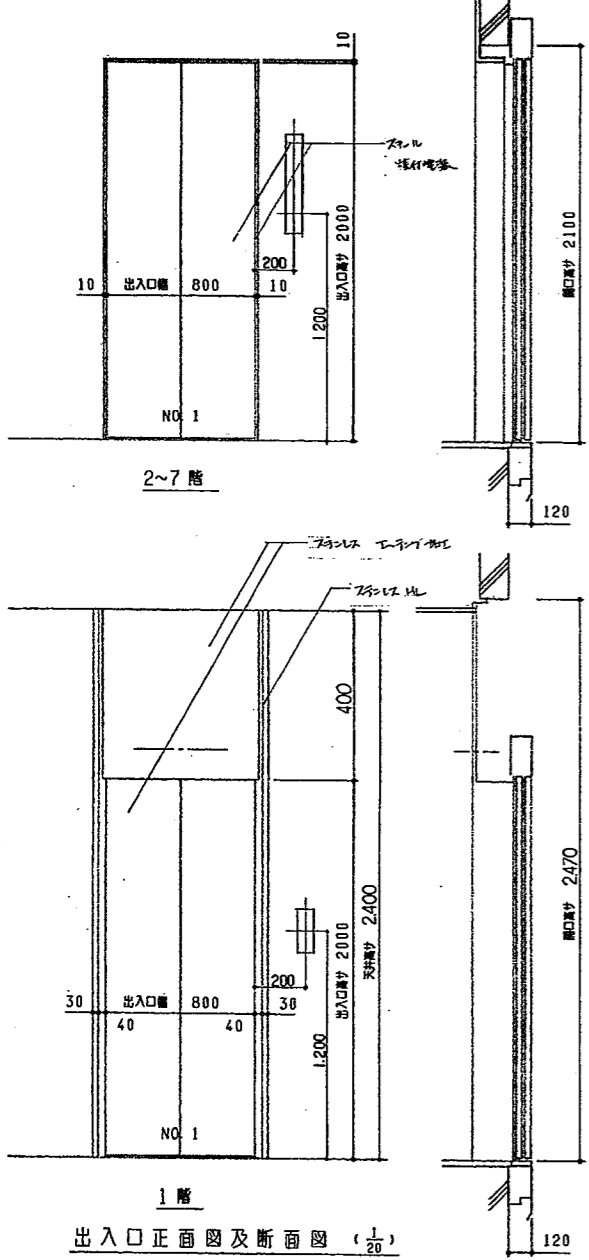
C-C 断面图

竣工图

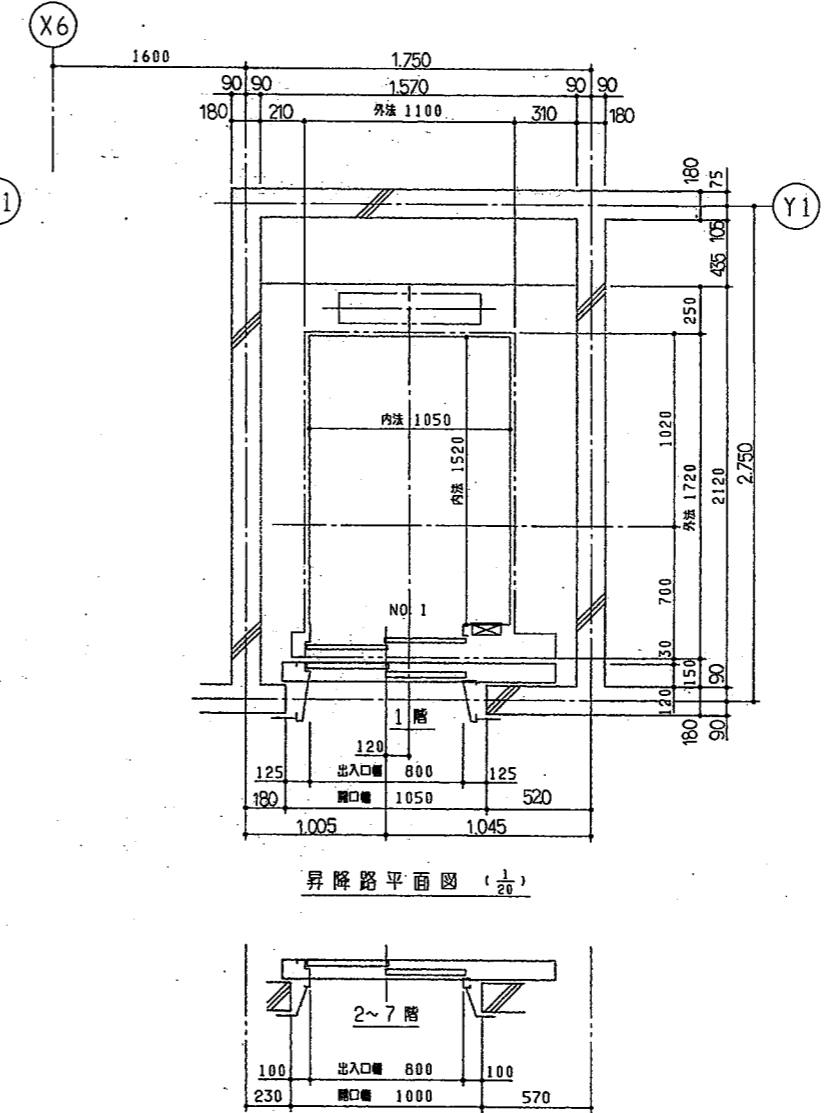
建築士事務所 株式会社 梓設計 東京都中央区 中野裕之設計	2988 立面图・断面图 A-011 No. / 改の内 年 月 日	新設南本郷団(西町)外国人研究會舎建築施設計 縮尺 1/200
--	--	------------------------------------



号機名	NO.1
形式用途	R-9-2S60(乗用)
定格積載量	600kg 9人乗
定格速度	60m/min
運転方式	インバータ制御
停止階	7箇所(1~7階)
カゴ内法	開口 1050mm 奥行 1520mm 出入口高さ 2000mm
電動機	AC 5.5kw
電源	AC3φ 200V 50Hz AC1φ 100V 50Hz
連絡装置	同時連絡式インターホン 地震時警報装置(ハセセンサー)
付加仕様	



NO.1 全反力	
R1	3250 kg
R2	2550 kg



- エレベーター除外工事
- [1] 建築工事関係
- 2TON吊りフック取付、鋼製扉取付2トシテ、4TON/短期/再重二層工モノ。
 - 鋼製扉取付後/シダー-コンクリート打込及ピサ仕上。
 - 採光用窓 600W X 600H
 - 出入口(鋼製、窓付付) 900W X 2000H
注) 機械室二重安全通路/確保(階段/クアグハ230mm以下、幅面ハ150mm以上トシ、両側二重又ハ手摺取付)。
 - ガラス(鋼製FDR) 600W X 600H
 - 換気扇(鋼製FDR) サーマスイッチ付。
- 注) 機械室内/換気扇換熱量ハ900Kcal/h(所要換気量ハ450m³/h)トナル。最高速度ヲ40°C以下ニ保ツ。表気設備(対車/位置ニ2箇所以上)ヲ設ケル。
- 昇降路出入口遮り/穴明け、機械室扉穴明け工事。
 - 煙感知器。
 - 機械室扉/防塵仕上工事。
- [2] 電気工事関係
- 引込電線(動力用途/引込距離ヲ50m以内トシテ計算ス)。
1) 動力用電線 AC3φ 200V 50Hz 8mm² X 1回線
FFB巻線 50A
2) 照明用電線 AC1φ 100V 50Hz 2mm² X 1回線
3) インターホン用配管設備 0.75mm² X 7本
4) アース線(巻3巻) 3.5mm²
- (2) 点検用コンセントAC100V10A。
1) 扉下停止階力ラ手/箱グピット内(1箇所/台)。
2) 機械室内出入口両側。
- エレベーター-運搬装置用トシテ、電線中継器カラエレベーター-昇降路マテノ配管(最小径ハ19mm、配管本数2本用)ヲ、電気工事トシテ施工コト。

竣工図

株式会社 梓設計 2988

新設事業部(依頼)外資系人研究會活用設備建設工事

昇降路設備図

A-030 縮尺 1/20.50

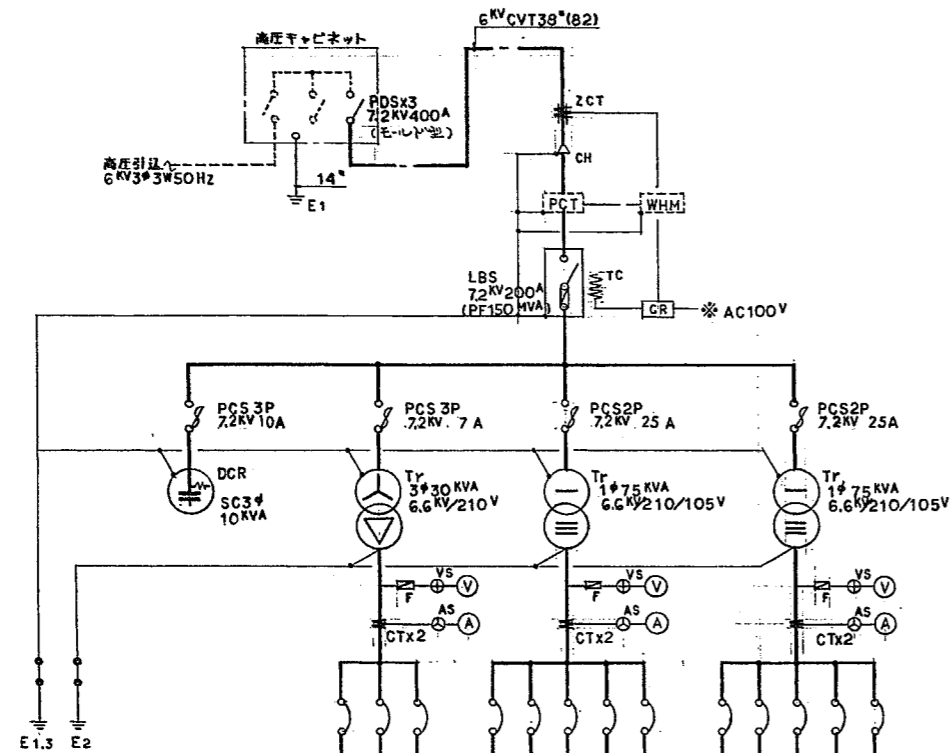
No. / 年月日

電気設備工事特記仕様書
1. 工事概要
1. 工事場所 茨城県つくば市竹園2丁目20
2. 建物概要
3. 工事種目 (○印のついたものを適用する.)
II. 工事区分
注1 ○印のない場合は※印のついたものを適用する.

II. 工事仕様
1. 共通仕様
1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁官庁建設部監修「電気設備工事共通仕様書」(平成元年版)及び電気設備工事標準図(平成元年版)による。
2) 共通仕様書において「監査員」とあるのはすべて係員と読み替える。
2. 特記仕様
1) 特記事項は○印のついたものを適用する。○印のない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のある場合は共に適用する。
2) 設計図書に関する優先順位を次による。
a. 工事現場要項書
b. 質疑応答書および補足訂正追加事項
c. 図示及び特記仕様書
d. 「電気設備工事共通仕様書」

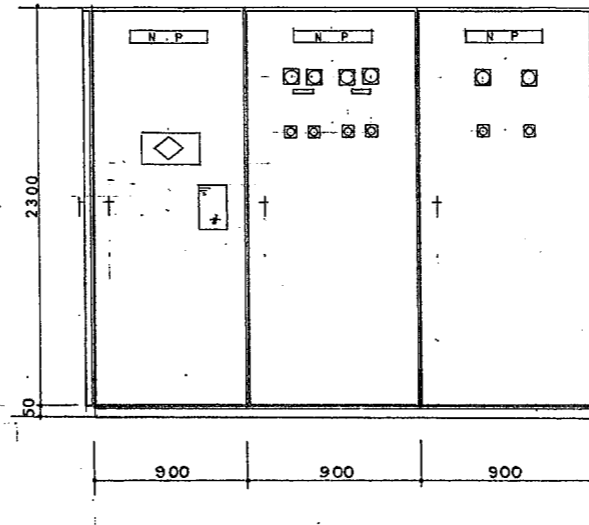
電気方式
配電形式
接地
機器仕様
自給電源
電機設備
電機器具
電機配線
電機制御
電機保護
電機安全
電機防犯
電機衛生
電機環境
電機省エネ
電機防災
電機セキュリティ
電機メンテナンス

配線方式
中線路の長さ
機器取付高
機器取付高は下表を標準とする。ただし既設の指示により変更することがある。
IV. 使用機材等指定表
機材名 製造者名

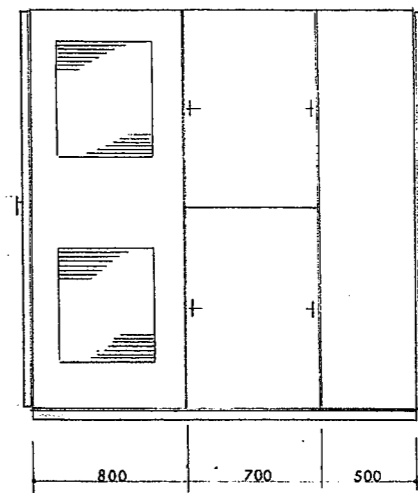


品名	仕様	数量	単位	備考
PCS3P	72kV/10A	1	台	
PCS3P	72kV/7A	1	台	
PCS2P	72kV/25A	1	台	
Tr	3φ30KVA 6.6kV/210V	1	台	
Tr	1φ75KVA 6.6kV/210/105V	1	台	
Tr	1φ75KVA 6.6kV/210/105V	1	台	
DCR	SC3φ 10KVA	1	台	
PCT		1	台	
WHM		1	台	
CTX2		1	台	
AS		1	台	
VS		1	台	
V		1	台	
GR		1	台	
CT		1	台	
ZCT		1	台	
DCR		1	台	
TC		1	台	
CH		1	台	
F		1	台	
PCS		1	台	

受変電設備単線結線図



キュービクル立面図



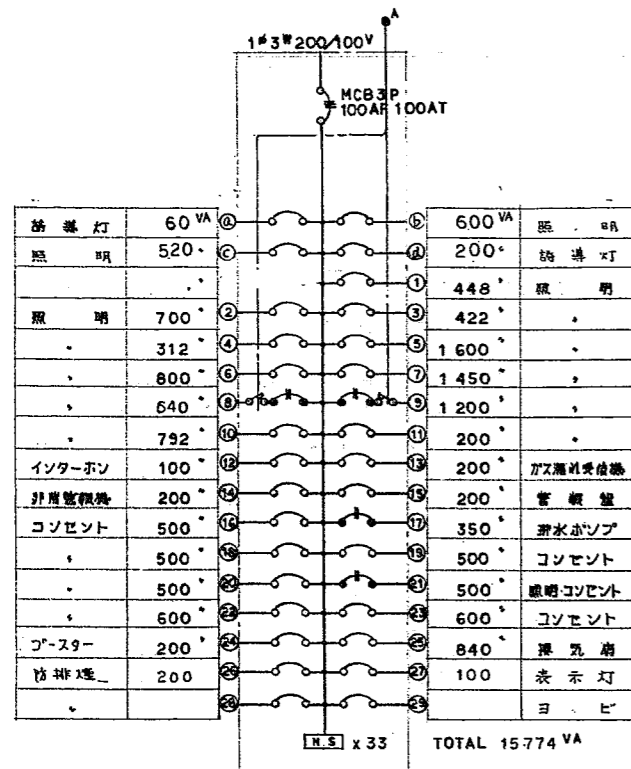
記号	名称
LBS	流中閉断器
Tr	変圧器(油入自冷)
SC	差相コンデンサ
PCT	計器用変成器箱
WHM	電力量計
A	電圧計
V	電圧計
AS	電流計用切替器
VS	電圧計用切替器
GR	接地線継ぎ
CT	計器用変流器
ZCT	電相変流器
DCR	放電抵抗
TC	トリップコイル
CH	ケーブルヘッド
F	ヒューズ
PCS	プライマリカットアウトスイッチ

注)

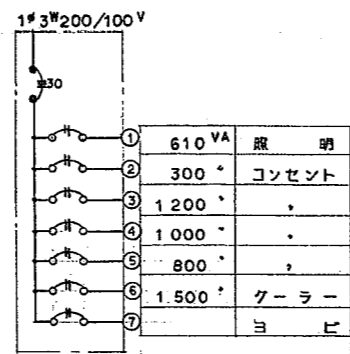
1. 巻図において形状及び記入寸法は参考とする。
2. 消火器(ABC物末10型)1台を納品。(係員の指示する場所に設置のこと。)
3. 備品としてDS棒(6kV)x1を納入すること。
4. 予備品として電力ヒューズ1組ヒューズ、ランプ線1式納入のこと。
5. 照明(ドアスイッチ等)及び点検用コンセント
6. 附属品としてテスター、メガ、検電器(6kV用)、ペンチ、ドライバー(+)を納入すること。
7. 計器類は広角形1.5級とする。

竣工

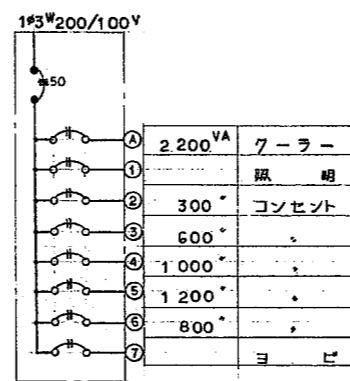
一級建築士事務所 株式会社 梓設計	2988	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事
一級電気工事技師事務所 中野裕之設計		受変電設備単線結線図、キュービクル立面図
図	表	製
No. /	枚の内	年 月 日



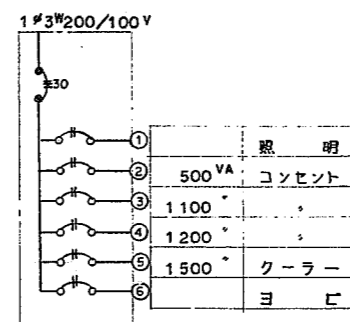
L-1 (銅板製盤基型)



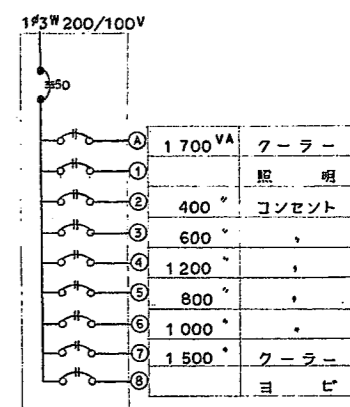
L-A (樹脂製盤基型)



L-B (樹脂製盤基型)

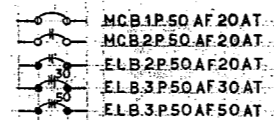


L-C (樹脂製盤基型)

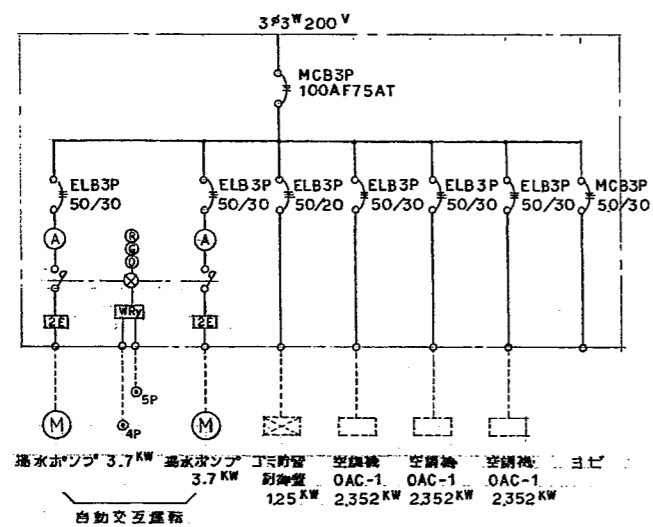


L-D (樹脂製盤基型)

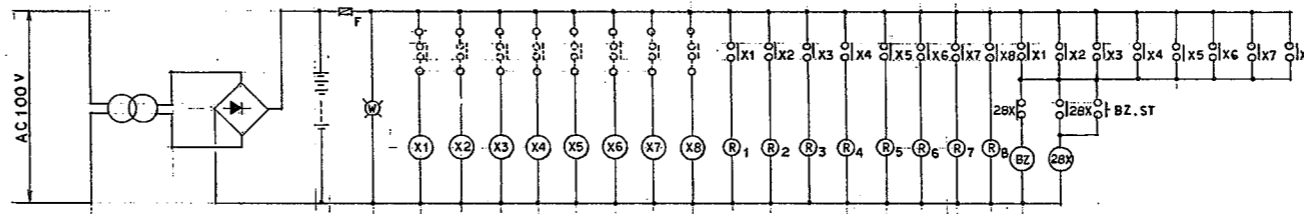
注) 括弧なき配線装置は下記に依る。



①~⑯ : 100V回路を示す。
 ⑰ : 200V回路を示す。



P-1 (銅板製盤基型)

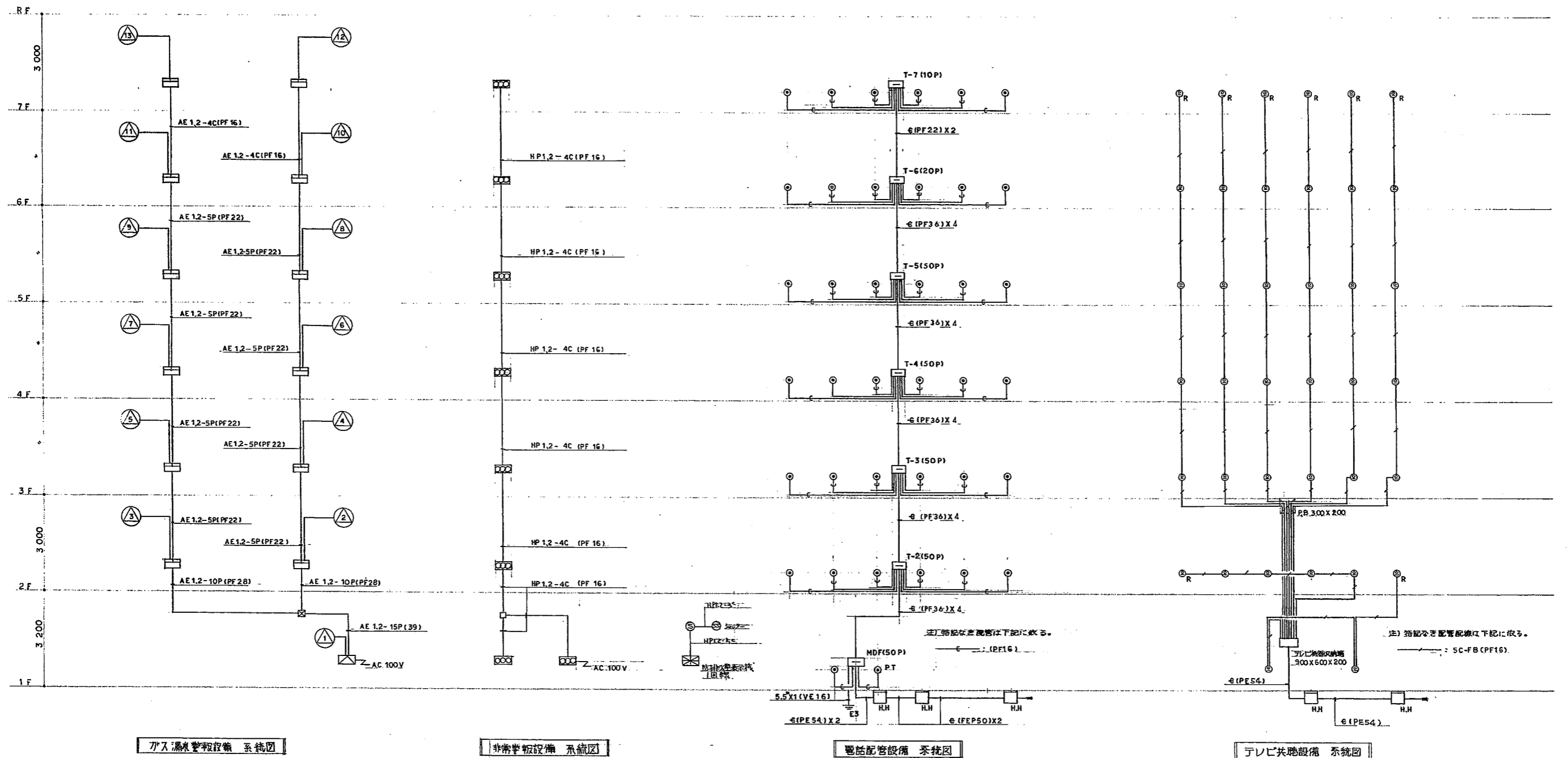
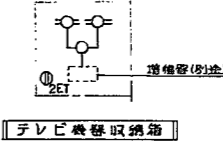


記号	名 称
R 1	受水槽排水
R 2	汚水溜池水
R 3	高層水箱排水
R 4	高層水箱排水
R 5	排水ポンプ異常
R 6	補給水箱排水
R 7	掃捨水箱排水
R 8	変電設備異常

電線箱線図 (銅板製盤基型)

竣工図

一般建築士事務所 株式会社 梓設計 一級建築士事務所 中野裕之設計	2988 No. / 枚の内	新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事 電線箱線図 E-4 年 月 日
---	-------------------	---



電力変換装置系統図

非常情報設備系統図

電話配管設備系統図

テレビ共聴設備系統図

竣工図

一般社団法人 株式会社 梓設計 中野裕之設計	2988	新技術事業(仮称)外国人研究者養成施設建設工事 非常情報設備系統図 E-9 No. / 年月日
-------------------------------------	-------------	--

空気調和設備工事特記仕様書
I. 工事概要
1. 工事名称: 新技術事業団(仮称)外国人研究者宿舎施設建設工事
2. 所在地: 東京都千代田区千代田
3. 建物概要: 5階建て
4. 工事種目: 空調設備工事
5. 設備概要: 主熱源(往復動式冷凍機、冷水発生機、冷却塔等)、空調機(単一ダクト、パッケージ型空調機)、配管(冷水配管、排水配管等)
6. 設計温度: 夏季室内26℃, 冬季室内20℃

3. 設計図書の出発単位
1) 工事見積書等及び現場説明事項
2) 質疑応答書及び補足訂正追加事項
3) 指示及び特記仕様書
4) 共通仕様書
項目: ① 概算 ② 工事完成図 ③ 提出図書 ④ 施工計画書 ⑤ 建物取外表 ⑥ 品質管理 ⑦ 工事区分 ⑧ 概算その他

一般用弁
表: 呼び径, 名称, 用途(給水, 排水, 油, 蒸気)
表: 場所, 屋内外露出, 埋設, 保温
表: 3) 保温材の厚さ
表: 4) 配管材料及び継手
表: 5) 電線周波数
表: 6) インバー用制御及び調整
表: 7) 機器据付用地震力
表: 8) 埋め戻し土
表: 9) 配管の接合

IV. 使用材料等指定表
表: 機器材料名, 製造者名
表: 管種, 保温厚
表: 給排水管, 保温厚
表: 蒸気管, 保温厚
表: 冷水管, 保温厚
表: 排水管, 保温厚
表: 給水管, 保温厚
表: 給湯管, 保温厚
表: 排水管, 保温厚
表: 通気管, 保温厚
表: 消火管, 保温厚
表: ガス管, 保温厚
表: 油管, 保温厚
表: 空気管, 保温厚

記号	名称	仕様	動力				台数	設置場所	備考
			φ	V	KW	W			
PAC-1	空調機	天井形(1-タレス) 冷房能力 6,300Kcal/h 暖房能力 6,800Kcal/h (JIS条件) 浄化配管ロッド リモコンスイッチ配線共 吊り筋置込み	3	200		57	3	集会所 トランクルーム	FHY7LC
PAC-2	空調機	壁掛形マルチタイプ インバーター 冷房能力 2,200Kcal/h 暖房能力 3,600Kcal/h (JIS条件) ガス管 9.5φ 液管 6.4φ 浄化配管ロッド リモコンスイッチ配線共	1	200		18	12	Aタイプ リビングルーム	P250TXV-W
PAC-3	空調機	壁掛形マルチタイプ インバーター 冷房能力 1,800Kcal/h 暖房能力 2,300Kcal/h (JIS条件) ガス管 9.5φ 液管 6.4φ 浄化配管ロッド リモコンスイッチ配線共	1	100		18	62	1階管理室 1. 廊下 Aタイプ 大ホール Cタイプ リビングルーム	P200TX-W
PAC-4	空調機	壁掛形マルチタイプ 冷房能力 2,000Kcal/h 暖房能力 2,800Kcal/h (JIS条件) ガス管 9.5φ 液管 6.4φ 浄化配管ロッド リモコンスイッチ配線共	1	200		16	18	Bタイプ 大ホール リビングルーム	C220TXV-W
PAC-1	屋外機	天井形 冷房能力 6,300Kcal/h 暖房能力 6,800Kcal/h (JIS条件) 圧縮機出力 ファン電動機出力 ファン風量 50m³/min 防振ゴム 天井吊金具	3	200			3		RX7LC
PAC-2	屋外機	壁掛形マルチタイプ (2室用) 冷房能力 4,000Kcal/h 暖房能力 5,500Kcal/h (JIS条件) 圧縮機出力 ファン電動機出力 防振ゴム 浄化配管スイッチ 天井吊金具	1	200			6		M450XV
PAC-3	屋外機	壁掛形マルチタイプ (2室用) 冷房能力 3,400Kcal/h 暖房能力 4,200Kcal/h (JIS条件) 圧縮機出力 ファン電動機出力 防振ゴム 浄化配管スイッチ 天井吊金具	1	200			31		M380X
PAC-4	屋外機	壁掛形マルチタイプ (3室用) 冷房能力 6,000Kcal/h 暖房能力 8,500Kcal/h (JIS条件) 圧縮機出力 ファン電動機出力 防振ゴム 浄化配管スイッチ 天井吊金具	1	200			6		M680XV

記号	名称	仕様	動力				台数	設置場所	備考
			φ	V	KW	W			
SE-1	扉扉扉	300φ x 1000mm ² ウェザーカバー シャッター 防塵ネット タイマー装 (伝動モーター) (EF-7と連動)	1	100		50	1	設備機室	松F FY-30ASU
SE-2	扉扉扉	400φ x 2400mm ² ウェザーカバー シャッター 防塵ネット共 (伝動モーター) (EF-8と連動) リモコンスイッチ配線	1	100		100	1	電気室	松F FY-20MSV
EF-7	扉扉扉	250φ x 1000mm ² ウェザーカバー シャッター 防塵ネット共 (伝動モーター) (SF-1と連動)	1	100		25	1	設備機室	松F FY-25ASU
EF-8	扉扉扉	350φ x 2400mm ² ウェザーカバー シャッター 防塵ネット共 (伝動モーター) (SE-2と連動)	1	100		80	1	電気室	松F FY-35ASU
EF-1	シロココファン	通音型ストレートシロココファン 250φ x 480mm ² x 10mm ²	1	100		100	1	ホール	松F FY-25SCG
EF-2	シロココファン	通音型ストレートシロココファン 200φ x 300mm ² x 10mm ²	1	100		50	2	男トイレ	松F FY-20SCS
EF-3	扉扉扉	350φ x 2400mm ² ウェザーカバー シャッター 防塵ネット共 (伝動モーター) リモコンスイッチ配線	1	100		80	1	ELV機室	松F FY-35ASU
EF-4	レンジフード	深型強制排気型 150φ x 300mm ² x 6mm ²	1	100		146	13	Aタイプ管理室	
EF-4'		浅型強制排気型 150φ x 300mm ² x 6mm ²	1	100			24	Cタイプ管理室	
EF-5	天井扇	低騒音型 100φ x 50mm ² x 6mm ²	1	100		15	14	浴室トイレ	松F FY-17BX
EF-6	中間ファン	100φ x 115mm ² x 8mm ²	1	100		34	37	ユニットバス	松F FY-18DPX
AHX-1	熱交換型換気扇	天井埋込ダクト換気型 250φ x 500mm ² x 13mm ²	1	100		480	3	集会所 トランクルーム	松F LGH-6SR

竣工図

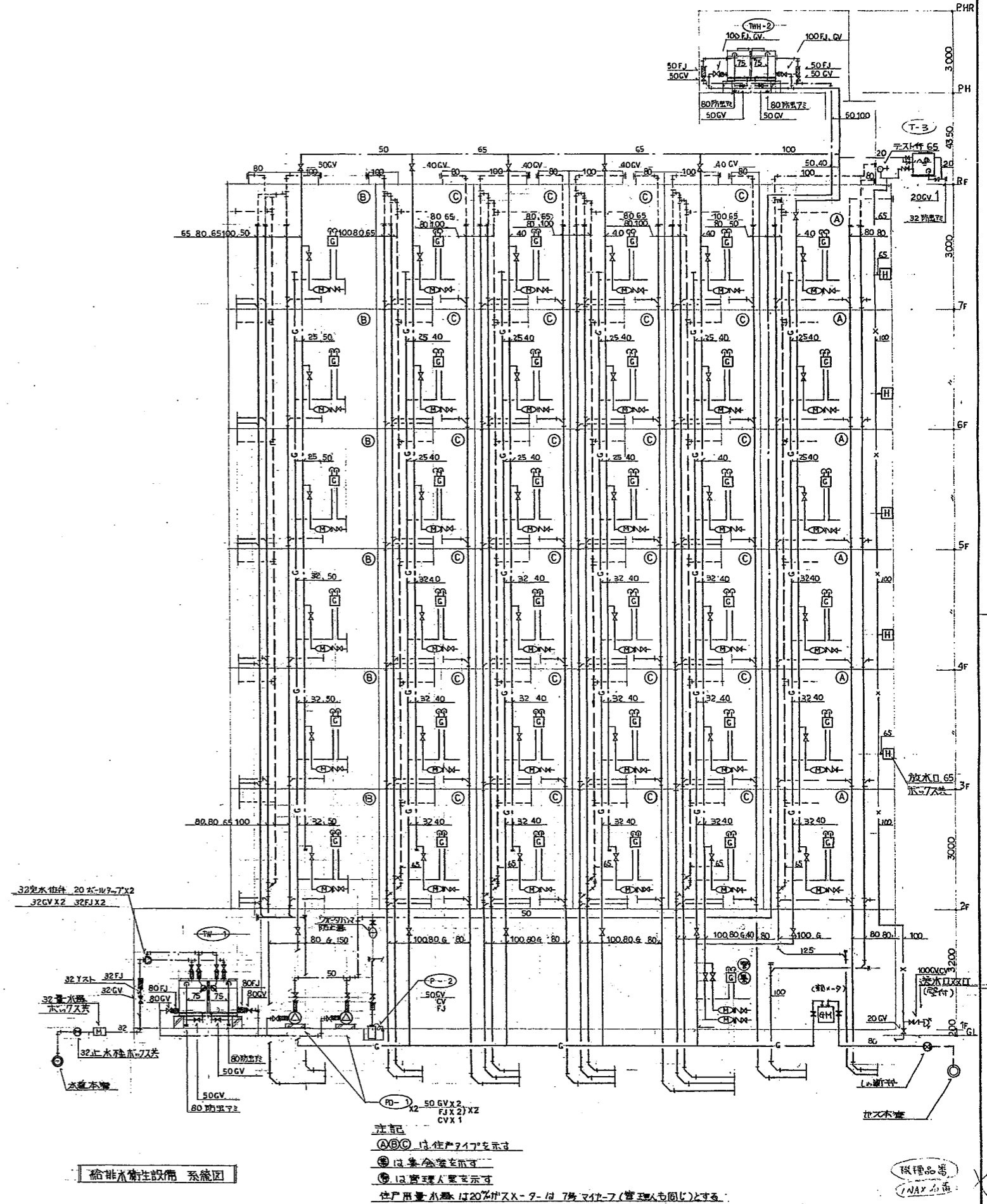
新技術事業団(仮称)外国人研究者宿泊施設建設工事
株式会社 梓設計 2988
7号 8号 表
A/C-003
No. / 図内 2年2月 日

機器表

記号	名称	仕様	動力				台数	設置場所	備考	
			#	V	KW	W				
TW-1	受水槽	FRP製複合板パネル組立型 (中仕切付) 4.0x2.0x2.0 ^H 2/3G 有効容量 12m ³ 平架台設置型メッキ 内外ハシゴ 600 [#] マンホール カギ付 水位電線 4P コンクリート基礎建築工事					1	設備機室	(物) プラキストン	
TWH-2	高置水槽	FRP製 サンドイッチパネル組立型 (中仕切付) 2.0x2.0x1.5 ^H 1G 有効容量 3m ³ 平架台設置型メッキ 内外ハシゴ 600 [#] マンホール カギ付 水位電線 5P コンクリート基礎建築工事					1	屋上	(物) プラキストン	
PW-1	湯水ポンプ	勿段湯水ポンプ 40 [#] x120 [#] /min x 39 [#] x4極 白銅交互運転 防振架台付 コンクリート基礎 建築工事	3	200	3.7		2	設備機室	(物) 川本製作所 T-40S-50-M3.7	
PD-2	雑排水ポンプ	水中ポンプ 40 [#] x0.18 [#] /min x 4.5 [#] 自動運転	1	100		250	1	設備機室	YU4-40S-025SL	
GB-1	ガス湯沸器	16号ガス湯沸器付給湯暖房型 (PS型) (管理入室のみ屋外設置型) ガス消費量 30,000kcal/h (換算学園ガス) 給湯温度 65°C 湯かし上げ温度 42°C リモコンスイッチ(2ヶ所) ケーブル フレーキシブル管共	1	100		150	18	2階~7階 C 917 [#] x18	(物) ロマ FH-16SSDL FH-16CDL	
GB-2	ガス湯沸器	16号ガス湯沸器付給湯暖房型 (PS型) (管理入室のみ屋外設置型) ガス消費量 30,000kcal/h (換算学園ガス) 給湯温度 65°C 湯かし上げ温度 42°C リモコンスイッチ(2ヶ所) ケーブル フレーキシブル管共 排気筒 100 [#]	1	100		150	18	2階~7階 A 917 [#] x6 B x6 C x6	FH-16SSDL4-1	
T-3	水位制御装置	金属製 (材質: 亜鉛 4.5 [#] 寸法: 3.2 [#]) マンホール 450 [#] 0.8 [#] x0.8 [#] x1.0 [#] (1G) 水位電線 3P コンクリート基礎建築工事						1	屋上	橋本工業(株)

器具表

器具名	型番	付属品	室名							合	計
			共用男子便所	共用女子便所	トランスルーム	設備機室	ゴミ置場	2~7階	屋外		
洋風便器	C-45PU	DT-811, DTF-811JF, CF-17AL, NH-740H								6	暖房便座
洋風便器	C-4	CF-33FV, CF-SAK, KF-42M, 等々	1	2						3	
小便器	U-206SU	UF-3, UF-13W, 等々	2							2	
洗面器	L-2594EC	建築工事								6	6
洗面器	L-2574P	LF-901, KF-14B, 等々	1	1						2	
掃除用流し	S-202A	LF-7E-19, SF-20SEAY, SF-10EAY 等々	1							1	
シャワー器具	建築工事									6	6
バス水栓	建築工事									6	6
混合水栓	SF-5420S									6	6
巾着水栓	LF-7R-13									6	6
巾着水栓	LF-7R-13									1	1
敷水栓	LF-13-13	BOX共								4	
自在水栓	LF-14F(220)-13									1	
洗濯パン	建築工事									6	6
ユニットバスルーム	建築工事									6	6
洋風便器	C44SU	DT-811, DTF-811JF, CF-17AL, NH-740H								6	
20 [#] ガスコック										6	6
9.5 [#] ホースコック										6	6

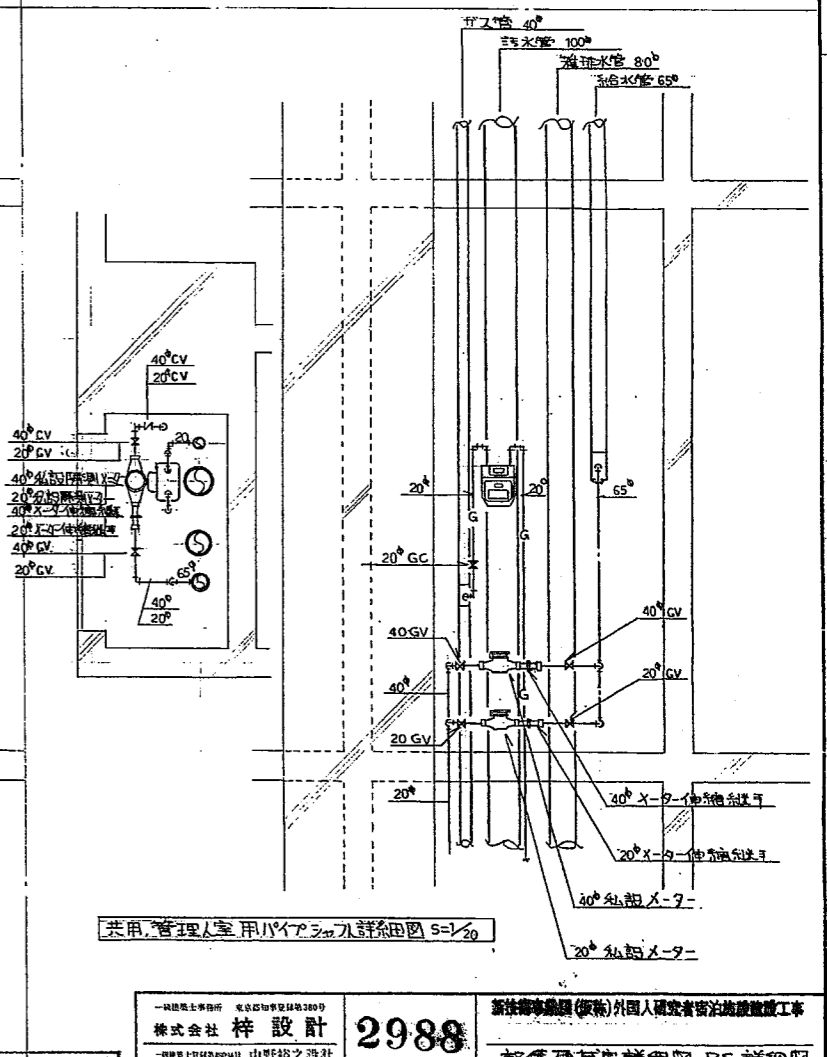
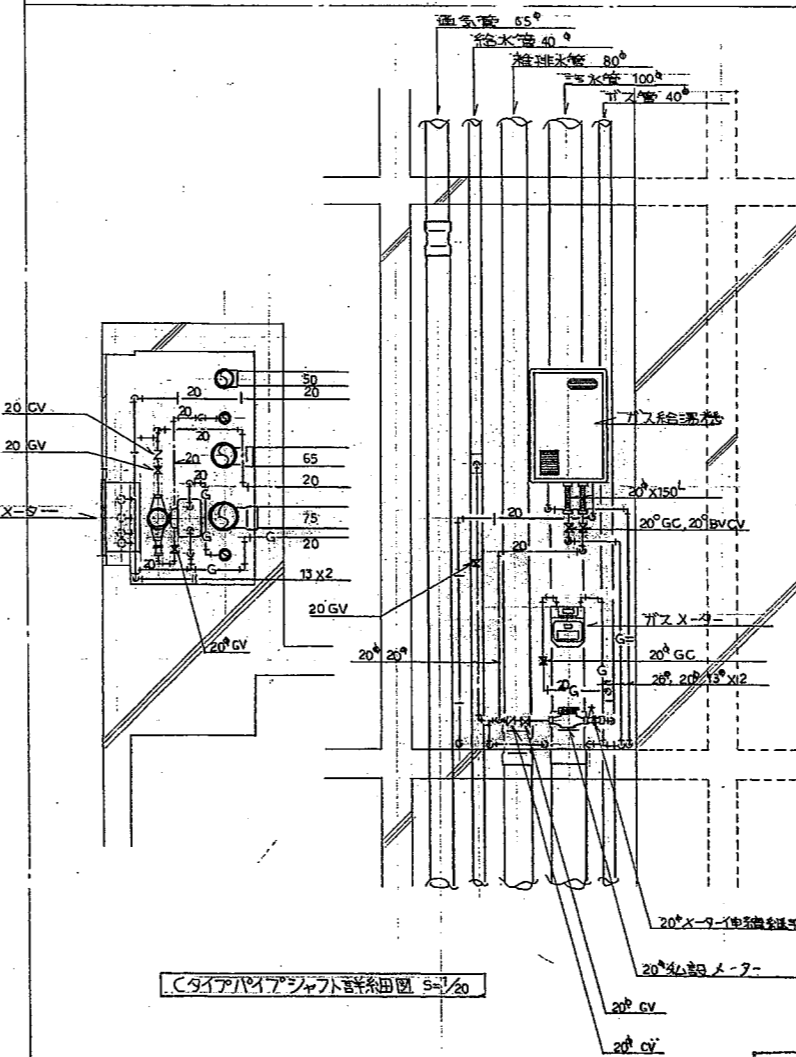
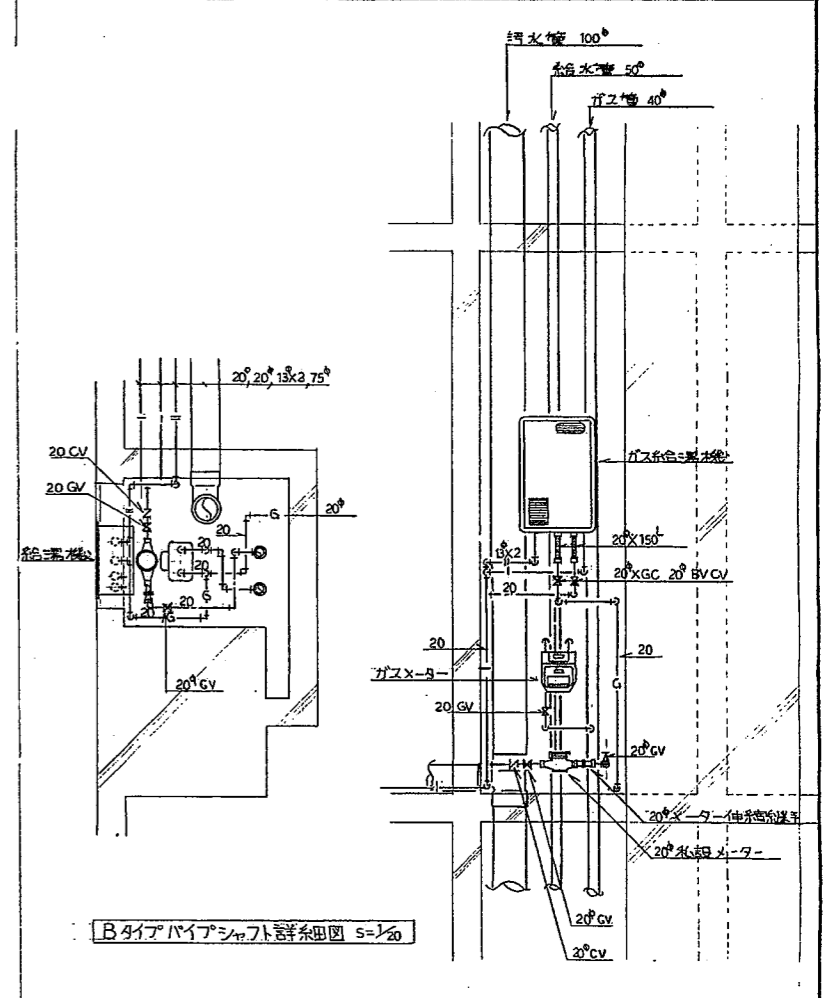
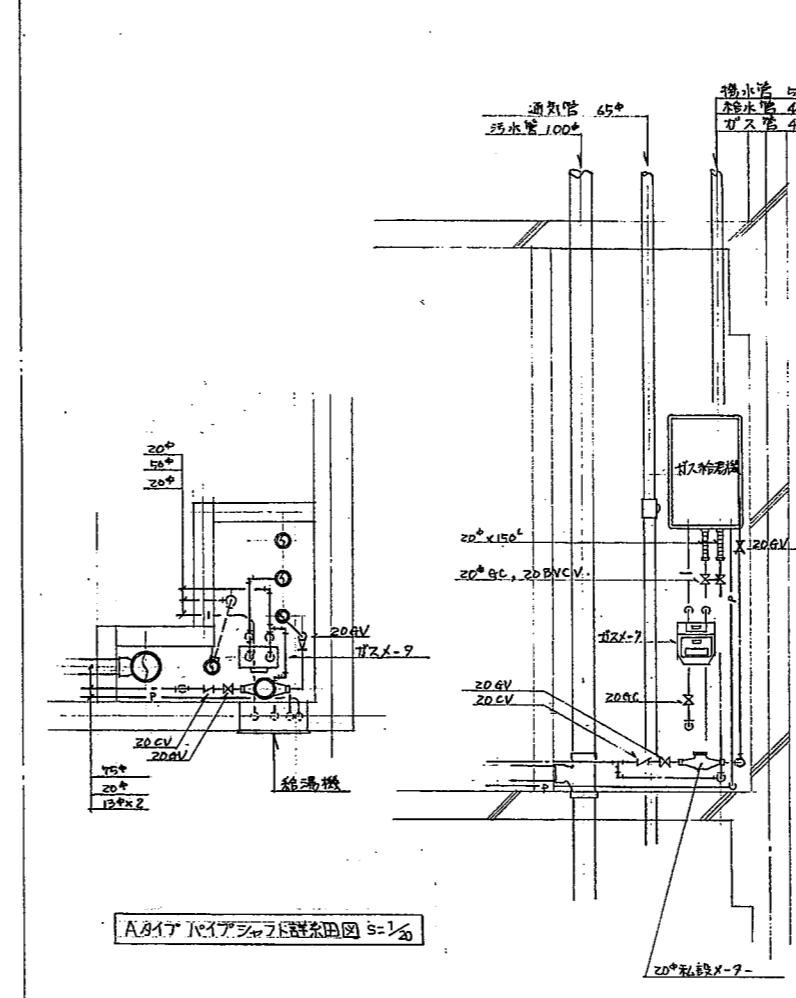
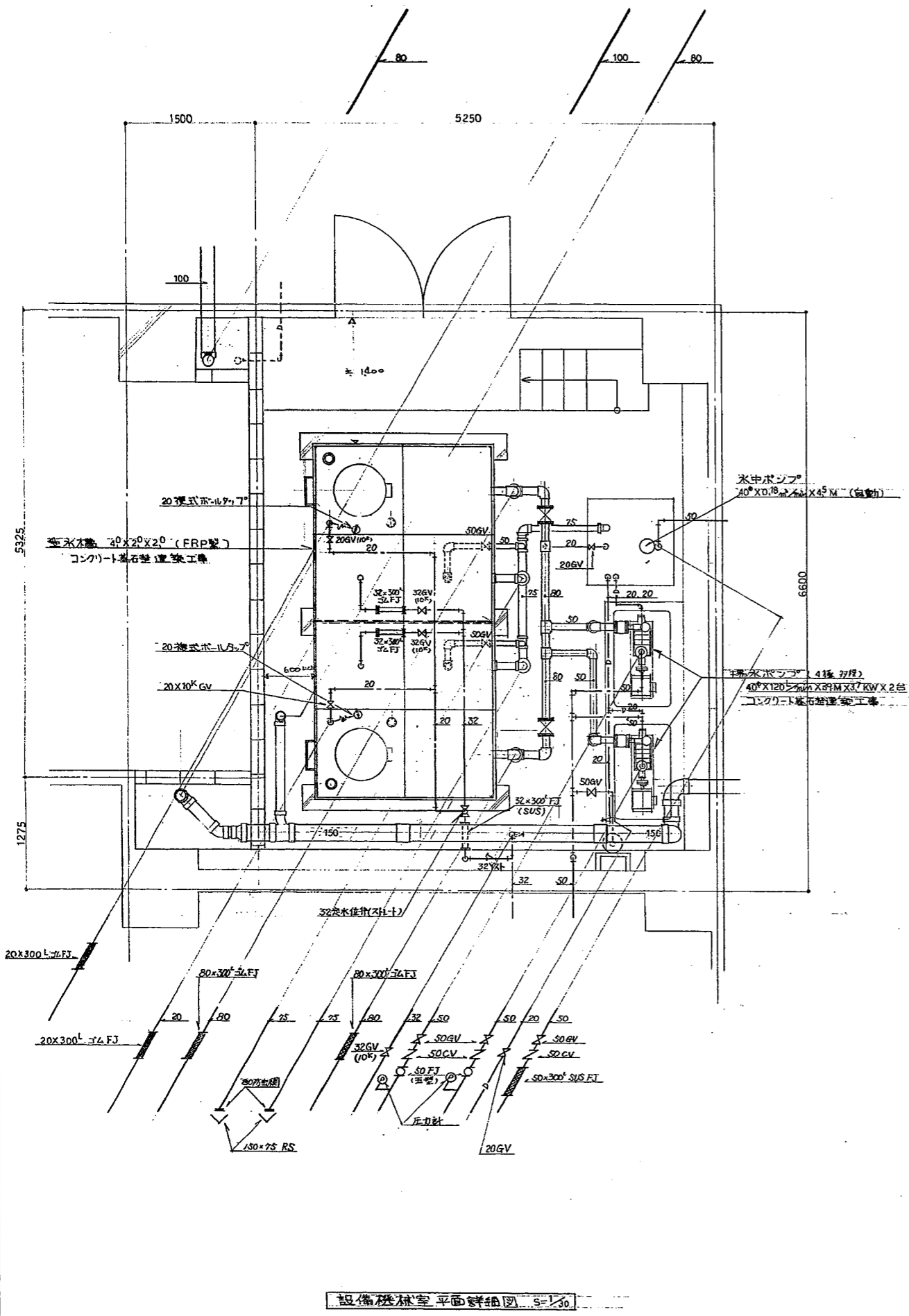


給排水衛生設備 系統図

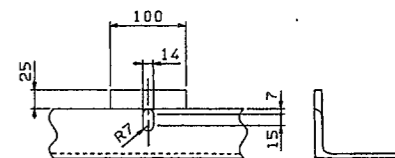
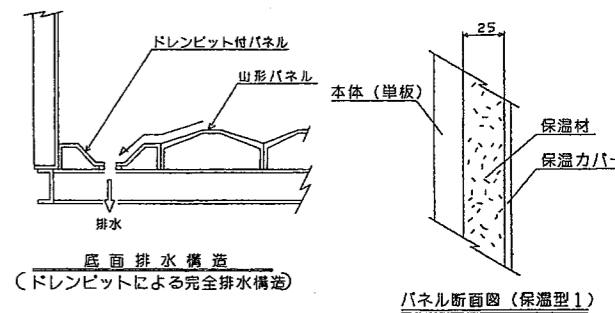
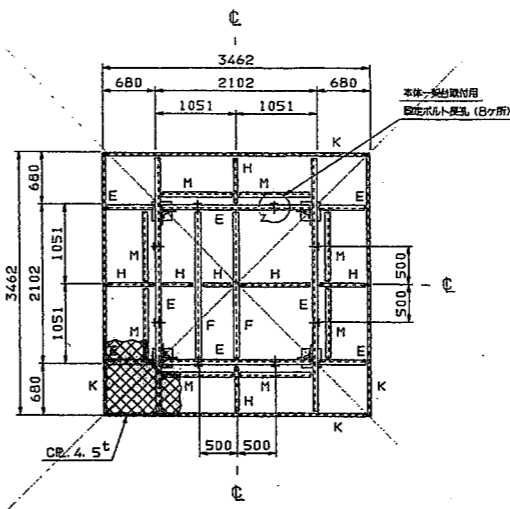
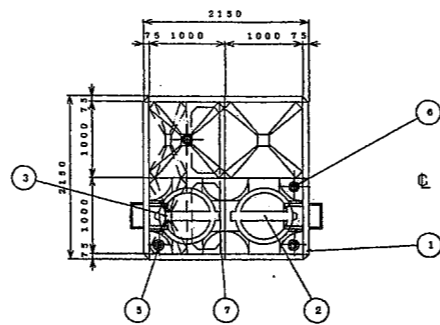
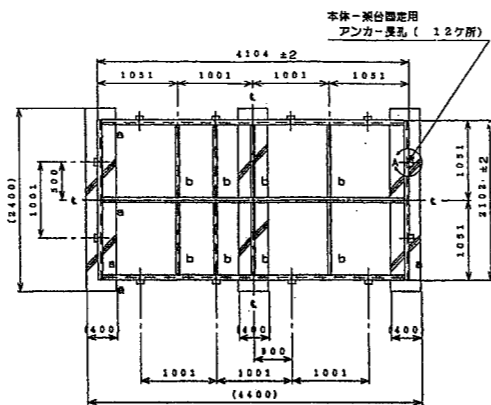
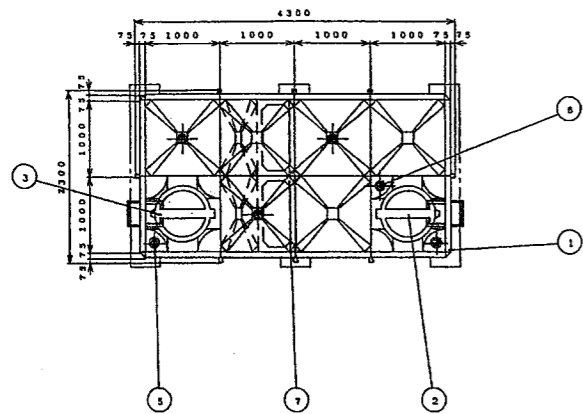
注記
 (A)(B)(C) は住戸タイプを示す
 (D) は集合管を示す
 (E) は管理入室を示す
 住戸用最小径は20[#]ガスX-7-12 7[#]マイク-7(管理入室同径)とする。
 集合管最小径は40[#]とし、
 器具全物は標準品とする。

竣工図

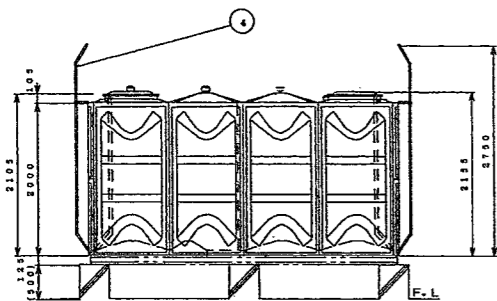
株式会社 梓設計 2988
 新技術事業(仮称)外国人研究者滞在施設建築工事
 棟名: 棟名表 器具表 系統図
 縮尺: 縮尺
 No. 2024年2月



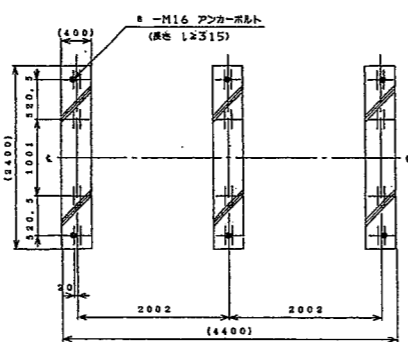
一般建築士事務所 東京都中央区東銀座3-10-10 株式会社 梓設計 2988 一級建築士事務所 中野裕之設計		新建築事務所 (株) 外国人建築者審査法務建築工務 松尾利幸 建築師 松尾利幸 建築師 No. (印) 2020年2月日	
竣工		設備概略図(PS)詳細図 P-008 縮尺 1/30 1/20	



乙部詳細図

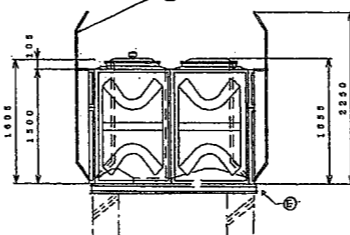


水槽本体図

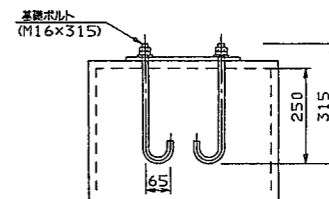
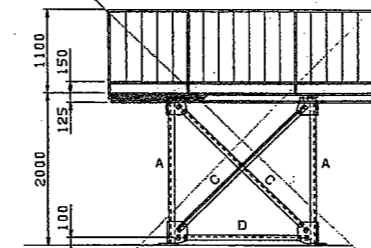
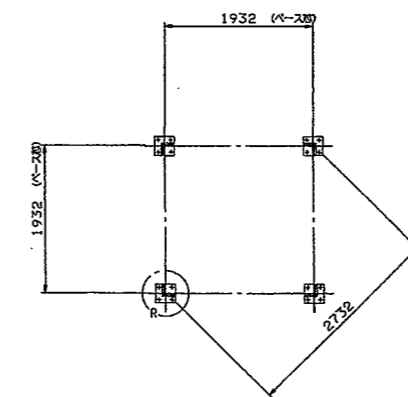


a材	L	125×65×6
b材	L	75×40×5

*架台塗装は 溶融亜鉛メッキ仕様

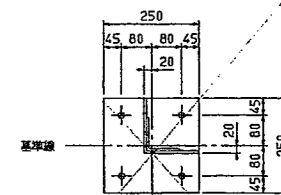


水槽本体図



アンカーボルト 溶融亜鉛メッキ仕様

A	L	75×75×6
C	L	65×65×6
D	L	65×65×6
E	C	125×65×6×8
F	H	150×75×5×7
H	H	100×50×5×7
K	C	75×40×5
M	L	65×65×6



R部詳細

*架台塗装は 溶融亜鉛メッキ仕様

受水槽仕様	
FRPパネルタンク (保型)	
貯水容量	16.0トン 2.0×4.0×2.0H
構造基準	建設省告示第1674号適合品
耐震基準	Kh=2/3 SET-7型
締結ボルト	ステンレスボルト (SUS304)
	気密部は樹脂被覆一体成型ボルト (スーパボルト)
パッキン	合成ゴム
マンホール	FRP製遮光式 610φ
排水構造	ドレンピットパネルによる完全排水構造
色調	メーカー標準色

7	中仕切	FRP	1	
8	通気口	AES	4	50A 合成樹脂製防虫網 (#20)付
5	電線圧	AES	2	50A 防震管、電線保護カバー付
4	外梯子	SGP	2	溶融亜鉛メッキ
3	内梯子	PVC	2	
2	マンホール	FRP	2	開口部610φカタロック単体型クリーム
1	本体	FRP	1式	保型型クリーム (マンセルNO. 2.5Y9/2)
品番	名称	材質	数量	備考

高圧受水槽仕様	
FRPパネルタンク (保型)	
貯水容量	6.0トン 2.0×2.0×1.5H
構造基準	建設省告示第1674号適合品
耐震基準	Kh=1.0 SET-10型
締結ボルト	ステンレスボルト (SUS304)
	気密部は樹脂被覆一体成型ボルト (スーパボルト)
パッキン	合成ゴム
マンホール	FRP製遮光式 610φ
排水構造	ドレンピットパネルによる完全排水構造
色調	メーカー標準色

7	中仕切	FRP	1	
8	通気口	AES	2	50A 合成樹脂製防虫網 (#20)付
5	電線圧	AES	2	50A 防震管、電線保護カバー付
4	外梯子	SGP	2	溶融亜鉛メッキ
3	内梯子	PVC	2	
2	マンホール	FRP	2	開口部610φカタロック単体型クリーム
1	本体	FRP	1式	保型型クリーム (マンセルNO. 2.5Y9/2)
品番	名称	材質	数量	備考

竣工図

一級建築士事務所 東京都中央区本町1-10-10 株式会社 梓設計	2988	新技術事業団 (仮称) 外国人研究者宿泊施設建設工事 高圧受水槽詳細図 (参考図)
No. P-007	縮尺	2025年 月 日

設備・機械等 補足事項

1. 昇降機について

(1) 二の宮ハウス：設置台数 3 基

製造元	東芝エレベータ株式会社
型式用途	共同住宅用 EV (機械室レスタイプ)
定格積載重量	600kg、9 人乗り (No.2 はトランク付き)
定格速度	No.1/No.2 : 90m/min No.3 : 60m/min
運転方式	VF コレクティブコントロール (マイコン制御、気配りアナウンス付)
停止階	No.1/No.2 : 10 箇所 (B1、1~9 階) No.3 : 6 箇所 (B1、1~5 階)
かご内法	間口 1050mm 奥行 1520mm 出入り口幅 800mm 出入り口高さ 2000mm
電動機	No.1/No.2 : AC 5.5kw No.3 : AC 3.7kw
電源	AC3φ 200V 50Hz AC1φ 100V 50Hz
連絡装置	同時通話式インターホン 遠隔監視装診断装置 IF
付加仕様	初期微動地震時管制運転付 火災時管制運転付 停電時自動着床運転付 車椅子対応 (No.2/No.3) 視覚障がい者対応 監視盤付 (自立型、LED) (No.1/No.2)

(2) 竹園ハウス：設置台数 1 基

製造元	株式会社日立製作所
型式用途	R-9-2S60 (乗用)
定格積載重量	600kg、9 人乗り
定格速度	60m/min
運転方式	マイコン制御
停止階	7 箇所 (1~7 階)
かご内法	間口 1050mm

	奥行 1520mm
	出入り口高さ 2000mm
電動機	AC 5.5kw
電源	AC3φ 200V 50Hz
	AC1φ 100V 50Hz
連絡装置	同時通話式インターホン
付加仕様	地震時管制運転付 (H センサー)

2. 自動ドアについて (※二の宮ハウスのみ)

(1) 二の宮ハウス：設置台数 4 台

製造元 ナブコ

設置個所

① エントランス外扉

設置機種 DS-150D

センサー部 開口：1470mm、外側：H-82、内側：H-82、補助：NZ-C

② エントランス外扉

設置機種 DS-150D

センサー部 開口：1470mm、外側：テンキーSW・リモコンSW 併用、
内側：H-82、補助：NZ-C

電子錠型式 SKD-2

③ B 1

設置機種 DS-75S

センサー部 開口：930mm、外側：テンキーSW・リモコンSW 併用、
内側：H-82、補助：NP-10

電子錠型式 SKD-2

④ 9 階

設置機種 DS-75D

センサー部 開口：930mm、外側：リモコンSW、内側：H-82、補助：NP-10

電子錠型式 SKD-2

2. 主な交換・更新作業等について

以下は、外国人研究者宿舎において実施した主な交換・更新等実績です。

竣工時から変更になっている機器があることをご留意願います。

(1) 平成 21 年度

① 二の宮ハウス

- ・受水槽室：排水ポンプ交換 テラル 50PV-5.25

- ・管理事務室：リモコンキー制御器交換 美和ロック RKU-003
- ・2～5階：煙感知器を熱感知機に交換 能美防災
- ・情報ライブラリー：窓用遮熱フィルム新設 3M NANO90S
- ・施設内：防犯カメラ装置更新 ビクター

②竹園ハウス

- ・ゴミ置き場：人感センサー付照明器具取付 パナソニック FSS41000CIJ
- ・ゴミ置き場：換気扇取付 三菱電機 EX-30EH5

(2) 平成22年度

①二の宮ハウス

- ・施設内：防災設備補修（スピーカー、バッテリー交換）
- ・ディスプレイ排水処理設備：水中ポンプ交換 新明和 CNL501、A401T
- ・ディスプレイ排水処理設備：フロートスイッチ交換 エレポン LS-S

②竹園ハウス

- ・屋上 防水補修工事

(3) 平成23年度

①二の宮ハウス

- ・受水槽室：定水位弁交換
- ・受水槽室：加圧給水ポンプ交換 テラル SX-65VFC504-5.5W
- ・地下ピット：排水ポンプ交換（4カ所） テラル 40PVA-5.25
- ・集会室：ガス給湯器交換 ノーリツ GQ-1637WS-FFA
- ・打ち合わせ室：電気給湯器交換 イトミック ES-20DW3BL
- ・ディスプレイ排水処理設備：散気装置交換 美鈴工業 ディスク型 A
- ・集会室：床タイルカーペット撤去、アンダーレイ、長尺シート貼り補修
- ・ガスメーター室：緊急ガス遮断弁設置 トーセツ TK-ESC1
- ・共用部：無線 LAN 機器設置 バッファロー
- ・居室：ガス漏れ検知器交換 パナソニック
- ・スポーツジム、プレイルーム：窓用遮熱フィルム新設 3M NANO70S

②竹園ハウス

- ・設備機械室：揚水ポンプ交換 川本製作所 TN-405X5-MN3.7
- ・設備機械室：受水槽 FM バルブ交換
- ・設備機械室：雑排水ポンプ交換 荏原 50DSA51.5
- ・地下ピット：雑排水ポンプ交換 荏原 40DVSA5.25SA
- ・高置水槽：バルブ交換
- ・高圧交流ガス負荷開閉器：設置
- ・施設内：館内放送用設備設置 JVC ケンウッド PA-908 他
- ・居室：ガス漏れ検知器交換 能美防災 KN-35B

- ・ 共用部：照明器具等交換 ALT-24W/S750F 他
- (4) 平成24年度
- ① 二の宮ハウス
- ・ ディスポーザー排水処理設備：空気配管の更新

以上

外国人研究者宿舎の運営に関する規則

(平成15年10月1日 平成15年規則第95号)

改正 (平成16年4月1日 平成16年規則第45号)

改正 (平成19年3月28日 平成19年規則第57号)

改正 (平成21年3月27日 平成21年規則第81号)

(目的)

第1条 この規則は、独立行政法人科学技術振興機構が外国の研究者の利用のために設置する宿舎（以下「宿舎」という。）の運営について定めることを目的とする。

(管理者)

第2条 この規則に定める宿舎の運営に係る事務は、国際科学技術部において行い、その責を負う者（以下「管理者」という。）は国際科学技術部長とする。

(利用資格)

第3条 宿舎を利用できる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 国立試験研究機関、試験研究に関する業務を行う独立行政法人、大学、公共的な試験研究機関等（以下「研究機関等」という。）において研究に従事する外国の研究者
- (2) 研究機関等と共同研究を行っている民間企業の研究グループにおいて研究に従事する外国の研究者
- (3) 研究機関等及びこれら研究機関等と共同研究を行っている民間企業の研究グループにおいて研究に従事する日本の研究者で宿舎を利用する外国の研究者と交流を行う者
- (4) その他必要と認められる者

(利用期間)

第4条 宿舎を利用できる期間は、原則として2年以下とする。ただし、特別の理由があると管理者が認めた場合は、この限りではない。

(利用の許可)

第5条 宿舎の利用を希望する者は、利用申請書及び許可書（様式第1号）を、管理者に提出しなければならない。

- 2 管理者は、提出された利用申請書及び許可書（様式第1号）に対し、文書により宿舎の利用を許可するものとする。

(同居)

第6条 前条第2項に定める許可を受けた利用者（以下「利用者」という。）は、その許可を受けた同居者以外の者を同居させてはならない。ただし、特別の理由があると管理者が認めた場合は、この限りではない。

(利用の開始)

第7条 利用者は、宿舎の利用を開始したときは、遅滞なく、誓約書及び利用届出書（様式第2号）を管理者に提出しなければならない。

(利用料)

第8条 利用者は、別に定めるところにより宿舎の利用料を毎月管理者の指示に従い支払わなければならない。

(禁止事項)

第9条 利用者（同居者を含む。以下同じ。）は、次の行為をしてはならない。

- (1) 宿舍の設備及び備品を宿舍の外に持ち出すこと。
- (2) 宿舍を本来の利用目的以外の用に供すること。
- (3) 宿舍における危険物の使用又は構造物に損害を与える行為をすること。
- (4) 宿舍を理由なく長期にわたってあけること。
- (5) その他宿舍内の風紀秩序を乱し、近隣者に迷惑を及ぼす行為をし、又は及ぼすおそれのある行為をしようとする事。

(遵守事項)

第10条 利用者は、宿舍における安全及び衛生の保持のため、次の事項を守らなければならない。

- (1) 衛生的な生活環境を維持するための管理を行うこと。
- (2) 火気の管理に努め火災の予防のため必要な措置を講ずること。
- (3) 火災その他非常の場合の処置についてあらかじめ熟知し、万一事故の発生の場合、管理人に報告するとともに、速やかに避難等、適切な処置をとること。
- (4) 感染症患者又は感染症の疑いのある患者が発生した場合には、遅滞なく、管理人を経由して管理者に届け出てその指示に従うこと。

(許可の取消)

第11条 管理者は、利用者が次の各号の一に該当するときは、第5条第2項に定める利用の許可を取り消すことができる。

- (1) 第3条に定める利用資格がなくなったとき。
- (2) 第6条から第9条までの規定に違反したとき。
- (3) 宿舍の管理及び運営に重大な支障を及ぼす行為をしたとき、又は及ぼすおそれがあるとき。

2 管理者は、前項各号に定めるほか、宿舍の運営上必要と認めるときは、第4条に定める当該利用の宿舍利用期間を変更し、又は第5条第1項に定める利用の許可を取り消すことができる。

3 管理者は前2項の規定により利用期間を変更し、又は利用の許可を取り消したことによって当該利用者が損失を受けても、その責めを負わない。

(立入り)

第12条 管理者は、宿舍の運営上やむをえない必要最小限度において、その職員又は管理人に、利用中の宿舍に立ち入らせることができる。

(退去)

第13条 利用者は、次の各号の一に該当するときは、遅滞なく宿舍を退去しなければならない。

- (1) 第11条の規定により利用許可を取り消されたとき。
- (2) 利用期間が満了したとき。

2 利用者は、退去する場合は、退去届出書（様式第3号）を管理者に提出しなければならない。

(原状回復の義務)

第14条 利用者は、故意又は過失により宿舍並びにその設備及び備品を滅失又はき損したとき

は、当該宿舎並びにその設備及び備品を原状に回復し、又は原状に回復しないことによって生ずる損害を賠償しなければならない。

(業務の委任)

第15条 管理者は、宿舎の運営上必要があるときは、第三者に宿舎の運営に係る業務の一部を委任することができる。

2 管理者又は前項に定めるところにより宿舎の運営に係る業務の一部を委任された者は、宿舎の維持管理のため管理人を置くものとする。

(その他)

第16条 この規則に定めるもののほか、宿舎の運営等に関し、必要な事項は管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 (平成16年4月1日 平成16年規則第45号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年3月28日 平成19年規則第57号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年3月27日 平成21年規則第81号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

様式第 1 号

Form 1

「独立行政法人科学技術振興機構外国人研究者宿舎」利用申請書及び許可書
Application and Permission for Use of JST Ninomiya/Takezono House

Date (DD/MM/YY) / /

Attention: Director,
Department of International Affairs,
Japan Science and Technology Agency (JST)

Name (print) _____
Nationality _____

I apply for use of JST Ninomiya/Takezono House as detailed hereunder.

1. Requested type of house : For Ninomiya House/For Takezono House
2. Requested period of use : Check-in (DD/MM/YY) Check-out (DD/MM/YY)
3. Requested type of room : For one person / For two persons / For family (only Takezono House)
4. User(s)

	Name	Date of Birth (DD/MM/YY)	Sex	Relation
User				
Family Members Sharing the Room				

上記利用希望者は、次のとおり当所において、研究に従事することを証明します。また、上記の者の宿舎の利用について、外国人研究者宿舎の運営に関する利用規定等を遵守させることを保証し、同人が利用規定等を遵守しない場合は、私の責任において退去させます。

受入研究機関名

日本滞在期間 年 月 日 ~ 年 月 日

研究部・課(室)名

受入研究機関における身分

招へいまたは派遣制度名

受入担当責任者名 印

連絡先 TEL: FAX: E-mail:

管理部門担当者名(部・課(室)名) : 印

Attention:
International Affairs,

Director, Department of

Japan Science and Technology
Agency (JST)

I accept the application for use of JST Ninomiya/Takezono House, as prescribed hereunder.

Room Number Approved for Use	No.	User	
Approved Period of Use (DD/MM/YY)	Check-in / / Check-out / /	Family Members Sharing the Room	
Remarks	-The applicant must move into the room by / / (DD/MM/YY) under the presence of host researcher. -The applicant must submit the Report of the Commencement of use within ten days of the beginning of occupancy. -The room may not be used by other than the above-mentioned person(s).		

様式第 2 - 1 号

Form 2-1

(For Foreign Researchers)

誓約書及び利用届出書

Oath and Report of the Commencement of Use for JST Ninomiya/Takezono House

Date _____

Attention: Director,
 Department of International Affairs,
 Japan Science and Technology Agency (JST)

Name (print) _____

Signature _____

Nationality _____

I hereby swear that I shall observe all the rules and regulations concerning the use of JST
 Ninomiya/Takezono House, upon obtaining residency approval and report the commencement of use for JST
 Ninomiya/Takezono House, as detailed in the following:

Room Number of Use	No.
Date of Commencement of Use (DD/MM/YY)	
Names of Family Members Sharing the Room	

様式第 2 - 2 号

Form 2-2

(For Japanese Researchers)

誓約書及び利用届出書

Date _____

独立行政法人科学技術振興機構
国際科学技術部長殿

Name (print) _____

Signature _____

私は、貴機構の外国人研究者宿舎を利用するにあたり、外国人研究者宿舎の運営に関する利用規定等の遵守する事を誓います。

また、次のような事項についての国際交流に、可能な限り協力する事を誓います。

- 交流イベントへの参加
- 交流イベントの企画・運営補助
- 居住者にとっての相談相手
- 緊急時及び近隣居室で急病があった時等の対応

また、下記のとおり外国人研究者宿舎の利用を開始したので、届け出ます。

Room Number of Use	No.
Date of Commencement of Use (DD/MM/YY)	
Names of Family Members Sharing the Room	

様式第 3 号

Form 3

「独立行政法人科学技術振興機構外国人研究者宿舍」退去届出書
 Report of Withdrawal from JST Ninomiya/Takezono House

Attention: Director,
 Department of International Affairs,
 Japan Science and Technology Agency (JST)

Date _____
 Name (print) _____
 Signature _____
 Nationality _____

I hereby report a withdrawal from JST Ninomiya/Takezono House, as detailed in the following:

Room Number of Withdrawal	No.
Date of Withdrawal (DD/MM/YY)	
Names of Family Members Sharing the Room	
Reason for Withdrawal	
Contacts after Withdrawal	e-mail: address:

 (For House Officers)

Check Items upon Withdrawal	Facilities	
	Equipment	
	Fixtures	
	Checked by: (Title)	印

外国人研究者宿舎の運営に関する規則施行細則

(平成15年10月1日 平成15年細則第23号)

改正 (平成20年3月12日 平成20年細則第2号)

(目的)

第1条 この細則は、外国人研究者宿舎の運営に関する規則（平成15年規則第95号）第8条に定める宿舎の利用料について必要な事項を定めるものとする。

(利用料)

第2条 利用料は次のとおりとする。

竹園ハウス

区分		利用料	
		月額	日額
宿舎利用	1人用	63,000円	2,100円
	2人用	86,000円	2,867円
	家族用	106,000円	3,533円
その他	自動車駐車場	3,000円	100円

二の宮ハウス

区分		利用料	
		月額	日額
宿舎利用	1人用	76,000円	2,533円
	2人用	100,000円	3,334円
その他	自動車駐車場	5,000円	167円

2 利用料は、月額によるものとし、月の途中で宿舎の利用を開始し、又はこれを退去した場合におけるその月分の利用料は日額により計算した額とする。

(その他の料金)

第3条 光熱水料等の実費は利用者が負担する。

(利用料の納付)

第4条 宿舎の利用許可を受けた者は、第2条に定める利用料を指定期日までに納付しなければならない。

(利用料の返却)

第5条 納付された利用料は、次のいずれかに該当する場合以外は原則として返却しない。

- (1) 天災その他やむを得ない事由により宿舎を利用できなくなったとき。
- (2) 管理者の都合により宿舎の利用許可を取消し、または利用を中止させるとき。

附 則

この細則は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月12日 平成20年細則第2号)

この細則は、平成20年3月12日から施行し、改正後の外国人研究者宿舎の運営に関する規則施行細則の規定は、平成19年4月1日から適用する。




竹園ハウス

快適な居住空間に加え、来日当日から日常生活が送れるよう電化製品や調理器具、寝具類を完備しています。学校の転入手続きや病院の予約をはじめ、買い物や旅行など様々な生活相談も実施する他、居住者対象の日本語教室、イブニングフォーラム、更に夏祭り、文化教室など多彩な交流イベントも企画し、より豊かなつくば滞在をサポートします。



交通のご案内

- つくばエクスプレス:つくば駅下車
二の宮ハウス/つくばセンターよりバス乗車
行先:No.30・No.31 ひたち野うしく駅 下車:二の宮3丁目(徒歩約5分)
竹園ハウス/つくば駅より徒歩約10分
- 高速バス:
東京駅八重洲南口より
行先:つくばセンター
下車:二の宮ハウス/千現1丁目(徒歩約15分)
竹園ハウス/つくばセンター(徒歩約10分)
成田空港 第一ターミナル8番乗り場/第二ターミナル10番乗り場より
行先:土浦駅東口
下車:つくばセンター(二の宮ハウスへはタクシーまたは路線バス)
- 常磐自動車道
つくば牛久I.C.よりつくば学園都市方面へ→学園西大通り→南大通り

独立行政法人科学技術振興機構 (JST)

二の宮ハウス
〒305-0051 茨城県つくば市二の宮1-6-2
TEL : 029-858-7000 FAX : 029-858-7011

竹園ハウス
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-4
TEL : 029-858-8000 FAX : 029-858-8037

URL : <http://www.jsthouse.com/>
Mail : nino_take@jistec.or.jp

2013.01

二の宮ハウス



竹園ハウス




二の宮ハウス

独立行政法人科学技術振興機構 (JST) の「二の宮ハウス」と「竹園ハウス」は、主に研究学園都市の研究機関や大学で研究活動を行う外国人研究者及びその家族のための宿舎で、つくば市中心部付近に位置しています。



二の宮ハウス

1人用
(約34m²)



2人用
(約63m²)



イブニングフォーラム



料理教室



夏祭り

年間行事



日本語教室



バスツアー

共用室 (二の宮ハウス)

交流サロン



情報ライブラリー



スポーツジム



竹園ハウス

1人用
(約36m²)



2人用
(約63m²)



家族用
(約93m²)



利用期間・利用料金

- ① 利用期間は、2年以内(二の宮ハウス)、3ヶ月以上2年以内(竹園ハウス)
- ② 30日未満の利用は消費税が別途必要です。
- ③ 月の途中の入退居については日額料金を適用します。
- ④ 光熱費等が別途必要です。
- ⑤ 敷金・礼金は不要です。
- ⑥ 各居室インターネットは無料で接続できます。

利用条件

- ① 国立試験研究機関、試験研究に関する業務を行う独立行政法人、大学、公共的な試験研究機関等(以下、「研究機関等」という。))において研究に従事する外国の研究者
- ② 研究機関等と共同研究を行っている民間企業の研究グループにおいて研究に従事する外国の研究者
- ③ 研究機関等や上記②の研究グループにおいて研究に従事し、宿舍を利用する外国の研究者と交流を行う日本の研究者

申込方法

- 受入研究機関の担当責任者が電話またはe-mailにより空室状況の確認、仮予約後、所定の申請書により、両ハウス入居の1ヶ月前までにお申込みください。

申込許可

- 独立行政法人科学技術振興機構で審査後、利用許可書が発行されます。

二の宮ハウス

1人用	76,000円/月
2人用	100,000円/月

竹園ハウス

1人用	63,000円/月
2人用	86,000円/月
家族用	106,000円/月

独立行政法人科学技術振興機構(JST)

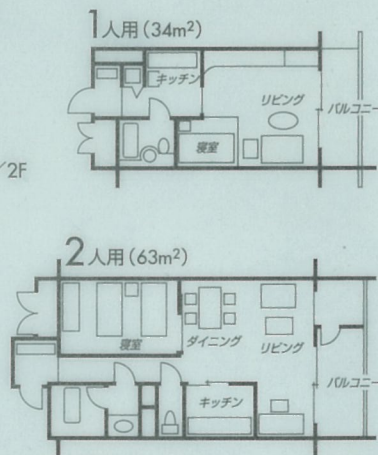
二の宮ハウス

〒305-0051 茨城県つくば市二の宮1-6-2

主な仕様

- 居室数 184室(家具・寝具・電化製品・食器付) / 1~8F
- 1人用 1LK 104室
- 2人用 1LDK 80室

- 交流サロン / 9F
- 和室・茶室 / 9F
- ラウンジ / 3~8F
- 情報ライブラリー (コンピューター常設) / 2F
- 集会室 / 1F
- セミナールーム / 1F
- ゲストルーム / 1F
- 打ち合わせ室 / 1F
- スポーツジム / 1F
- プレイルーム / 1F
- 駐車場 (148台)
- 駐輪場



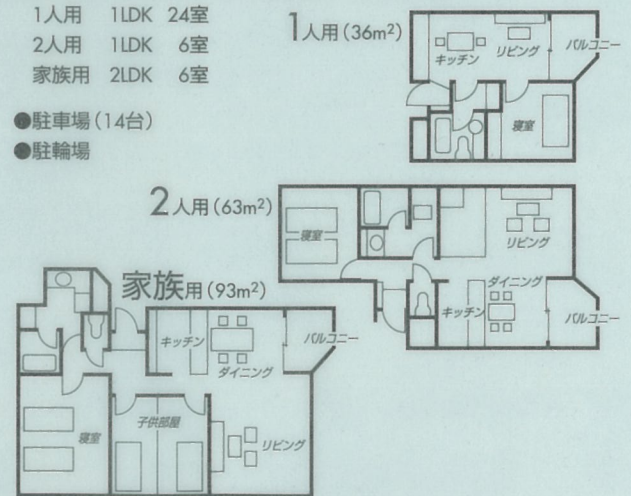
竹園ハウス

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-4

主な仕様

- 居室数 36室(家具・寝具・電化製品・食器付) / 2~7F
- 1人用 1LDK 24室
- 2人用 1LDK 6室
- 家族用 2LDK 6室

- 駐車場 (14台)
- 駐輪場



申込先

(社) 科学技術国際交流センター (JISTEC) 外国人宿舍事業部

〒305-0051 茨城県つくば市二の宮1-6-2 二の宮ハウス TEL:029-858-7001 FAX:029-858-7011

URL: <http://www.jsthouse.com/>

E-mail: nino_take@jistec.or.jp

管理業務企画書

1. 企業の代表責任者及び本業務担当者

■入札参加グループの場合は、入札参加グループの一覧と代表企業、グループ企業の代表責任者及び本業務担当者。

(入札参加グループ結成に関する協定書又はこれに類する書類を添付すること)

2. 業務実績			
■本実施要項（1.）で示す業務毎に過去3年間の実績を記載すること。			
（1）統括業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
（2）施設維持管理業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
（3）環境衛生管理業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等
（4）植栽管理業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模 請負金額等

3. 本業務実施に対する認識

■安定した業務を実施するための基本的な方針、業務全般において特に重視するポイント等を具体的に記載すること。

(注) 用紙が不足する場合は適宜追加すること。

4. 業務の実施体制及び業務全体の管理方法

■本業務全体について及び本実施要項1.(1)イ.で示す各業務毎に実施体制及び業務全体の管理方法等を具体的に記載し、必要とされる法的資格等を有する者及び条件を満たす者の配置を記載する。

(必要とされる資格を証明する書類の写しを添付すること。)

5. 質の確保及び業務コスト等削減に関する考え方

■以下の項目について、簡潔にまとめること。なお、必要に応じ、各業務毎に提案書を作成することができる。

(1) 本業務の実施全般に対する質の確保及び業務コスト等削減についての考え方

(2) 質の確保に関する提案事項

(3) 業務コスト等削減に関する提案事項

注1：A4判1ページ以内で記載すること。

注2：業務毎に作成する場合は、各業務毎にA4判1ページ以内で記載すること。

6. 改善提案総括表				
<p>■業務内容（別紙4）に対し改善提案を行う場合は、改善を行う業務の項目と提案の概略を整理すること。なお、下記に改善提案のない業務項目については機構が提示する最低水準として従来の実施方法に基づいて業務を行うものとする。</p>				
(1) 統括業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※別紙4に定める項目を明記	提案の概略			
(2) 施設維持管理業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※別紙4に定める項目を明記	提案の概略			

(3) 環境衛生管理業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※別紙4に定める項目を明記	提案の概略			
(4) 植栽管理業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※別紙4に定める項目を明記	提案の概略			

注1. 提案の有無を選択し、改善提案がある場合は、業務項目及び提案の概略を記載する。

注2. 提案の詳細については【様式7】に記載する。

注3. 表の枠が不足する場合は適宜追加すること。

7. 各業務の従来の実施方法に対する改善提案

■提案を行う各業務の1項目につき1枚以内とする。

(1) 改善提案を行う業務及び項目

(2) 改善提案の趣旨

(3) 改善提案の内容及び実施方法

(4) 改善提案実施可能とする体制

(5) 最低水準の確保に対する説明

注1：1つの提案毎に、それぞれA4判1ページ以内で記載すること。

注2：定量的に提案できる項目は具体的な数値等を提案すること。

8. 緊急時の体制及び対応方法

(1) 具体的な緊急事態を想定し、円滑に対応し、かつ被害を拡大させないための体制、対策を具体的に記載すること。

(2) 緊急時の対策（連絡体制）を具体的に記載すること。

(3) 業務を安定的に履行できる対策（保証保険など）が講じられているか具体的に記載すること。

9. 再委託に関する事項			
再委託する業務	名称	住所	再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他の業務管理の方法

注：落札事業者は、本契約締結後やむを得ない事情により再委託先を変更する場合は、機構のセンターの承認を得なければならない。

平成 年 月 日

独立行政法人科学技術振興機構
分任契約担当者 経理部長 殿

入札参加業者 住 所 (郵便番号)

電話番号 () -

商 号
又は名称

氏 名 ⑩

(法人にあつては、代表者氏名)

法定代理人

氏 名

入札参加事業者等確認書

この書面の記載事項は、事実に相違ありません。

(留意事項)

1. この書面及び提出書類は、競争の導入による公共サービス改革に関する法律第10条各号に規定されている欠格事由該当性の審査に必要であり、この書面及び提出書類に記載されている個人情報については、欠格事由該当性の審査のため、必要な範囲において利用し又は警察庁等関係行政機関に対し提供します。
2. この書面とともに第8面の一覧表(7. 提出書類)に示す提出をお願いします。

1. 入札参加事業者

個人・法人の別	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 法人
---------	-----------------------------	-----------------------------

(1) 入札参加事業者が個人の場合

フリガナ	生年月日	本籍
氏名	(性別)	住所
フリガナ	事業活動の内容	
商号又は屋号		
	()	

(2) 入札参加事業者が法人の場合

フリガナ	主たる事務所の所在地
商号又は屋号	代表者の氏名
事業活動の内容	

(記載上の注意)

1. 「個人・法人の別」は、該当するものに○印を付けてください。
2. 「商号又は屋号」は、商号登記をしているときはその商号を、商号登記していないときは屋号等の名称のうち1個を記載してください。

2. 法定代理人

フリガナ	生年月日	本籍
氏名	(性別)	住所
	()	
	()	

(記載上の注意)

1. 「法定代理人」は、
 - ①入札参加事業者（法人の場合は、当該法人の役員）
 - ②入札参加事業者の親会社等（法人の場合は、当該法人の役員）
 が、法第10条第6号に規定する「営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者」である場合に、当該未成年者の法定代理人を記載してください。
2. 記載しきれないときは、この様式の例により作成した書留にて第2面（本面）の次に添付してください。

3. 役員等

フリガナ	生年月日（性別）	本 籍
氏 名	役職名又は名称	住 所
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	

(記載上の注意)

1. 入札参加事業者が法人の場合に記載してください。
2. 「役員等」とは、役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員、監事、監査役又はこれらに準ずる者）及び相談役、顧問等名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいい、その全てを記載してください。
3. 記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第3面（本面）の次に添付してください。

4. 主要株主・主要出資者

発行済株式の総数		出資総額	
----------	--	------	--

(1) 主要株主・主要出資者が個人の場合

フリガナ 氏 名	生年月日 (性別)	本 籍	
		住 所	
		所有株式数又は出資金額	割 合
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		
	()		

(2) 主要株主・主要出資者が法人の場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地	
商号又は名称	代表者氏名	所有株式数又は出資金額	割合

(記載上の注意)

1. 主要株主とは、発行済株式の総数の100分の5以上の株式を所有する株主をいいます。
2. 主要出資者とは、出資総額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者をいいます。
3. 割合は、「所有株式数(出資金額) / 発行済株式の総数(出資金額) × 100」とします。
4. 法第10条第9号の親会社等に該当する場合は、第6面(次面)の「5. 親会社等」欄に記載してください。
5. 記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、個人の場合は第4面(前面)の次に、法人の場合は第5面(本面)の次にそれぞれ添付してください。

5. 親会社

(1) 施行令第3条第1項第1号に該当する場合

○個人の場合

フリガナ	生年月日 (性別)	本 籍		
氏 名		住 所		
		議決権の総数	所有する議決権の数	割合
	()			

○法人の場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地		
商号又は名称	代表者氏名	議決権の総数	所有する議決権の数	割合

(2) 施行令第3条第1項第2号に該当する場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地		
商号又は名称	代表者氏名	その役員に占める自己の役員等の割合		

(3) 施行令第3条第1項第3号に該当する場合

フリガナ	フリガナ	主たる事務所の所在地		
商号又は名称	代表者氏名	その代表権を有する役員の地位を占める自己の役員等の氏名		

(記載上の注意)

1. 「親会社等」には、入札参加事業者と次の関係（特定支配関係）にある者（施行令第3条第1項第1号から第3号まで）を記載してください。
 - ①その株主（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株主を除く。）又は総出資者の議決権の過半数を有していること。（第1号）
 - ②その役員（理事、取締役、執行役、業務を執行する社員又はこれらに準ずる者をいう。）に占める自己の役員又は職員（過去2年間に役員又は職員であった者を含む。以下同じ。）の割合が2分の1を超えていること。（第2号）
 - ③その代表権を有する役員の地位を自己又はその役員若しくは職員が占めていること。（第3号）
2. 親会社等に該当するものがある場合は、その該当する欄に記載してください。
3. その役員に占める自己の役員等の割合は、「入札参加事業者における自己の役員等の数／入札参加事業者の役員の数×100」とします。

6. 親会社等の役員等

法人の商号又は名称		本 籍
フリガナ	生年月日 (性別)	
氏 名	役職名又は名称	住 所

(記載上の注意)

1. 親会社等が法人の場合は、当該法人の役員等（第3面でいう「役員等」に同じ。）を全て記載してください。
2. 記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第7面（本面）の次に添付してください。

7. 提出書類

この書面のほか、下表に示す提出書類のうち、該当するものを提出してください。なお、提出書類についてはチェック欄に○印を付けてください。

提出書類一覧表		チェック
1. 住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し） ※【落札者決定後】		
①落札事業者（個人）		
②落札事業者（個人）の法定代理人 ※2		
③落札事業者（法人）の役員		
④落札事業者（法人）の役員の法定代理人		
⑤落札事業者（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者 ※3		
⑥落札事業者（法人）の親会社等 ※4（個人）		
⑦落札事業者（法人）の親会社等（個人）の法定代理人		
⑧落札事業者（法人）の親会社等（法人）の役員		
⑨落札事業者（法人）の親会社等（法人）の役員の法定代理人		
⑩落札事業者（法人）の親会社等（法人）の役員と同等以上の支配力を有する者		
2. 登記事項証明書（履歴事項全部証明書） ※5		
⑪入札参加事業者（法人）		
⑫入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）		
3. 戸籍謄本 ※6		
⑬入札参加事業者（個人）		
⑭入札参加事業者（法人）の役員		
⑮入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）		
⑯入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員		
4. 未成年者登記簿の謄本 ※7		
⑰入札参加事業者（個人）		
⑱入札参加事業者（法人）の役員		
⑲入札参加事業者（法人）の親会社等（個人）		
⑳入札参加事業者（法人）の親会社等（法人）の役員		
5. 誓約書		
㉑入札参加事業者（個人）		
㉒入札参加事業者（法人）		

※1 住民票の写しは、本籍地の記載のあるものとし、外国人登録原票の写しは、その者が外国人で外国人登録をしている場合に提出してください。また、いずれも発行後6か月以内のものを提出してください。

※2 法定代理人とは、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合の当該未成年者の法定代理人をいいます。

※3 役員と同等以上の支配力を有する者とは、正規の役員ではないが、相談役、顧問等の名称のいかんを問わず、役員と同等以上の支配力を有する者をいいます。

※4 親会社等とは、入札参加事業者と施行令第3条第1項各号のいずれかに該当する関係（特定支配関係）を有する者とします。

※5 登記事項証明書（履歴事項全部証明書）は、発行後6か月以内のものを提出してください。

※6 戸籍抄本は、その者が営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合及びその者が未成年者で婚姻により成年に達したとみなされている場合（民法第753条）に提出してください。

※7 未成年者登記簿の謄本は、その者が未成年者であって、営業に関し成年者と同一の行為能力を有する場合（婚姻により成年に達したとみなされている場合を除く。）に提出してください。